平成２３年度

能 美 市 民 満 足 度 調 査

報　告　書

平成２３年１２月

能美市 総務部 企画財政課

目　次

１．調査概要---------- 1
（１）調査の目的---------- 1
（２）調査の概要---------- 1
（３）調査項目の基本構成---------- 1
２．配布・回収結果---------- 2
３．調査結果---------- 3
（１）回答者自身について---------- 3
【問１】性別---------- 3
【問２】年齢（年代）---------- 4
【問３】居住地（小学校区）---------- 5
【問４】職業---------- 6
【問５】家族人数（世帯タイプ）---------- 7
【問６】家族構成---------- 8
【問７】能美市での居住年数（旧３町時代含む）---------- 9
【問８】通勤・通学先---------- 13
【問９】市政への関心---------- 17
【問 10】市政情報の入手方法---------- 21
（２）能美市における各種施策の「満足度」「重要度」について---------- 31
【問 11】能美市における施策の満足度と重要度---------- 31
（３）能美市に住むことについて---------- 47
【問 12】能美市の住みやすさに対する意識---------- 47
【問 13】将来的な定住意向---------- 51
【問 14】能美市に定住した主なきっかけ---------- 55
【問 15】能美市に定住することの魅力---------- 67
（４）地域活動、市民活動および市民と行政の協働について---------- 80
【問 16】地域活動、市民活動への参加状況---------- 80
【問 17】地域活動、市民活動の活性化に必要なこと---------- 94
【問 18】市民と行政の協働推進に必要なこと---------- 99
（５）男女共同参画社会づくりの取り組みについて---------- 103
【問 19】男女共同参画で心がけていること---------- 103
（６）公共交通網の充実について---------- 107
【問 20】ＪＲ寺井駅の利用状況---------- 107
【問 21】鉄道等の利用促進のために必要なこと---------- 111
（７）リサイクルセンターのあり方について---------- 118
【問 22】リサイクルセンターの利用状況---------- 118
【問 23】資源ごみの処分方法---------- 121
【問 24】リサイクルセンターの統合について---------- 124
【問 25】リサイクルセンターに付加を望む機能---------- 127

（８）観光に関する取り組みについて---------- 130
【問 26-1】観光をキーワードとした地域活性化事業の周知状況---------- 130
【問 26-2】特に興味のある取り組み---------- 134
【問 27】能美市民として自慢できるもの---------- 138
【問 28】能美市への愛着---------- 140
【問 29】観光誘客を図るための重要なキーワード---------- 143
【問 30】観光誘客に向けたアイデア---------- 148
４．まとめ---------- 150

１．調査概要

（１）調査の目的

◇平成 18 年度に策定した「第一次能美市総合計画」に基づく各種施策について、現在の満足度や今後の重要度を把握するとともに、平成 17 年度、平成 19 年度および平成 21 年度に実施した調査結果との比較分析を行うことにより、各種施策に対する評価の変化を把握し、施策の進行管理に反映させます。

◇また、能美市での居住や地域活動、市民と行政の協働、男女共同参画社会づくり、公共交通網の充実、リサイクルセンターのあり方、観光への取組み等についての市民意識を明らかにし、市民に開かれたより良い市政を展開していくための一助とすることを目的とします。

（２）調査の概要

◇調査対象：20 歳～79 歳までの市民 3,000 名

◇抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出（層化多段抽出法）

◇調査方法：郵送（無記名回収）方式

◇調査期間：平成 23 年 8 月 12 日（金）～8 月 31 日（水）

※期日後 9 月 9 日（金）までに返送されたものまでが集計に含まれています。

（３）調査項目の基本構成

１）回答者自身について

◇性別、年齢、居住地、職業、家族人数、家族構成、居住年数、通勤･通学先、市政への関心、市政情報の入手方法に関する設問

２）能美市における各種施策の「満足度」「重要度」について

◇魅力、歴史・自然、居住環境、健康・福祉、産業・観光、教育・文化・スポーツ、行財政、参画・協働の各分野において展開している 51 の施策に対する満足度と重要度および施策全体への満足度に関する設問

３）能美市に住むことについて

◇能美市への定住意向や居住環境、居住理由などに関する設問

４）地域活動、市民活動および市民と行政の協働について

◇地域活動、市民活動への参加状況や市民と行政の協働体制の推進などに関する設問

５）男女共同参画社会づくりの取り組みについて

◇男女共同参画の現状に関する設問

６）公共交通網の充実について

◇ＪＲ寺井駅の利用状況や鉄道等の利用促進に関する設問

７）リサイクルセンターのあり方について

◇リサイクルセンターの利用状況や将来像などに関する設問

８）観光に関する取り組みについて

◇能美市への愛着や観光に関する事業の周知状況、観光誘客などに関する設問

２．配布・回収結果

■市全体・地区別（平成 23、21、19、17 年度調査（以下、H23、H21、H19、H17 と記します。））

	配布数				回収数				回収率			
	H23（今回）	H21	H19	H17	H23（今回）	H21	H19	H17	H23（今回）	H21	H19	H17
市全体	3,000	3,000	3,000	3,000	1,473	1,174	966	1,421	49.1%	39.1%	32.2%	47.4%
根上地区	1,008	1,015	1,024	1,038	473	385	299	459	46.9%	37.9%	29.2%	44.2%
寺井地区	1,068	1,061	1,056	1,026	522	421	330	521	48.9%	39.7%	31.3%	50.8%
辰口地区	924	924	920	936	430	350	310	427	46.5%	37.9%	33.7%	45.6%
不明	－	－	－	－	48	18	27	14	－	－	－	－

※H23 は、9 月 9 日（金）以降に 20 通が回収されたため、配布・回収結果には含んでいますが、集計には含んでいません。
（集計は、9 月 9 日（金）までに回収された 1,453 通を対象としています。）

■性別（H23）

	配布数	回収数	回収率
男性	1474	603	40.9%
女性	1526	797	52.2%
不明	－	73	－

■年代別（H23）

	配布数	回収数	回収率
20歳代	500	154	30.8%
30歳代	600	239	39.8%
40歳代	600	300	50.0%
50歳代	500	250	50.0%
60歳代	500	299	59.8%
70歳代	300	198	66.0%
不明	－	33	－

３．調査結果

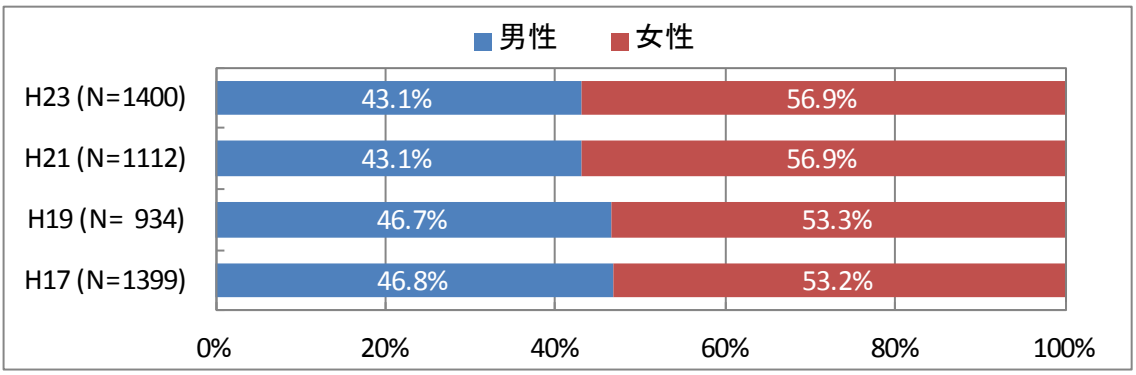
（１）回答者自身について

問１　性別

◆女性の割合がやや高くなっています。

◆H21 と比較して変化はみられません。

選択項目	H23（今回）		H21		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
男性	603	43.1%	479	43.1%	436	46.7%	655	46.8%
女性	797	56.9%	633	56.9%	498	53.3%	744	53.2%
無回答	53	－	62	－	32	－	22	－
合計	1453	－	1174	－	966	－	1421	－
回答者数（合計－無回答）	1400	100.0%	1112	100.0%	934	100.0%	1399	100.0%

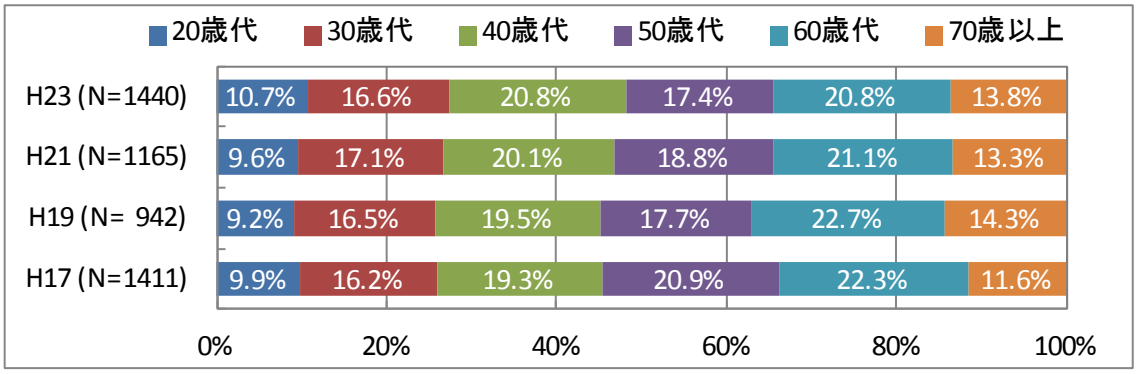


※【H23 の配布数（割合）】男性：1,474（49.1%）、女性：1,526（50.9%）

問２　年齢（年代）

◆30～60 歳代の回答者の割合が各々約 20%となっており、全体の 80%を占めています。

選択項目	H23（今回）		H21		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
20歳代	154	10.7%	112	9.6%	87	9.2%	139	9.9%
30歳代	239	16.6%	199	17.1%	155	16.5%	228	16.2%
40歳代	300	20.8%	234	20.1%	184	19.5%	272	19.3%
50歳代	250	17.4%	219	18.8%	167	17.7%	295	20.9%
60歳代	299	20.8%	246	21.1%	214	22.7%	314	22.3%
70歳以上	198	13.8%	155	13.3%	135	14.3%	163	11.6%
無回答	13	－	9	－	24	－	10	－
合計	1453	－	1174	－	966	－	1421	－
回答者数（合計－無回答）	1440	100.0%	1165	100.0%	942	100.0%	1411	100.0%



※【H23 の配布数（割合）】20 歳代：500（16.7%）、30 歳代：600（20.0%）、40 歳代：600（20.0%）、
50 歳代：500（16.7%）、60 歳代：500（16.7%）、70 歳以上：300（10.0%）

問３　居住地（小学校区）

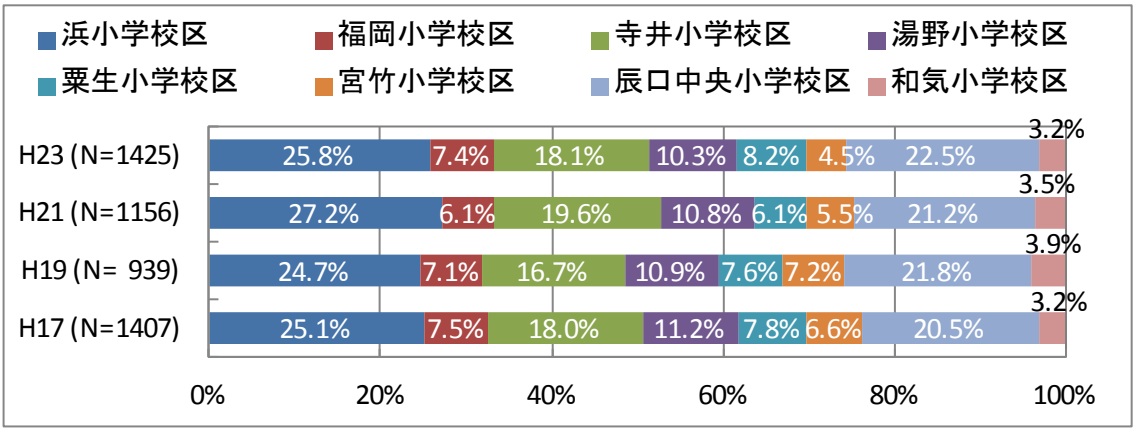
◆「浜小学校区」が 25.8%と最も多く、次いで「辰口中央小学校区」22.5%、「寺井小学校区」18.1%となっています。

◆地区別でみると、「寺井地区」が 36.6%と最も多く、次いで「根上地区」33.2%、「辰口地区」30.2%となっています。

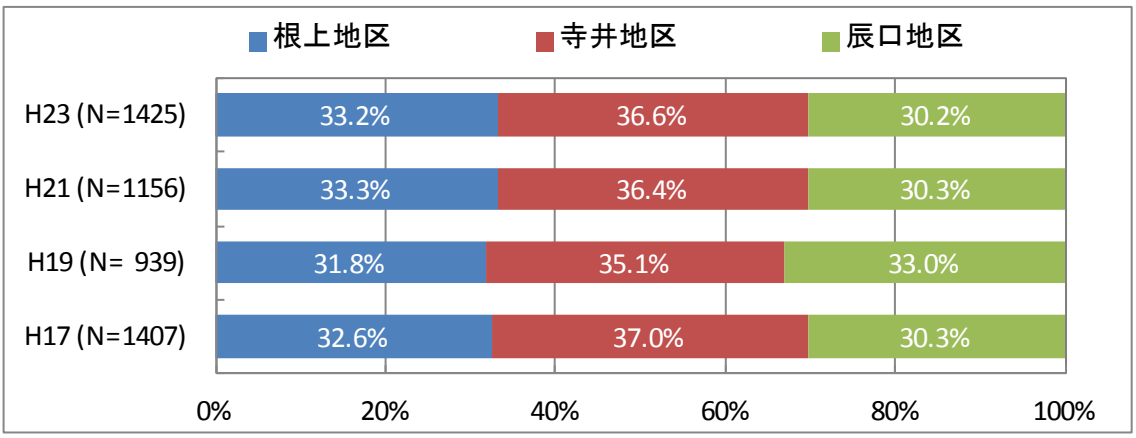
◆H21 と比較してあまり変化はみられません。

選択項目	H23（今回）		H21		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
浜小学校区	367	25.8%	314	27.2%	232	24.7%	353	25.1%
福岡小学校区	106	7.4%	71	6.1%	67	7.1%	106	7.5%
寺井小学校区	258	18.1%	226	19.6%	157	16.7%	253	18.0%
湯野小学校区	147	10.3%	125	10.8%	102	10.9%	158	11.2%
粟生小学校区	117	8.2%	70	6.1%	71	7.6%	110	7.8%
宮竹小学校区	64	4.5%	64	5.5%	68	7.2%	93	6.6%
辰口中央小学校区	321	22.5%	245	21.2%	205	21.8%	289	20.5%
和気小学校区	45	3.2%	41	3.5%	37	3.9%	45	3.2%
無回答	28	－	18	－	27	－	14	－
合計	1453	－	1174	－	966	－	1421	－
回答者数（合計－無回答）	1425	100.0%	1156	100.0%	939	100.0%	1407	100.0%

【小学校区別】



【地区別】



問 4　職業

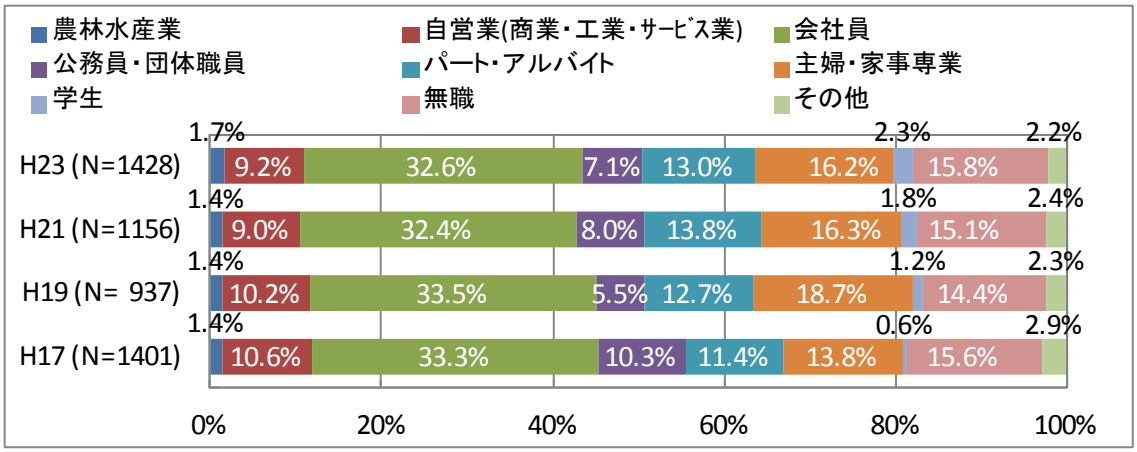
◆「会社員」が 32.6%と最も多く、次いで「主婦・家事専業」16.2%、「無職」15.8%、「パート・アルバイト」13.0%となっています。

◆経年的にあまり変化はみられません。

選択項目	H23（今回）		H21		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
農林水産業	24	1.7%	16	1.4%	13	1.4%	19	1.4%
自営業(商業・工業・ｻｰﾋﾞｽ業)	131	9.2%	104	9.0%	96	10.2%	149	10.6%
会社員	465	32.6%	374	32.4%	314	33.5%	466	33.3%
公務員・団体職員	102	7.1%	92	8.0%	52	5.5%	144	10.3%
パート・アルバイト	186	13.0%	159	13.8%	119	12.7%	160	11.4%
主婦・家事専業	231	16.2%	188	16.3%	175	18.7%	194	13.8%
学生	33	2.3%	21	1.8%	11	1.2%	9	0.6%
無職	225	15.8%	174	15.1%	135	14.4%	219	15.6%
その他	31	2.2%	28	2.4%	22	2.3%	41	2.9%
無回答	25	－	18	－	29	－	20	－
合計	1453	－	1174	－	966	－	1421	－
回答者数（合計－無回答）	1428	100.0%	1156	100.0%	937	100.0%	1401	100.0%

その他：　医療関係（6）、臨時職員（3）、専門職（2）、契約社員、人材センター、建設業、タクシー運転手、会社経営、大工　など

※（　）：H23 における回答者数



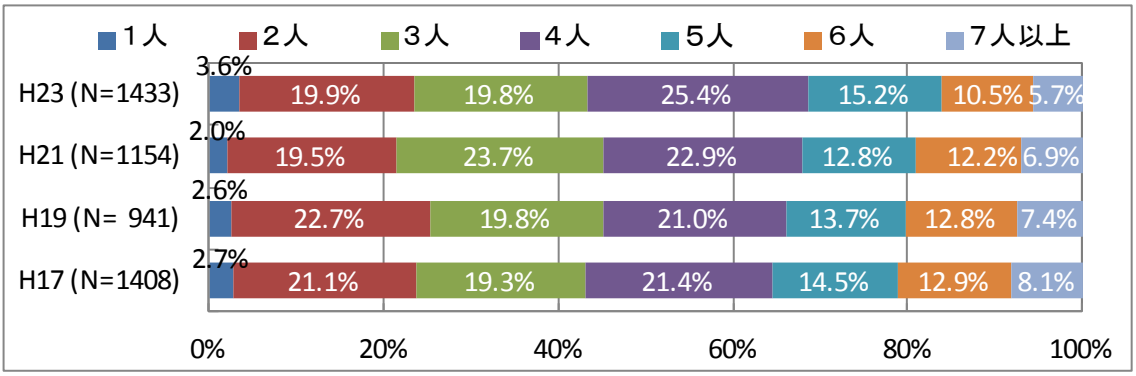
問５　家族人数（世帯タイプ）

◆「４人」が 25.4%と最も多く、次いで「２人」が 19.9%、「３人」が 19.8%となっています。

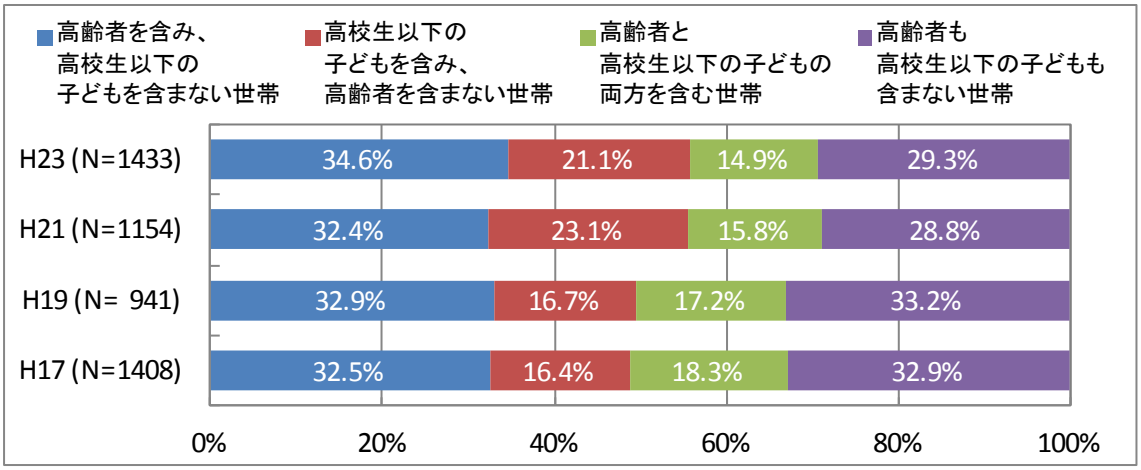
◆「６人」以上は H17 以降減少していますが、「５人」は H21 と比べ増加しており、「４人」は H19 以降増加しています。

選択項目	H23（今回）		H21		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1人	51	3.6%	23	2.0%	24	2.6%	38	2.7%
2人	285	19.9%	225	19.5%	214	22.7%	297	21.1%
3人	284	19.8%	273	23.7%	186	19.8%	272	19.3%
4人	364	25.4%	264	22.9%	198	21.0%	301	21.4%
5人	218	15.2%	148	12.8%	129	13.7%	204	14.5%
6人	150	10.5%	141	12.2%	120	12.8%	182	12.9%
7人以上	81	5.7%	80	6.9%	70	7.4%	114	8.1%
無回答	20	－	20	－	25	－	13	－
合計	1453	－	1174	－	966	－	1421	－
回答者数（合計－無回答）	1433	100.0%	1154	100.0%	941	100.0%	1408	100.0%

【家族人数】



【世帯タイプ】



問６　家族構成

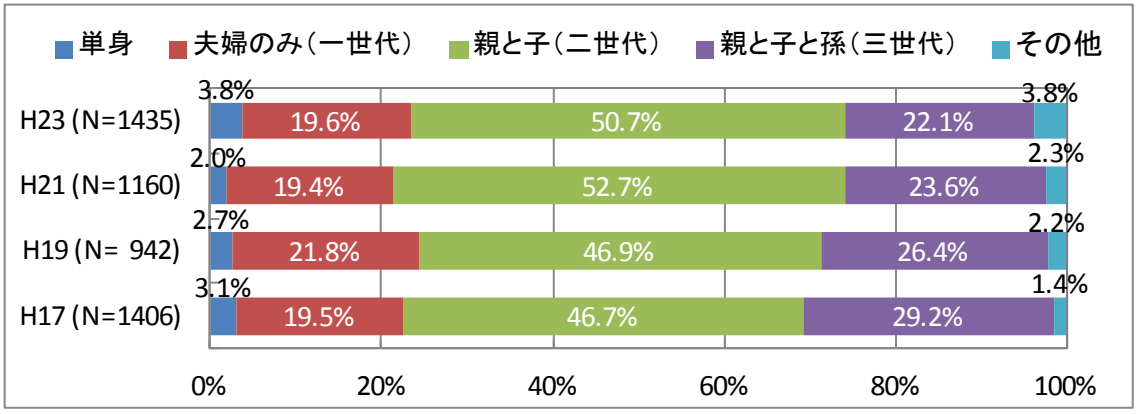
◆「親と子（二世代）」が 50.7%と最も多く、次いで「親と子と孫（三世代）」が 22.1%、「夫婦のみ（一世代）」が 19.6%となっています。

◆「親と子と孫（三世代）」は H17 以降減少しています。「親と子（二世代）」は H17 から H21 にかけて増加していましたが、H23 では減少しています。

選択項目	H23（今回）		H21		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
単身	55	3.8%	23	2.0%	25	2.7%	44	3.1%
夫婦のみ（一世代）	281	19.6%	225	19.4%	205	21.8%	274	19.5%
親と子（二世代）	728	50.7%	611	52.7%	442	46.9%	657	46.7%
親と子と孫（三世代）	317	22.1%	274	23.6%	249	26.4%	411	29.2%
その他	54	3.8%	27	2.3%	21	2.2%	20	1.4%
無回答	18	－	14	－	24	－	15	－
合計	1453	－	1174	－	966	－	1421	－
回答者数（合計－無回答）	1435	100.0%	1160	100.0%	942	100.0%	1406	100.0%

その他：　四世代（7）、親と子と祖父母（2）、親と孫（2）、親と子と親兄弟・姉妹（2）、夫婦と叔母、親と子と姪、など

※（　）：H23 における回答者数

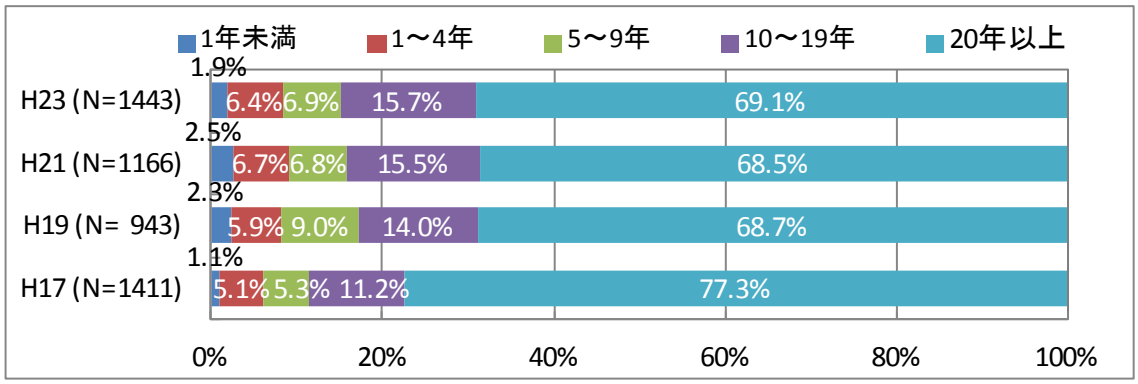


問 7　能美市での居住年数（旧３町時代含む）

◆「20 年以上」が 69.1%と最も多く、次いで「10～19 年」15.7%となっており、10 年以上居住している方が 85%を占めています。

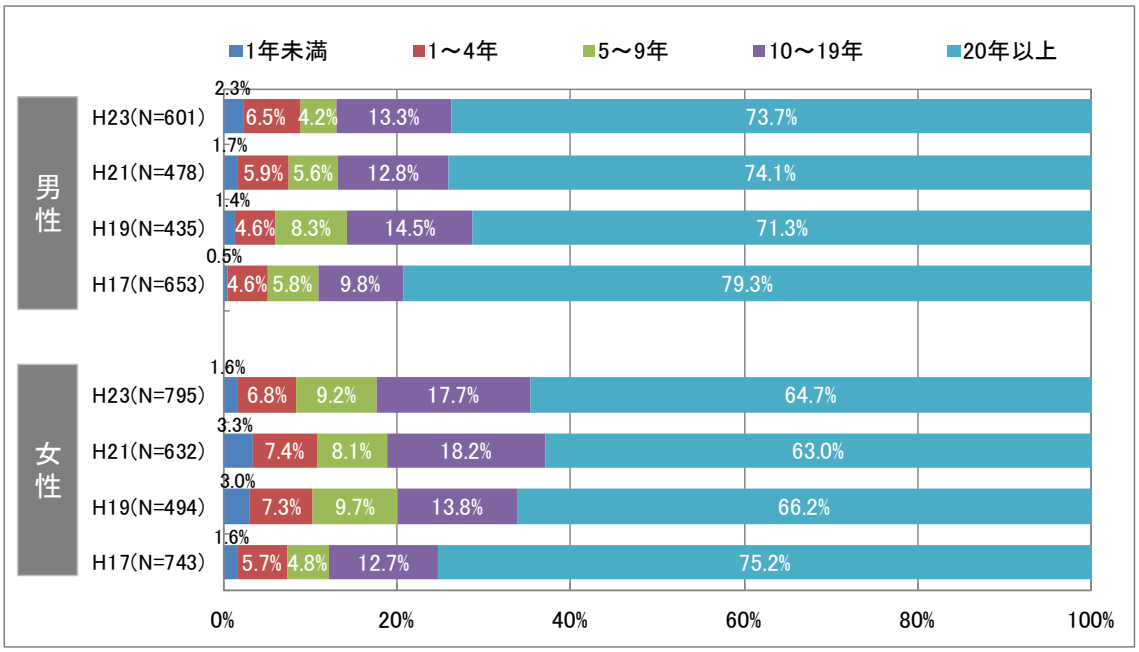
◆「20 年以上」が H17 から H19 にかけて 8.6 ポイント減少していますが、それ以降大きな変化はみられません。

選択項目	H23（今回）		H21		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1年未満	27	1.9%	29	2.5%	22	2.3%	15	1.1%
1～4年	93	6.4%	78	6.7%	56	5.9%	72	5.1%
5～9年	99	6.9%	79	6.8%	85	9.0%	75	5.3%
10～19年	227	15.7%	181	15.5%	132	14.0%	158	11.2%
20年以上	997	69.1%	799	68.5%	648	68.7%	1091	77.3%
無回答	10	－	8	－	23	－	10	－
合計	1453	－	1174	－	966	－	1421	－
回答者数（合計－無回答）	1443	100.0%	1166	100.0%	943	100.0%	1411	100.0%



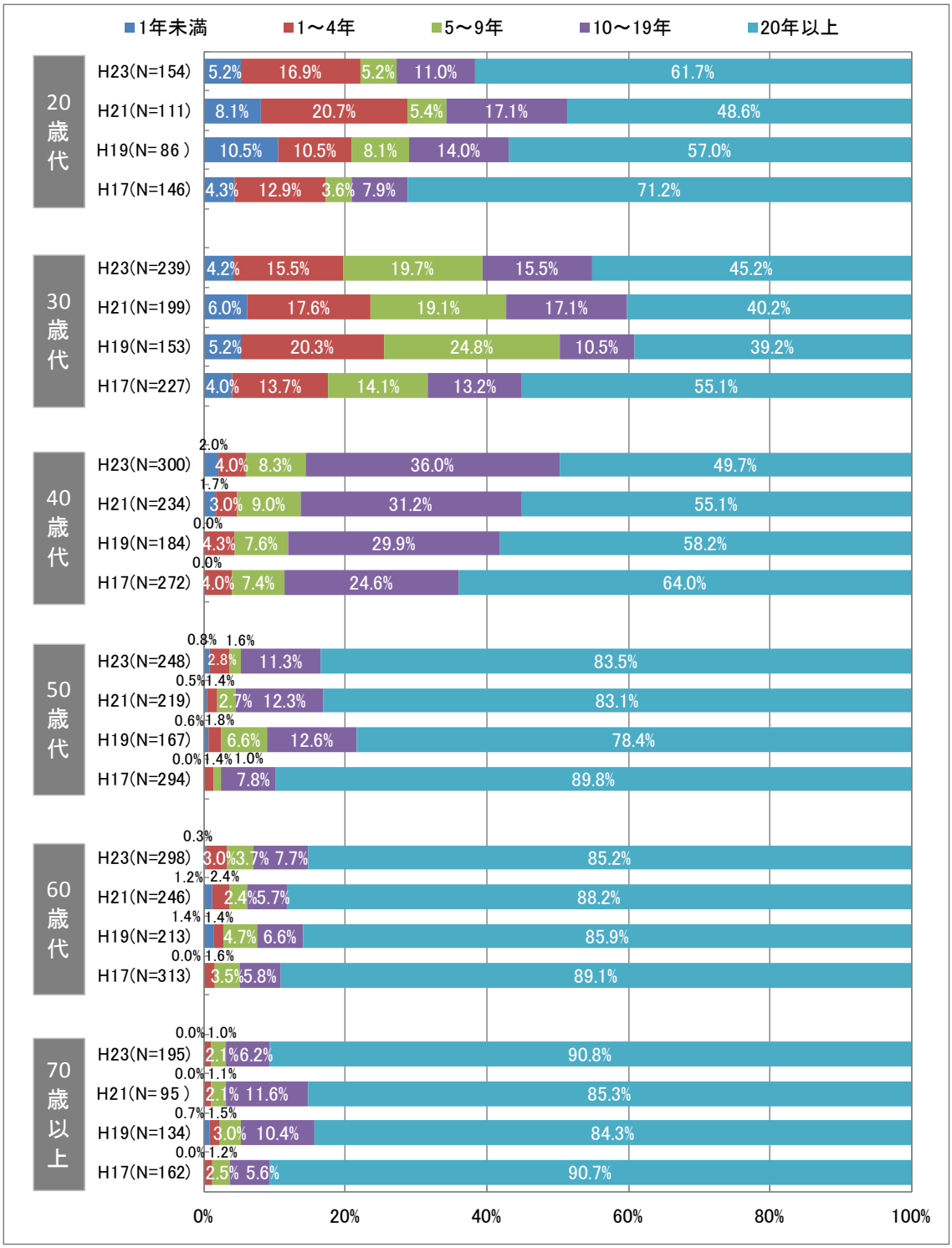
■能美市での居住年数（性別）

・男性は「20 年以上」が 73.7%と女性より 9 ポイント高くなっています。
・女性は「5～9 年」が男性より 5 ポイント高くなっています。
・男性、女性共に H17 から H19 にかけて「20 年以上」が 8 ポイント以上減少しましたが、それ以降大きな変化はみられません。



■能美市での居住年数（年代別）

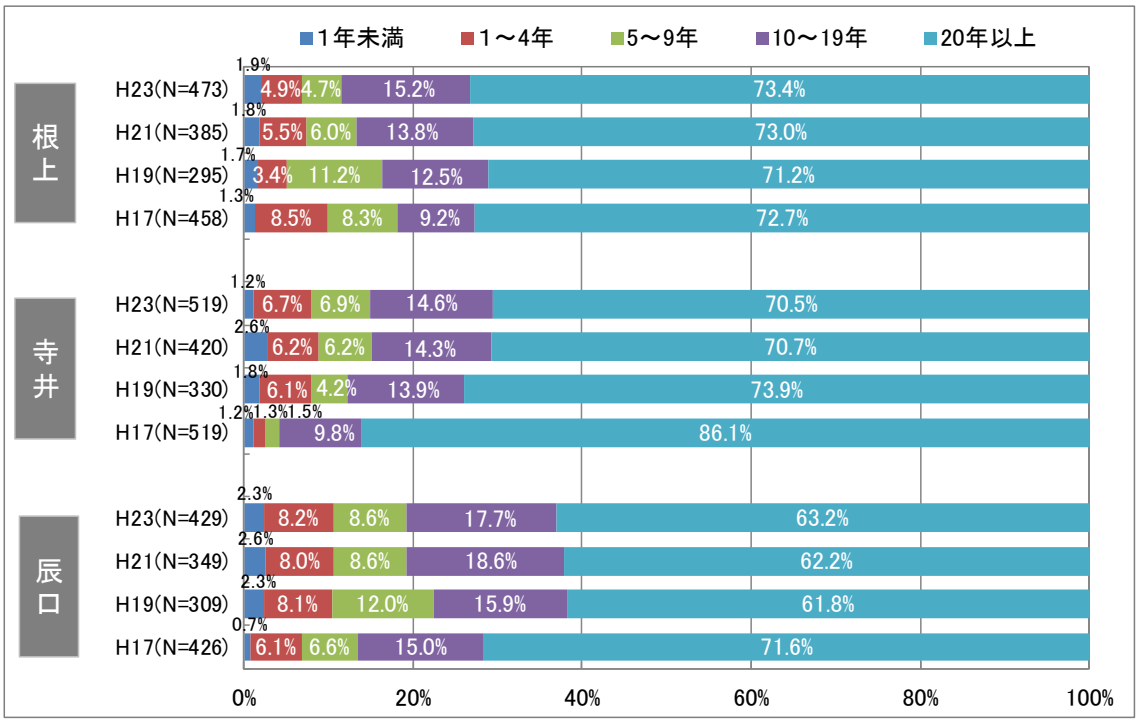
・年齢が低いほど「１年未満」や「1～4 年」が多くなっており、20～30 歳代の約２割を占めています。また。20 歳代は「20 年以上」が H21 と比べて約 13 ポイント増加しています。
・30 歳代は「5～9 年」が 19.7%と、他の年代と比べて 11 ポイント以上高くなっています。
・40 歳代は「10～19 年」が H17 以降増加傾向にある一方で、「20 年以上」が減少傾向にあります。
・50 歳代以上は「20 年以上」が８割以上を占めており、特に 70 歳以上は９割以上を占めています。



■能美市での居住年数（地区別）

・根上、寺井は「20 年以上」がそれぞれ 73.4%、70.5%と辰口より 7 ポイント以上高くなっています。

・寺井と辰口は、H17 から H19 にかけて「20 年以上」が 9 ポイント以上減少していますが、3 地区共に、H19 以降はあまり変化がみられません。



問８　通勤・通学先

◆「能美市内」が 29.6%と最も多く、次いで「小松市内」15.3%、「金沢市内」9.8%となっています。

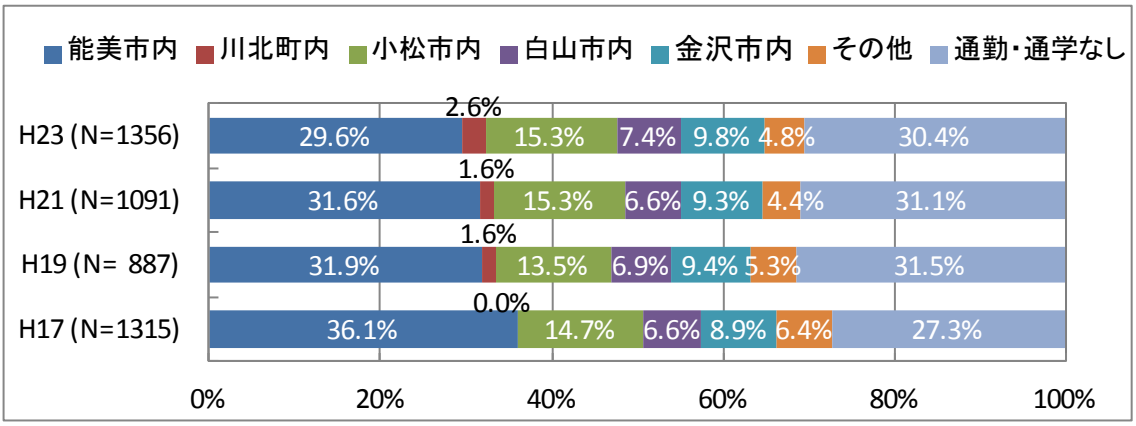
◆H17 以降「能美市内」が減少傾向にあります。

選択項目	H23（今回）		H21		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
能美市内	402	29.6%	345	31.6%	283	31.9%	475	36.1%
川北町内	35	2.6%	18	1.6%	14	1.6%	0	0.0%
小松市内	208	15.3%	167	15.3%	120	13.5%	193	14.7%
白山市内	101	7.4%	72	6.6%	61	6.9%	87	6.6%
金沢市内	133	9.8%	102	9.3%	83	9.4%	117	8.9%
その他	65	4.8%	48	4.4%	47	5.3%	84	6.4%
通勤・通学なし	412	30.4%	339	31.1%	279	31.5%	359	27.3%
無回答	97	－	83	－	79	－	106	－
合計	1453	－	1174	－	966	－	1421	－
回答者数（合計－無回答）	1356	100.0%	1091	100.0%	887	100.0%	1315	100.0%

その他：　野々市町（8）、加賀市(8)、富山県(3)、福井県（3）、津幡町、岐阜県、滋賀県、大阪府　など

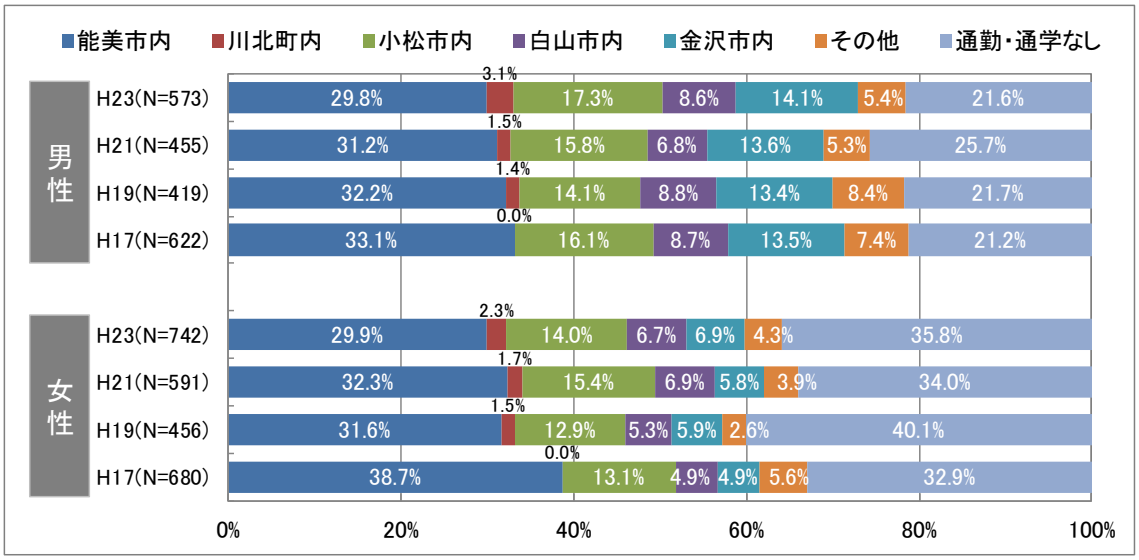
※通勤・通学先が、石川県・富山県以外の回答者は、学生と単身赴任中の会社員

※（　）：H23 における回答者数



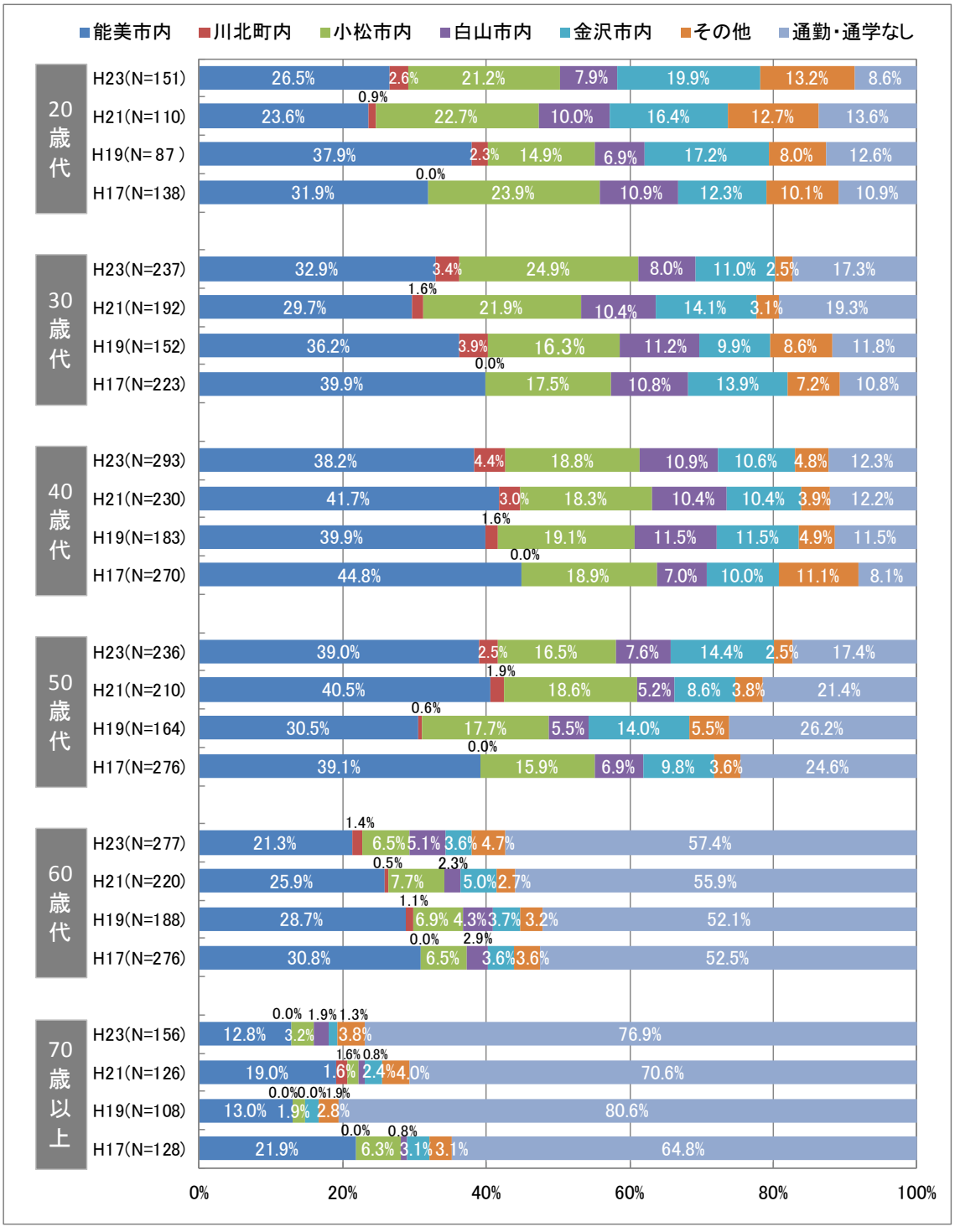
■通勤・通学先（性別）

・男性は「金沢市内」が女性より約７ポイント高くなっています。
・女性は「通勤・通学なし」が男性より約 14 ポイント高くなっています。
・男性、女性共に「能美市内」が減少傾向にあります。



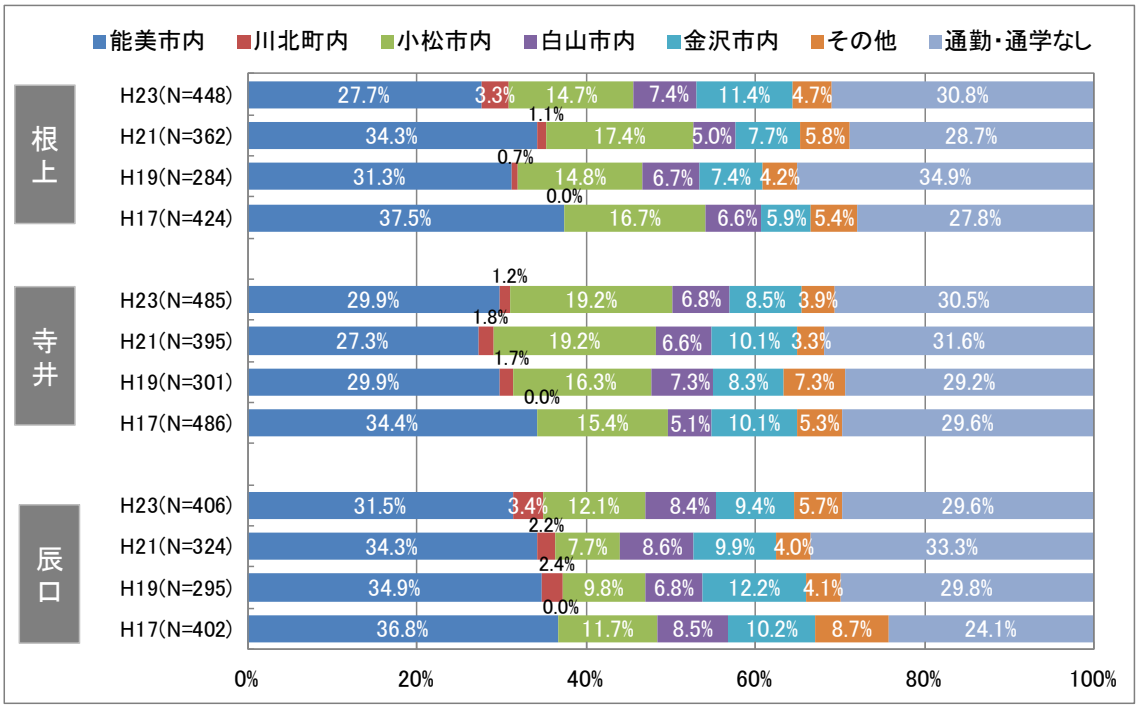
■通勤・通学先（年代別）

・20 歳代から 50 歳代は「能美市内」、60 歳以上は「通勤・通学なし」が最も多くなっています。
・20 歳代から 30 歳代は H17～H21 にかけて「通勤・通学なし」が増加傾向にありましたが、H23 では減少に転じています。
・50 歳代は「通勤・通学なし」が減少傾向にあります。
・40 歳代および 60 歳以上は「能美市内」が減少傾向にあり、「通勤・通学なし」が増加傾向にあります。



■通勤・通学先（地区別）

・３地区共に、「能美市内」「通勤・通学なし」がそれぞれ約３割を占めています。
・根上は「能美市内」が H21 と比較して約７ポイント減少しています。
・寺井は「能美市内」が H17～H21 にかけて減少していましたが、H23 では増加しています。
・辰口は「能美市内」が H17 以降一貫して減少しています。

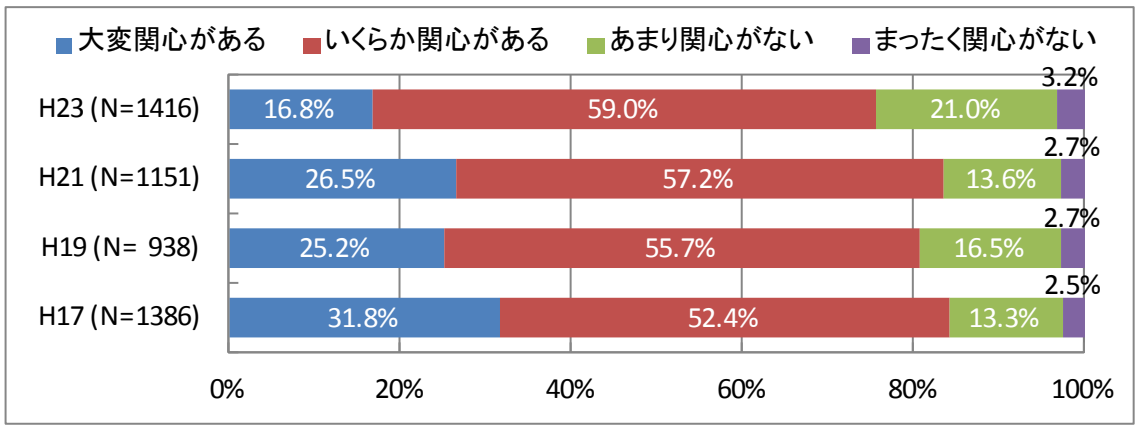


問９　能美市の行政に関心がありますか？

◆「いくらか関心がある」が 59.0%と最も多く、次いで「大変関心がある」が 16.8%となっており、合わせて約 75%の方が市政に関心を持っています。

◆H21 と比べて、「大変関心がある」が約 10 ポイント減少しています。一方で、「あまり関心がない」が約７ポイント増加しています。

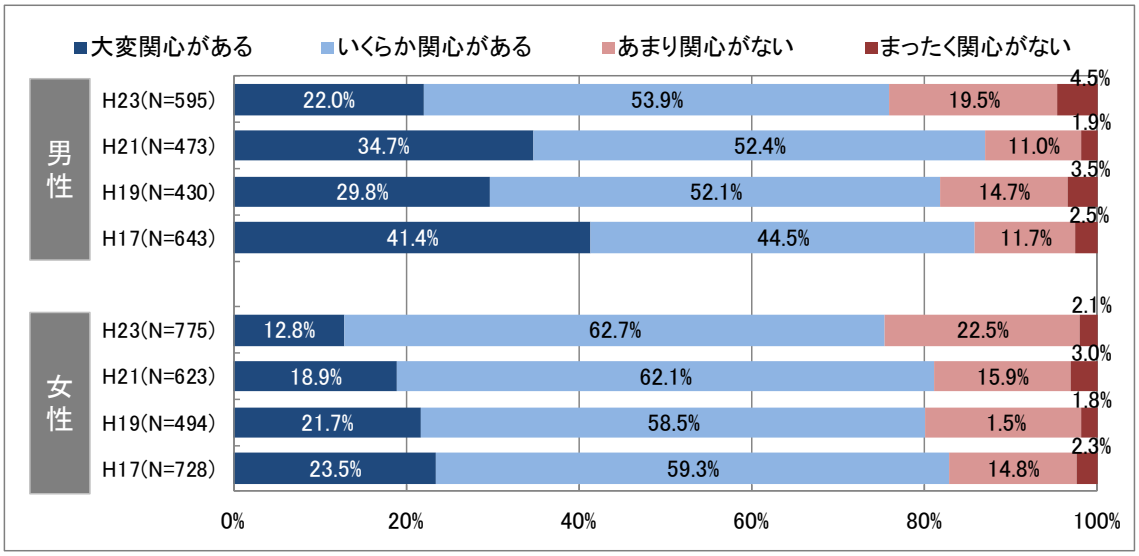
選択項目	H23（今回）		H21		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
大変関心がある	238	16.8%	305	26.5%	236	25.2%	441	31.8%
いくらか関心がある	835	59.0%	658	57.2%	522	55.7%	726	52.4%
あまり関心がない	298	21.0%	157	13.6%	155	16.5%	184	13.3%
まったく関心がない	45	3.2%	31	2.7%	25	2.7%	35	2.5%
無回答	37	－	23	－	28	－	35	－
合計	1453	－	1174	－	966	－	1421	－
回答者数（合計－無回答）	1416	100.0%	1151	100.0%	938	100.0%	1386	100.0%



■市政への関心（性別）

・男性は「大変関心がある」が 22.0%と女性より９ポイント多くなっています。

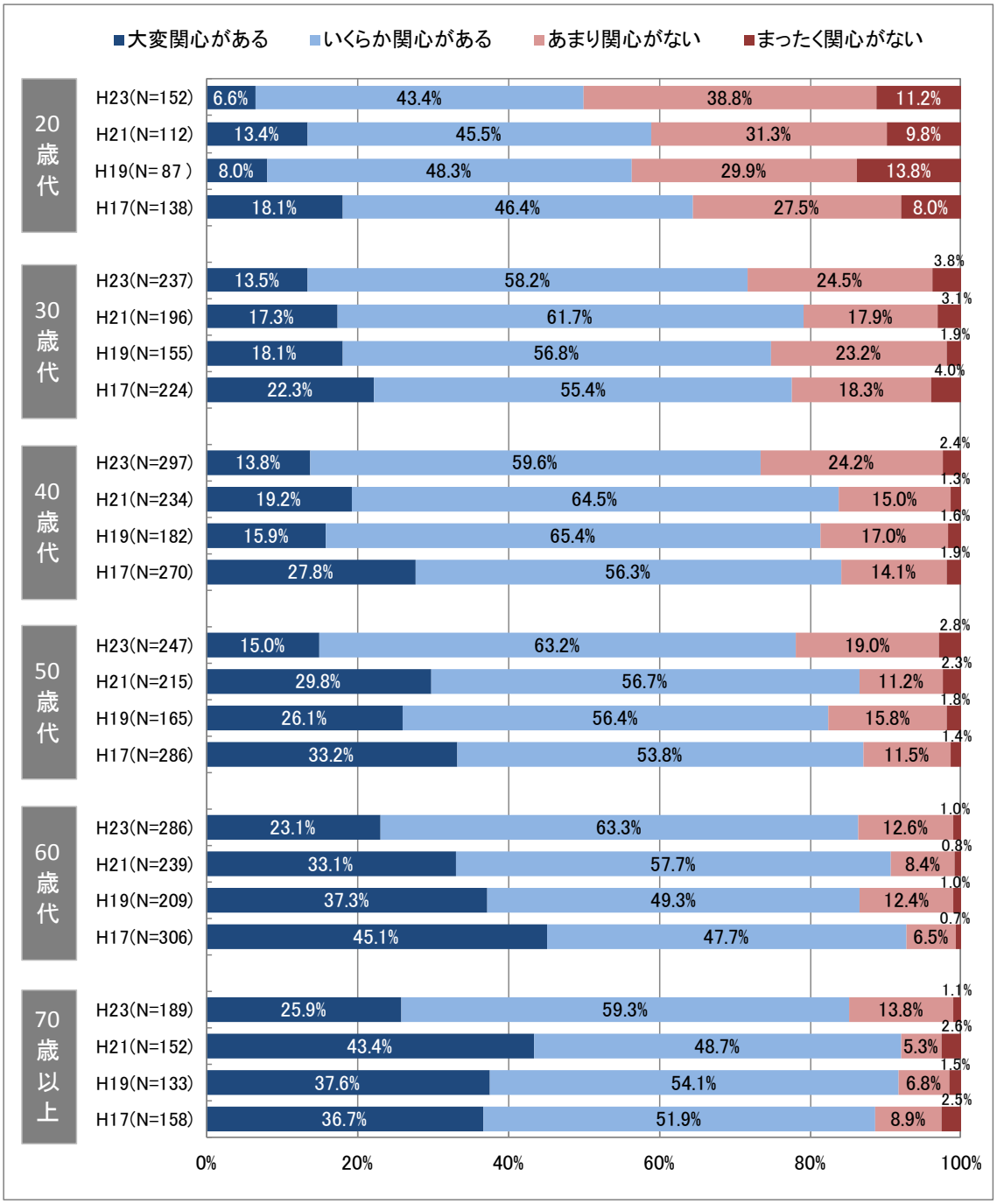
・男性、女性共に「大変関心がある」が、H17 以降減少傾向にあり、H21 と比べ男性は約 13 ポイント、女性は約６ポイント減少しています。一方、「あまり関心がない」が、H21 と比べて男性は約９ポイント、女性は約７ポイント増加しています。



■市政への関心（年代別）

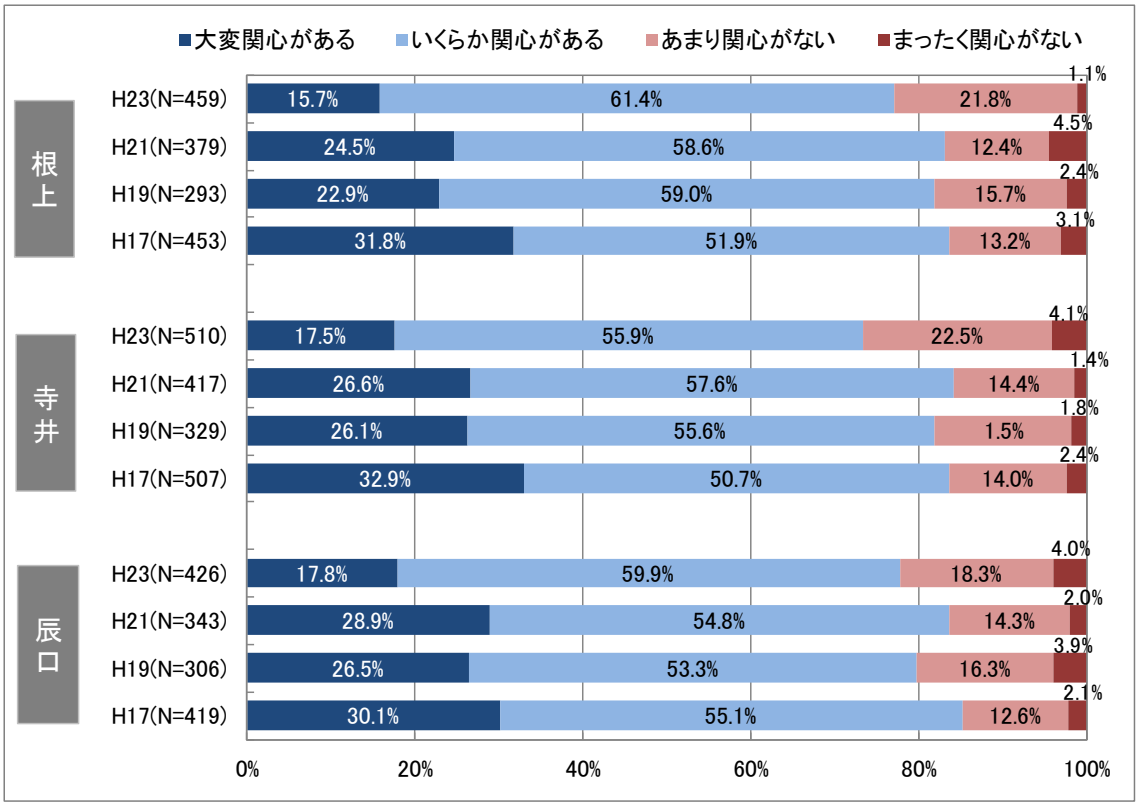
・年代が高くなるほど「大変関心がある」や「いくらか関心がある」が多くなり、市政への関心が高くなっています。一方で年代が若いほど関心は低く、20 歳代は「あまり関心がない」が他の年代と比べ 14 ポイント以上高くなっています。

・年代に関わらず、H21 と比べて「大変関心がある」が減少しており、特に 70 歳以上は約 18 ポイント、60 歳代は 10 ポイント、50 歳代は約 15 ポイントと大きく減少しています。一方で年代に関わらず「あまり関心がない」が増加しています。



■市政への関心（地区別）

・地区別で大きな差はみられず、３地区共に「あまり関心がない」「まったく関心がない」の合計が２割以上を占めています。
・３地区共に、「大変関心がある」が H21 と比較して８ポイント以上減少しています。
・辰口は「いくらか関心がある」が H21 と比較して約５ポイント増加しています。
・根上、寺井は「あまり関心がない」が H21 と比較して８ポイント以上増加しています。



問 10　市政情報の主な入手方法は何ですか？（主な２つに○）

◆「市の広報誌」が 85.7%と最も多く、次いで「町内会の回覧板」32.3%、「新聞」23.2%、となっています。

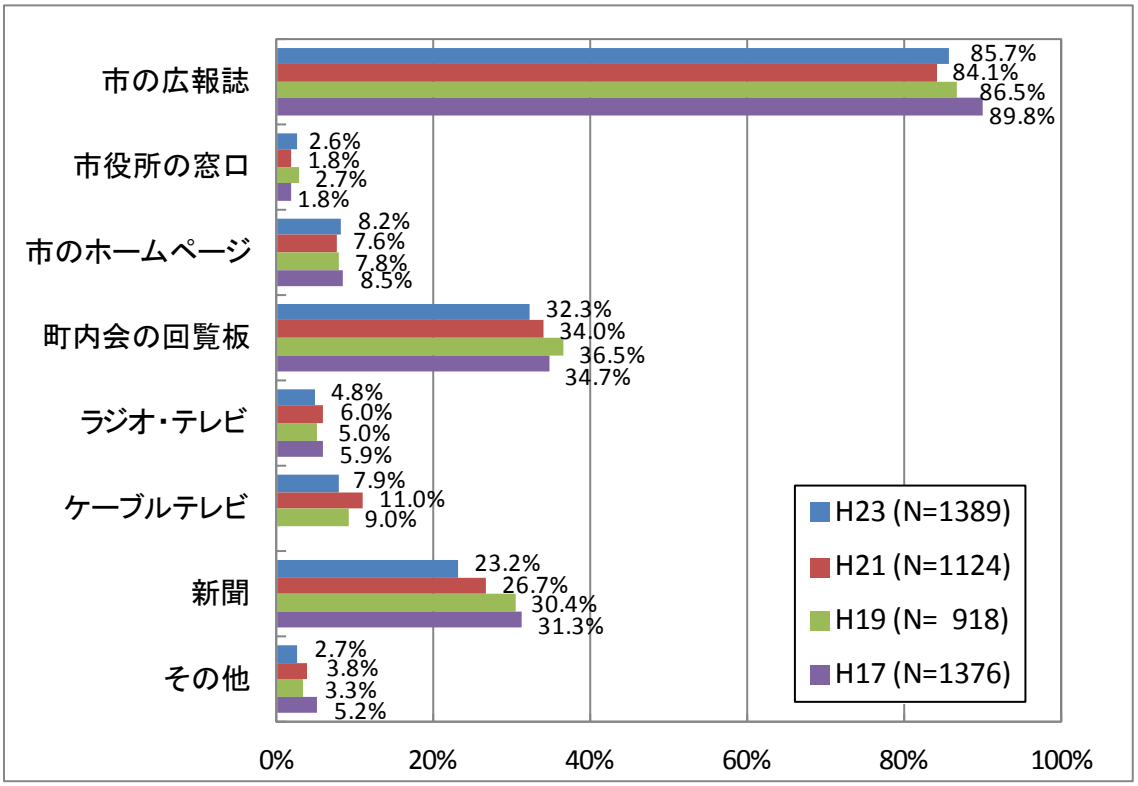
◆「ケーブルテレビ」「市役所の窓口」「市のホームページ」「ラジオ・テレビ」はそれぞれ１割未満となっています。

◆H17 以降「新聞」からの情報入手が減少傾向にあります。また、H19 以降「町内会の回覧板」からの情報入手も減少傾向にあります。

選択項目	H23（今回）		H21		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
市の広報誌	1190	85.7%	945	84.1%	794	86.5%	1235	89.8%
市役所の窓口	36	2.6%	20	1.8%	25	2.7%	25	1.8%
市のホームページ	114	8.2%	85	7.6%	72	7.8%	117	8.5%
町内会の回覧板	448	32.3%	382	34.0%	335	36.5%	477	34.7%
ラジオ・テレビ	66	4.8%	67	6.0%	46	5.0%	81	5.9%
ケーブルテレビ	110	7.9%	124	11.0%	83	9.0%	－	－
新聞	322	23.2%	300	26.7%	279	30.4%	430	31.3%
その他	37	2.7%	43	3.8%	30	3.3%	71	5.2%
無回答	64	－	50	－	48	－	45	－
回答数	2387	171.9%	2016	179.4%	1712	186.5%	2481	180.3%
回答者数	1389	100.0%	1124	100.0%	918	100.0%	1376	100.0%

その他：　口コミ(18)、有線放送(3)、無線放送(2)、町内放送(1) 、町内会議(1)、掲示板(1) など

※（ ）:H23 における回答者数

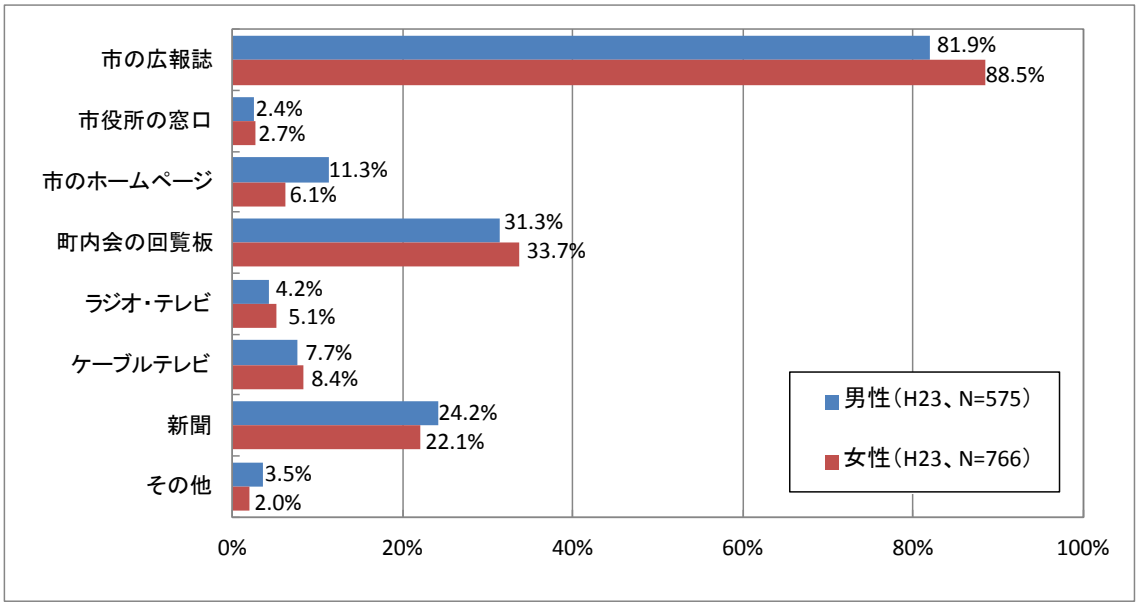


※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし

■市政情報の入手方法（性別）

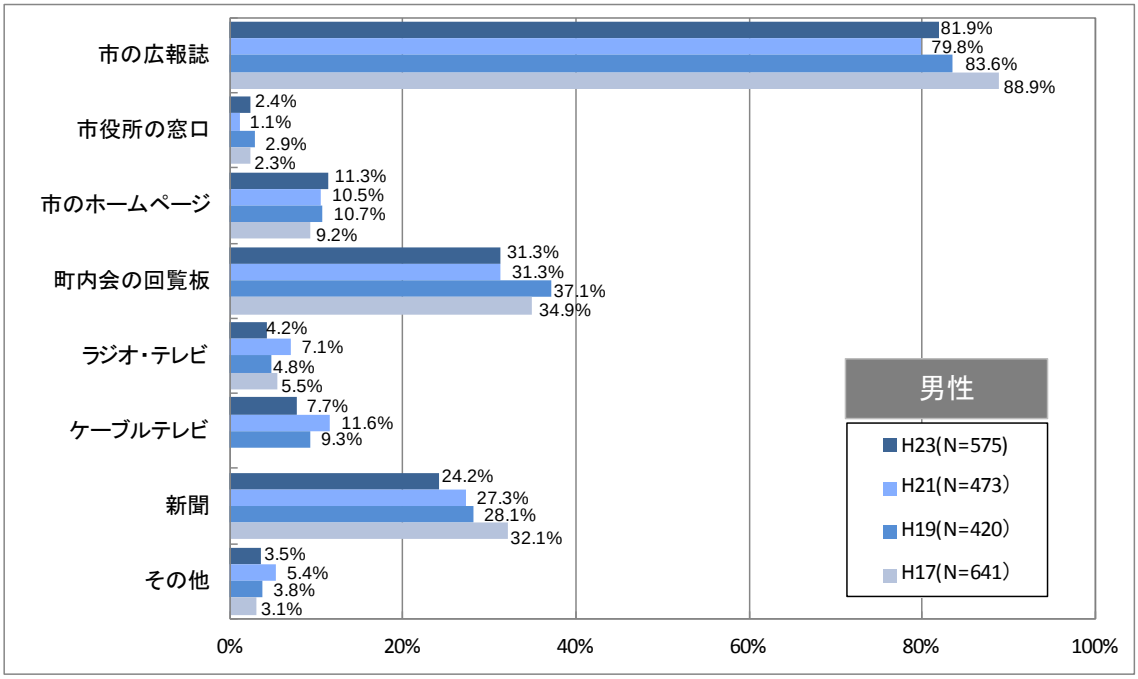
【今回（H23）】

・男性、女性共に「市の広報誌」が８割以上を占めており、また女性は、男性よりも約７ポイント高くなっています。
・男性は「市のホームページ」が 11.3%と、女性より約５ポイント高くなっています。

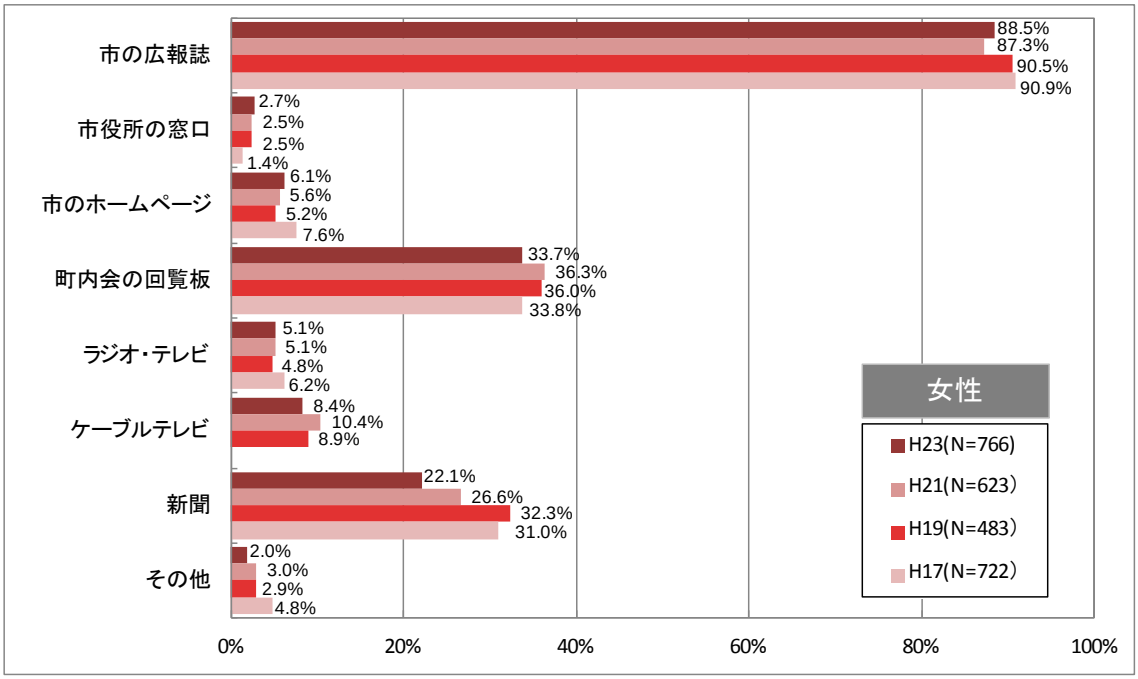


【経年変化】

・男性、女性共に「新聞」が減少傾向にあります。



※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし



※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし

■市政情報の入手方法（年代別）

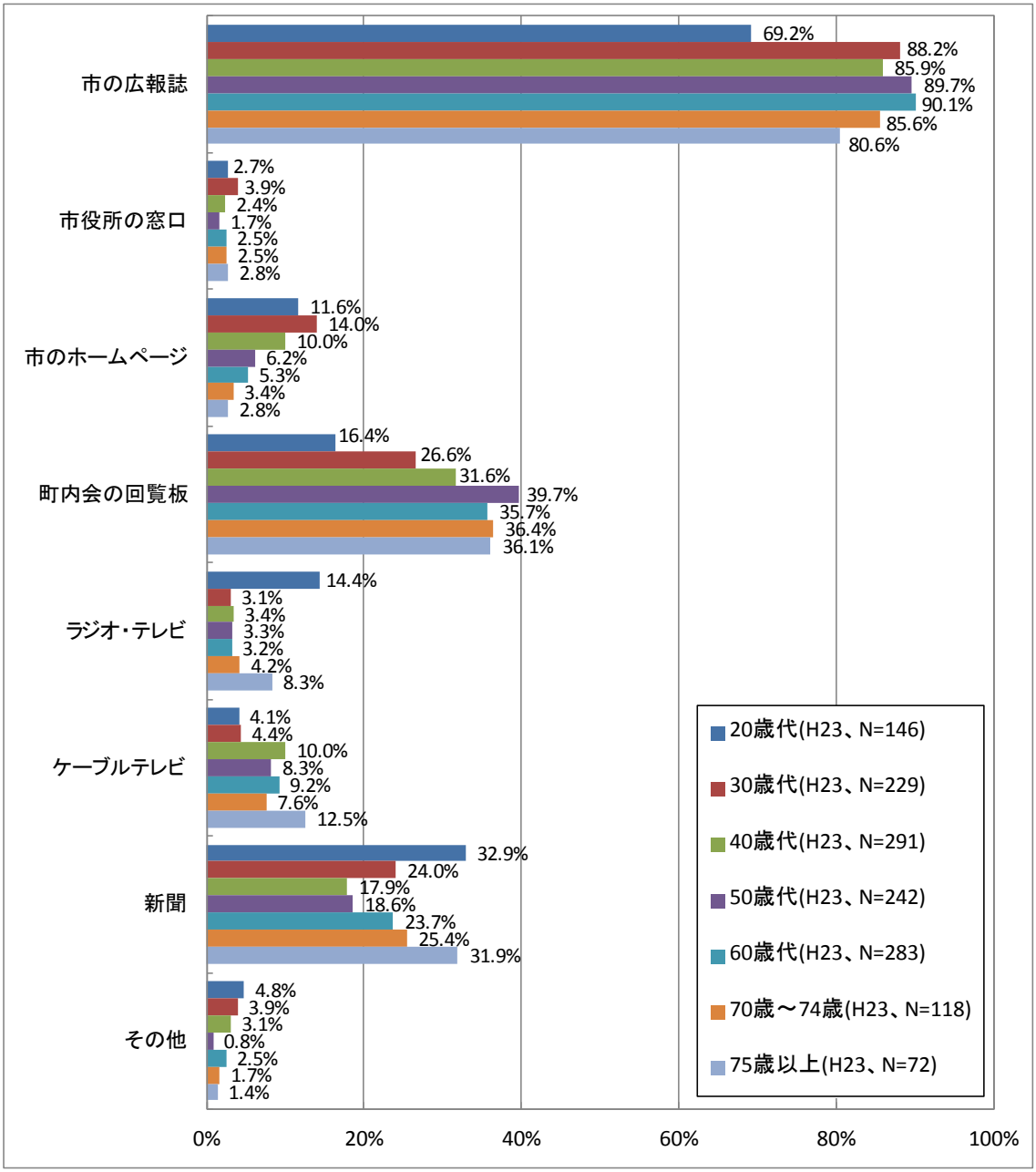
【今回（H23）】

・どの年代においても「市の広報誌」が最も多くなっていますが、20 歳代は他の年代と比べて 11 ポイント以上低くなっています。

・20～40 歳代は「市のホームページ」が１割以上となっていますが、年代が上がるほど減少しています。

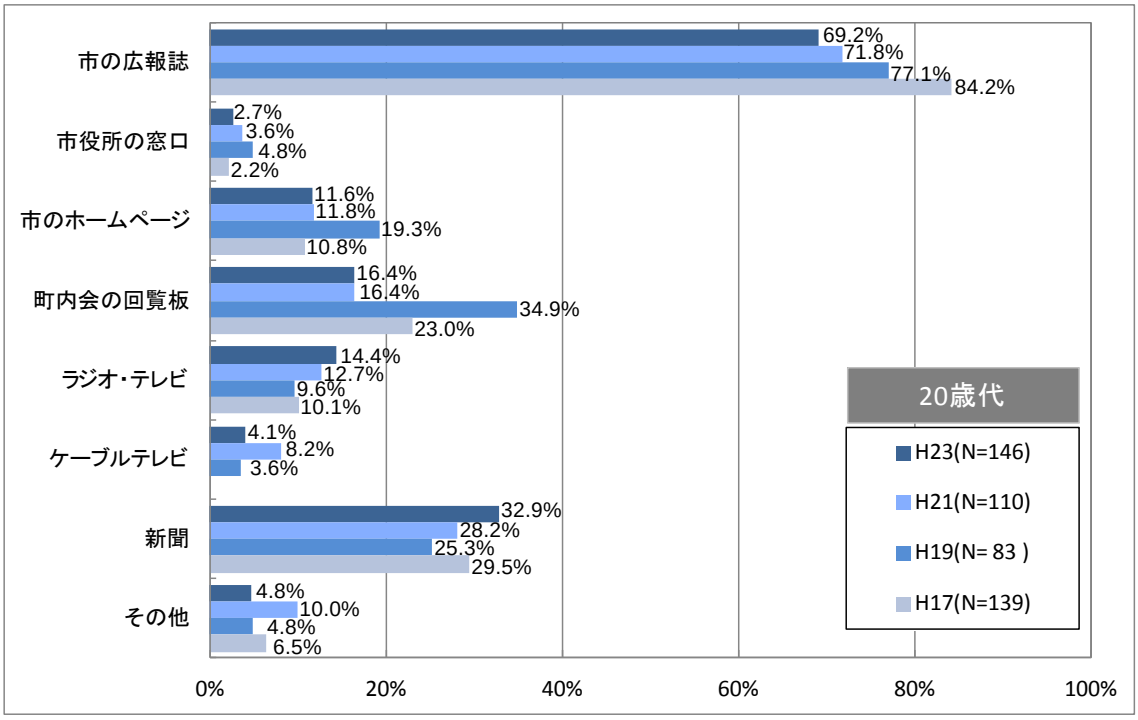
・50 歳以上は「町内会の回覧板」が約４割と多くなっていますが、40 歳代以下は年代が下がるほど減少しており、特に 20 歳代は他の年代より 10 ポイント以上低くなっています。

・20 歳代と 75 歳以上は「新聞」が３割以上となっている一方、40～50 歳代は「新聞」が２割未満となっています。

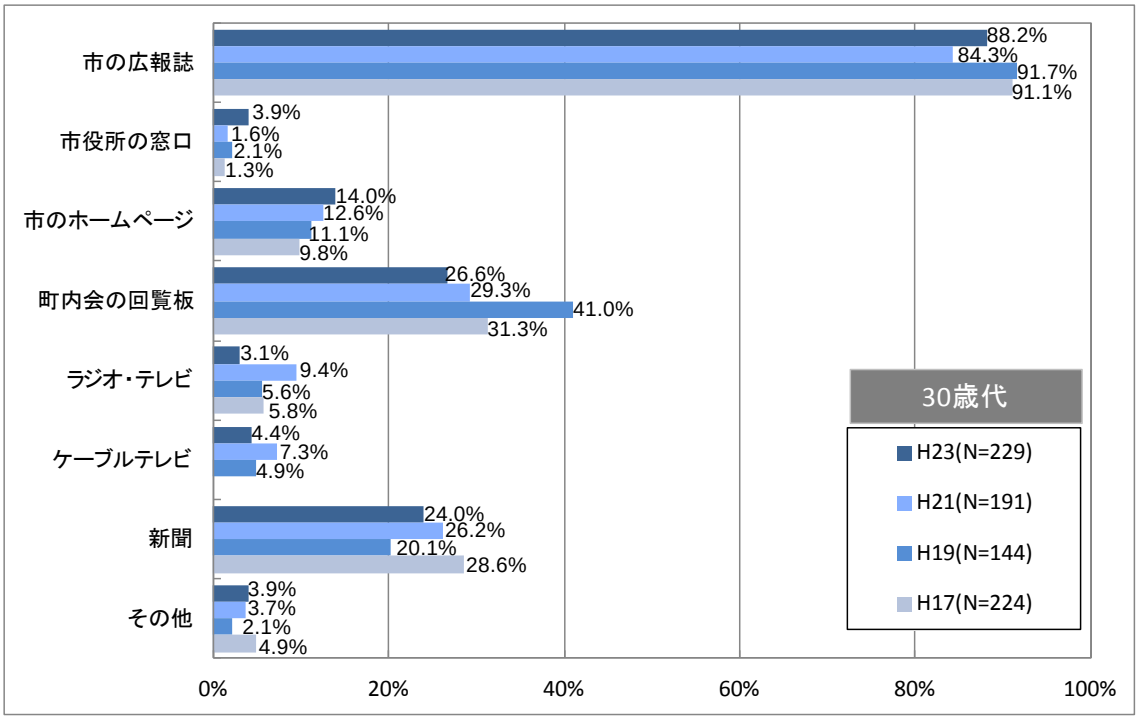


【経年変化】

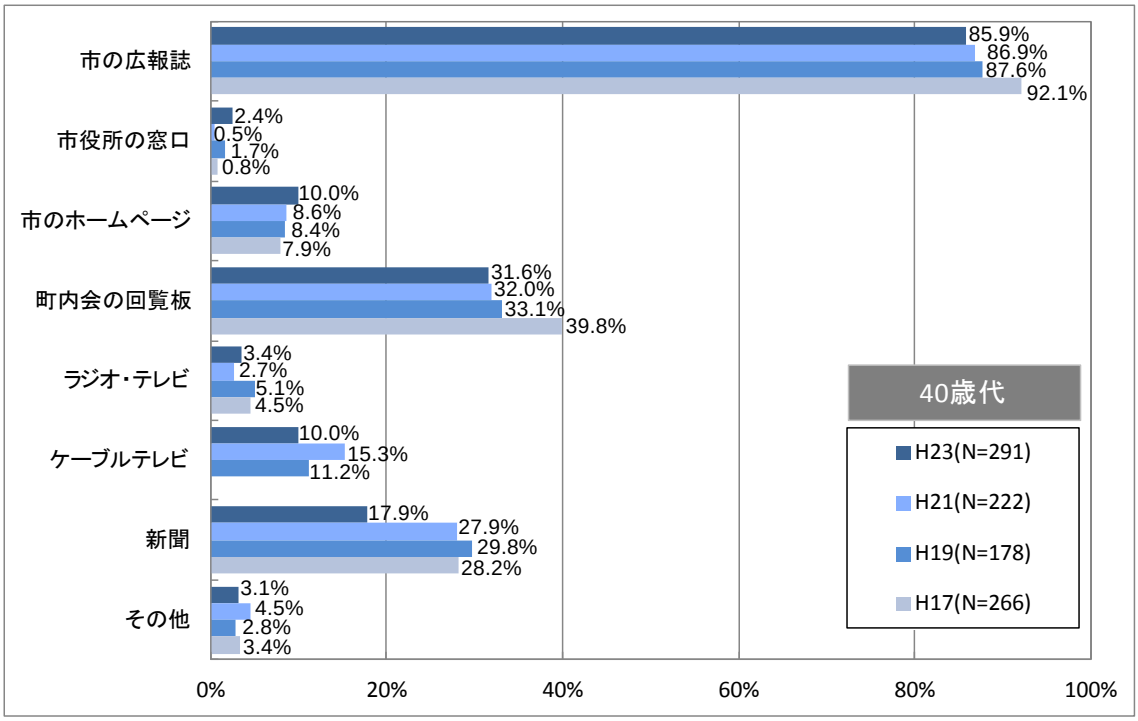
・20 歳代は「市の広報誌」が H17 以降減少しています。一方で「ラジオ・テレビ」や「新聞」が H19 以降増加しています。
・30～40 歳代は「市のホームページ」が H17 以降増加しています。
・40～60 歳代は「新聞」が H19 以降減少しています。
・70 歳以上は「市のホームページ」が H17 以降減少しています。



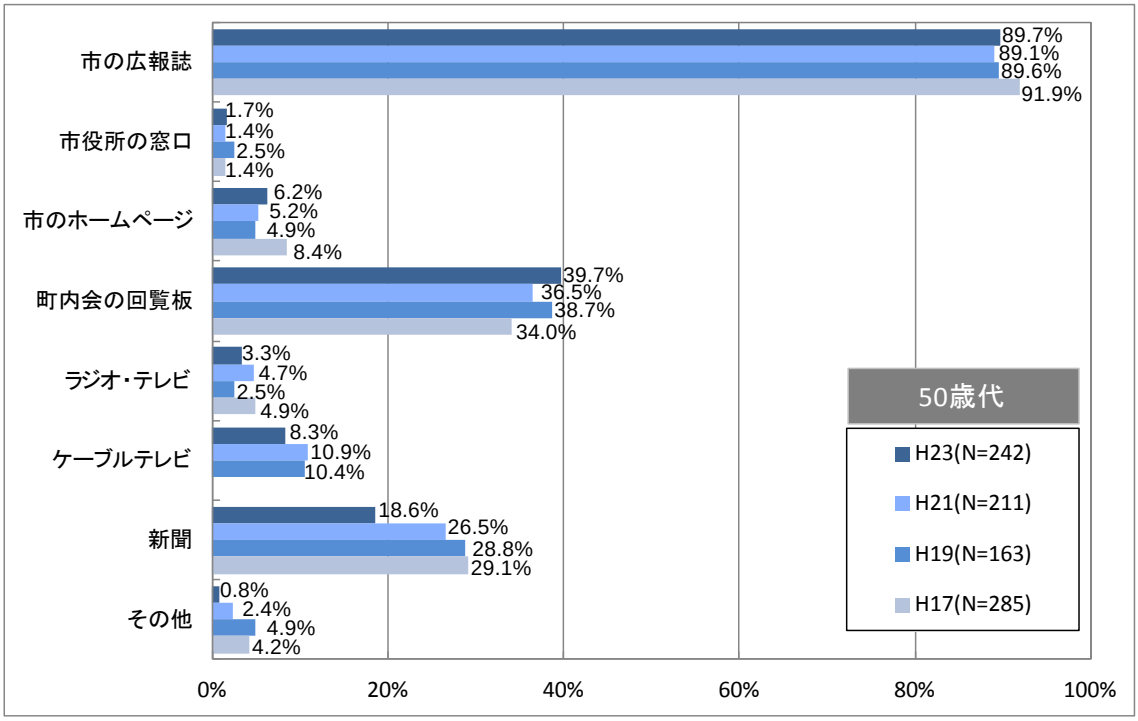
※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし



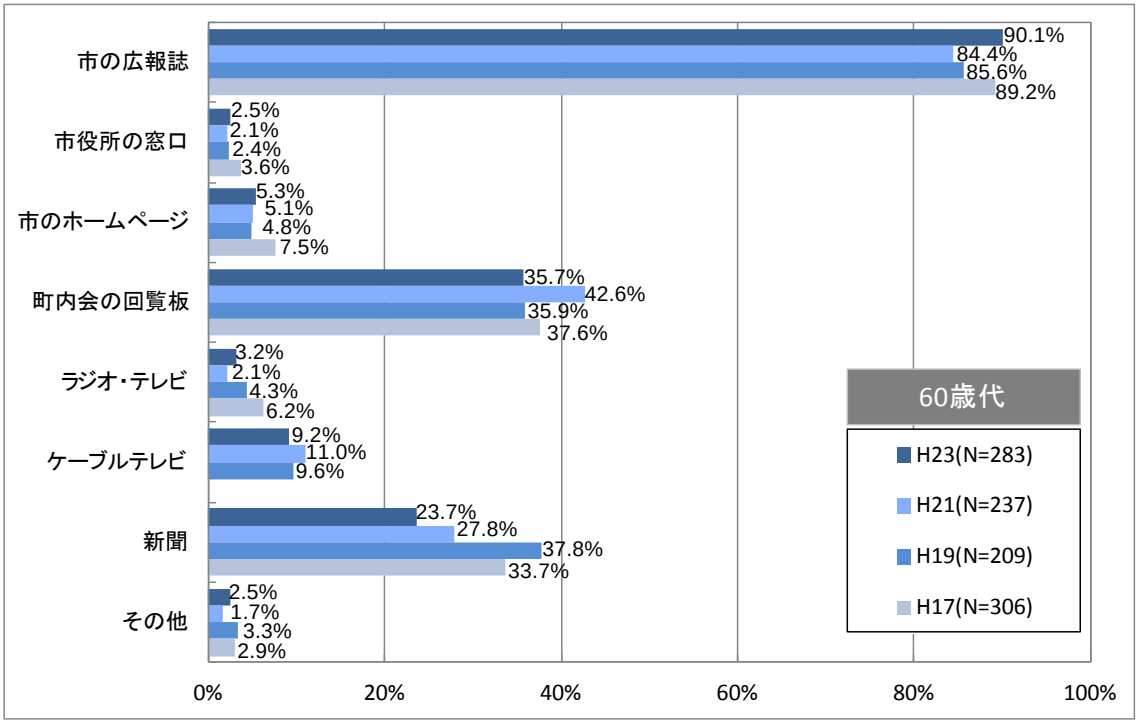
※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし



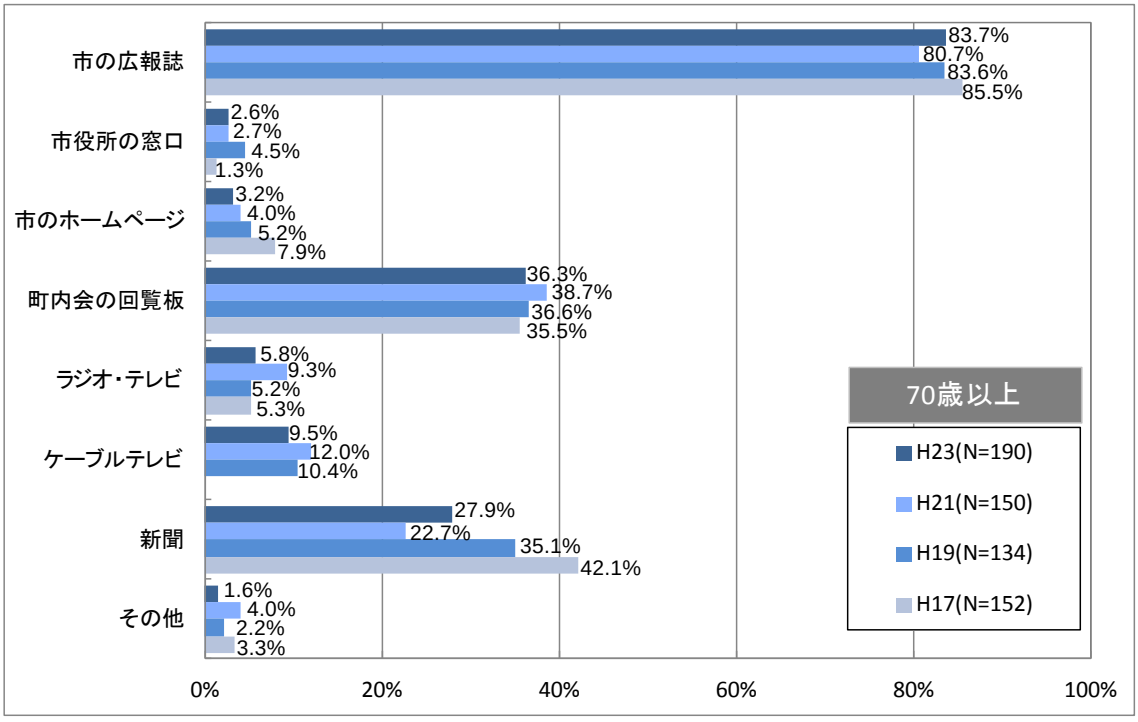
※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし



※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし



※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし



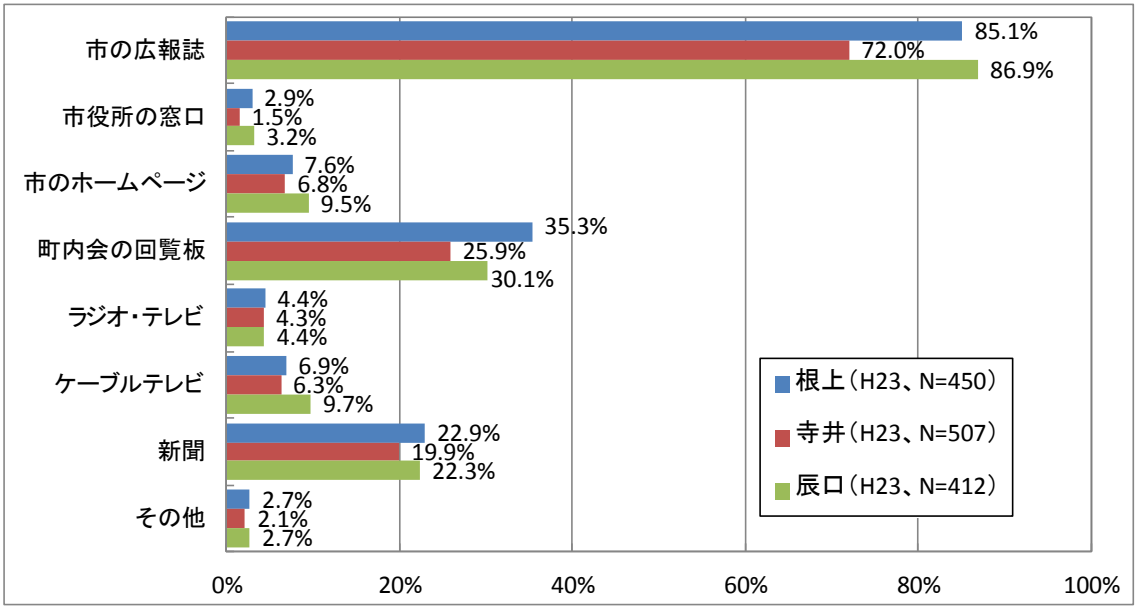
※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし

■市政情報の入手方法（地区別）

【今回（H23）】

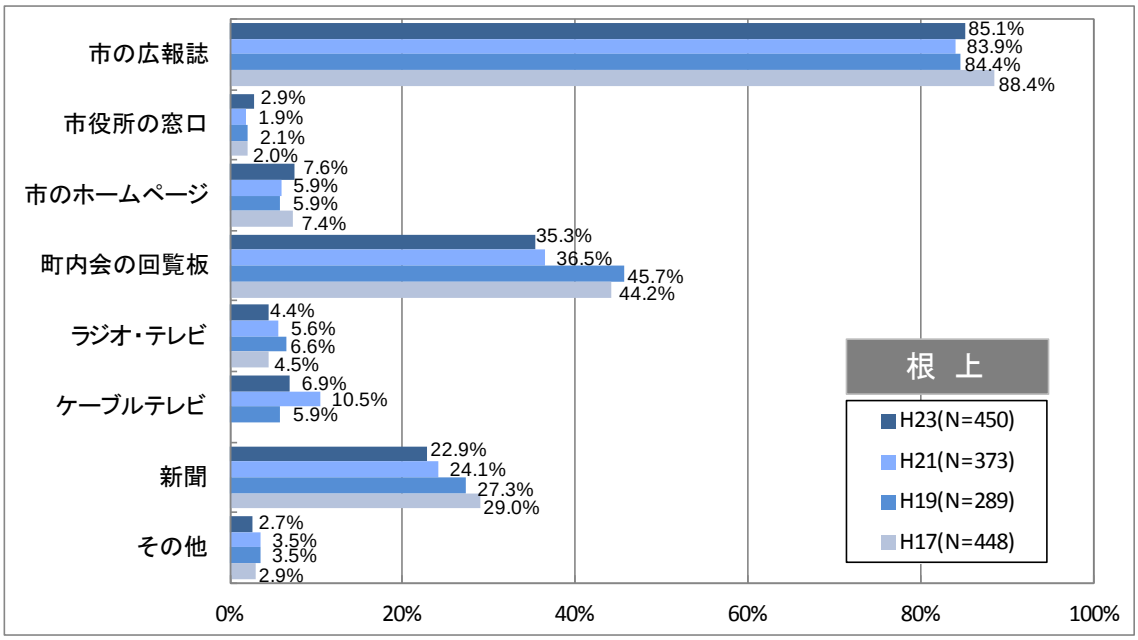
・根上、辰口は８割以上が「市の広報誌」から市政情報を入手しており、寺井より 13 ポイント以上高くなっています。

・根上は「町内会の回覧板」が 35.3%と他の地区より５ポイント以上高くなっています。

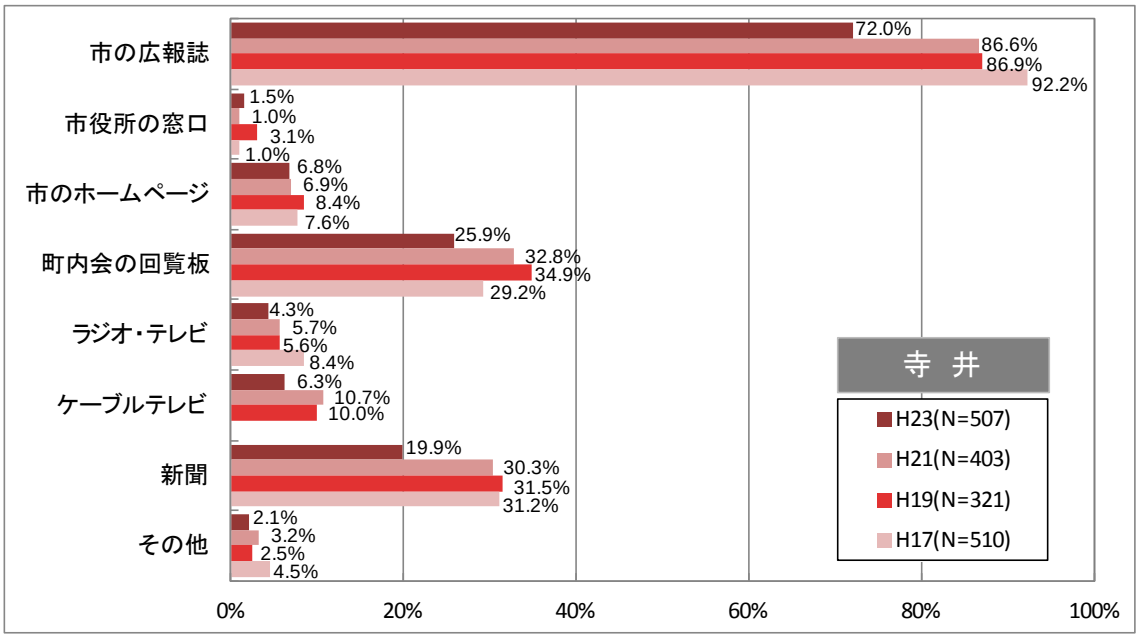


【経年変化】

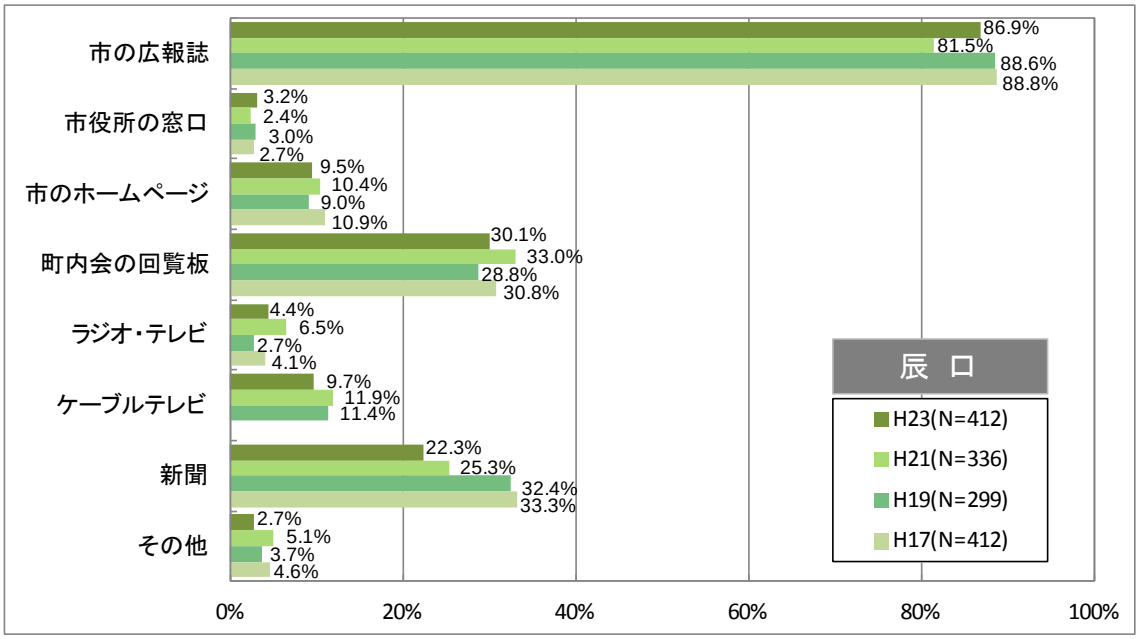
・根上は「町内会の回覧板」が H19～H21 にかけて約 9 ポイント減少したものの、H21～H23 ではあまり変化がみられません。また、「新聞」が H17 以降減少しています。
・寺井は H21 と比較して、「市の広報誌」が約 15 ポイント、「町内会の回覧板」が約 7 ポイント、「新聞」が約 10 ポイント減少しています。
・辰口は「市の広報誌」が H19～H21 にかけて約 7 ポイント減少したものの、H21～H23 では約 5 ポイント増加しています。また、「新聞」が H17 以降減少しています。



※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし



※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし



※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし

（２）能美市における各種施策の「満足度」「重要度」について

問 11　能美市の取り組みについて、「あなたの満足度」はどのくらいですか。また、「さらに取り組みを進めることは、能美市にとってどのくらい重要である」と考えますか。

●第一次能美市総合計画で示している 51 の施策について、満足度と重要度の評価点を算出しました。
●また、能美市における施策全体の総合評価（満足度）を算出しました。

※評価点の算出

・満足度と重要度については、下記の計算式にあるように数段階の評価に点数を与え、評価点を算出しています。ただし、無回答については除外しました。
・点数が高いほど満足度、重要度が高く、反対に点数が低いほど満足度、重要度は低くなります。

【評価点の算出式】

満足度評価点＝{ 満足である×(2 点)＋やや満足である×(1 点)＋やや不満である×(−1 点)＋不満である×(−2 点)＋わからない×(0 点)}÷ 回答者数

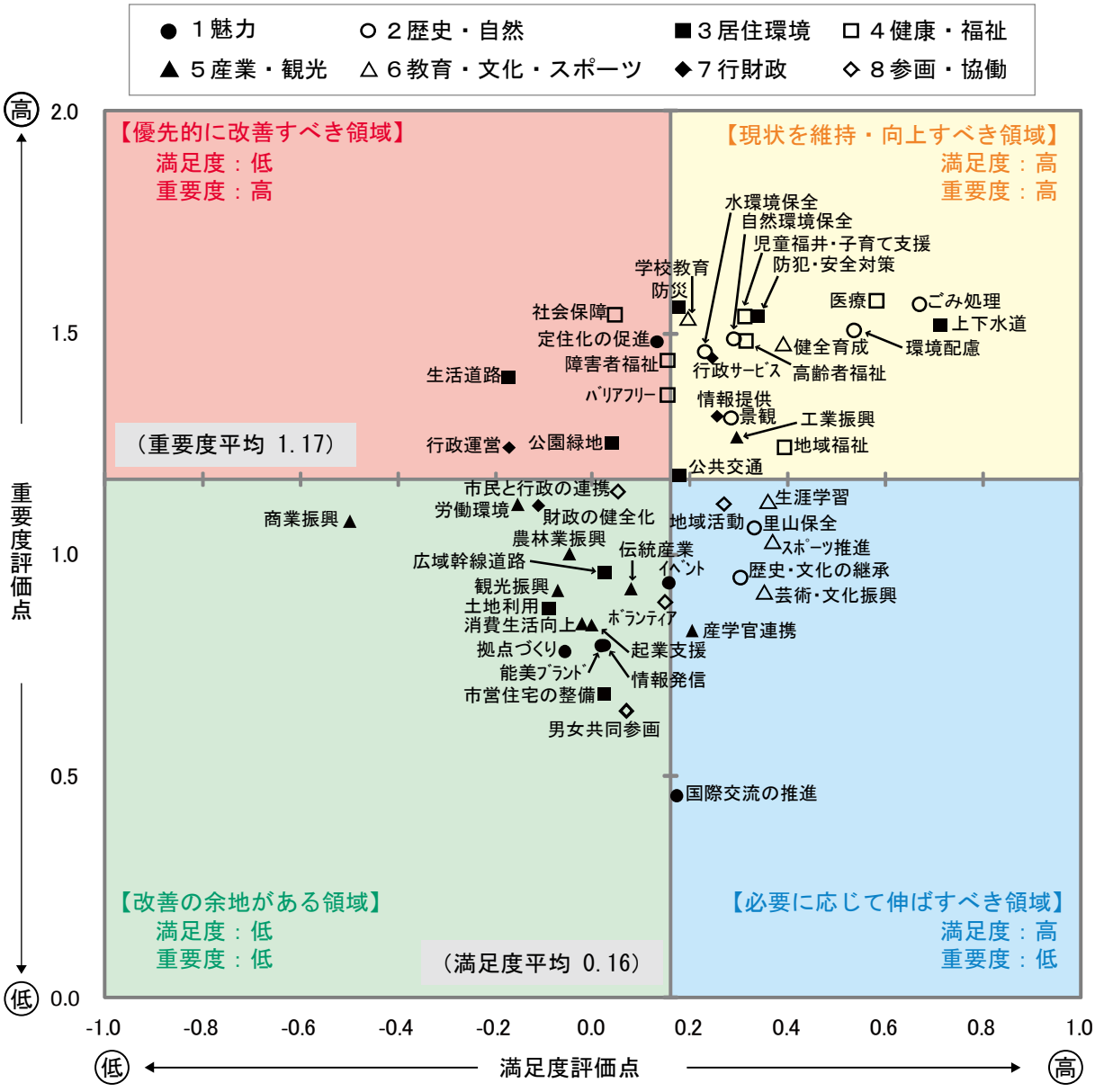
重要度評価点＝{ 重要である×(2 点)＋やや重要である×(1 点)＋あまり重要でない×(−1 点)＋重要でない×(−2 点)}÷ 回答者数

■満足度と重要度の評価点の相関

・満足度が低く重要度が高い『優先的に改善すべき項目』は、「1-3. 定住化の促進」や「3-1. 生活に身近な公園や緑地の整備」「3-5. 人や自転車にやさしい道路の整備」「4-3. 障害者福祉の取り組み」「4-5. 社会保障の取り組み」「4-6. バリアフリーの取り組み」「7-1. 効率的な行政運営の取り組み」などが挙げられ、特に 1-3、3-5、4-5、7-1 は H17～H21 にも優先的に改善すべき項目と評価されています。

・「5-3. 工業の振興」「7-3. 行政サービスの向上への取り組み」は満足度が上がったため、H21 では『優先的に改善すべき項目』となっていましたが、H23 では『現状を維持・向上すべき項目』となりました。

【満足度－重要度グラフ（H23）】



※領域の色：p33 の満足度および重要度の評価点一覧の色に対応

マーク：　p33 の満足度および重要度の評価点一覧の分類に対応

【満足度および重要度の評価点一覧（H23、H21、H19、H17）】

	評価項目	（今回）H23評価点		H21評価点		H19評価点		H17評価点	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
1 魅力	1-1.地域ごとの拠点づくり	-0.06	0.78	-0.27	0.73	-0.28	0.72	－	－
	1-2.魅力ある能美市ならではのイベントの開催	0.15	0.94	0.14	0.92	0.15	0.77	－	－
	1-3.定住化の促進	0.13	1.48	0.06	1.50	-0.06	1.23	－	－
	1-4.“能美ブランド”づくり	0.02	0.80	-0.03	0.76	0.06	0.82	-0.12	0.76
	1-5.能美市の情報発信・PRの取り組み	0.02	0.80	-0.01	0.76	-0.05	0.83	-0.06	1.02
	1-6.国際交流の推進	0.17	0.46	0.16	0.28	0.21	0.37	0.27	0.54
2 歴史・自然	2-1.歴史・文化・伝統を後世につなげる取り組み	0.30	0.95	0.30	0.89	0.26	0.80	0.33	0.75
	2-2.豊かな自然環境をまもり、活かす取り組み	0.29	1.49	0.28	1.56	-0.01	1.50	-0.01	1.22
	2-3.里山をまもり、活かす取り組み	0.33	1.06	0.37	1.03	0.09	0.92	0.05	1.09
	2-4.水環境をまもり、活かす取り組み	0.23	1.46	0.30	1.48	0.12	1.37	0.15	1.04
	2-5.環境に配慮した取り組み	0.53	1.51	0.54	1.59	0.24	1.58	-0.05	1.24
	2-6.ごみ処理対策	0.67	1.57	0.76	1.64	0.58	1.61	0.31	1.61
	2-7.きれいなまちなみ・景観づくり	0.28	1.31	0.29	1.36	0.03	0.83	0.22	0.72
3 居住環境	3-1.生活に身近な公園や緑地の整備	0.04	1.25	0.17	1.20	0.01	1.09	0.27	0.85
	3-2.市営住宅の整備	0.02	0.69	0.15	0.59	0.16	0.40	0.16	0.19
	3-3.適正な土地利用の推進	-0.09	0.88	-0.07	0.82	-0.17	1.03	－	－
	3-4.広域幹線道路網の整備	0.02	0.96	0.14	0.84	0.30	1.01	0.61	0.86
	3-5.人や自転車にやさしい道路の整備	-0.17	1.40	0.03	1.35	0.00	1.38	0.44	1.10
	3-6.公共交通網の整備	0.18	1.18	0.27	1.07	-0.08	1.01	-0.49	0.92
	3-7.上下水道の整備	0.71	1.52	0.81	1.53	0.69	1.43	0.51	1.40
	3-8.防犯・交通安全対策の推進	0.34	1.54	0.44	1.58	0.40	1.55	0.11	1.62
	3-9.防災対策の推進	0.18	1.56	0.35	1.53	0.36	1.53	0.11	1.61
4 健康・福祉	4-1.医療体制や健康づくりの取り組み	0.58	1.58	0.50	1.59	0.36	1.57	0.35	1.59
	4-2.高齢者福祉の取り組み	0.31	1.48	0.27	1.49	0.18	1.48	0.12	1.54
	4-3.障害者福祉の取り組み	0.15	1.44	0.16	1.42	0.17	1.34	0.06	1.45
	4-4.児童福祉・子育て支援の取り組み	0.31	1.54	0.27	1.54	0.19	1.55	0.09	1.56
	4-5.社会保障の取り組み	0.04	1.54	0.09	1.55	-0.20	1.54	-0.15	1.41
	4-6.バリアフリーの取り組み	0.15	1.36	0.20	1.36	0.12	1.23	-0.19	1.36
	4-7.地域福祉の取り組み	0.39	1.24	0.45	1.28	0.39	1.26	－	－
5 産業・環境	5-1.農林業の振興	-0.05	1.00	-0.10	0.99	-0.15	0.88	-0.02	0.75
	5-2.商業の振興、商店街の活性化	-0.50	1.08	-0.63	1.03	-0.58	0.97	-0.66	1.09
	5-3.工業の振興	0.29	1.27	0.05	1.20	0.03	1.01	-0.02	1.00
	5-4.観光の振興	-0.07	0.92	-0.14	0.81	-0.13	0.71	-0.19	0.76
	5-5.北陸先端大と企業・地域・市との連携	0.20	0.83	0.18	0.70	0.04	0.57	0.03	0.73
	5-6.起業支援・産業連携	0.00	0.84	-0.04	0.75	-0.08	0.53	-0.17	0.79
	5-7.九谷焼などの伝統産業の振興	0.08	0.92	0.15	0.89	0.06	0.74	0.12	0.82
	5-8.労働環境の向上・支援	-0.16	1.11	-0.27	1.18	-0.24	1.02	－	－
	5-9.消費生活の向上への取り組み	-0.02	0.84	-0.11	0.82	-0.23	0.88	－	－
6 教育・文化・スポーツ	6-1.学校教育の充実に向けた取り組み	0.19	1.54	0.19	1.53	0.03	1.60	0.10	1.51
	6-2.青少年の健全育成の取り組み	0.39	1.48	0.40	1.50	0.14	1.52	0.26	1.28
	6-3.生涯学習の取り組み	0.36	1.12	0.38	1.09	0.37	1.01	0.31	0.84
	6-4.芸術・文化の振興	0.35	0.92	0.43	0.88	0.37	0.82	－	－
	6-5.スポーツ・レクリエーションの推進	0.37	1.03	0.46	0.96	0.41	0.86	0.43	0.71
7 行財政	7-1.効率的な行政運営の取り組み	-0.17	1.24	-0.26	1.28	-0.23	1.22	－	－
	7-2.財政の健全化に向けた取り組み	-0.11	1.11	-0.18	1.12	-0.21	1.17	-0.25	1.22
	7-3.行政サービスの向上への取り組み	0.24	1.44	0.14	1.52	-0.27	1.36	-0.29	1.15
	7-4.市政に関する情報公開・情報提供の取り組み	0.25	1.31	0.25	1.38	0.04	1.31	-0.05	1.20
8 参画・協働	8-1.市民と行政が力を合わせたまちづくり	0.05	1.14	0.02	1.12	-0.04	1.12	-0.17	1.32
	8-2.町内会や校区などの地域活動	0.27	1.12	0.28	1.06	0.18	1.01	0.32	1.03
	8-3.ボランティアやNPO等への支援	0.15	0.90	0.13	0.86	0.15	0.81	0.07	0.85
	8-4.男女共同参画社会づくりの取り組み	0.07	0.65	0.01	0.60	0.06	0.68	0.10	0.49
平均		0.16	1.17	0.17	1.15	0.08	1.09	0.07	1.07
総合評価 9	9-1.能美市における施策全体の総合評価	0.07	－	0.01	－	-0.06	－	-0.01	－

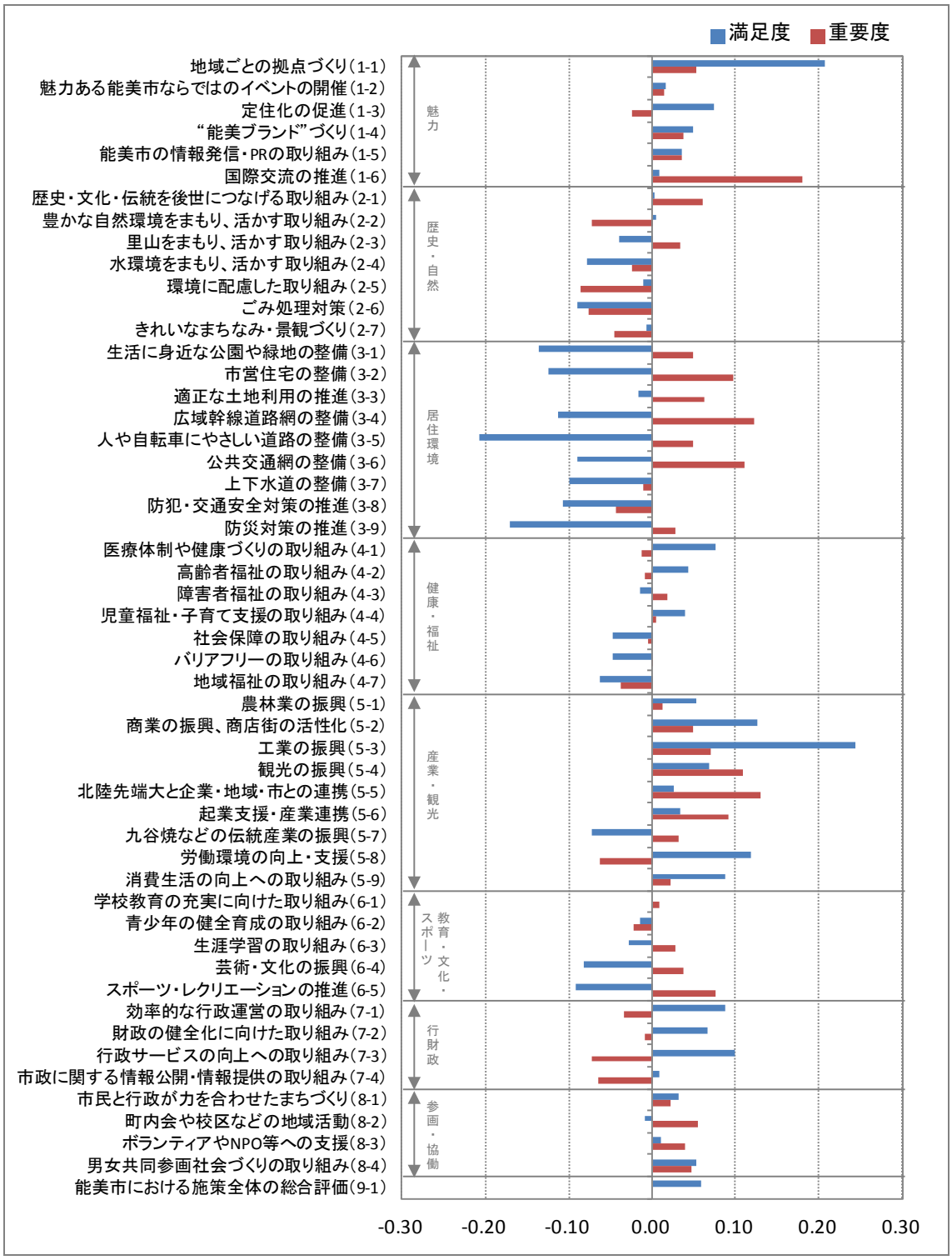
■優先的に改善すべき項目、■現状を維持・向上すべき項目、■必要に応じて伸ばすべき項目、
■改善の余地がある項目（【満足度－重要度グラフ】の領域の色に対応）

■満足度及び重要度の評価点の変化

・H21 の調査では±0.3 以上の変化が見られましたが、今回の調査では最も変化している項目で、「5-3. 工業の振興」の＋0.24 となっており、全体的に変化は小さくなっています。

・満足度が上がっている項目は、「1-1. 地域ごとの拠点づくり」「5-2. 商業の振興、商店街の活性化」「5-3. 工業の振興」「5-8. 労働環境の向上・支援」「7-3. 行政サービスの向上への取り組み」となっていますが、反対に、居住環境の９項目すべての満足度が下がっており、特に「3-5. 人や自転車にやさしい道路の整備」は 0.2 ポイント以上減少しています。

・重要度が上がっている項目は、「1-6. 国際交流の推進」「3-2. 市営住宅の整備」「3-4. 広域幹線道路網の整備」「3-6. 公共交通網の整備」「5-4. 観光の振興」「5-5. 北陸先端大と企業・地域・市との連携」となっています。重要度が下がっている項目はありません。


満足度
重要度
地域ごとの拠点づくり(1-1)
魅力ある能美市ならではのイベントの開催(1-2)
定住化の促進(1-3)
“能美ブランド”づくり(1-4)
能美市の情報発信・PRの取り組み(1-5)
国際交流の推進(1-6)
歴史・文化・伝統を後世につなげる取り組み(2-1)
豊かな自然環境をまもり、活かす取り組み(2-2)
里山をまもり、活かす取り組み(2-3)
水環境をまもり、活かす取り組み(2-4)
環境に配慮した取り組み(2-5)
ごみ処理対策(2-6)
きれいなまちなみ・景観づくり(2-7)
生活に身近な公園や緑地の整備(3-1)
市営住宅の整備(3-2)
適正な土地利用の推進(3-3)
広域幹線道路網の整備(3-4)
人や自転車にやさしい道路の整備(3-5)
公共交通網の整備(3-6)
上下水道の整備(3-7)
防犯・交通安全対策の推進(3-8)
防災対策の推進(3-9)
医療体制や健康づくりの取り組み(4-1)
高齢者福祉の取り組み(4-2)
障害者福祉の取り組み(4-3)
児童福祉・子育て支援の取り組み(4-4)
社会保障の取り組み(4-5)
バリアフリーの取り組み(4-6)
地域福祉の取り組み(4-7)
農林業の振興(5-1)
商業の振興、商店街の活性化(5-2)
工業の振興(5-3)
観光の振興(5-4)
北陸先端大と企業・地域・市との連携(5-5)
起業支援・産業連携(5-6)
九谷焼などの伝統産業の振興(5-7)
労働環境の向上・支援(5-8)
消費生活の向上への取り組み(5-9)
学校教育の充実に向けた取り組み(6-1)
青少年の健全育成の取り組み(6-2)
生涯学習の取り組み(6-3)
芸術・文化の振興(6-4)
スポーツ・レクリエーションの推進(6-5)
効率的な行政運営の取り組み(7-1)
財政の健全化に向けた取り組み(7-2)
行政サービスの向上への取り組み(7-3)
市政に関する情報公開・情報提供の取り組み(7-4)
市民と行政が力を合わせたまちづくり(8-1)
町内会や校区などの地域活動(8-2)
ボランティアやNPO等への支援(8-3)
男女共同参画社会づくりの取り組み(8-4)
能美市における施策全体の総合評価(9-1)
魅力
歴史・自然
居住環境
健康・福祉
産業・観光
教育・文化・スポーツ
行財政
参画・協働
-0.30
-0.20
-0.10
0.00
0.10
0.20
0.30

【満足度及び重要度の変化 (H23-H21)】

	評価項目	満足度				重要度			
		変動	差 H23-H21	H23	H21	変動	差 H23-H21	H23	H21
1 魅力	1-1.地域ごとの拠点づくり	↑	0.21	-0.06	-0.27	→	0.05	0.78	0.73
	1-2.魅力ある能美市ならではのイベントの開催	→	0.02	0.15	0.14	→	0.01	0.94	0.92
	1-3.定住化の促進	→	0.07	0.13	0.06	→	△ 0.02	1.48	1.50
	1-4.“能美ブランド”づくり	→	0.05	0.02	-0.03	→	0.04	0.80	0.76
	1-5.能美市の情報発信・PRの取り組み	→	0.03	0.02	-0.01	→	0.04	0.80	0.76
	1-6.国際交流の推進	→	0.01	0.17	0.16	↑	0.18	0.46	0.28
2 歴史・自然	2-1.歴史・文化・伝統を後世につなげる取り組み	→	0.00	0.30	0.30	→	0.06	0.95	0.89
	2-2.豊かな自然環境をまもり、活かす取り組み	→	0.00	0.29	0.28	→	△ 0.07	1.49	1.56
	2-3.里山をまもり、活かす取り組み	→	△ 0.04	0.33	0.37	→	0.03	1.06	1.03
	2-4.水環境をまもり、活かす取り組み	→	△ 0.08	0.23	0.30	→	△ 0.02	1.46	1.48
	2-5.環境に配慮した取り組み	→	△ 0.01	0.53	0.54	→	△ 0.09	1.51	1.59
	2-6.ごみ処理対策	→	△ 0.09	0.67	0.76	→	△ 0.08	1.57	1.64
	2-7.きれいなまちなみ・景観づくり	→	△ 0.01	0.28	0.29	→	△ 0.05	1.31	1.36
3 居住環境	3-1.生活に身近な公園や緑地の整備	↓	△ 0.14	0.04	0.17	→	0.05	1.25	1.20
	3-2.市営住宅の整備	↓	△ 0.12	0.02	0.15	↑	0.10	0.69	0.59
	3-3.適正な土地利用の推進	→	△ 0.02	-0.09	-0.07	→	0.06	0.88	0.82
	3-4.広域幹線道路網の整備	↓	△ 0.11	0.02	0.14	↑	0.12	0.96	0.84
	3-5.人や自転車にやさしい道路の整備	↓	△ 0.21	-0.17	0.03	→	0.05	1.40	1.35
	3-6.公共交通網の整備	→	△ 0.09	0.18	0.27	↑	0.11	1.18	1.07
	3-7.上下水道の整備	↓	△ 0.10	0.71	0.81	→	△ 0.01	1.52	1.53
	3-8.防犯・交通安全対策の推進	↓	△ 0.11	0.34	0.44	→	△ 0.04	1.54	1.58
	3-9.防災対策の推進	↓	△ 0.17	0.18	0.35	→	0.03	1.56	1.53
4 健康・福祉	4-1.医療体制や健康づくりの取り組み	→	0.08	0.58	0.50	→	△ 0.01	1.58	1.59
	4-2.高齢者福祉の取り組み	→	0.04	0.31	0.27	→	△ 0.01	1.48	1.49
	4-3.障害者福祉の取り組み	→	△ 0.02	0.15	0.16	→	0.02	1.44	1.42
	4-4.児童福祉・子育て支援の取り組み	→	0.04	0.31	0.27	→	0.00	1.54	1.54
	4-5.社会保障の取り組み	→	△ 0.05	0.04	0.09	→	△ 0.01	1.54	1.55
	4-6.バリアフリーの取り組み	→	△ 0.05	0.15	0.20	→	△ 0.00	1.36	1.36
	4-7.地域福祉の取り組み	→	△ 0.06	0.39	0.45	→	△ 0.04	1.24	1.28
5 産業・環境	5-1.農林業の振興	→	0.05	-0.05	-0.10	→	0.01	1.00	0.99
	5-2.商業の振興、商店街の活性化	↑	0.13	-0.50	-0.63	→	0.05	1.08	1.03
	5-3.工業の振興	↑	0.24	0.29	0.05	→	0.07	1.27	1.20
	5-4.観光の振興	→	0.07	-0.07	-0.14	↑	0.11	0.92	0.81
	5-5.北陸先端大と企業・地域・市との連携	→	0.03	0.20	0.18	↑	0.13	0.83	0.70
	5-6.起業支援・産業連携	→	0.03	0.00	-0.04	→	0.09	0.84	0.75
	5-7.九谷焼などの伝統産業の振興	→	△ 0.07	0.08	0.15	→	0.03	0.92	0.89
	5-8.労働環境の向上・支援	↑	0.12	-0.16	-0.27	→	△ 0.06	1.11	1.18
	5-9.消費生活の向上への取り組み	→	0.09	-0.02	-0.11	→	0.02	0.84	0.82
6 教育・文化・スポーツ	6-1.学校教育の充実に向けた取り組み	→	0.00	0.19	0.19	→	0.01	1.54	1.53
	6-2.青少年の健全育成の取り組み	→	△ 0.02	0.39	0.40	→	△ 0.02	1.48	1.50
	6-3.生涯学習の取り組み	→	△ 0.03	0.36	0.38	→	0.03	1.12	1.09
	6-4.芸術・文化の振興	→	△ 0.08	0.35	0.43	→	0.04	0.92	0.88
	6-5.スポーツ・レクリエーションの推進	→	△ 0.09	0.37	0.46	→	0.08	1.03	0.96
7 行財政	7-1.効率的な行政運営の取り組み	→	0.09	-0.17	-0.26	→	△ 0.03	1.24	1.28
	7-2.財政の健全化に向けた取り組み	→	0.07	-0.11	-0.18	→	△ 0.01	1.11	1.12
	7-3.行政サービスの向上への取り組み	↑	0.10	0.24	0.14	→	△ 0.07	1.44	1.52
	7-4.市政に関する情報公開・情報提供の取り組み	→	0.01	0.25	0.25	→	△ 0.06	1.31	1.38
8 参画・協働	8-1.市民と行政が力を合わせたまちづくり	→	0.03	0.05	0.02	→	0.02	1.14	1.12
	8-2.町内会や校区などの地域活動	→	△ 0.01	0.27	0.28	→	0.06	1.12	1.06
	8-3.ボランティアやNPO等への支援	→	0.01	0.15	0.13	→	0.04	0.90	0.86
	8-4.男女共同参画社会づくりの取り組み	→	0.05	0.07	0.01	→	0.05	0.65	0.60
9 総合評価	9-1.能美市における施策全体の総合評価	→	0.06	0.07	0.01	-	-	-	-

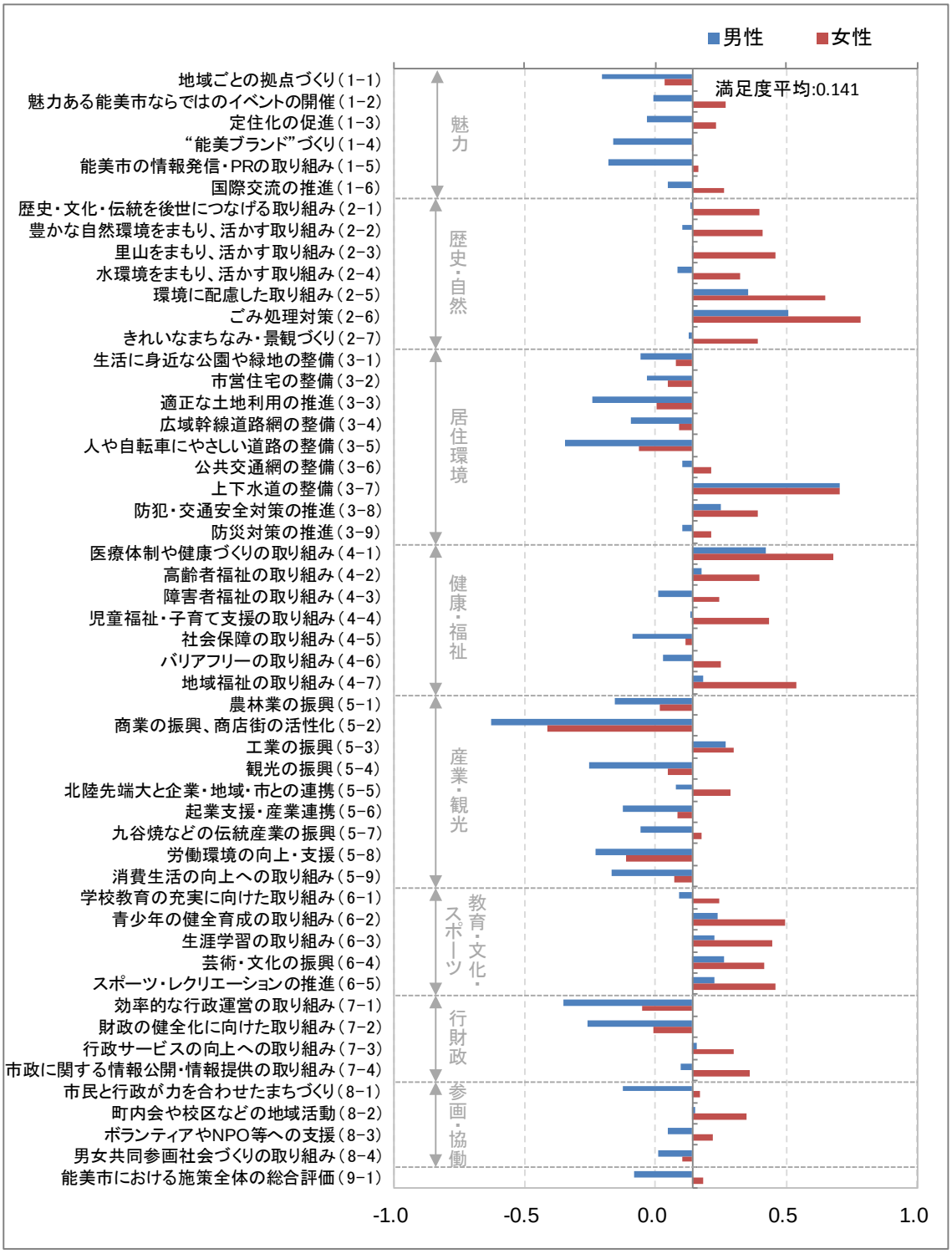
＋0.1 以上：↑　　±0.1 未満：→　　－0.1 以上：↓

（注：評価点の差は、丸め誤差のため、表に示す数値と一致しないことがあります。）
（補：H21 では、＋0.5 以上または±0.3 以上の場合に区分していましたが、H23 では±0.3 以上の変動がみられないため、±0.1 で区分しています。）

■満足度（性別）

・男性は「上下水道の整備（3-7）」が、女性は「ごみ処理対策（2-6）」が最も高くなっています。一方、男女共に「商業の振興、商店街の活性化（5-2）」が最も低くなっています。

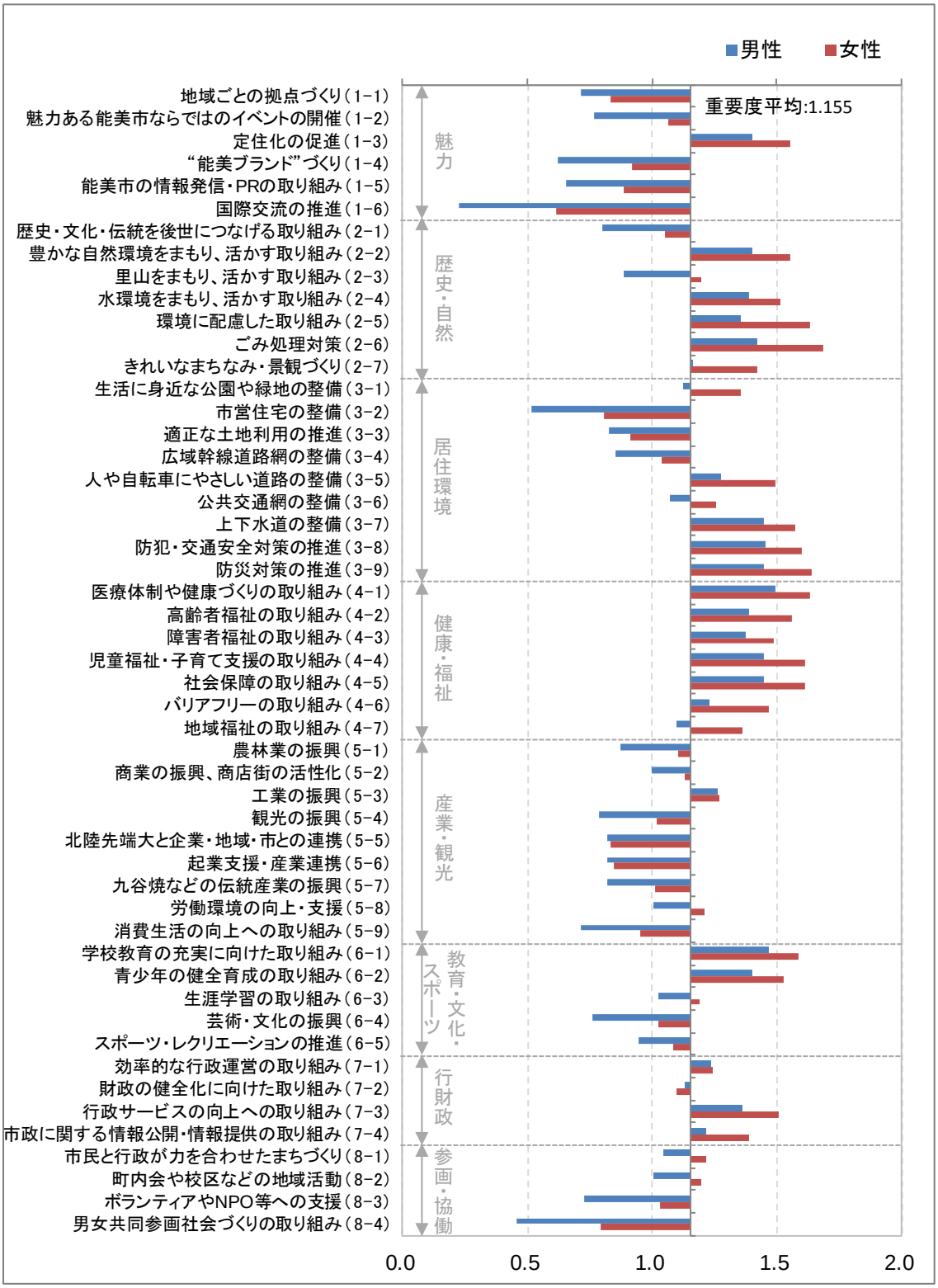
・全体的に女性は男性よりも評価点が高くなっており、特に「能美市の情報発信・PR の取り組み(1-5)」「里山をまもり、活かす取り組み(2-3)」「地域福祉の取り組み(4-7)」は男性、女性の間で、差が大きくなっています。



■重要度（性別）

・男性は「医療体制や健康づくりの取り組み(4-1)」、女性は「ごみ処理対策（2-6)」が最も高くなっています。一方、男性、女性共に「国際交流の推進（1-6)」が最も低くなっています。

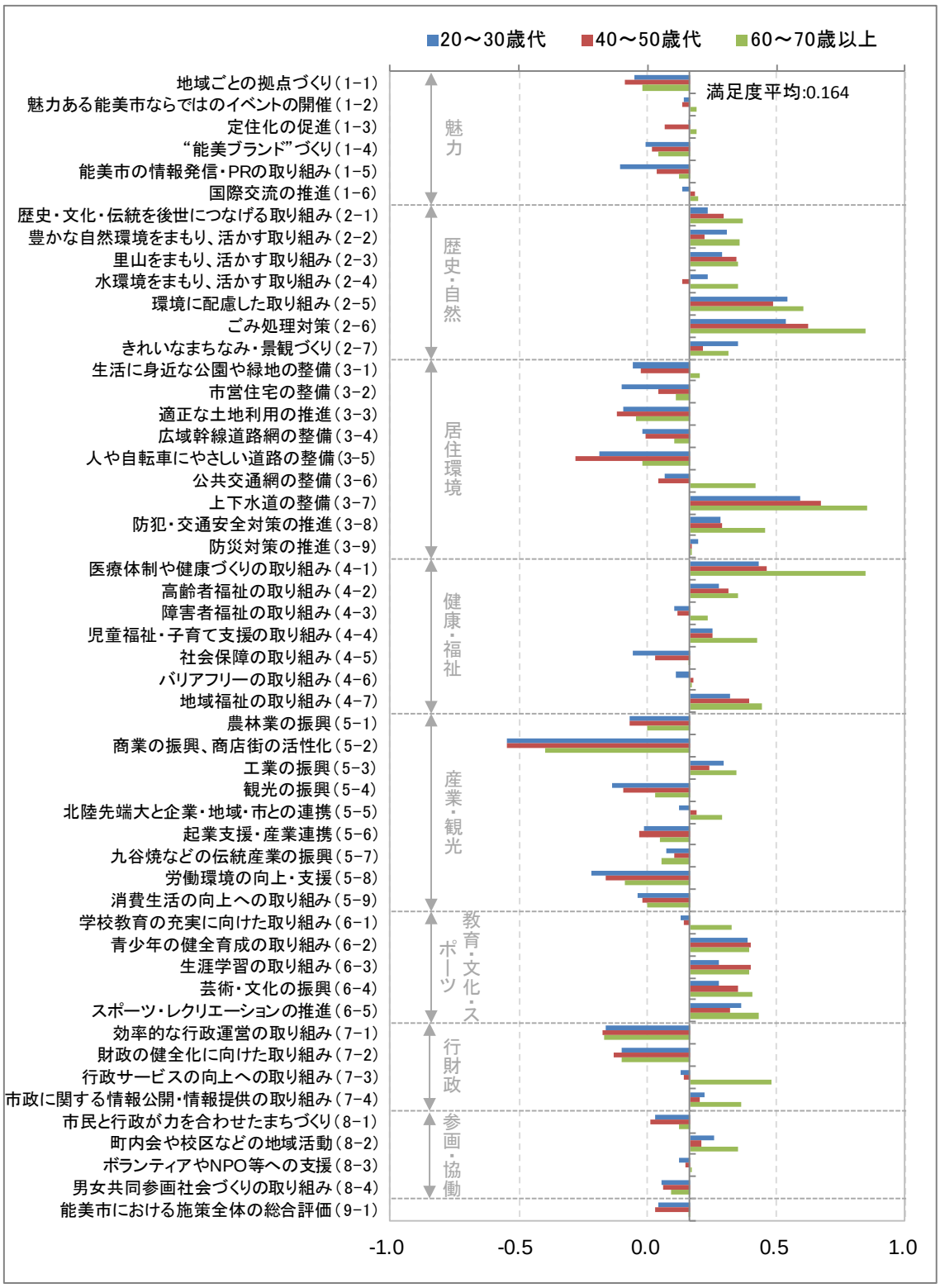
・全体的に女性は男性よりも評価点が高くなっており、特に「国際交流の推進(1-6)」「男女共同参画社会づくりの取り組み(8-4)」は男性、女性の間で差が大きくなっています。



■満足度（年代別）

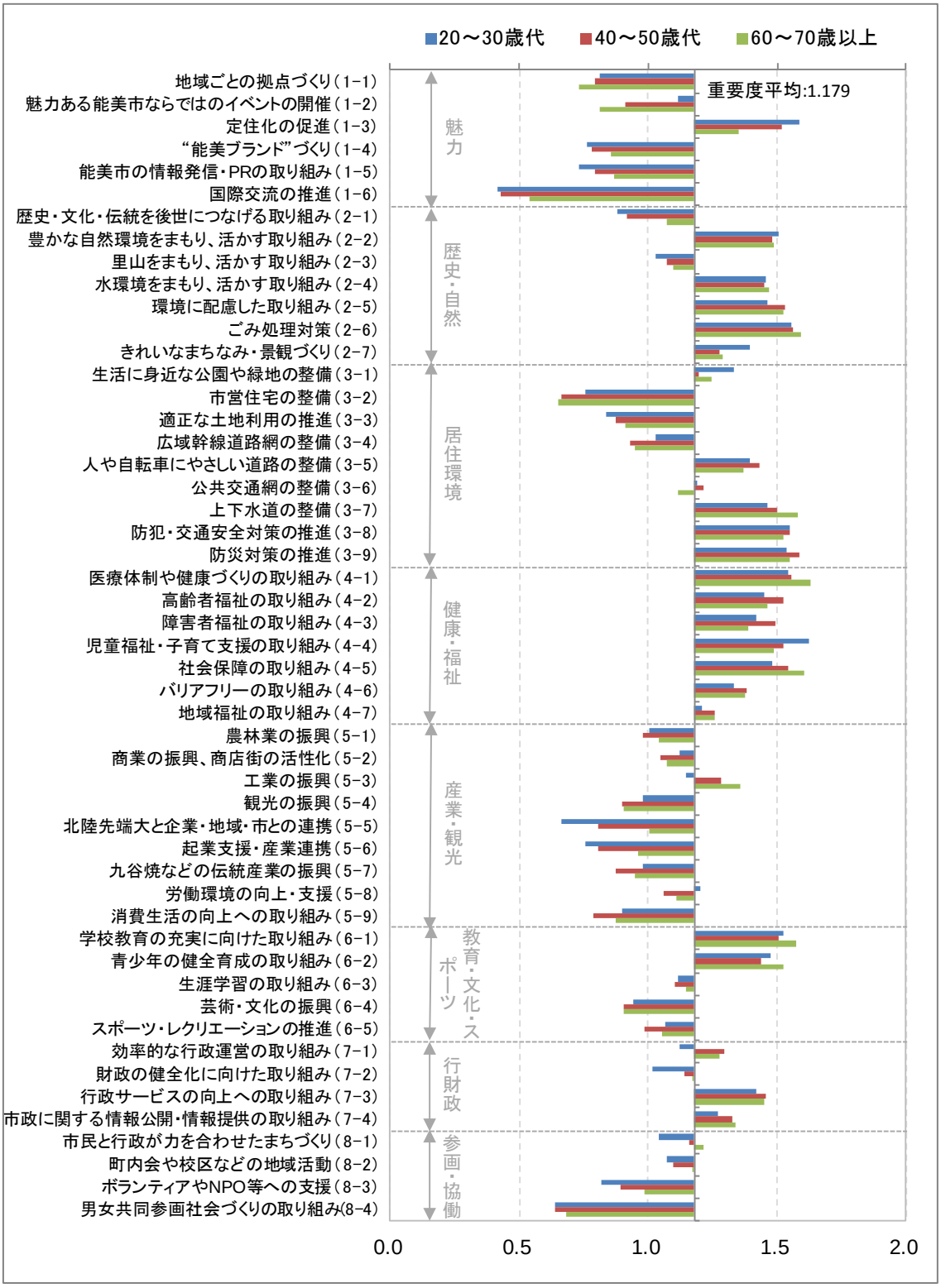
・全ての年代で「上下水道の整備(3-7)」が最も高くなっています。一方、「商業の振興、商店街の活性化(5-2)」が最も低くなっています。

・「きれいなまちなみ・景観づくり(2-7)」「防災対策の推進（3-9)」「バリアフリーの取り組み（4-6)」「九谷焼などの伝統産業の振興（5-7)」「青少年の健全育成の取り組み（6-2)」「生涯学習の取り組み（6-3)」「効率的な行政運営の取り組み（7-1)」「財政の健全化に向けた取り組み（7-2)」以外の項目では 60 歳以上の評価が他の年代よりも高くなっています。



■重要度（年代別）

・20～30 歳代は「児童福祉・子育て支援の取り組み(4-4)」が最も高くなっています。
・40～50 歳代は「防災対策の推進(3-9)」が最も高くなっています。
・60～70 歳以上は「医療体制や健康づくりの取り組み(4-1)」が最も高くなっています。
・全ての年代において「国際交流の推進(1-6)」が最も低くなっています。

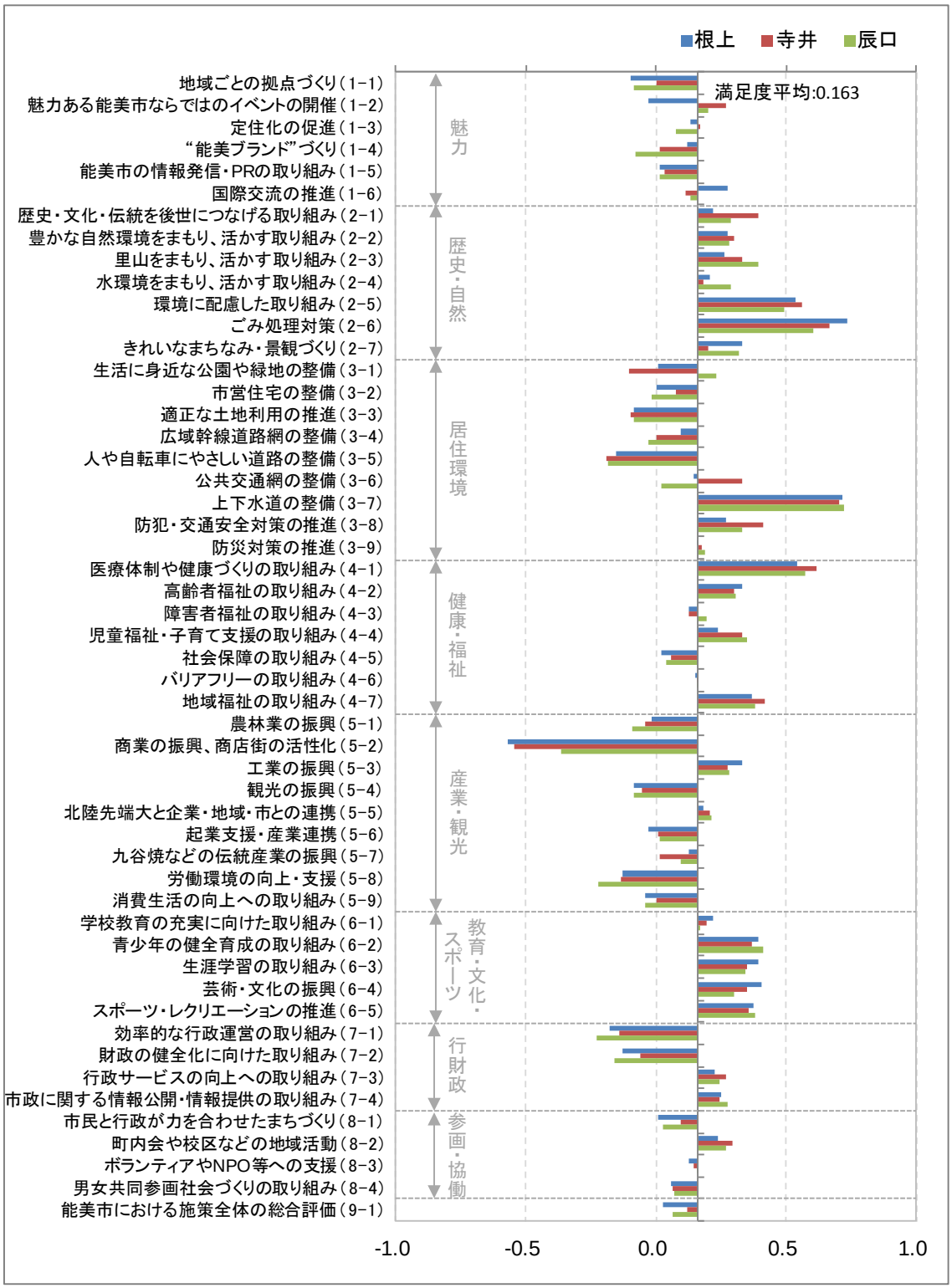


■満足度（地区別）

・根上は「ごみ処理対策（2-6）」、寺井と辰口は「上下水道の整備（3-7）」が最も高くなっています。

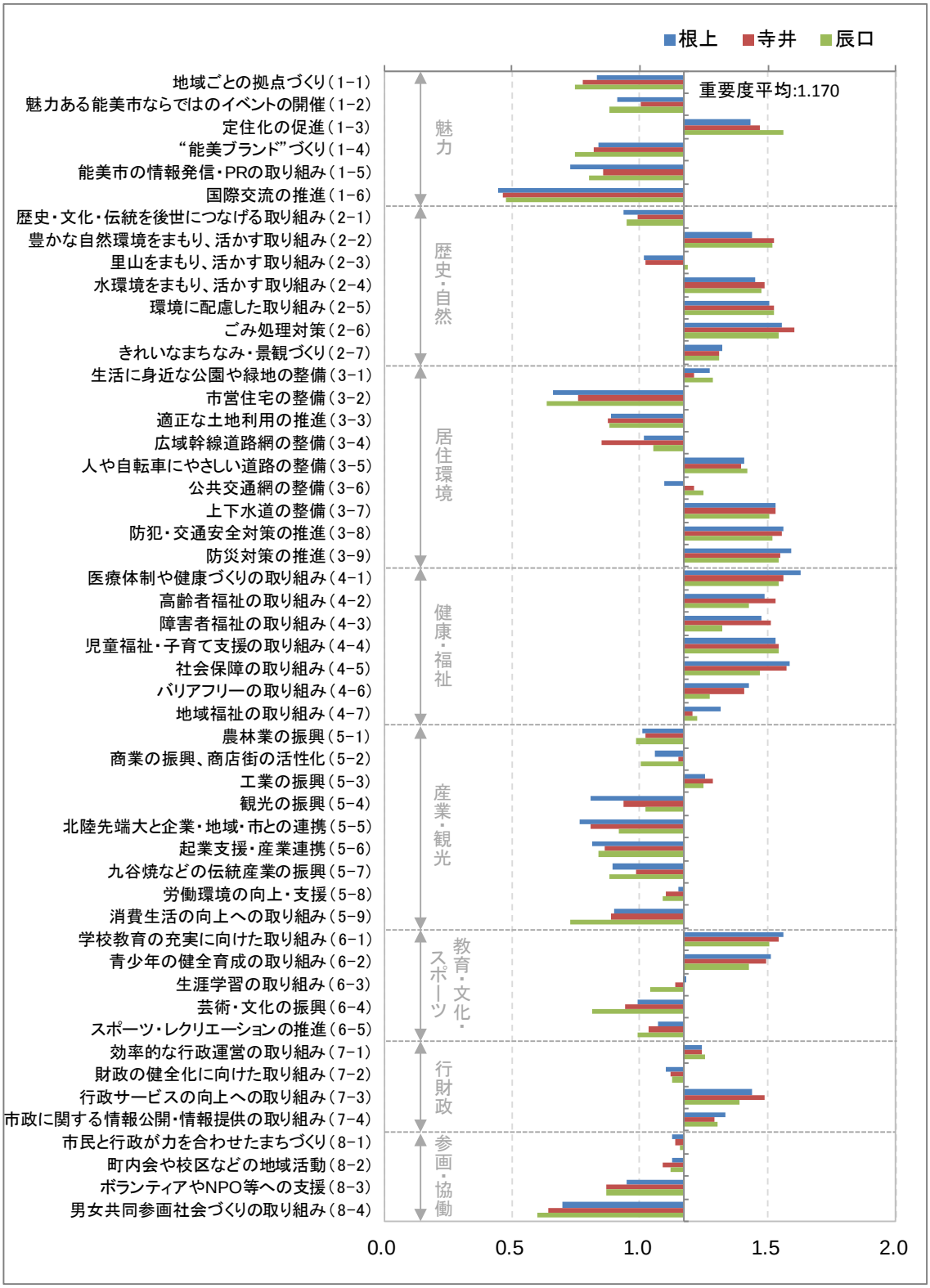
・３地区共に「商業の振興、商店街の活性化（5-2）」が最も低くなっています。特に、根上や寺井は、辰口と比べて満足度が低くなっています。

・「魅力ある能美市ならではのイベントの開催（1-2）」「国際交流の推進（1-6）」「生活に身近な公園や緑地の整備（3-1）」「公共交通網の整備（3-6）」は３地区で比較的差が大きくなっています。



■重要度（地区別）

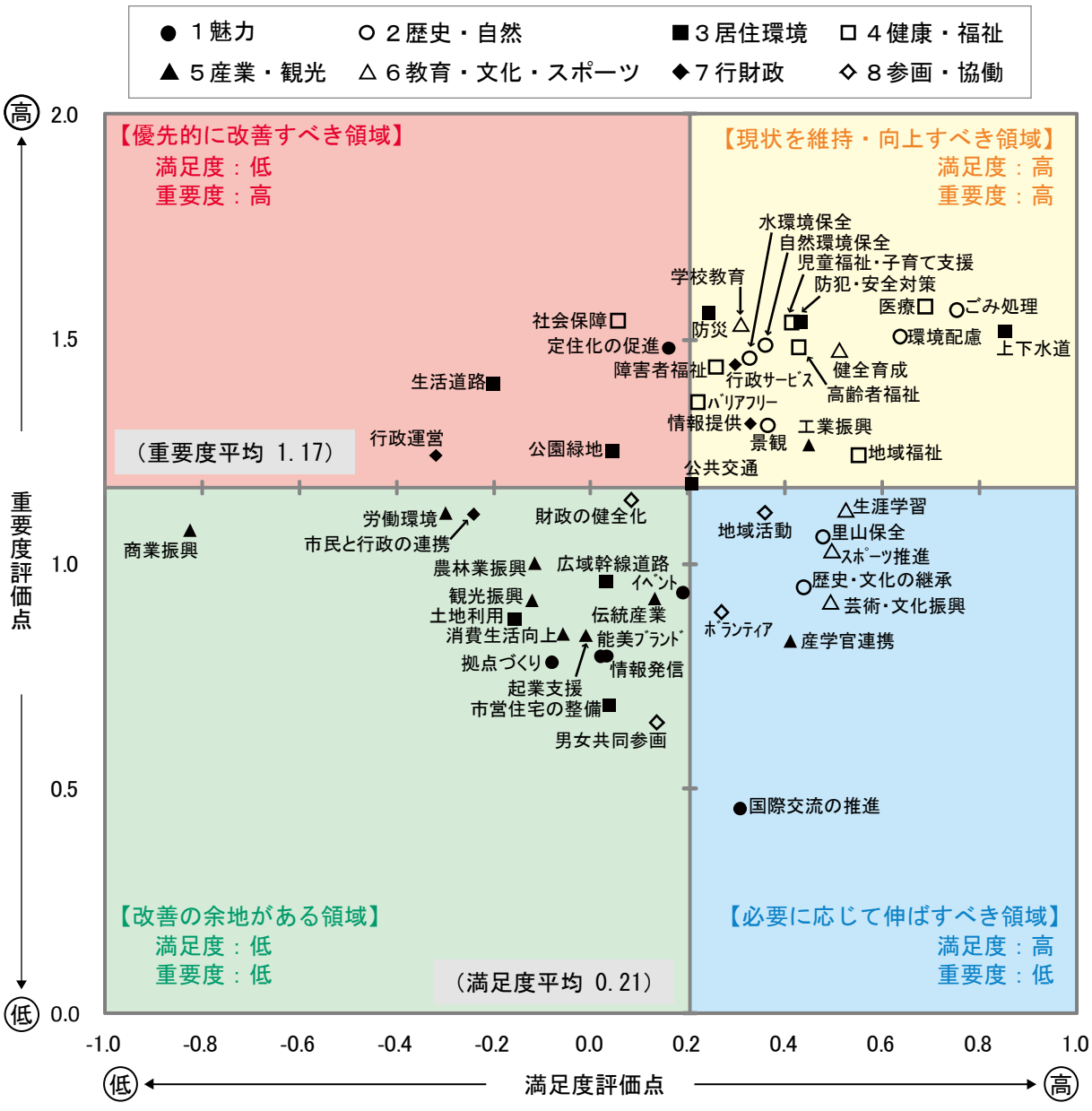
・根上は「医療体制や健康づくりの取り組み（4-1）」、寺井は「ごみ処理対策（2-6）」、辰口は「定住化の促進（1-3）」が最も高くなっています。
・３地区共に「国際交流の推進（1-6）」が最も低くなっています。
・「公共交通網の整備（3-6）」は、根上は平均以下、その他の地区は平均以上となっています。
・「里山をまもり、活かす取り組み（2-3）」は辰口のみ平均以上、「障害学習の取り組み」は根上のみ平均以上となっています。



■満足度で「わからない」と回答した人の有無と「重要度」の関係

・満足度で「わからない」と回答した人を除いて評価点を算出すると、「障害者福祉の取り組み」「バリアフリーの取り組み」が『優先的に改善すべき項目』から『現状を維持・向上すべき項目』に移動し、「ボランティアやＮＰＯ等への支援」は『改善の余地がある項目』から『必要に応じて伸ばすべき項目』に移動します。その他の項目の領域は変わっていません。

【満足度（「わからない」無）-重要度グラフ】



【満足度で「わからない」と回答した人の有無と重要度の関係】

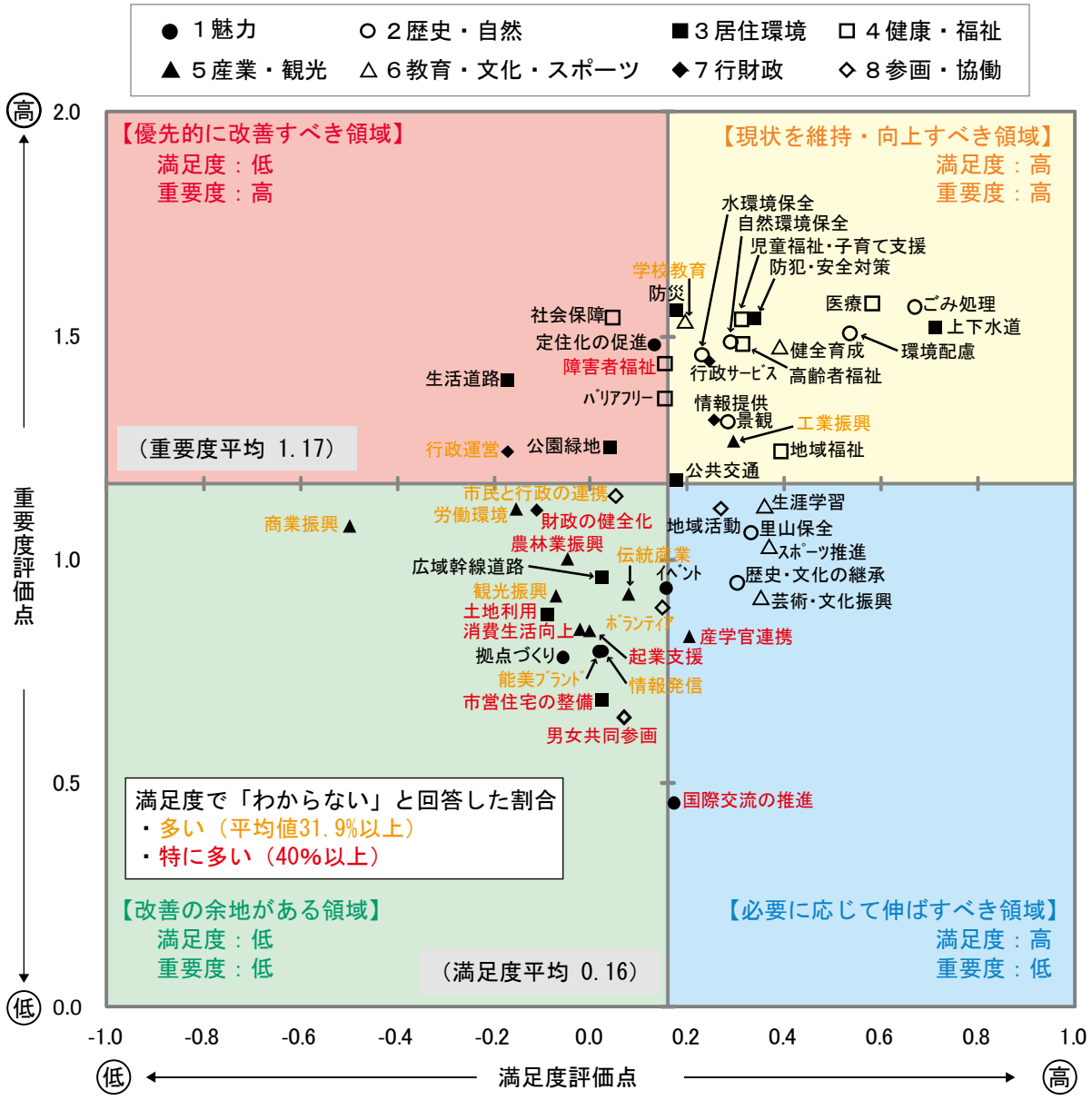
	評価項目	重要度	満足度			
			わからない有	わからない無	有無の差	わからない割合
1 魅力	1-1.地域ごとの拠点づくり	0.78	-0.06	-0.08	-0.02	25.7%
	1-2.魅力ある能美市ならではのイベントの開催	0.94	0.15	0.19	0.04	18.5%
	1-3.定住化の促進	1.48	0.13	0.16	0.03	18.8%
	1-4.“能美ブランド”づくり	0.80	0.02	0.02	0.01	32.2%
	1-5.能美市の情報発信・PRの取り組み	0.80	0.02	0.03	0.01	32.4%
	1-6.国際交流の推進	0.46	0.17	0.31	0.14	44.7%
2 歴史・自然	2-1.歴史・文化・伝統を後世につなげる取り組み	0.95	0.30	0.44	0.14	31.5%
	2-2.豊かな自然環境をまもり、活かす取り組み	1.49	0.29	0.36	0.07	20.1%
	2-3.里山をまもり、活かす取り組み	1.06	0.33	0.48	0.15	31.2%
	2-4.水環境をまもり、活かす取り組み	1.46	0.23	0.32	0.10	30.4%
	2-5.環境に配慮した取り組み	1.51	0.53	0.63	0.10	16.1%
	2-6.ごみ処理対策	1.57	0.67	0.75	0.09	11.3%
	2-7.きれいなまちなみ・景観づくり	1.31	0.28	0.36	0.08	22.6%
3 居住環境	3-1.生活に身近な公園や緑地の整備	1.25	0.04	0.04	0.01	14.2%
	3-2.市営住宅の整備	0.69	0.02	0.04	0.02	45.8%
	3-3.適正な土地利用の推進	0.88	-0.09	-0.16	-0.07	42.1%
	3-4.広域幹線道路網の整備	0.96	0.02	0.03	0.01	21.0%
	3-5.人や自転車にやさしい道路の整備	1.40	-0.17	-0.20	-0.03	13.7%
	3-6.公共交通網の整備	1.18	0.18	0.21	0.04	17.0%
	3-7.上下水道の整備	1.52	0.71	0.85	0.14	16.5%
	3-8.防犯・交通安全対策の推進	1.54	0.34	0.43	0.09	21.2%
	3-9.防災対策の推進	1.56	0.18	0.24	0.07	27.6%
4 健康・福祉	4-1.医療体制や健康づくりの取り組み	1.58	0.58	0.69	0.11	15.7%
	4-2.高齢者福祉の取り組み	1.48	0.31	0.43	0.12	27.1%
	4-3.障害者福祉の取り組み	1.44	0.15	0.26	0.11	41.9%
	4-4.児童福祉・子育て支援の取り組み	1.54	0.31	0.41	0.10	24.9%
	4-5.社会保障の取り組み	1.54	0.04	0.06	0.02	26.6%
	4-6.バリアフリーの取り組み	1.36	0.15	0.22	0.07	31.6%
	4-7.地域福祉の取り組み	1.24	0.39	0.55	0.16	28.8%
5 産業・環境	5-1.農林業の振興	1.00	-0.05	-0.11	-0.06	56.7%
	5-2.商業の振興、商店街の活性化	1.08	-0.50	-0.82	-0.32	39.2%
	5-3.工業の振興	1.27	0.29	0.45	0.15	34.5%
	5-4.観光の振興	0.92	-0.07	-0.12	-0.05	38.5%
	5-5.北陸先端大と企業・地域・市との連携	0.83	0.20	0.41	0.21	50.9%
	5-6.起業支援・産業連携	0.84	0.00	-0.01	-0.01	59.9%
	5-7.九谷焼などの伝統産業の振興	0.92	0.08	0.13	0.06	41.7%
	5-8.労働環境の向上・支援	1.11	-0.16	-0.30	-0.14	48.0%
	5-9.消費生活の向上への取り組み	0.84	-0.02	-0.05	-0.03	55.0%
6 教育・文化・スポーツ	6-1.学校教育の充実に向けた取り組み	1.54	0.19	0.31	0.12	37.6%
	6-2.青少年の健全育成の取り組み	1.48	0.39	0.51	0.12	24.0%
	6-3.生涯学習の取り組み	1.12	0.36	0.52	0.17	31.8%
	6-4.芸術・文化の振興	0.92	0.35	0.49	0.14	28.9%
	6-5.スポーツ・レクリエーションの推進	1.03	0.37	0.49	0.13	25.9%
7 行財政	7-1.効率的な行政運営の取り組み	1.24	-0.17	-0.32	-0.14	45.6%
	7-2.財政の健全化に向けた取り組み	1.11	-0.11	-0.24	-0.13	52.8%
	7-3.行政サービスの向上への取り組み	1.44	0.24	0.30	0.05	18.3%
	7-4.市政に関する情報公開・情報提供の取り組み	1.31	0.25	0.33	0.08	23.1%
8 参画・協働	8-1.市民と行政が力を合わせたまちづくり	1.14	0.05	0.08	0.03	41.1%
	8-2.町内会や校区などの地域活動	1.12	0.27	0.36	0.09	25.1%
	8-3.ボランティアやNPO等への支援	0.90	0.15	0.27	0.12	45.8%
	8-4.男女共同参画社会づくりの取り組み	0.65	0.07	0.14	0.07	51.6%
平均	平均	1.17	0.16	0.21	0.05	31.9%
9 総合評価	9-1.能美市における施策全体の総合評価	-	0.07	0.08	0.01	-

赤文字：満足度で「わからない」と回答した割合が多い（平均値 31.9%以上）
黄文字：満足度で「わからない」と回答した割合が特に多い（40.0%以上）

■満足度で「わからない」と回答した方の割合と満足度－重要度の関係

・満足度で「わからない」と回答した人が多い項目は、「改善の余地がある領域」に多い傾向がみられます。

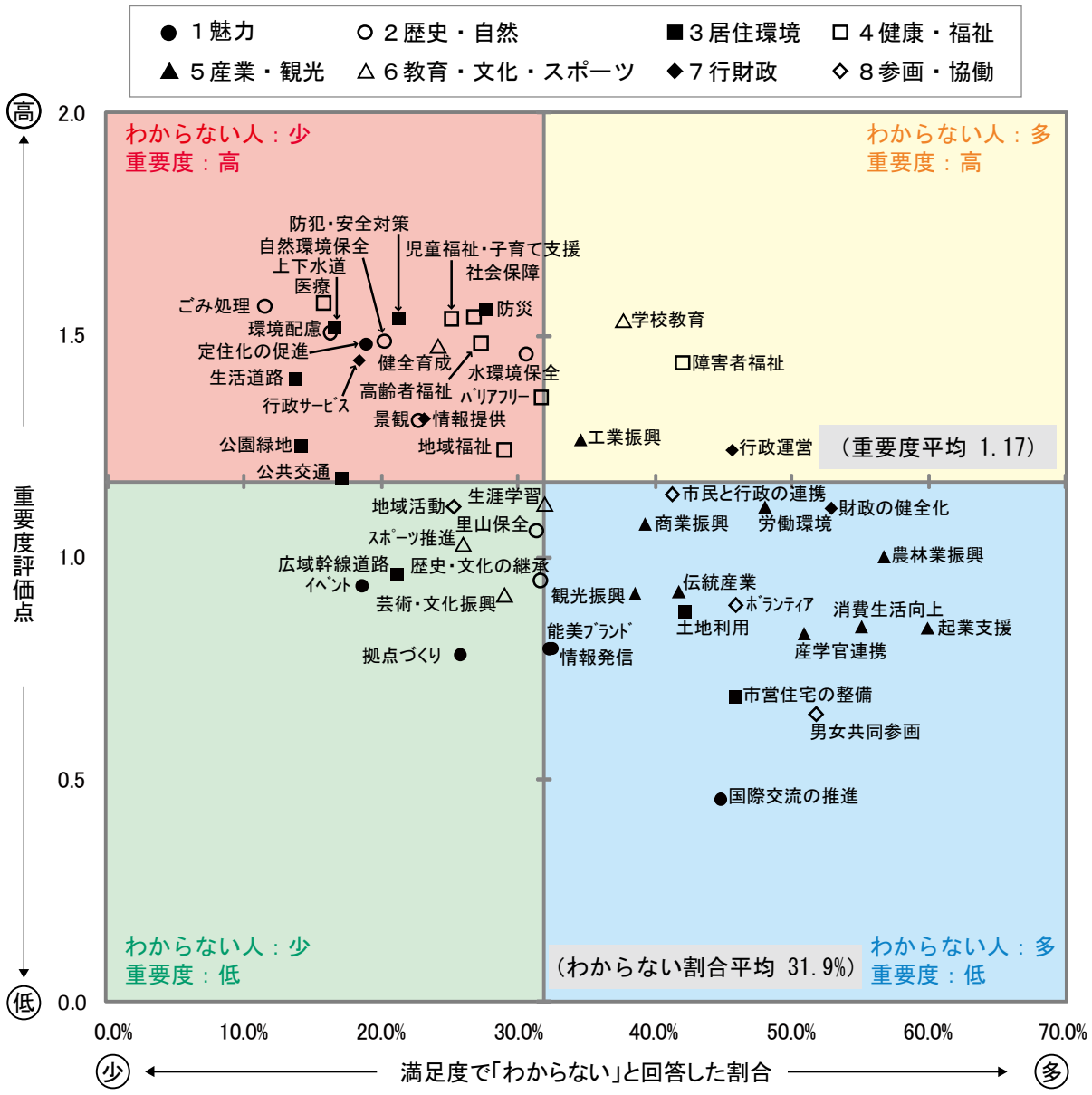
【満足度で「わからない」と回答した方の割合と満足度（「わからない」有）-重要度の関係】



■満足度で「わからない」と回答した方の割合と重要度の関係

・満足度で「わからない」と回答した割合が多くなると、重要度が低くなる傾向がみられます。

【満足度で「わからない」と回答した割合-重要度グラフ】



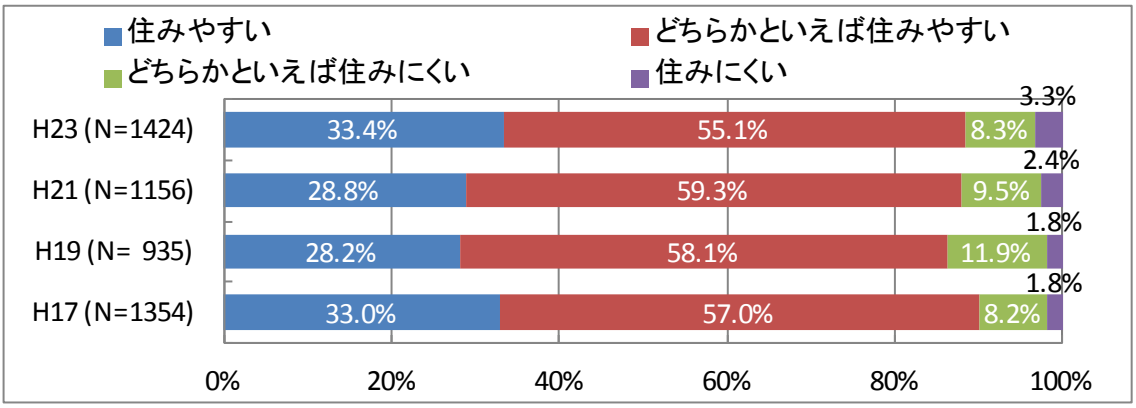
（３）能美市に住むことについて

問 12　あなたは、能美市を住みやすいところだと思いますか？

◆「どちらかといえば住みやすい」が 55.1%と最も多く、次いで「住みやすい」が 33.4%で、約９割の回答者が能美市は住みやすいところであると評価しています。

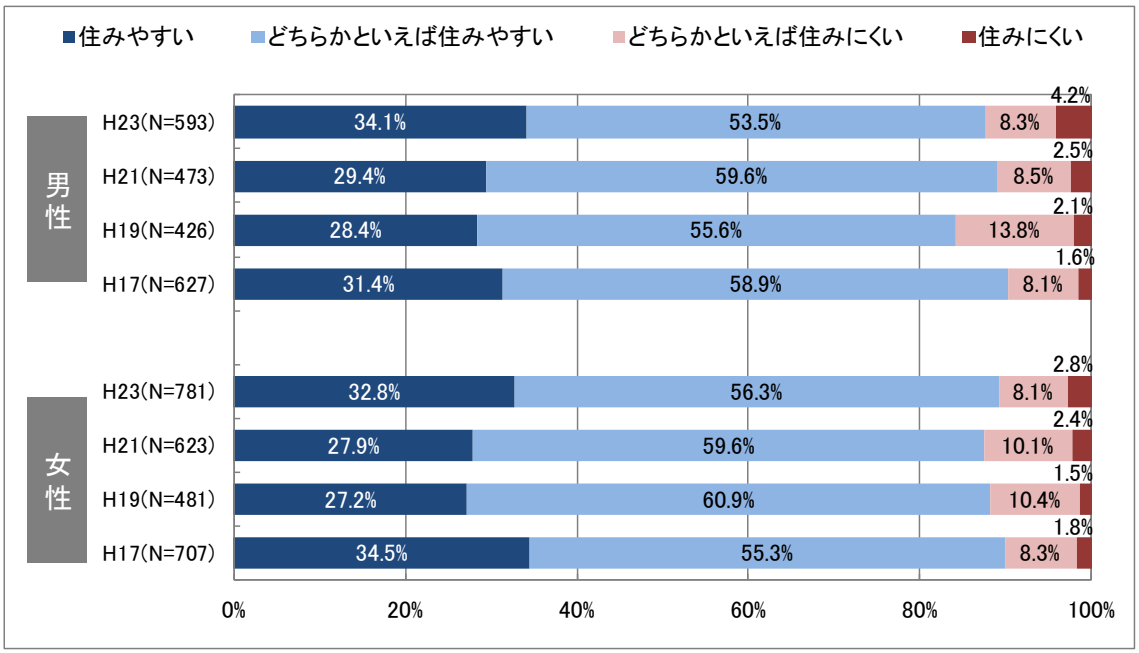
◆「住みやすい」が H21 と比較して約５ポイント増加しています。

選択項目	H23（今回）		H21		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
住みやすい	475	33.4%	333	28.8%	264	28.2%	447	33.0%
どちらかといえば住みやすい	784	55.1%	685	59.3%	543	58.1%	772	57.0%
どちらかといえば住みにくい	118	8.3%	110	9.5%	111	11.9%	111	8.2%
住みにくい	47	3.3%	28	2.4%	17	1.8%	24	1.8%
無回答	29	－	18	－	31	－	67	－
合計	1453	－	1174	－	966	－	1421	－
回答者数（合計－無回答）	1424	100.0%	1156	100.0%	935	100.0%	1354	100.0%



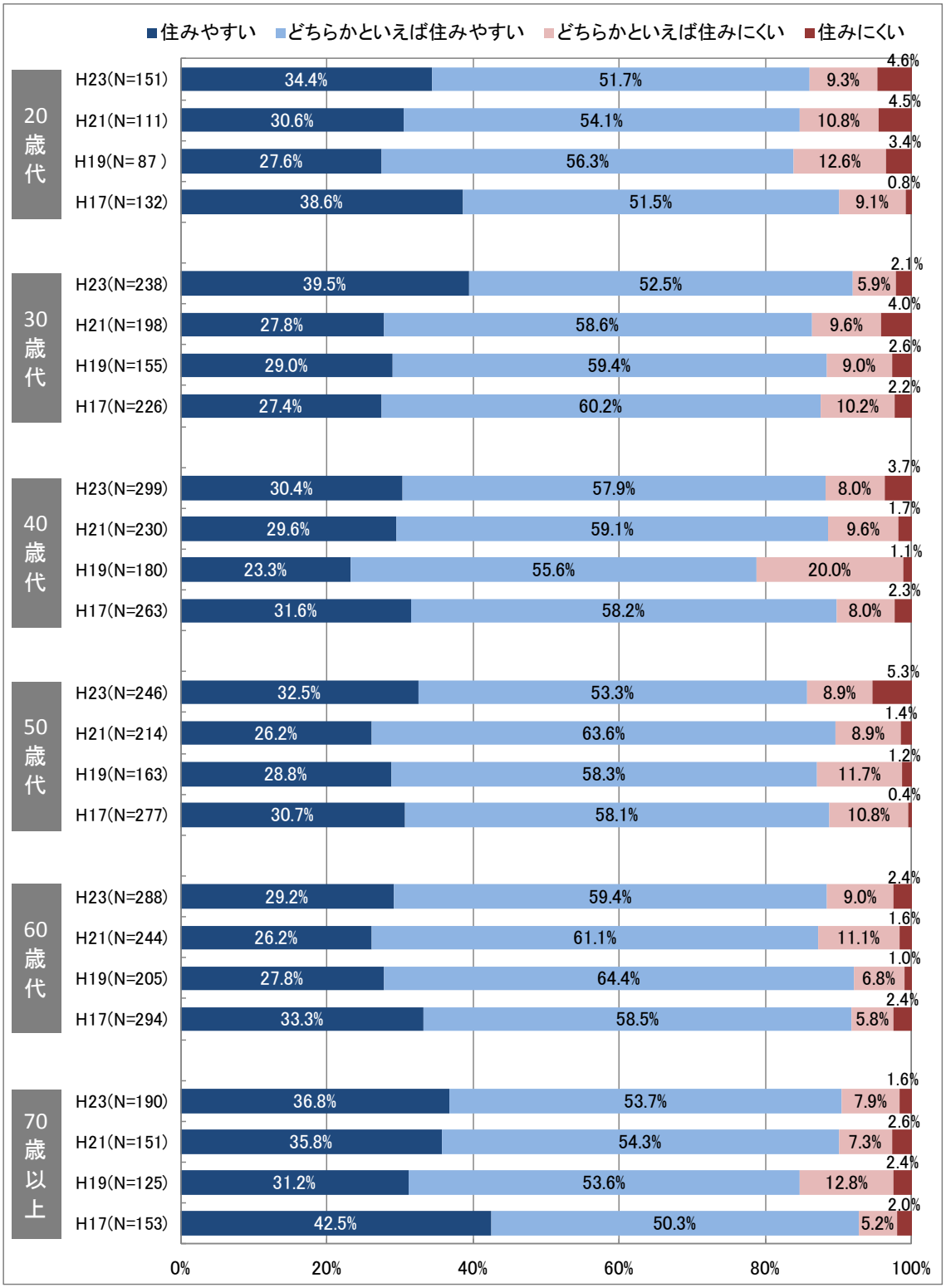
■能美市の住みやすさに対する意識（性別）

・性別により大きな差はみられません。
・H19 以降「住みやすい」が増加傾向にあります。



■能美市の住みやすさに対する意識（年代別）

・全ての年代で「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」が約９割となっています。
・また、H21 と比べて「住みやすい」が増加しており、特に 30 歳代は 39.5%と、H21 と比べて約 12 ポイント増加しています。

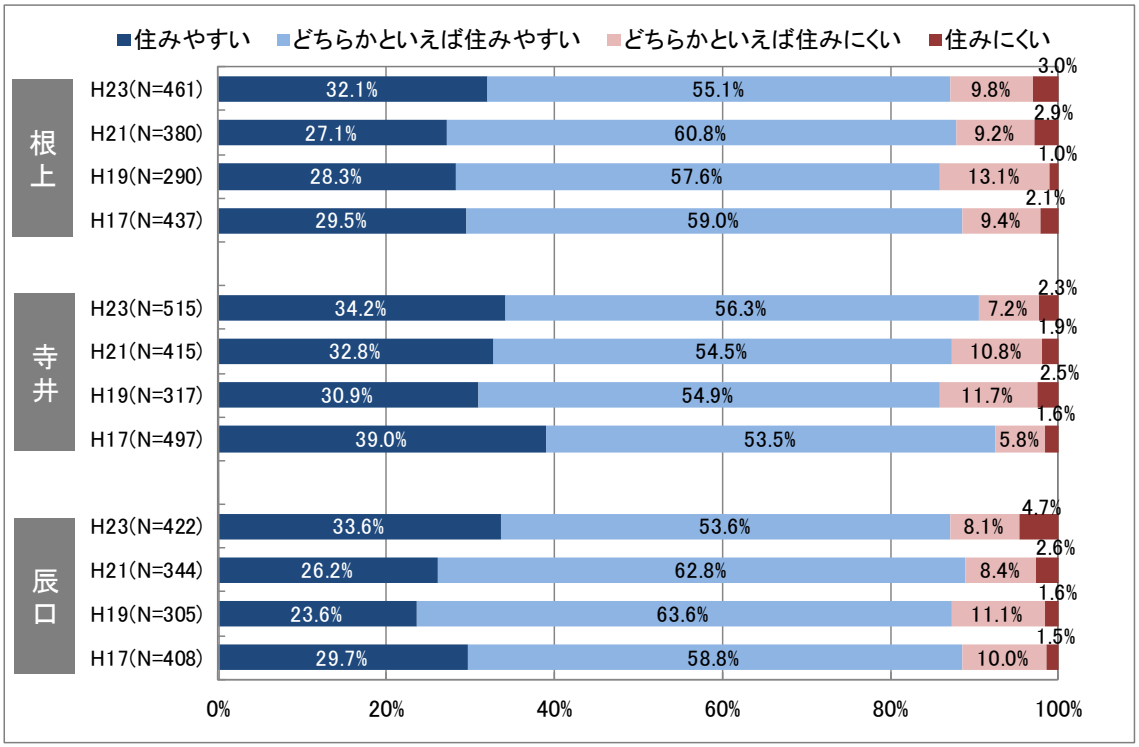


■能美市の住みやすさに対する意識（地区別）

【地区別】

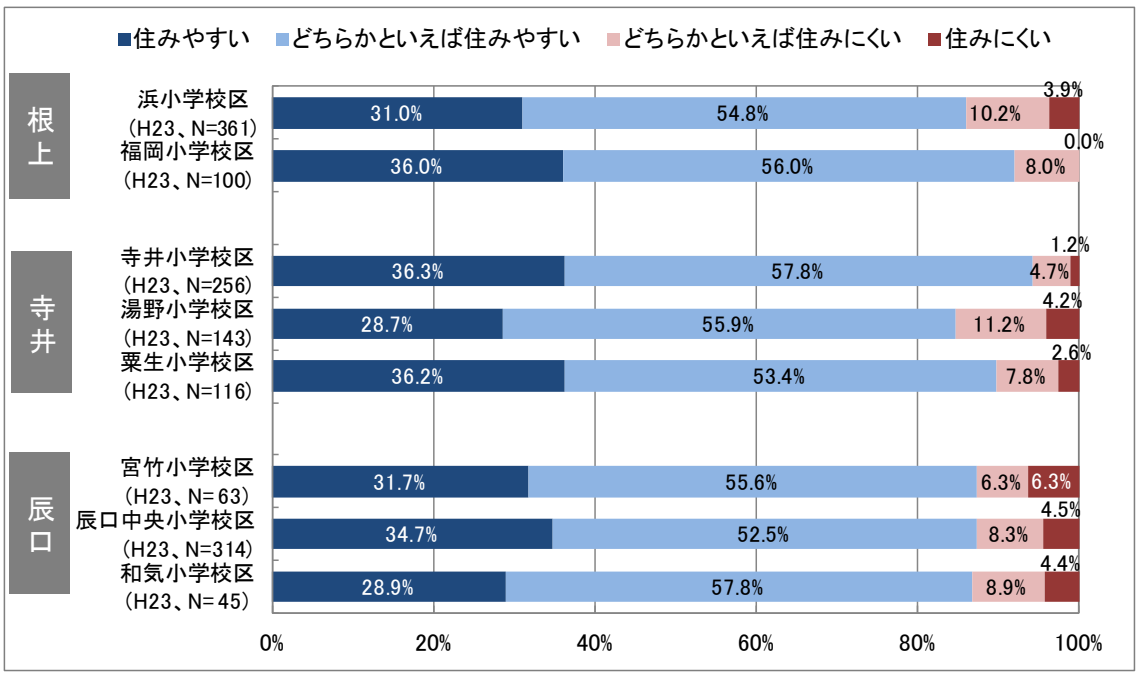
・いずれの地区も「住みやすい」が３割以上、「どちらかといえば住みやすい」が５割以上を占めており、両項目の合計は約９割となっています。

・根上、辰口では「住みやすい」が H21 と比較して５ポイント以上増加しています。寺井は H21 と比べて差は小さいですが、「住みやすい」が H19 以降増加しています。



【小学校区別】

・浜小学校区、湯野小学校区では「どちらかといえば住みにくい」が１割以上を占めており、他の小学校校区と比べ、比較的高くなっています。



問 13　あなたは、これからも能美市に住み続けたいと思いますか？

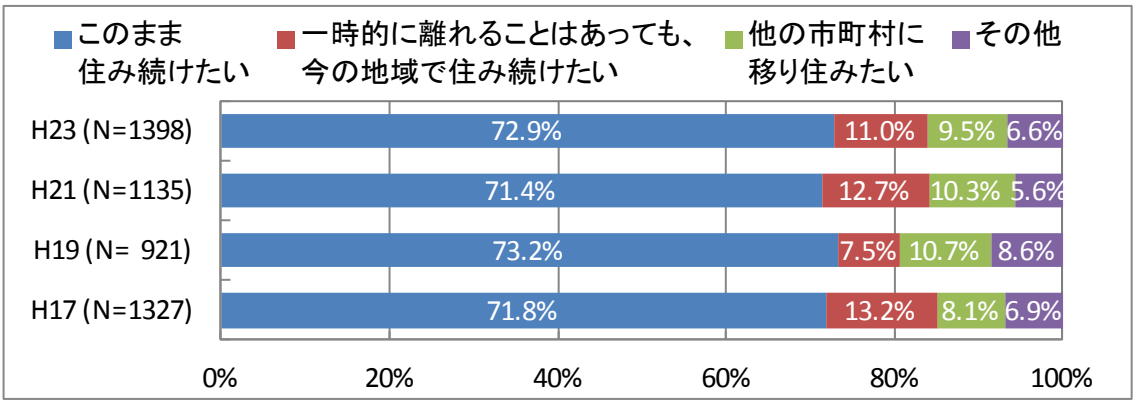
◆「このまま住み続けたい」が 72.9%と最も多く、次いで「一時的に離れることはあっても、今の地域で住み続けたい」が 11.0%で、８割以上の回答者が住み続けたい意向を示しています。

◆H21 と比べて大きな差はみられません。

選択項目	H23（今回）		H21		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
このまま住み続けたい	1019	72.9%	810	71.4%	674	73.2%	953	71.8%
一時的に離れることはあっても、今の地域で住み続けたい	154	11.0%	144	12.7%	69	7.5%	175	13.2%
他の市町村に移り住みたい	133	9.5%	117	10.3%	99	10.7%	107	8.1%
その他	92	6.6%	64	5.6%	79	8.6%	92	6.9%
無回答	55	－	39	－	45	－	94	－
合計	1453	－	1174	－	966	－	1421	－
回答者数（合計－無回答）	1398	100.0%	1135	100.0%	921	100.0%	1327	100.0%

その他：　分からない（17）、将来的に移る予定（6）、住み続けるしかない（4）、仕事次第(4)、どちらでもない(3)、特にこだわりはない(3)、考え中(3)、家族の状況に応じて(3)、当分は住み続けるが、いずれ移りたいなど

※（　）：H23 における回答者数



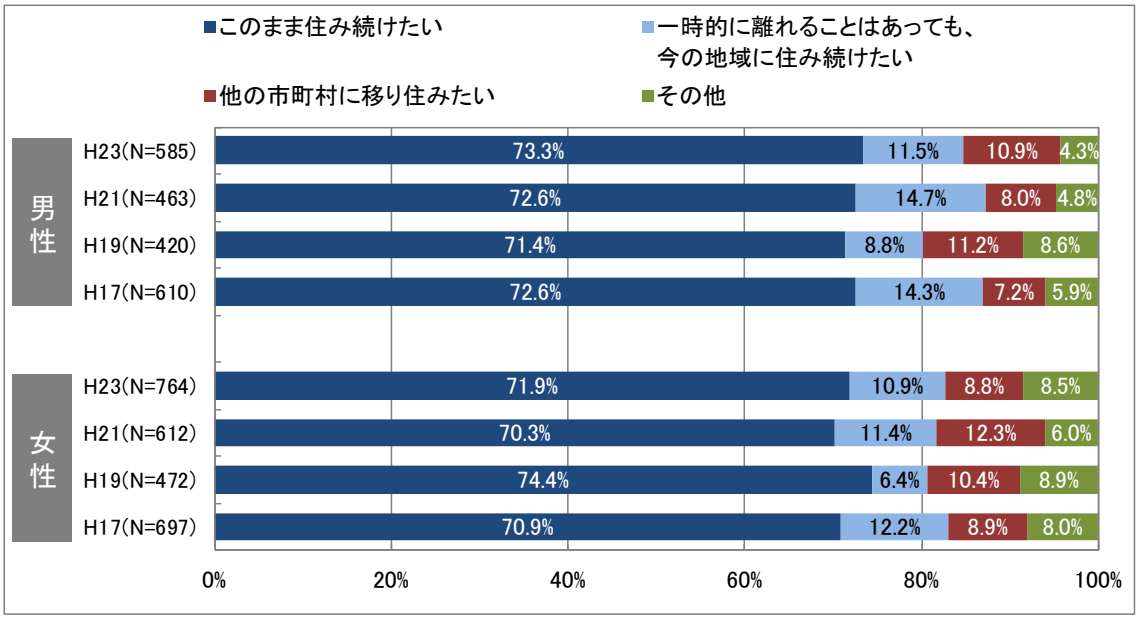
【定住意向の主な理由（H23）】

定住意向	回答数	主な意見
①このままずっと住み続けたい	361 件	◇地元、住み慣れた土地だから。
		◇住みやすい地域であるため。
		◇持ち家、土地があるため
②一時的に離れることはあっても、今の地域で住み続けたい	31 件	◇生まれ育った場所だから。
		◇住みやすいから。
		◇自然環境が良いから。
③他の市町村に移り住みたい	92 件	◇交通が不便であるため、老後が心配。
		◇税金が高い。
		◇買い物が不便であるため、便利のいいところに移りたい。

※詳細は「自由回答一覧」を参照して下さい。

■将来的な定住意向（性別）

・性別による大きな差はみられません。
・男性、女性共に H21 と比べて大きな変化はみられません。

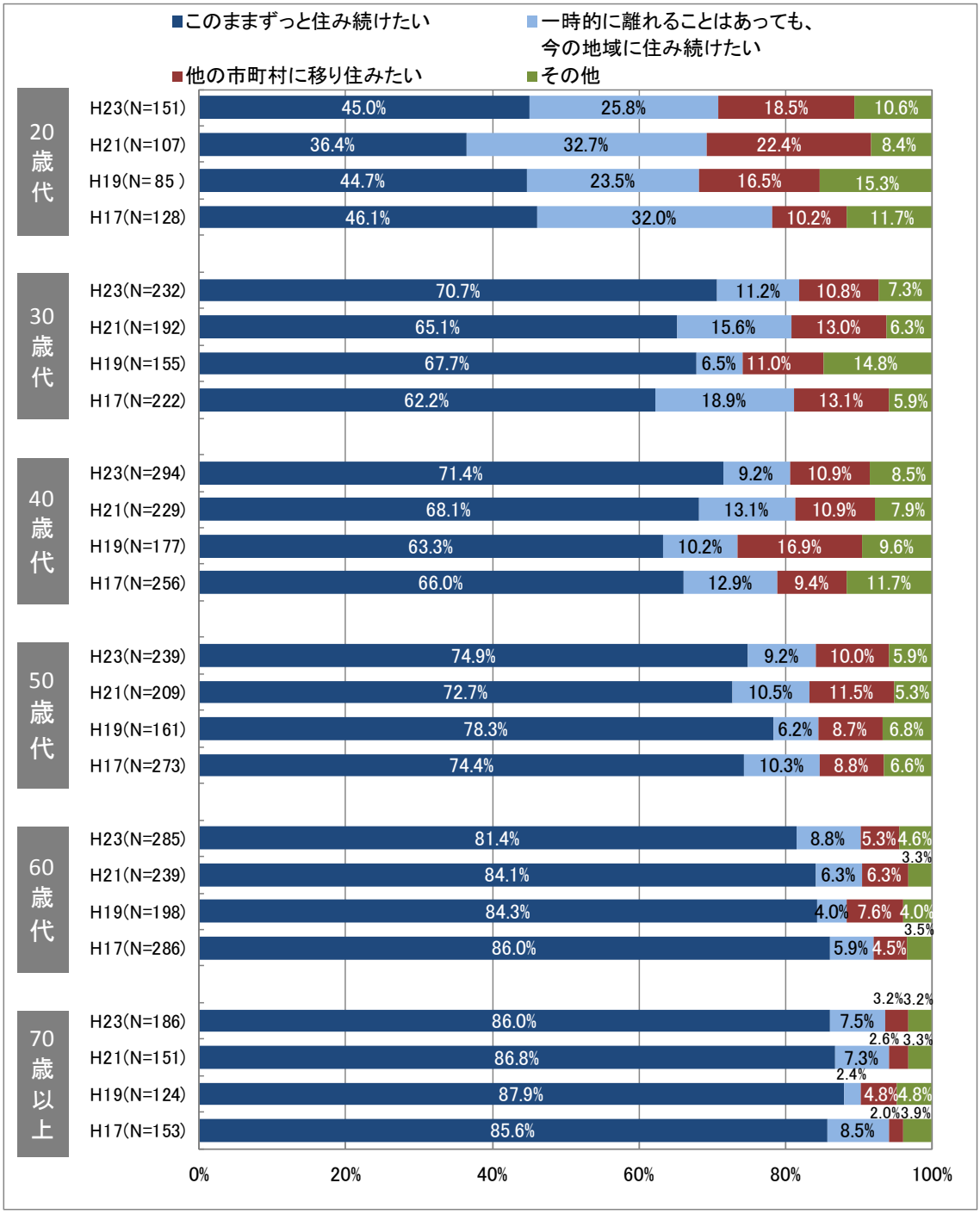


■将来的な定住意向（年代別）

・どの年代においても「このままずっと住み続けたい」が最も多くなっていますが、20 歳代は他の年代と比べて 25 ポイント以上低くなっています。一方で、20 歳代は「一時的に離れることがあっても今の地域に住み続けたい」が 25.8%と、他の年代と比べて 14 ポイント以上高くなっています。

・年代が上がるにつれて「このままずっと住み続けたい」の回答が増加し、「一時的に離れることがあっても今の地域に住み続けたい」や「他の市町村に移り住みたい」が減少しています。

・20～50 歳代は「このままずっと住み続けたい」が H21 と比べ増加していますが、60 歳以上は減少しています

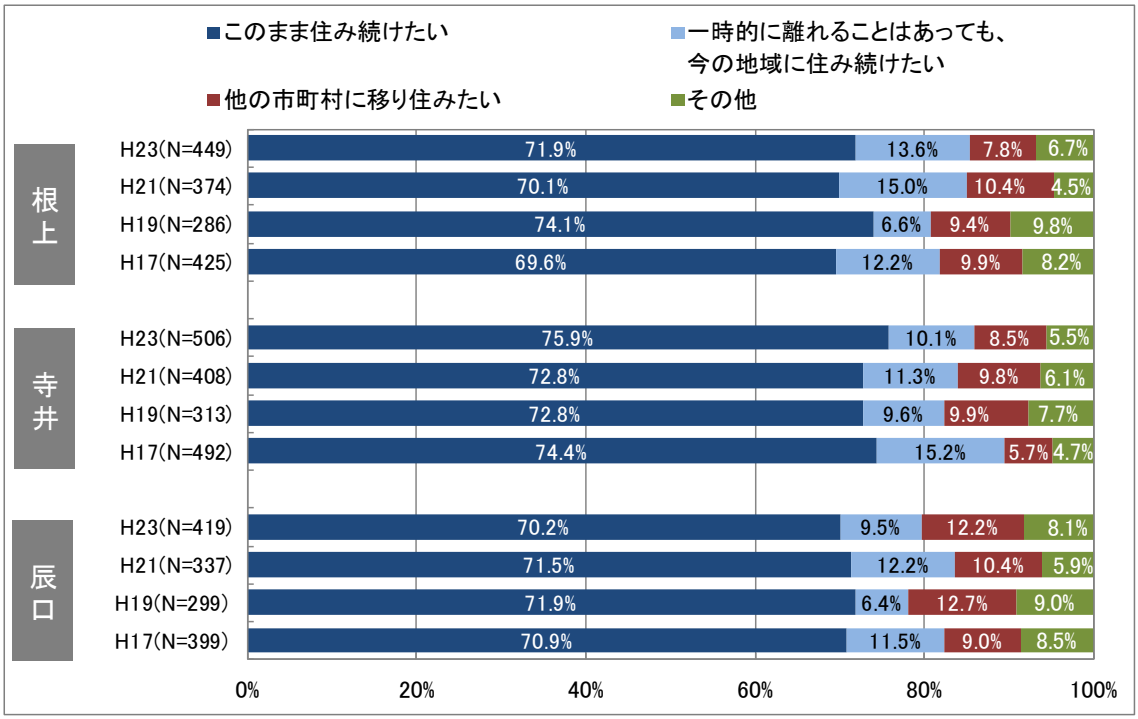


■将来的な定住意向（地区別）

【地区別】

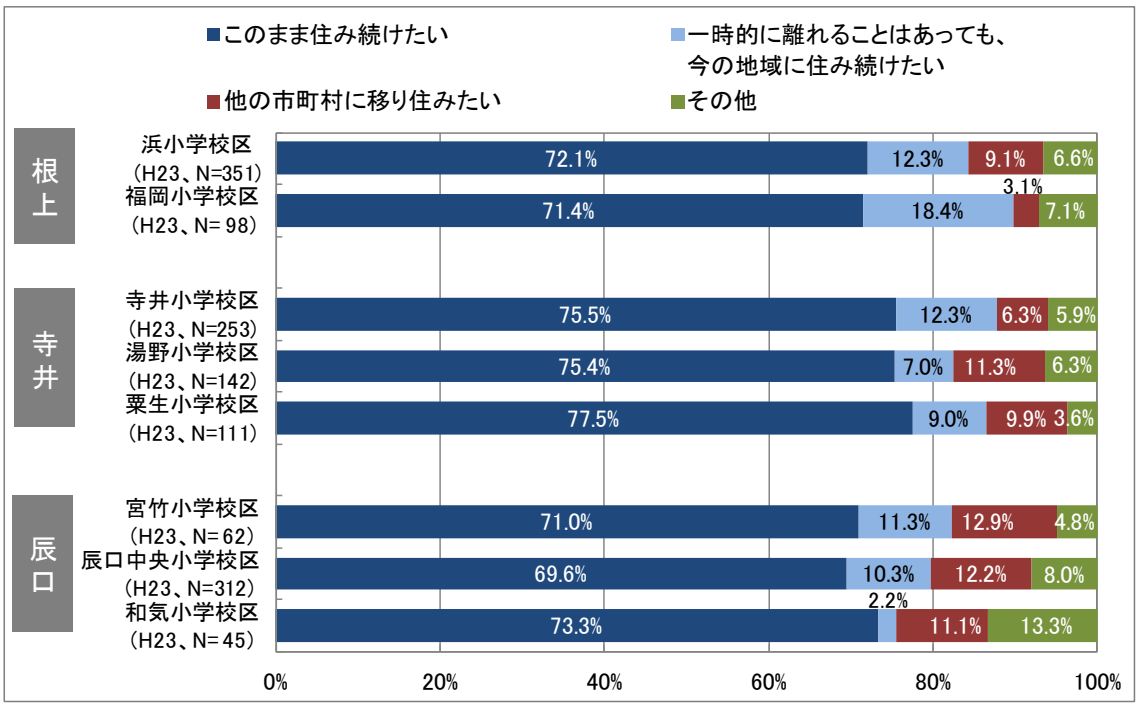
・根上と寺井は、「このまま住み続けたい」と「一時的に離れることはあっても、今の地域に住み続けたい」の合計がそれぞれ 85.5%、86.0%と辰口より５ポイント以上高くなっています。

・H21 と比べて大きな変化はみられません。



【小学校区別】

・福岡小学校区、寺井小学校区、粟生小学校区は「このまま住み続けたい」と「一時的に離れることはあっても、今の地域に住み続けたい」の合計が約９割となっています。



問 14　能美市に定住した主なきっかけは何ですか？（当てはまるもの全てに○）

※H21 に追加した設問

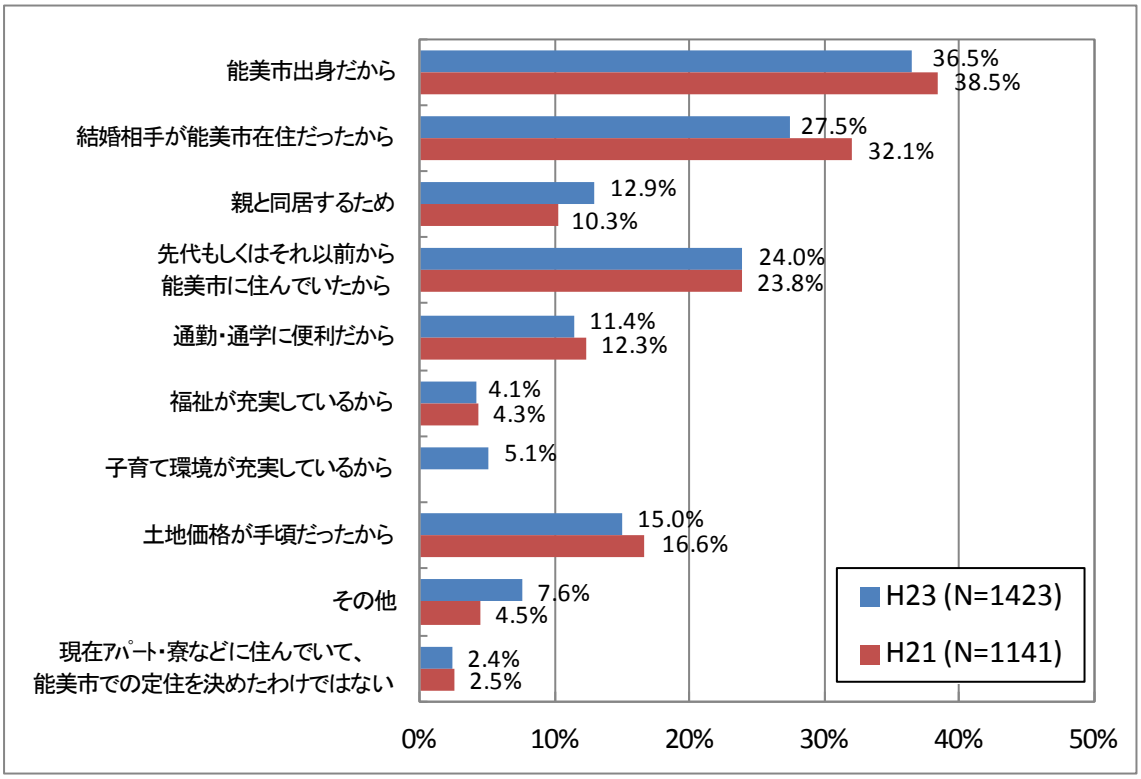
◆「能美市出身だから」が 36.5%と最も多く、次いで「結婚相手が能美市在住だったから」27.5%、「先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから」24.0%となっています。

◆H21 に比べると、「親と同居するため」「その他」を除き、全体的にポイントが低くなっています。

選択項目	H23（今回）		H21	
	回答数	構成比	回答数	構成比
能美市出身だから	519	36.5%	439	38.5%
結婚相手が能美市在住だったから	391	27.5%	366	32.1%
親と同居するため	184	12.9%	117	10.3%
先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから	341	24.0%	272	23.8%
通勤・通学に便利だから	162	11.4%	140	12.3%
福祉が充実しているから	59	4.1%	49	4.3%
子育て環境が充実しているから	73	5.1%	－	－
土地価格が手頃だったから	213	15.0%	189	16.6%
その他	108	7.6%	51	4.5%
現在アパート・寮などに住んでいて、能美市での定住を決めたわけではない	34	2.4%	29	2.5%
無回答	30	－	33	－
回答数	2114	148.6%	1685	147.7%
回答者数	1423	100.0%	1141	100.0%

その他：　仕事のため（22）、親や子ども・親戚の近くに住むため(12)、自然環境が良いから（10）、住環境がいいから（8）、親戚や知人に勧められたから（4）、土地があったから（4）、手頃な借家があったから(4)、子どもと同居するため(3)、親が家を買ってくれたから(3)、結婚相手の通勤が便利だから(3)、叔母と同居するため、アーティスト村があったため、知り合いが能美市に住んでいたから、子どもたちが生まれた所だから、富山から引っ越してきて知ってる土地が能美市だったから、加賀市の生まれ育ちだが、辰口の職場に通ううちに辰口が大好きになったから　など

※（　）：回答者数



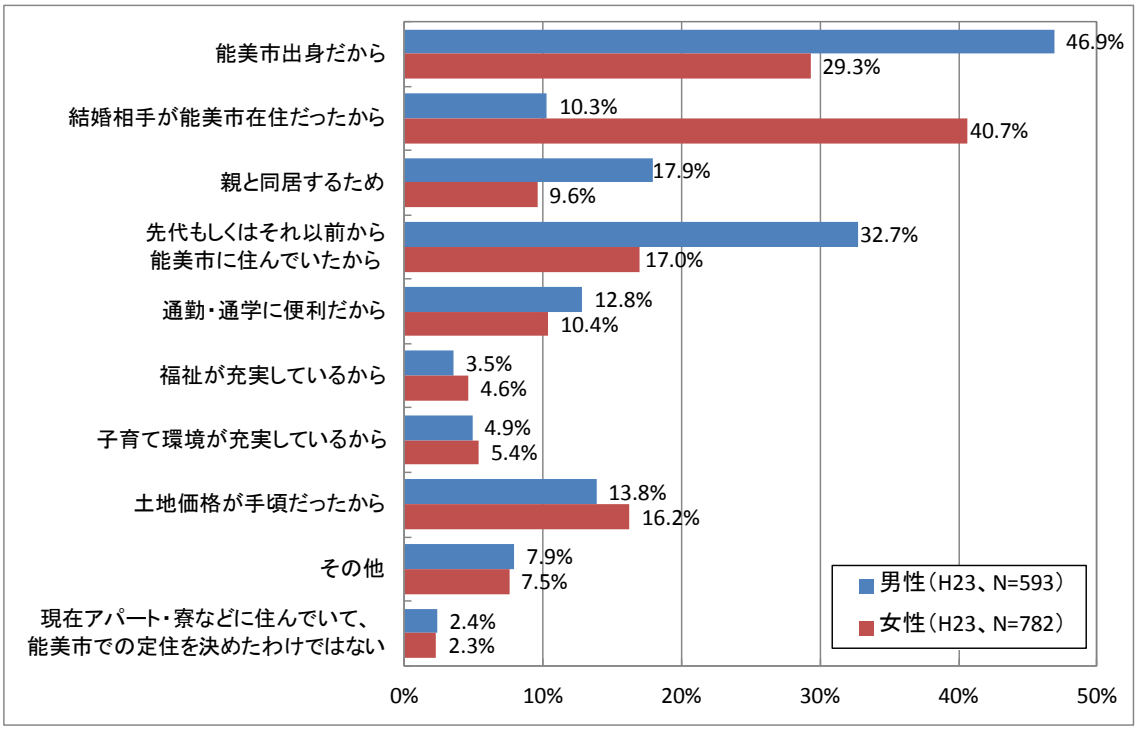
※「子育て環境が充実しているから」は、H21 は調査項目なし

■能美市に定住した主なきっかけ（性別）

【今回（H23）】

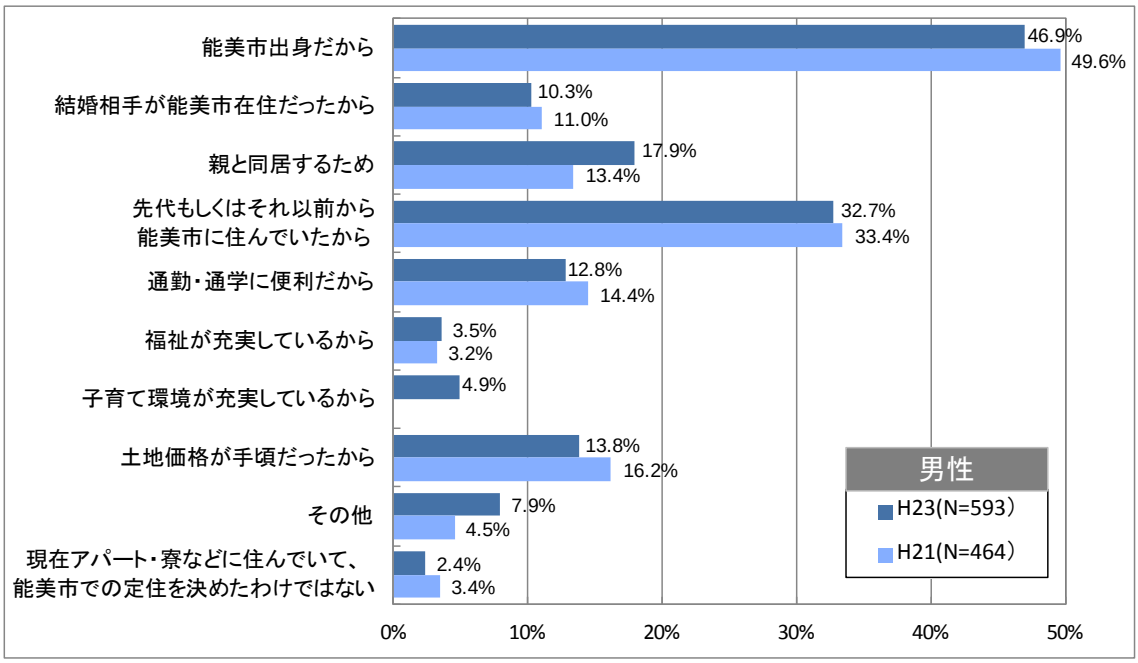
・男性は「能美市出身だから」が 46.9%と最も多く、女性より約 18 ポイント高くなっており、次いで「先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから」が 32.7%と多く、女性より約 16 ポイント高くなっています。さらに男性の「親と同居するため」が 17.9%と、女性より約８ポイント高くなっています。

・女性は「結婚相手が能美市在住だったから」が 40.7%と最も多く、男性より約 30 ポイント高くなっています。

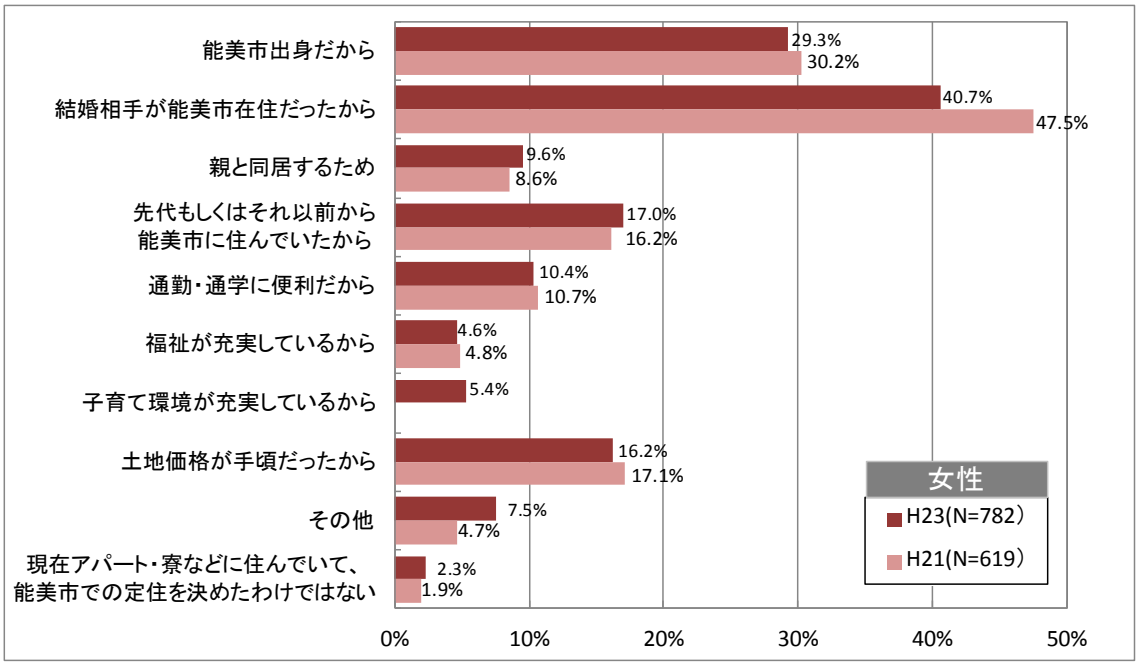


【経年変化】

・男性は、H21 と比べて大きな変化はみられません。
・女性は、「結婚相手が能美市出身だから」が H21 と比べて約 7 ポイント減少しています。



※「子育て環境が充実しているから」は、H21 は調査項目なし



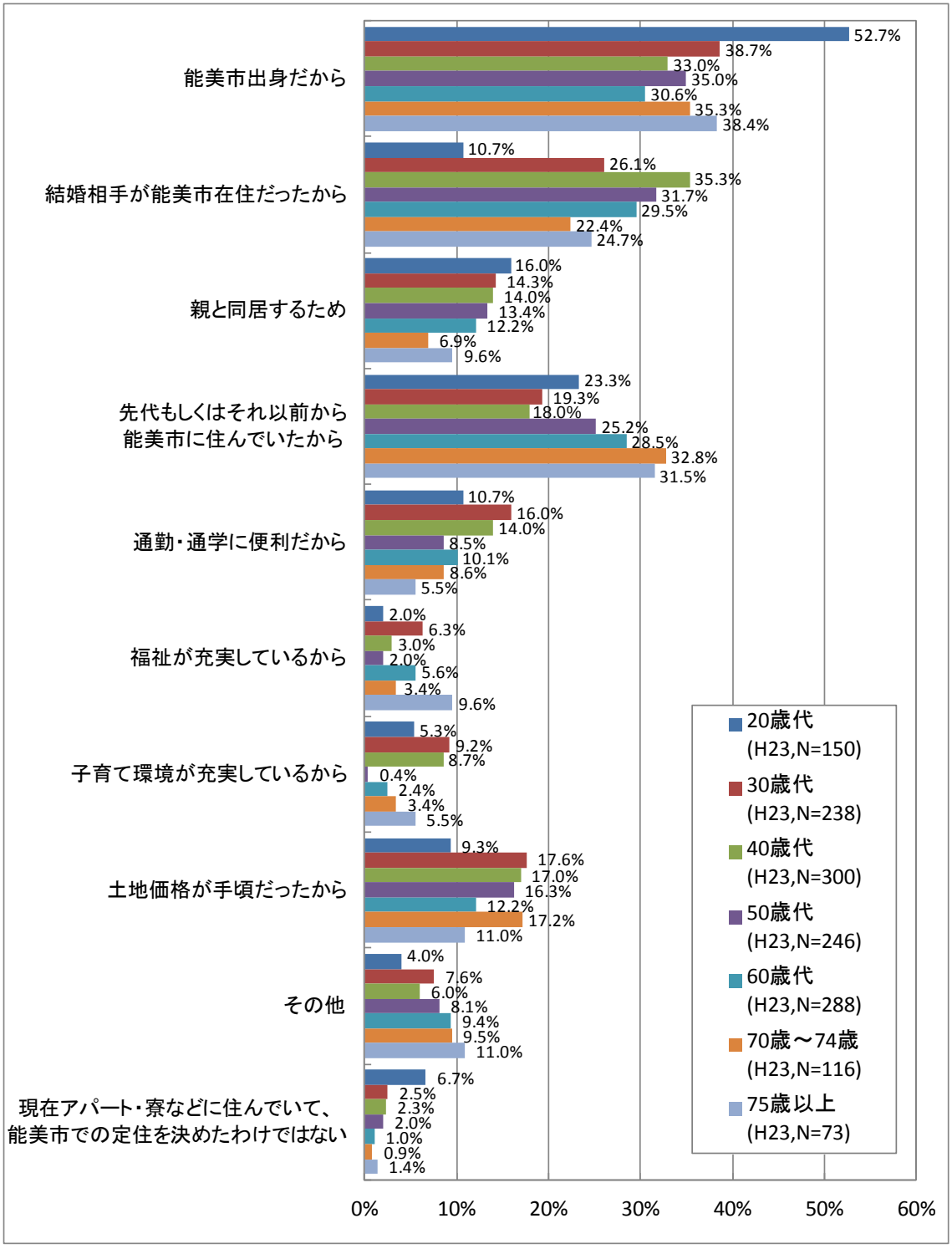
※「子育て環境が充実しているから」は、H21 は調査項目なし

■能美市に定住した主なきっかけ（年代別）

【今回（H23）】

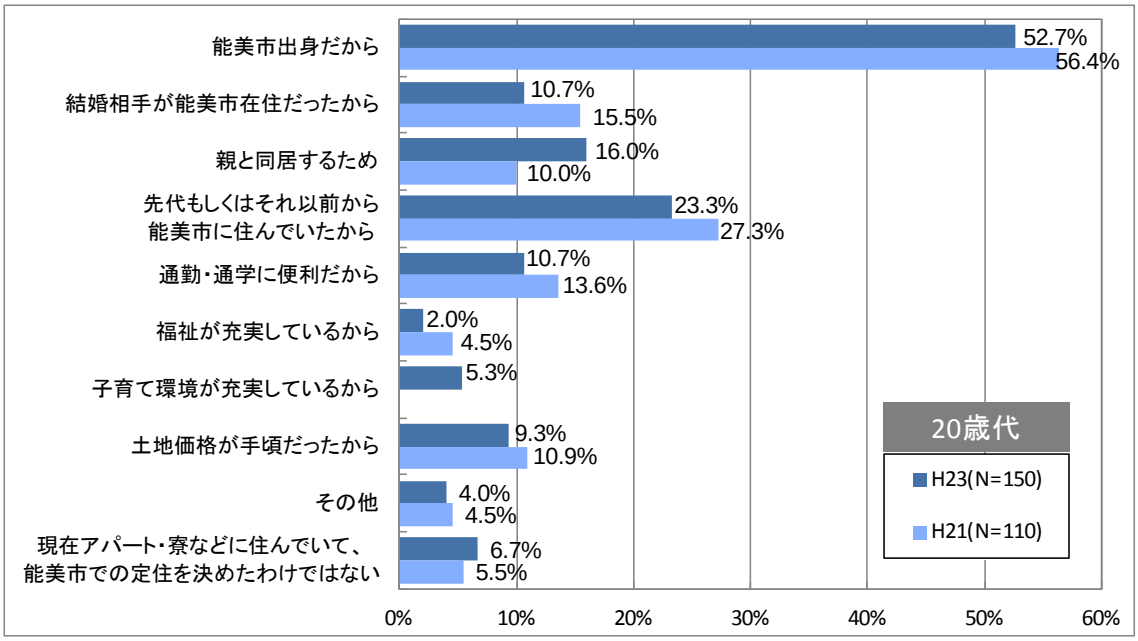
・20 歳代は「能美市出身だから」が 52.7%と他の年代よりも 14 ポイント以上高くなっています。一方で「結婚相手が能美市在住だったから」が他の年代よりも 11 ポイント以上低くなっています。

・50 歳以上は「先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから」が比較的高くなっており、また 30～40 歳は「通勤・通学に便利だから」「子育て環境が充実しているから」が比較的高くなっています。

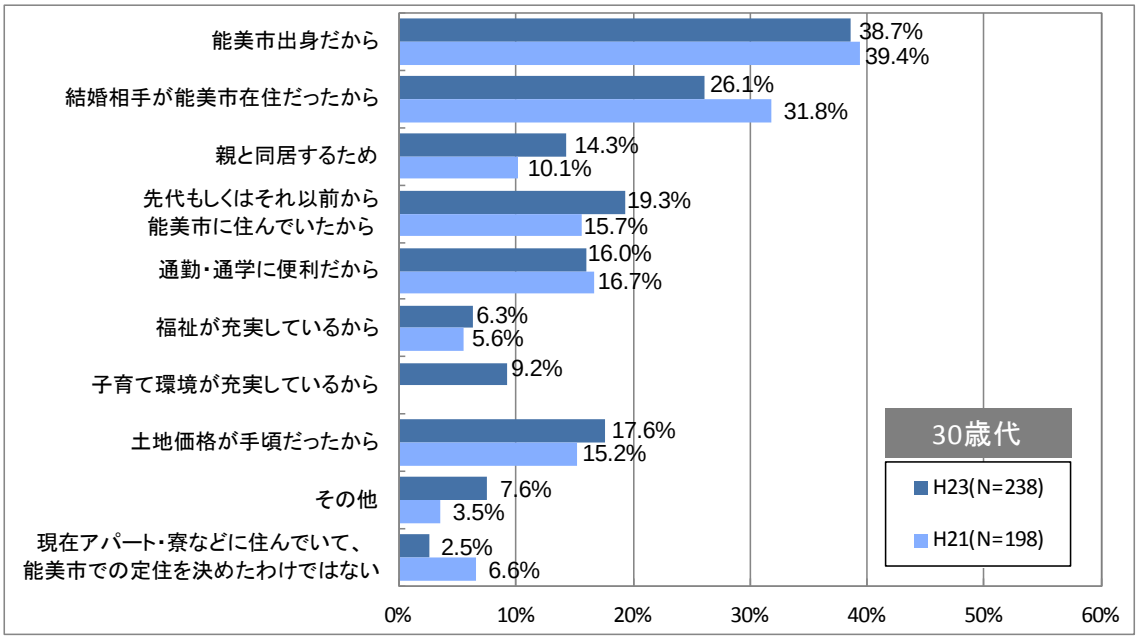


【経年変化】

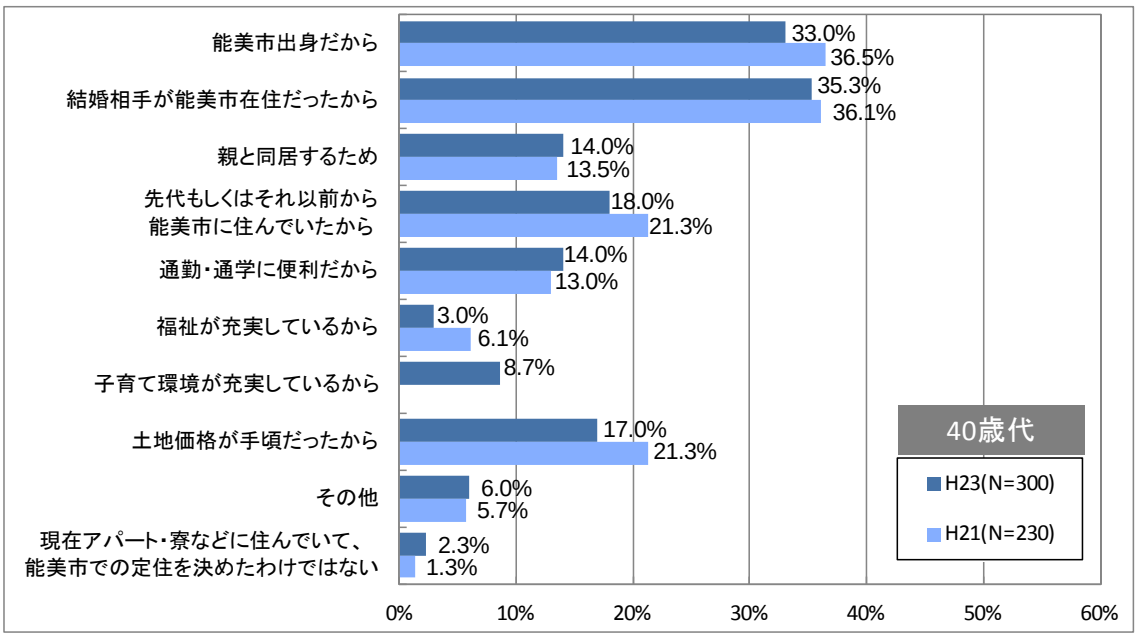
・全ての年代で「能美市出身だから」「結婚相手が能美市在住だったから」が減少し、「親と同居するため」が増加しています。
・30 歳代、70 歳以上は「土地価格が手頃だったから」増加していますが、他の年代では減少しています。



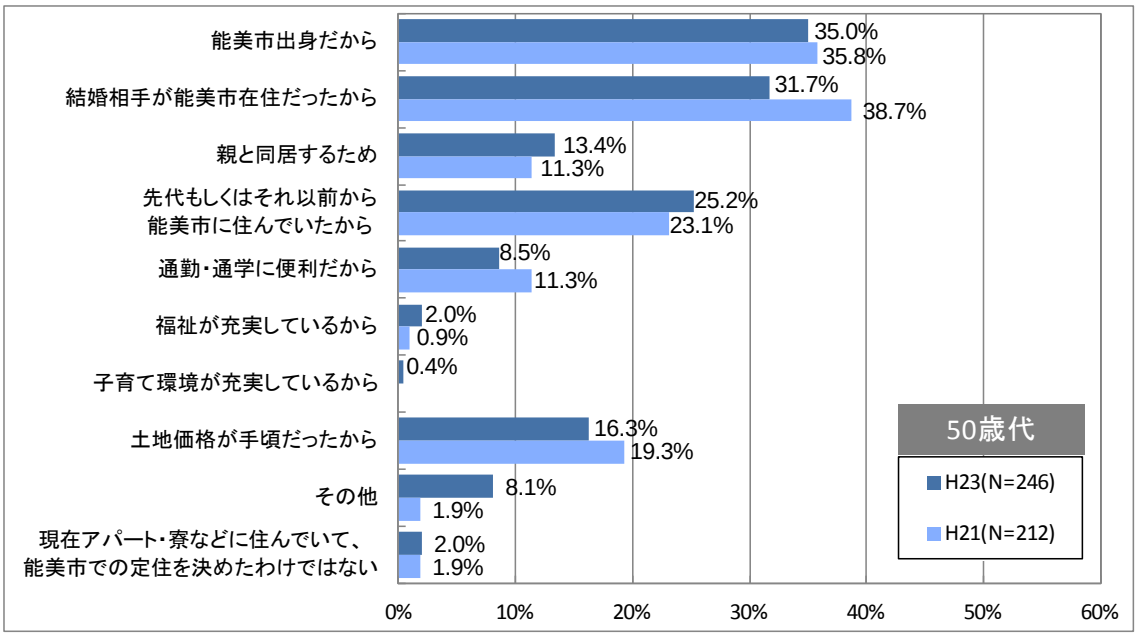
※「子育て環境が充実しているから」は、H21 は調査項目なし



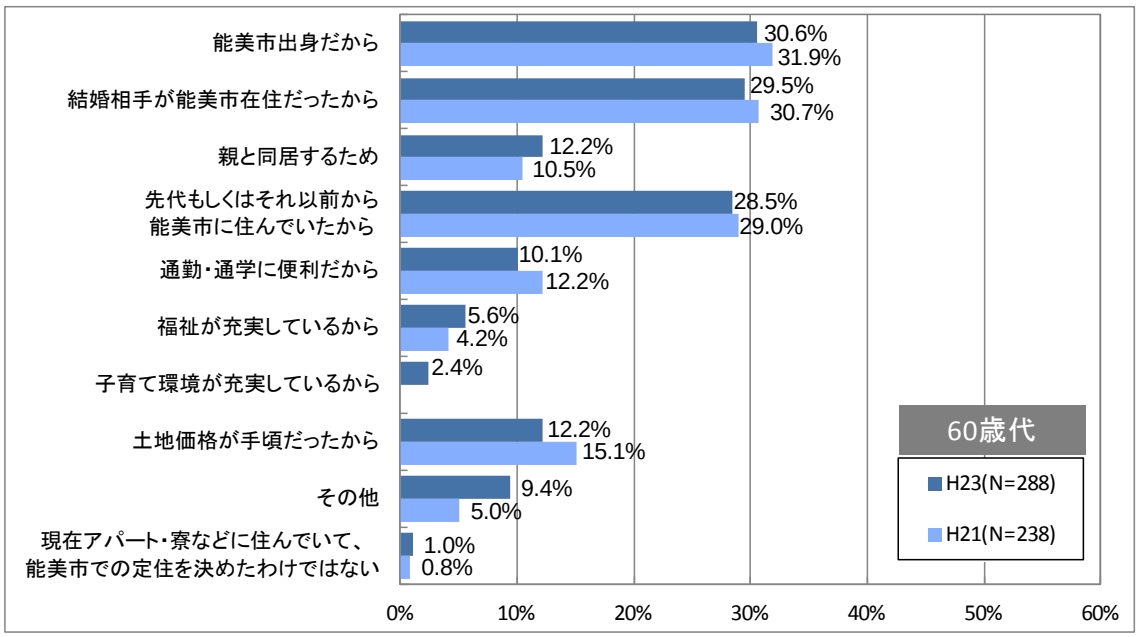
※「子育て環境が充実しているから」は、H21 は調査項目なし



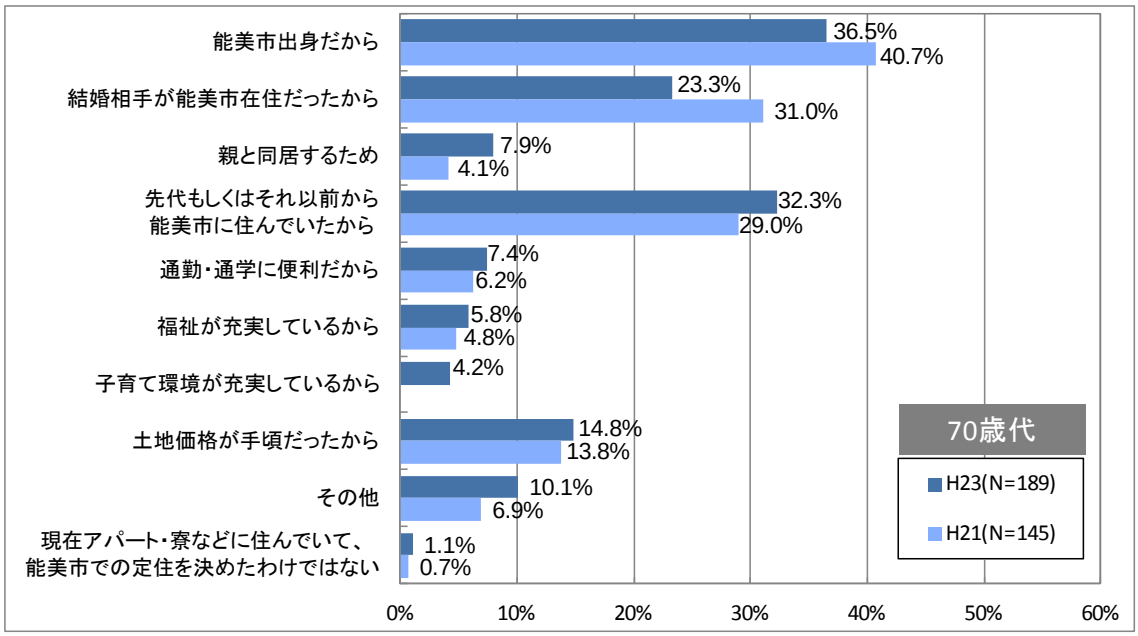
※「子育て環境が充実しているから」は、H21 は調査項目なし



※「子育て環境が充実しているから」は、H21 は調査項目なし



※「子育て環境が充実しているから」は、H21 は調査項目なし



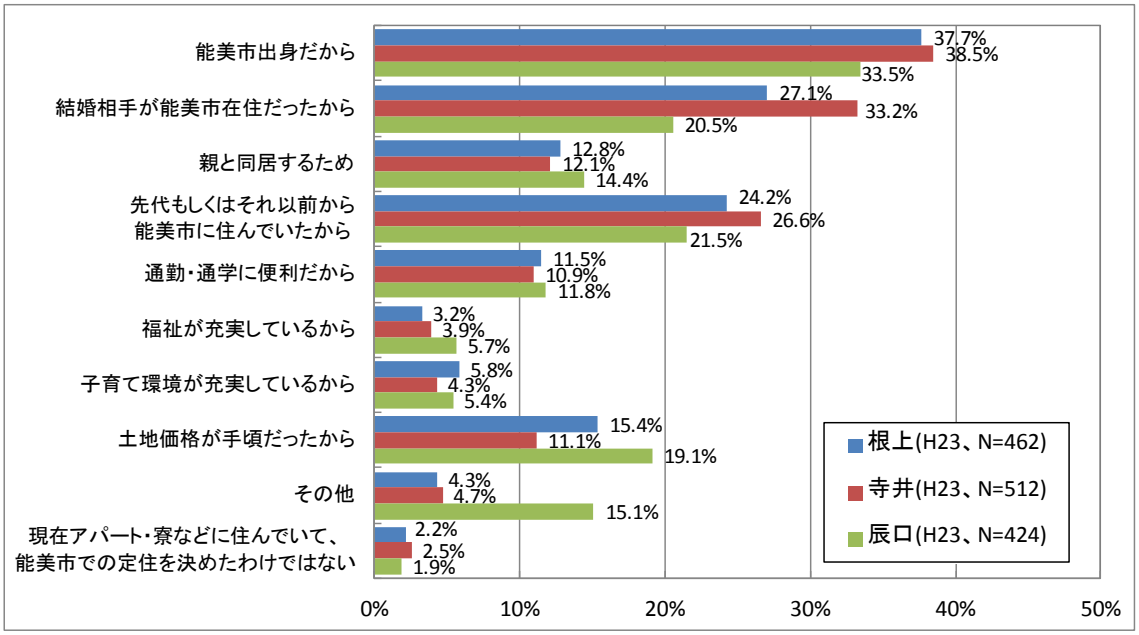
※「子育て環境が充実しているから」は、H21 は調査項目なし

■能美市に定住した主なきっかけ（地区別）

【今回（H23）】

・寺井は「結婚相手が能美市在住だったから」が 33.2%と他の地区より６ポイント以上高くなっています。

・辰口は「その他（転勤のため、自然環境が良かったから など」が 15.1%と他の地区より 10 ポイント以上高くなっています。

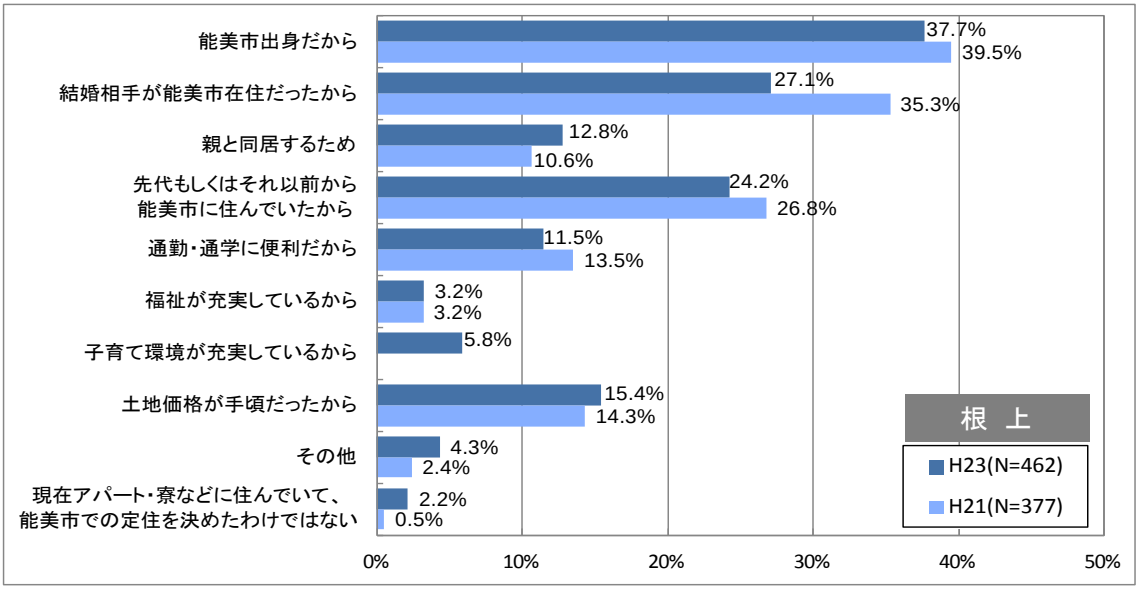


【経年変化】

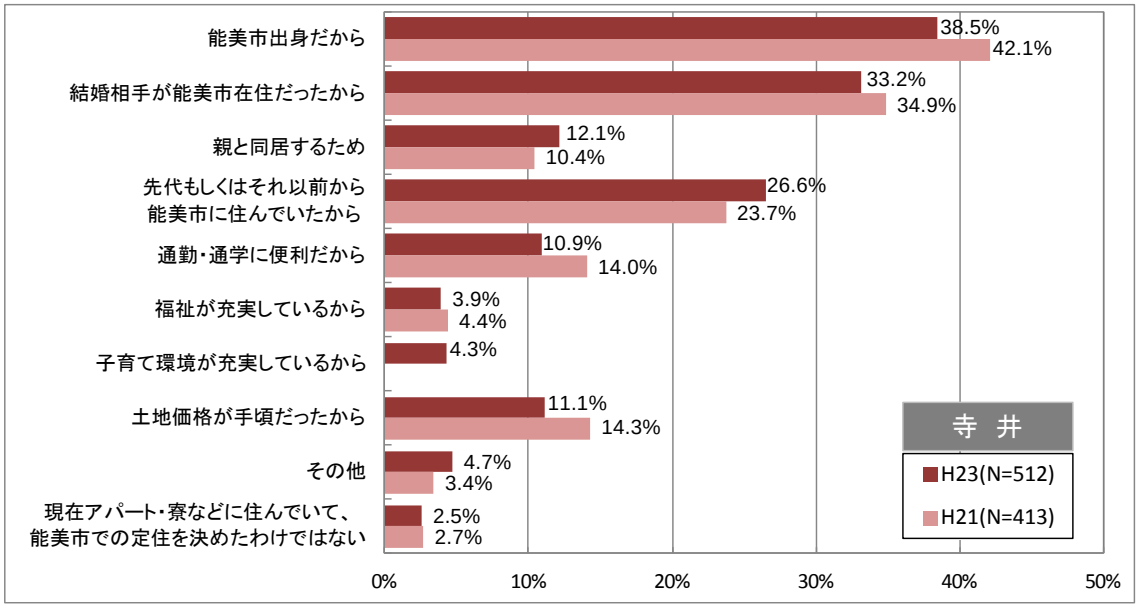
・根上は「結婚相手が能美市在住だったから」が 27.1%と H21 と比べて約８ポイント減少しています。

・寺井は H21 と比較して大きな変化はみられません。

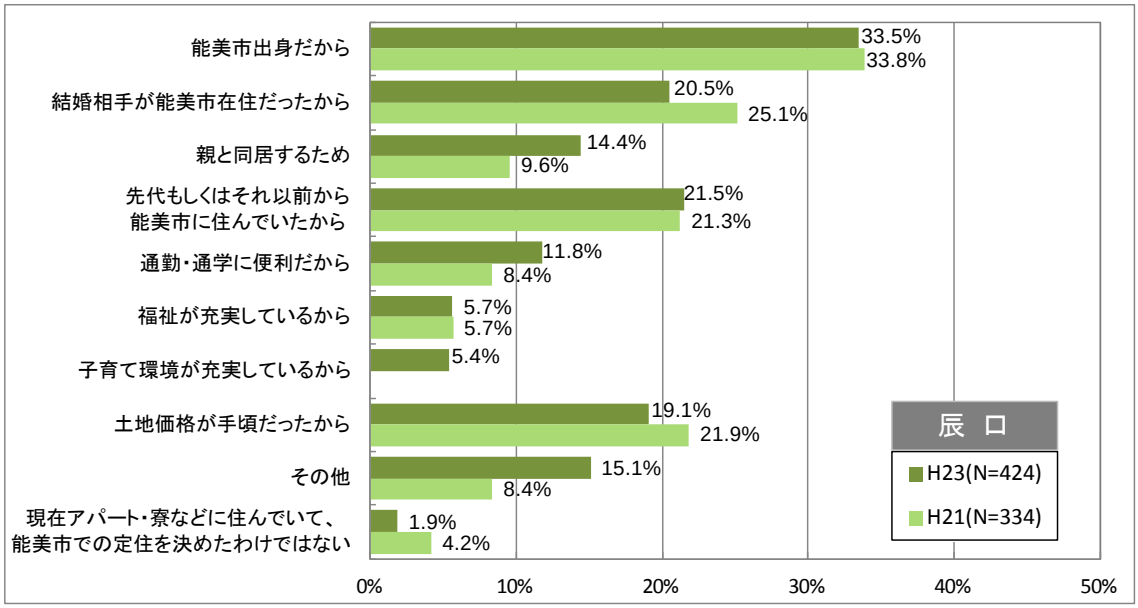
・辰口は「その他（転勤のため、自然環境が良かったから など)」が 15.1%と H21 と比べて約７ポイント増加しています。



※「子育て環境が充実しているから」は、H21 は調査項目なし



※「子育て環境が充実しているから」は、H21 は調査項目なし

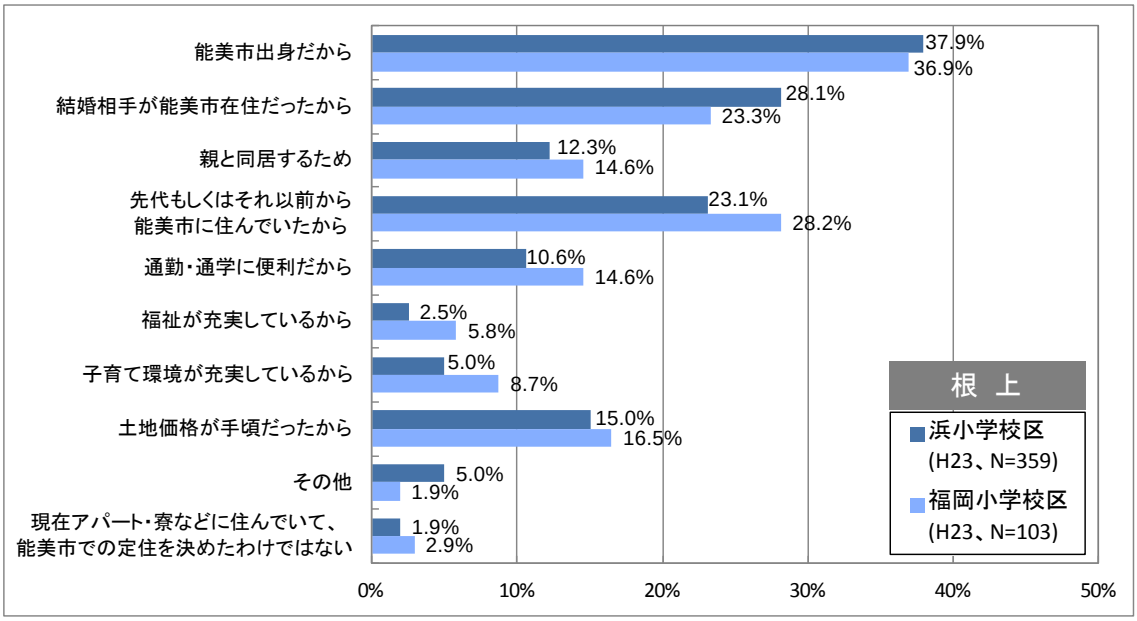


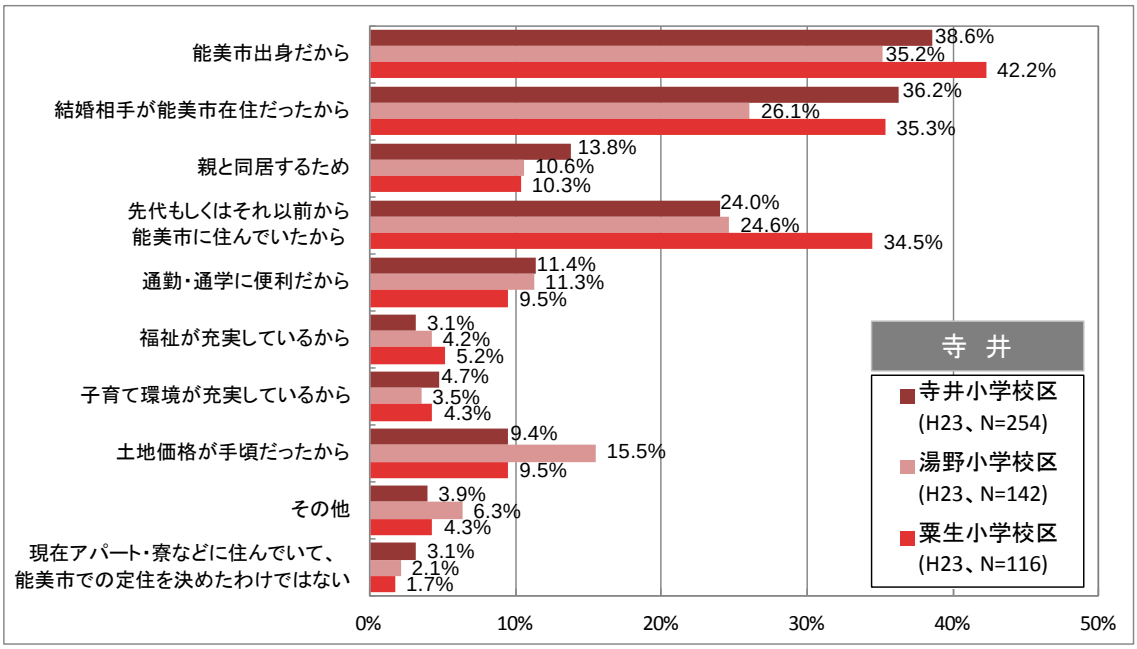
※「子育て環境が充実しているから」は、H21 は調査項目なし

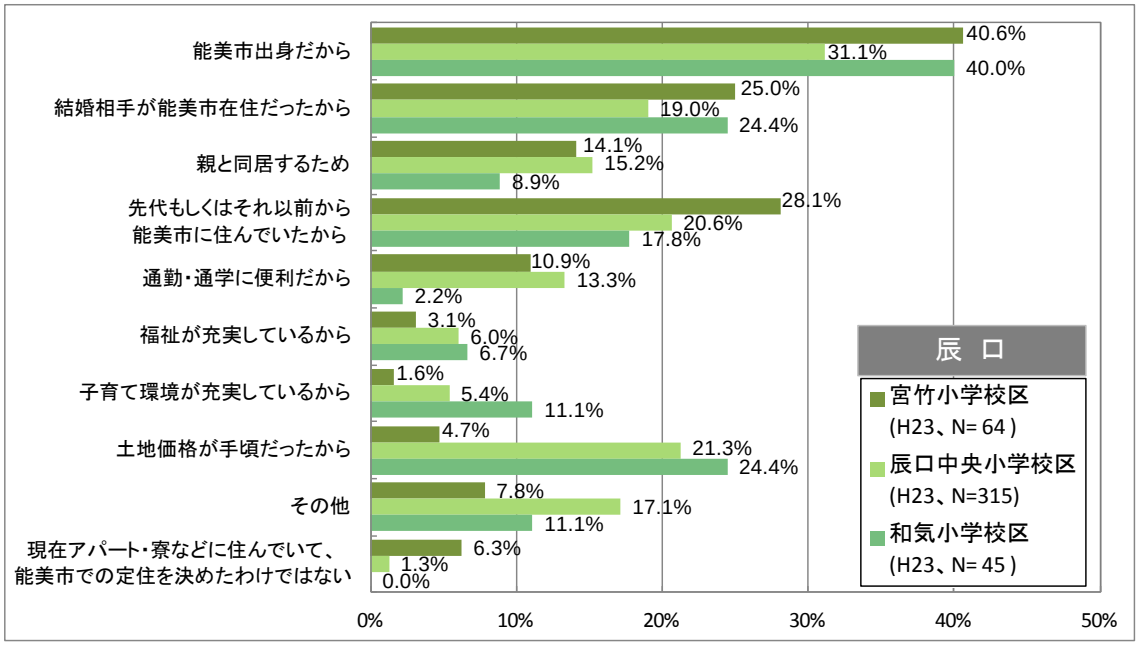
【小学校区別】

・全ての小学校区で「能美市出身だから」が最も多くなっていますが、辰口中央小学校区は約３割、それ以外の小学校区は約４割となっており、辰口中央小学校区は他と比べて低くなっています。

・寺井小学校区と粟生小学校区は、「結婚相手が能美市在住だったから」が約４割と多くなっています。また、粟生小学校区は、「先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから」も約４割と多くなっています。

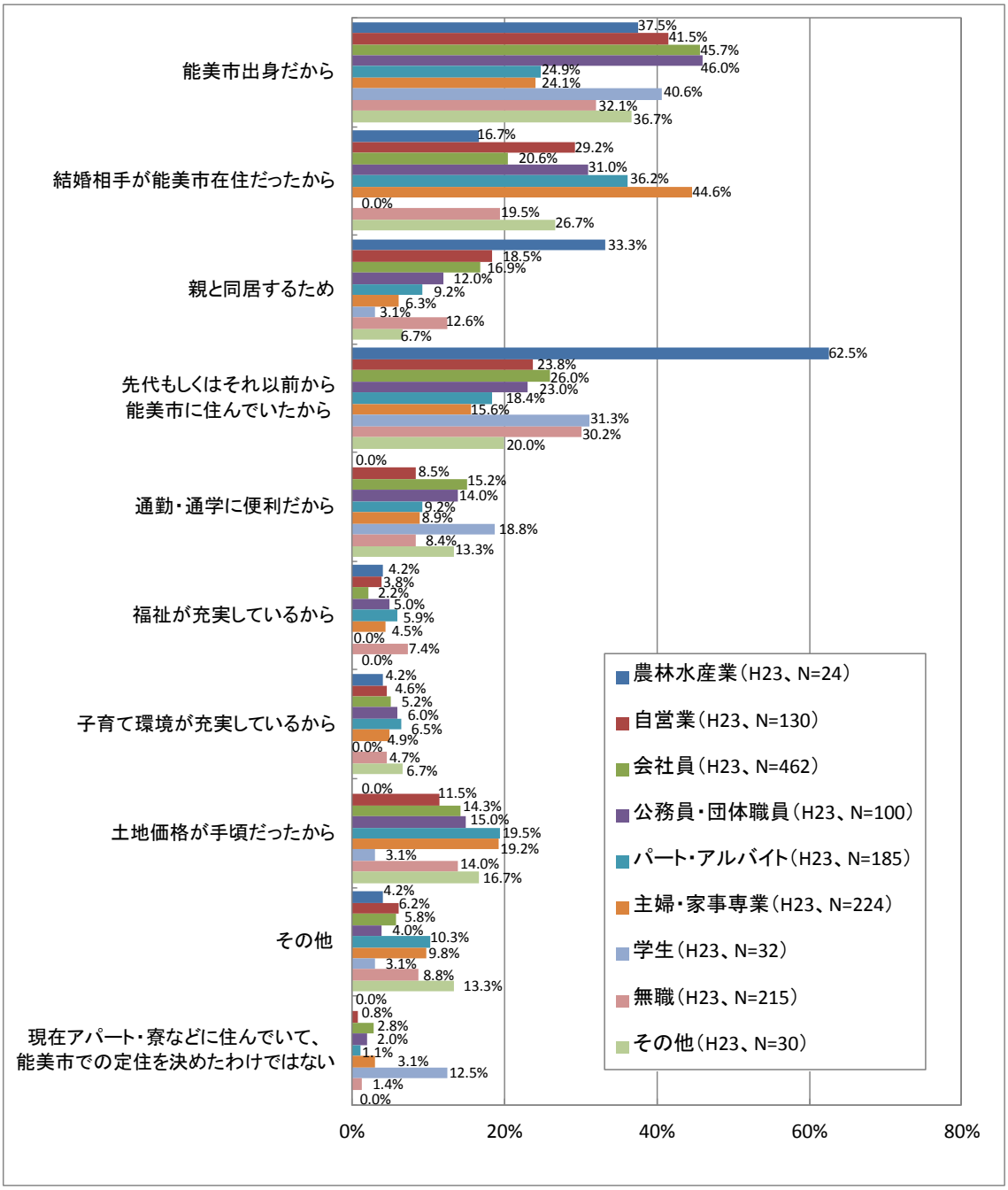





能美市出身だから
40.6%
31.1%
40.0%
結婚相手が能美市在住だったから
25.0%
19.0%
24.4%
親と同居するため
14.1%
15.2%
8.9%
先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから
28.1%
20.6%
17.8%
通勤・通学に便利だから
10.9%
13.3%
2.2%
福祉が充実しているから
3.1%
6.0%
6.7%
子育て環境が充実しているから
1.6%
5.4%
11.1%
土地価格が手頃だったから
4.7%
21.3%
24.4%
その他
7.8%
17.1%
11.1%
現在アパート・寮などに住んでいて、能美市での定住を決めたわけではない
6.3%
1.3%
0.0%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
辰　口
宮竹小学校区 (H23、N= 64)
辰口中央小学校区 (H23、N=315)
和気小学校区 (H23、N= 45)

■能美市に定住した主なきっかけ（職業別）

・農林水産業は「先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから」が最も多く、他の職業より 36 ポイント以上高くなっています。また、「親と同居するため」が他の職業より 15 ポイント以上高くなっています。
・自営業、会社員、公務員・団体職員、学生、無職は「能美市出身だから」が最も多くなっています。
・パート・アルバイト、主婦・家事専業は「結婚相手が能美市在住だったから」が最も多くなっています。



問 15　能美市に定住することは、他の市町村に比べどんな点に魅力を感じますか？（当てはまるもの全てに○）

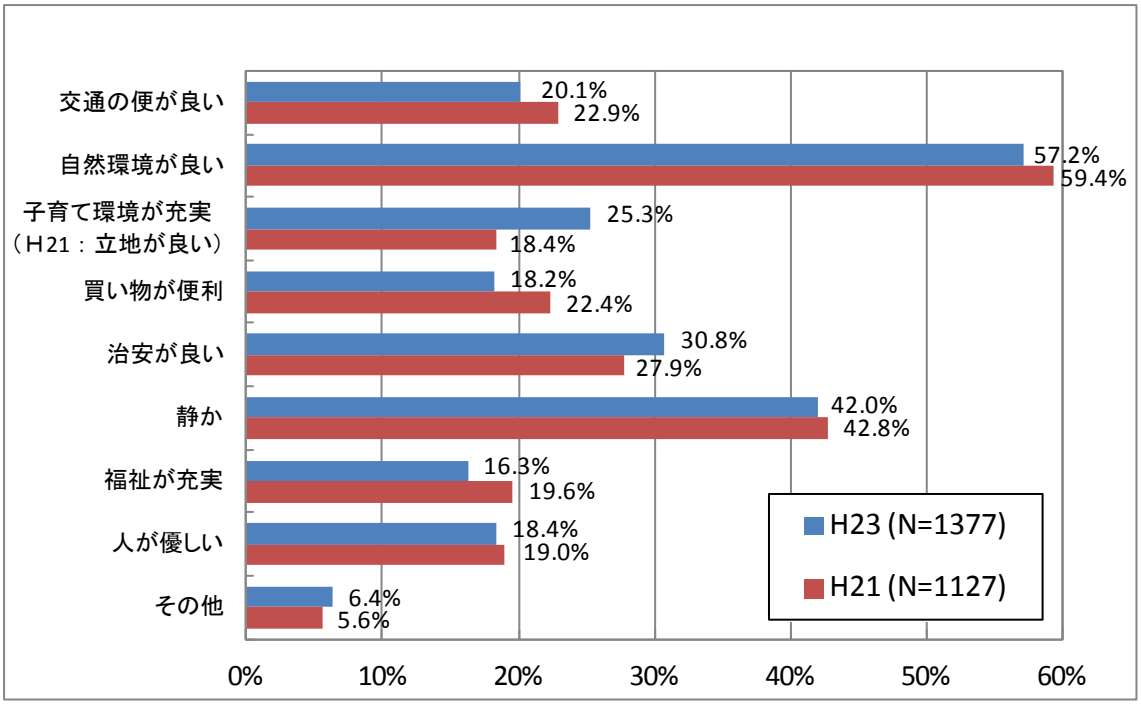
※H21 に追加した設問

◆「自然環境が良い」が 57.2%と最も多く、次いで「静か」42.0%、「治安が良い」30.8%となっています。

選択項目	H23（今回）		H21	
	回答数	構成比	回答数	構成比
交通の便が良い	277	20.1%	258	22.9%
自然環境が良い	787	57.2%	669	59.4%
子育て環境が充実（H21：立地が良い）	349	25.3%	207	18.4%
買い物が便利	251	18.2%	252	22.4%
治安が良い	424	30.8%	314	27.9%
静か	579	42.0%	482	42.8%
福祉が充実	224	16.3%	221	19.6%
人が優しい	253	18.4%	214	19.0%
その他	88	6.4%	63	5.6%
無回答	76	－	47	－
回答数	3308	240.2%	2727	242.0%
回答者数	1377	100.0%	1127	100.0%

その他：　なし(20)、地元だから(9)、わからない(7)、通勤に便利(3)、医療が充実(3)、住めば都(2)、災害が少ない(2)、スポーツ環境が良い、芸術関係者が多い、子どもの通学に便利、慣習、楽、人口が少ない、土地が安い、粗大ゴミ、ゴミ処理が無料、教育が良い、渋滞がない、知人や友人が近くにいる、怖い事件が少ない、辰口役場の方がとても親切、多くの工場があり働く場所がある　など

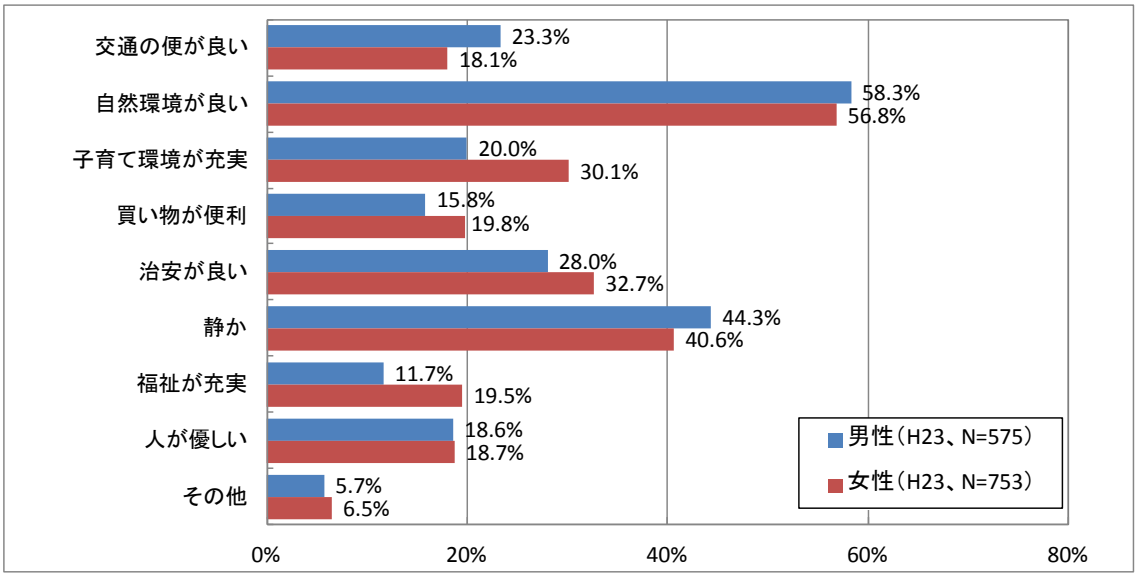
※（ ）：H23 における回答者数



■能美市に定住することの魅力（性別）

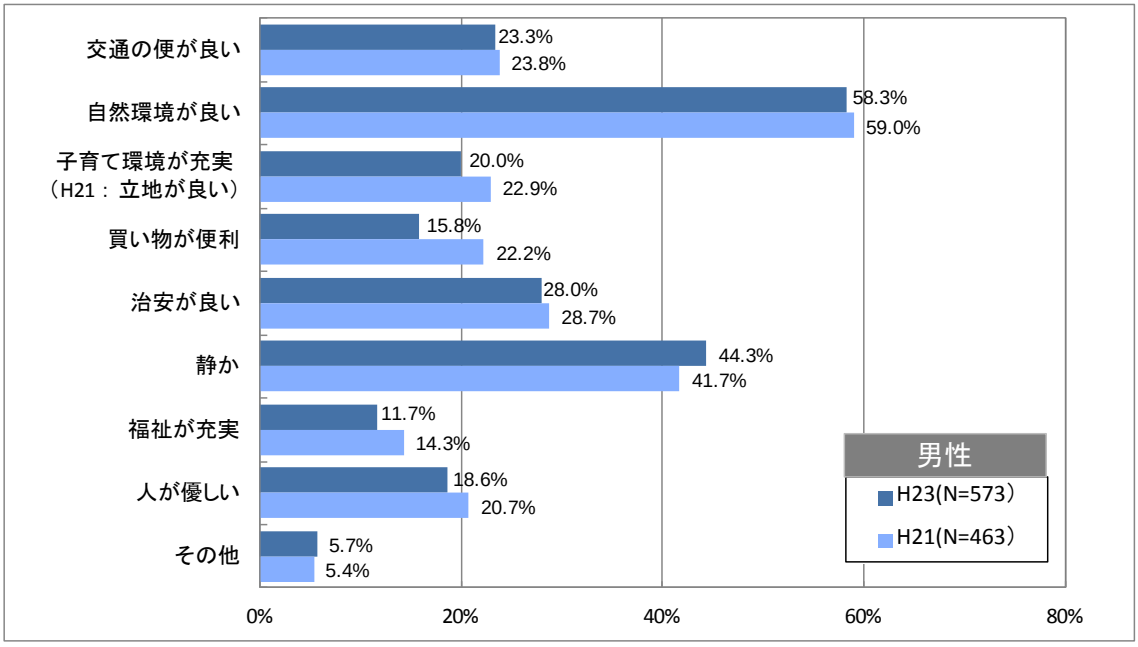
【今回（H23）】

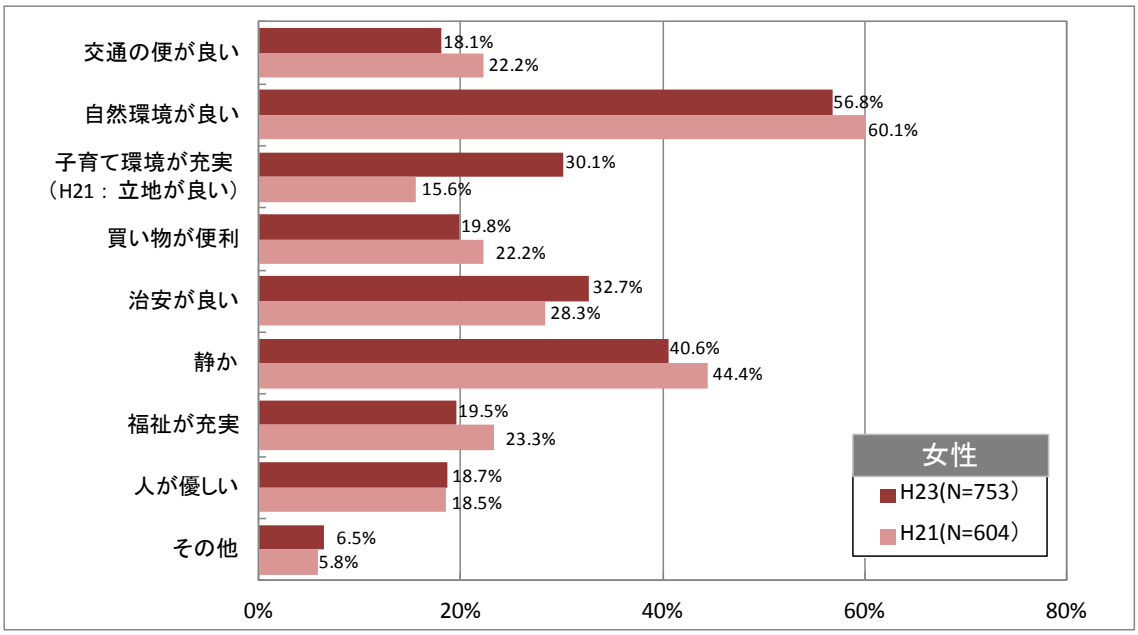
・男性は「交通の便が良い」が 23.3%と、女性より約５ポイント高くなっています。
・女性は「子育て環境が充実」が 30.1%と、男性より約 10 ポイント高くなっており、また、「福祉が充実」が 19.5%と、男性より約８ポイント高くなっています。



【経年変化】

・男性は、「買い物が便利」が 15.8%と約 6 ポイント低くなっています。
・女性は、H21 と比べて大きな変化はみられません。

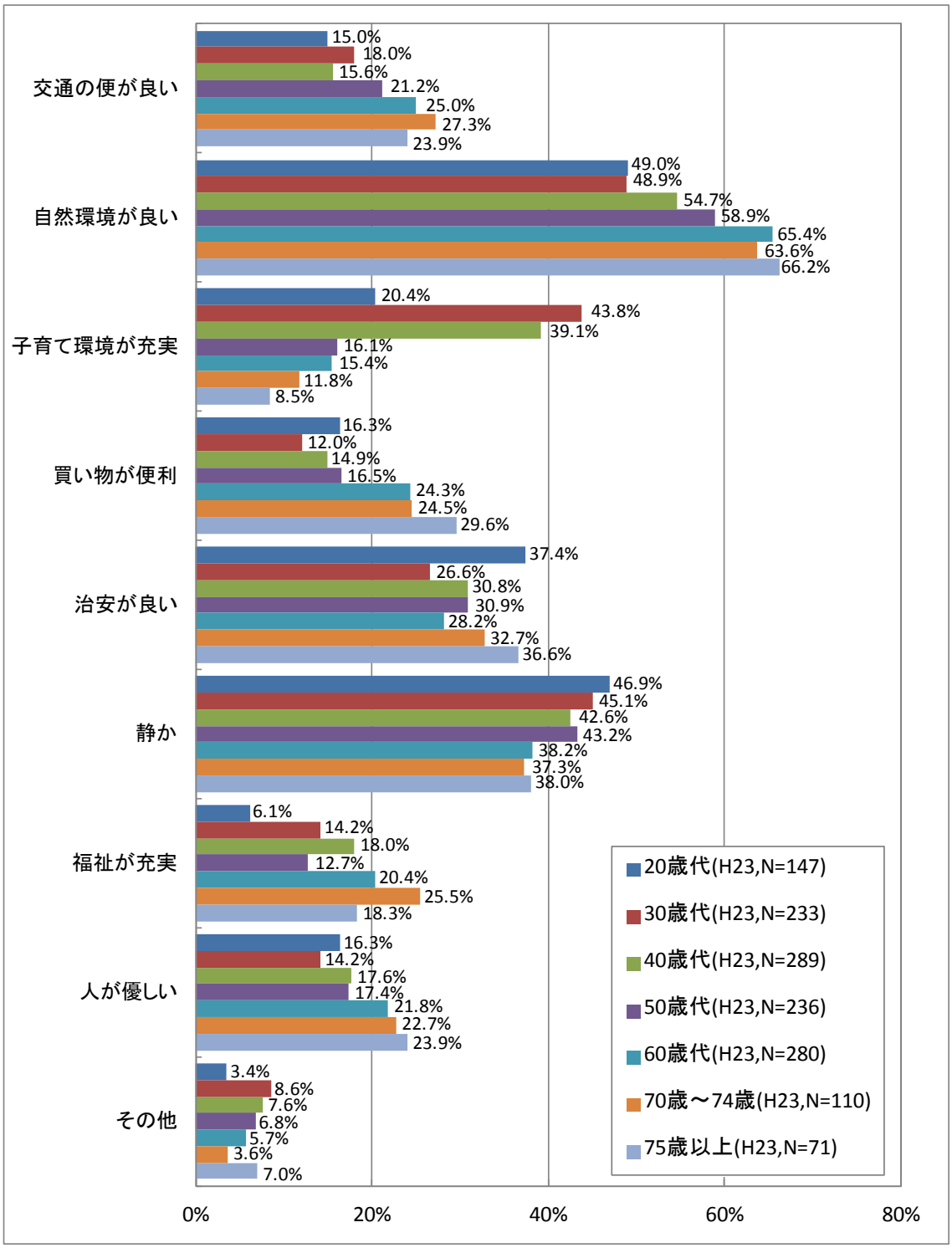




■能美市に定住することの魅力（年代別）

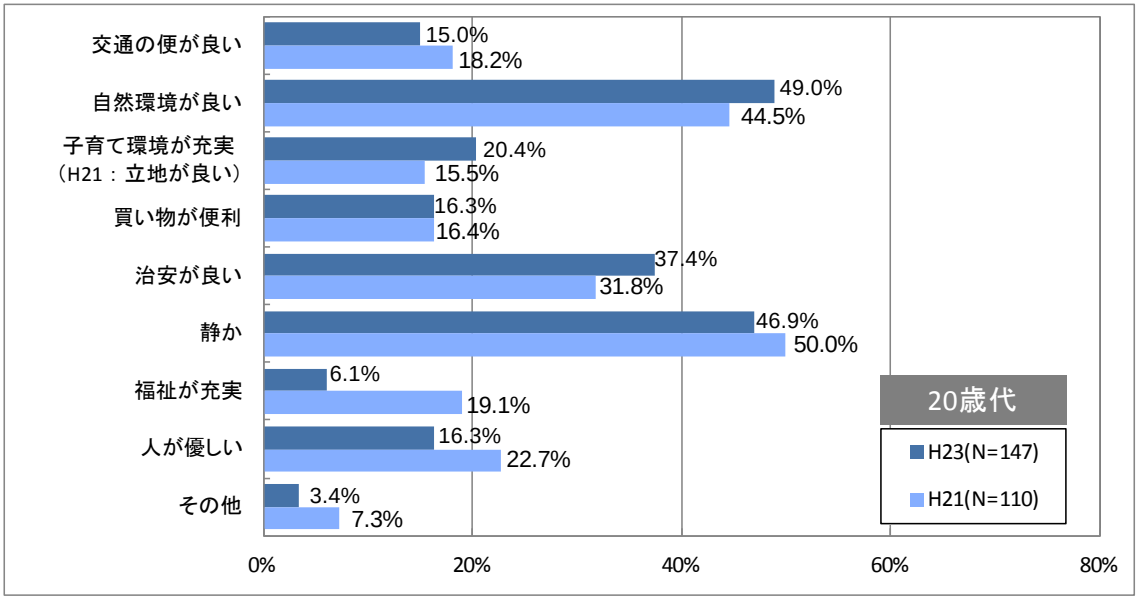
【今回（H23）】

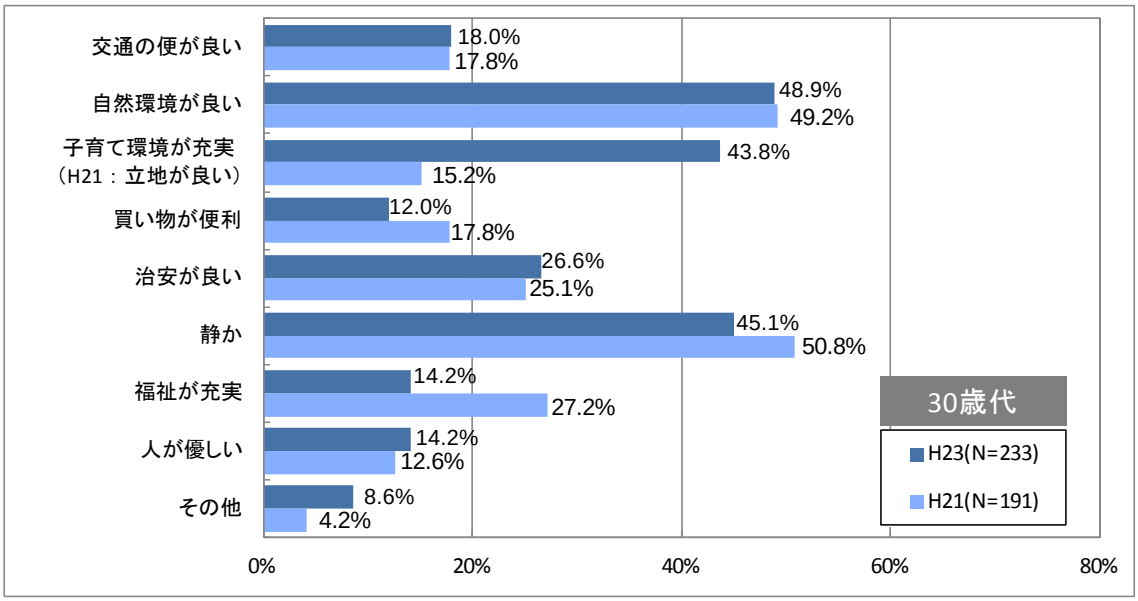
・どの年代も「自然環境が良い」が最も多くなっており、次いで「静か」が多くなっています。
・30～40 歳代は「子育て環境が充実」が他の年代より 18 ポイント以上高くなっています。
・年代が上がるにつれて「自然環境が良い」「買い物が便利」「人が優しい」が増加しています。
　一方、年代が上がるにつれて「静か」が減少しています。

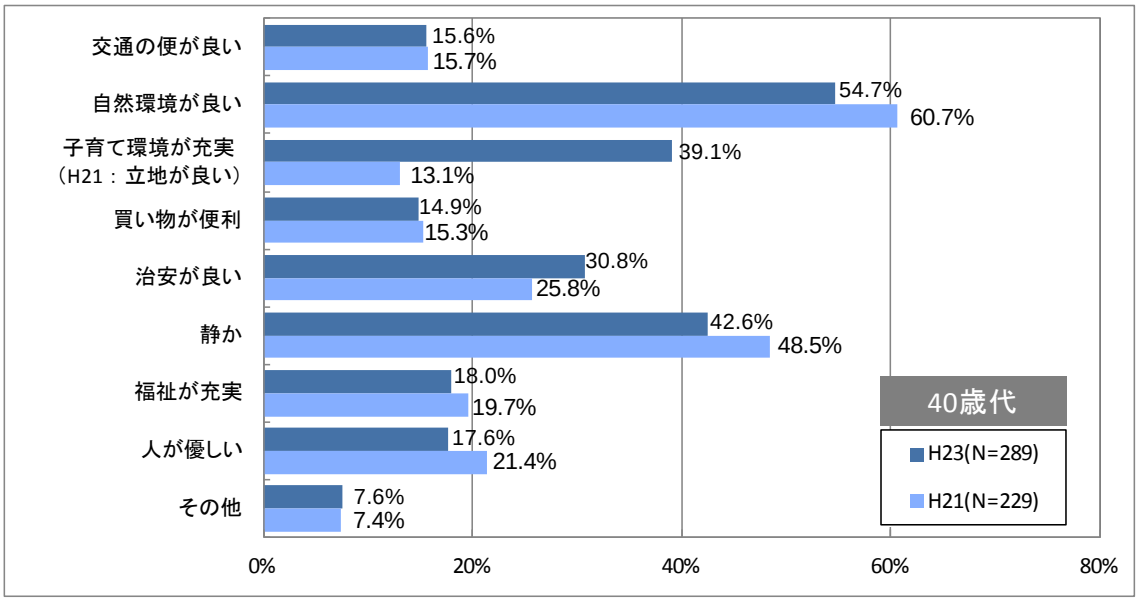


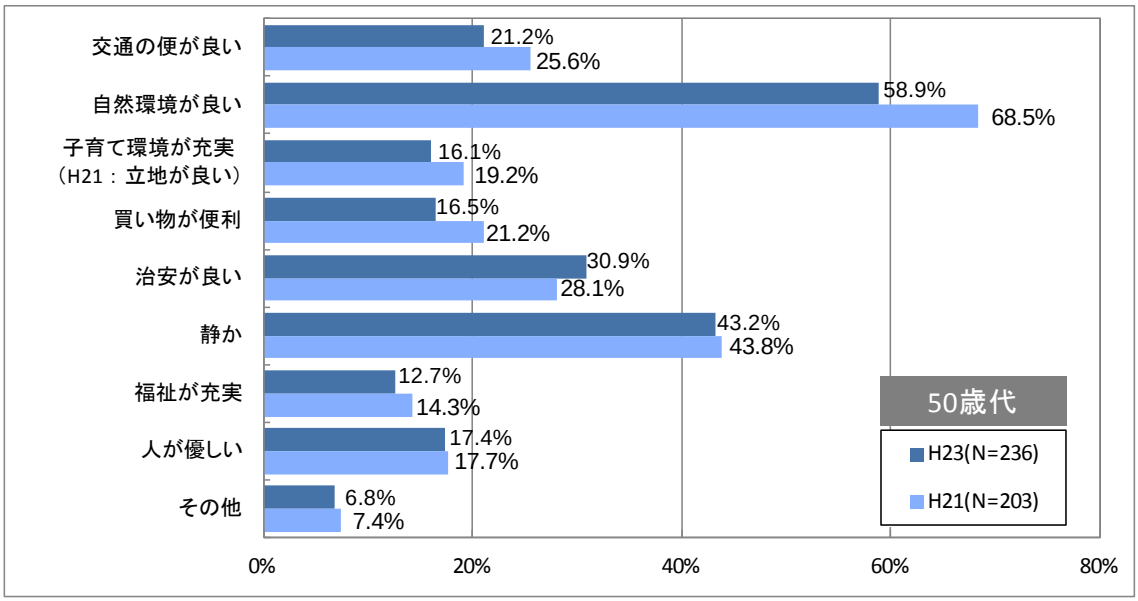
【経年変化】

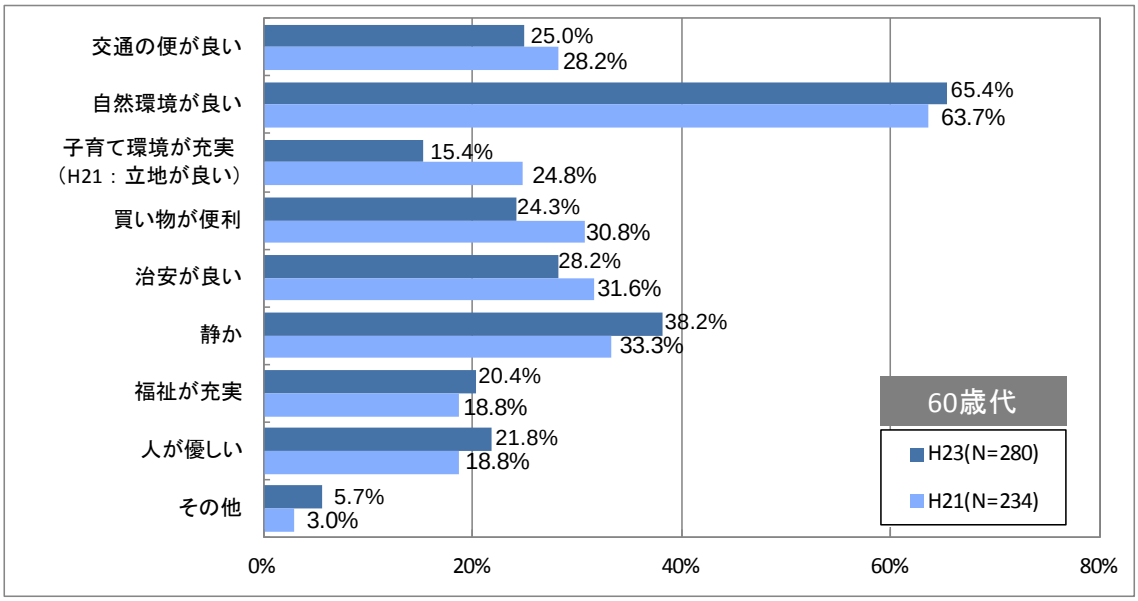
・20～30 歳代は「福祉が充実」が 13 ポイント低くなっています。
・40～50 歳代は「自然環境が良い」がやや減少しています。
・60 歳以上は「買い物が便利」が減少し、「静か」が増加しています。

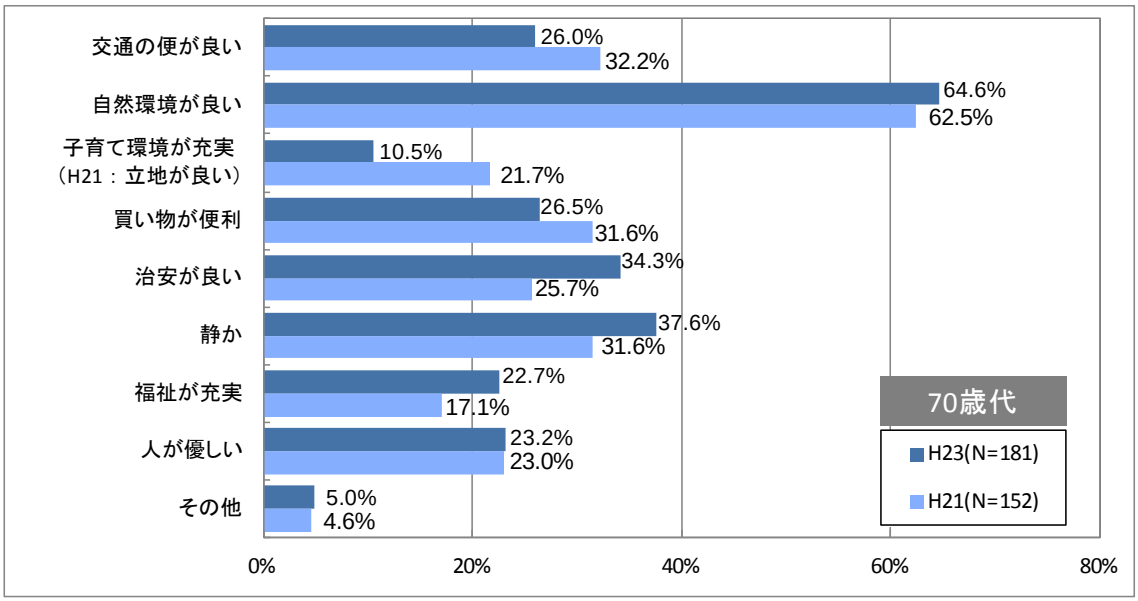





交通の便が良い
15.6%
15.7%
自然環境が良い
54.7%
60.7%
子育て環境が充実
（H21：立地が良い）
39.1%
13.1%
買い物が便利
14.9%
15.3%
治安が良い
30.8%
25.8%
静か
42.6%
48.5%
福祉が充実
18.0%
19.7%
人が優しい
17.6%
21.4%
その他
7.6%
7.4%
40歳代
H23(N=289)
H21(N=229)
0%
20%
40%
60%
80%


交通の便が良い
21.2%
25.6%
自然環境が良い
58.9%
68.5%
子育て環境が充実
（H21：立地が良い）
16.1%
19.2%
買い物が便利
16.5%
21.2%
治安が良い
30.9%
28.1%
静か
43.2%
43.8%
福祉が充実
12.7%
14.3%
人が優しい
17.4%
17.7%
その他
6.8%
7.4%
50歳代
H23(N=236)
H21(N=203)
0%
20%
40%
60%
80%


交通の便が良い
25.0%
28.2%
自然環境が良い
65.4%
63.7%
子育て環境が充実
（H21：立地が良い）
15.4%
24.8%
買い物が便利
24.3%
30.8%
治安が良い
28.2%
31.6%
静か
38.2%
33.3%
福祉が充実
20.4%
18.8%
人が優しい
21.8%
18.8%
その他
5.7%
3.0%
0%
20%
40%
60%
80%
60歳代
H23(N=280)
H21(N=234)


交通の便が良い
26.0%
32.2%
自然環境が良い
64.6%
62.5%
子育て環境が充実
（H21：立地が良い）
10.5%
21.7%
買い物が便利
26.5%
31.6%
治安が良い
34.3%
25.7%
静か
37.6%
31.6%
福祉が充実
22.7%
17.1%
人が優しい
23.2%
23.0%
その他
5.0%
4.6%
0%
20%
40%
60%
80%
70歳代
H23(N=181)
H21(N=152)

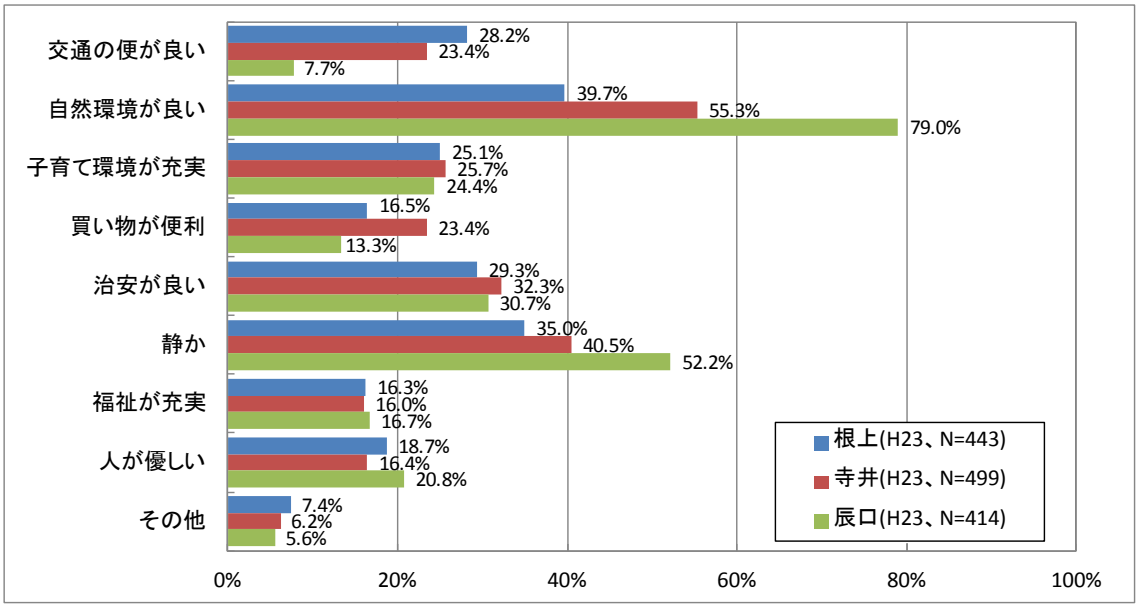
■能美市に定住することの魅力（地区別）

【今回（H23）】

・３地区共に「自然環境が良い」が最も多く、次いで「静か」「治安が良い」の順で多くなっています。

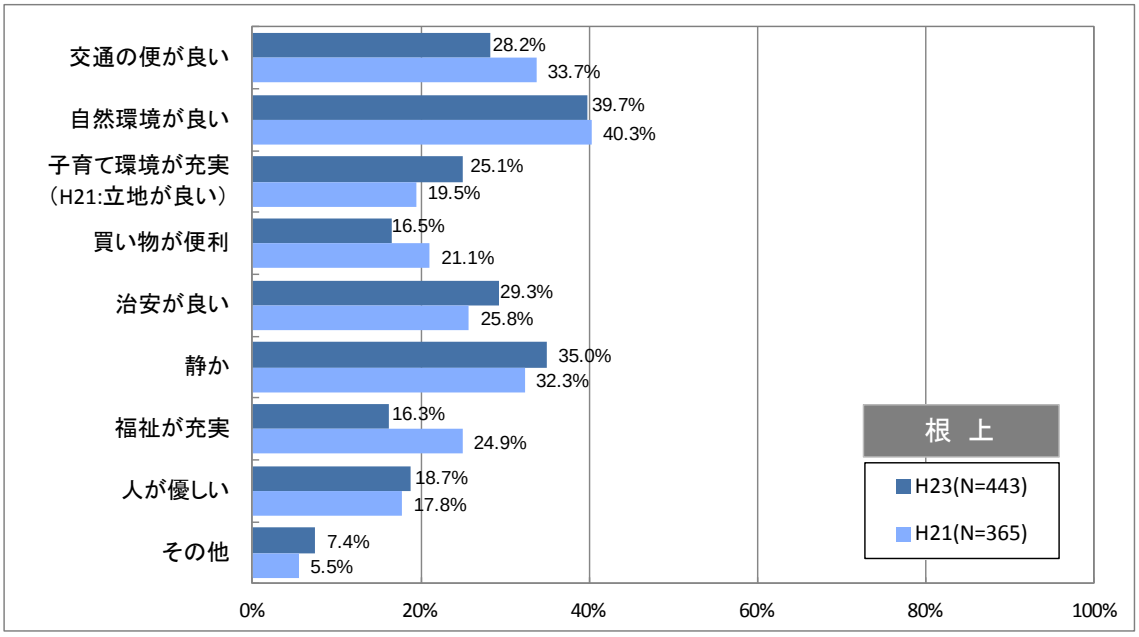
・辰口は「自然環境が良い」が 79.0%と他の地区より 23 ポイント以上高くなっています。また「静か」が 52.2%と他の地区より 11 ポイント以上高くなっています。一方で「交通の便が良い」は 7.7%と他の地区より 15 ポイント以上低くなっています。

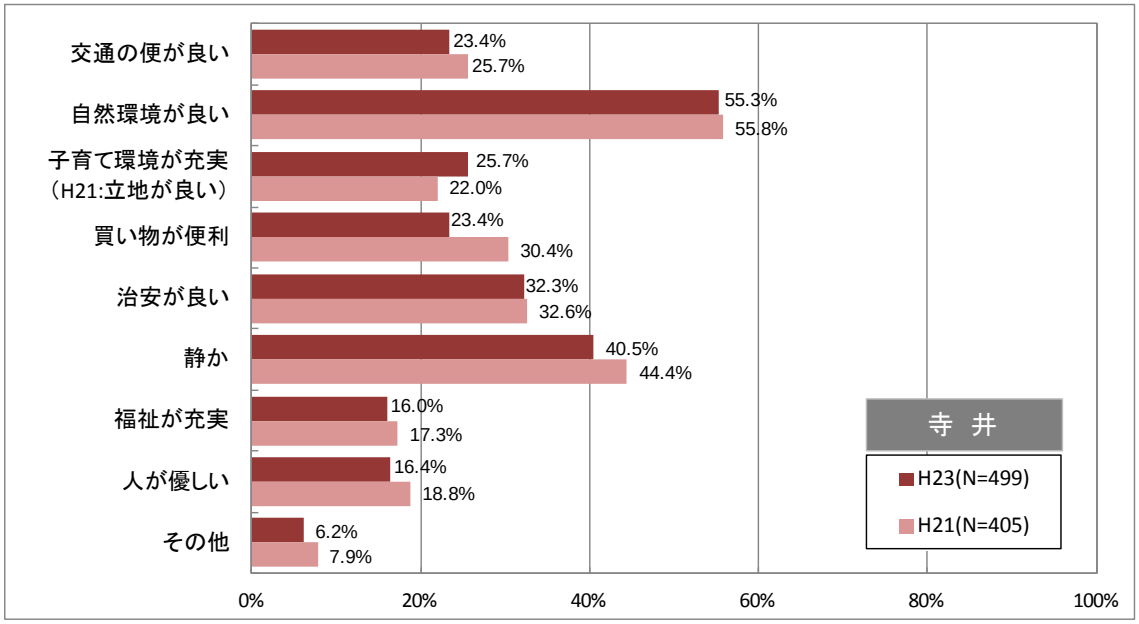
・寺井は「買い物が便利」が 23.4%と他の地区より７ポイント以上高くなっています。

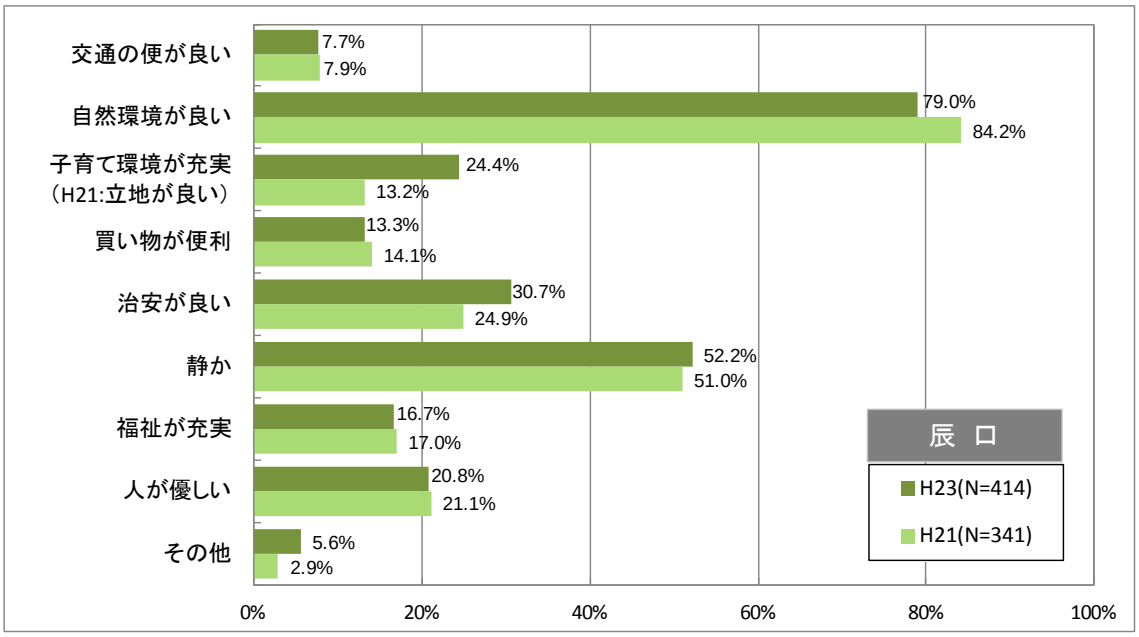


【経年変化】

・根上は H21 と比較して、「福祉が充実」が約９ポイント、「交通の便が良い」が約６ポイント減少しています。
・寺井は H21 と比較して「買い物が便利」が７ポイント減少しています。
・辰口は H21 と比較して「治安が良い」が約６ポイント増加しています。一方で、「自然環境が良い」は約５ポイント減少しています。



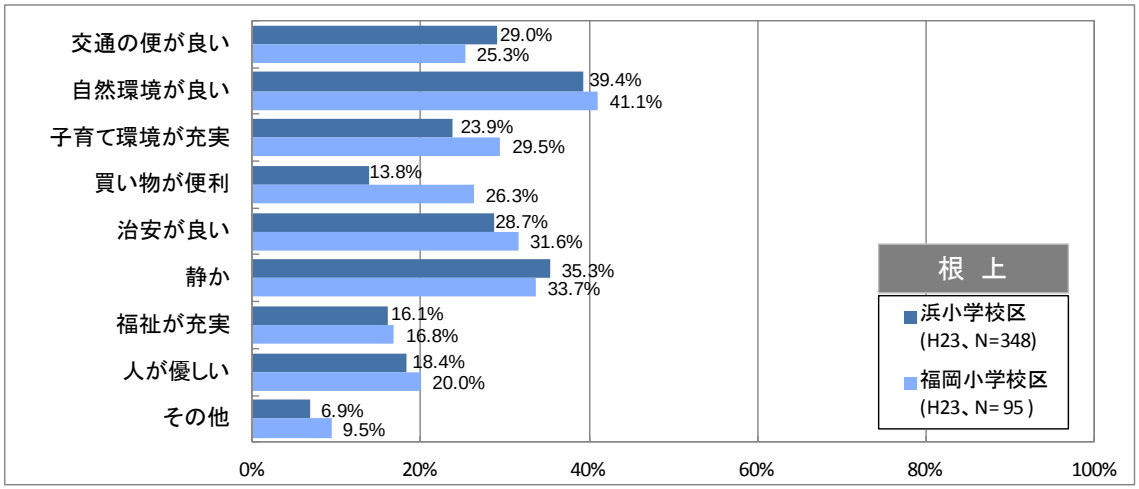


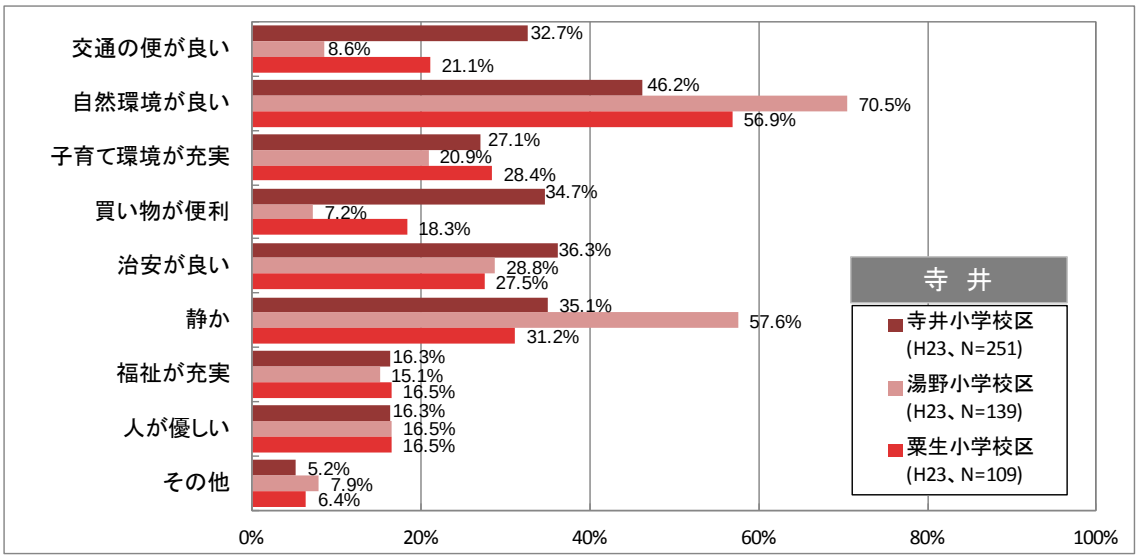

交通の便が良い
7.7%
7.9%
自然環境が良い
79.0%
84.2%
子育て環境が充実
（H21:立地が良い）
24.4%
13.2%
買い物が便利
13.3%
14.1%
治安が良い
30.7%
24.9%
静か
52.2%
51.0%
福祉が充実
16.7%
17.0%
人が優しい
20.8%
21.1%
その他
5.6%
2.9%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
辰　口
H23(N=414)
H21(N=341)

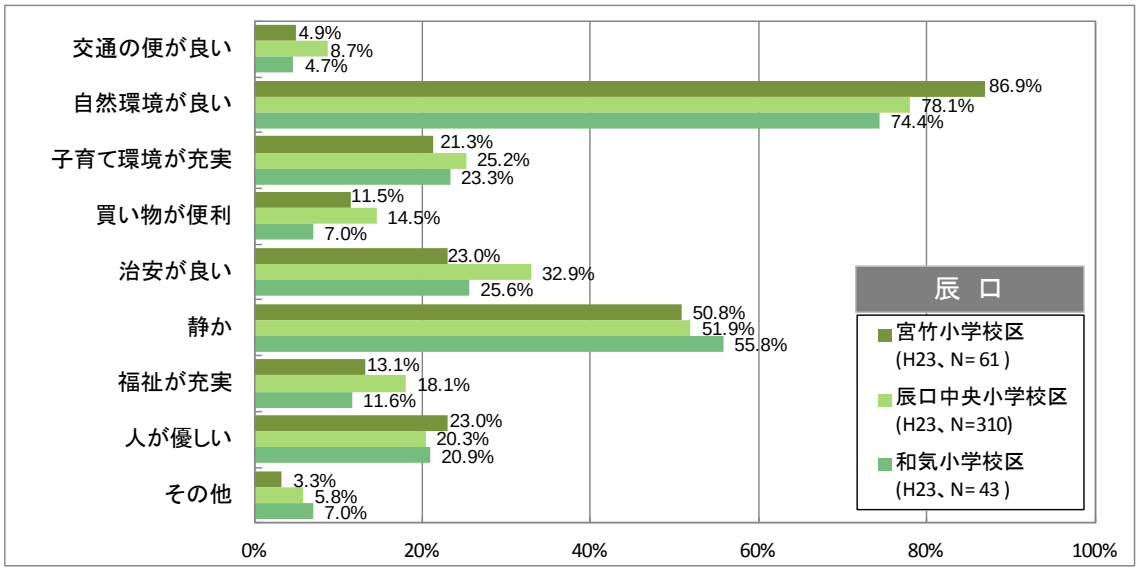
【小学校区別】

・「子育て環境が充実」「治安が良い」「福祉が充実」「人が優しい」「その他」は小学校区別であまり差がみられませんが、「交通の便が良い」「自然環境が良い」「買い物が便利」「静か」は小学校区別で差が生じています。

・浜小学校区、福岡小学校区、寺井小学校区、栗生小学校区は「交通の便が良い」が比較的多くなっています。一方で、湯野小学校区、宮竹小学校区、辰口中央小学校区、和気小学校区は「自然環境が良い」や「静か」が多くなっています。

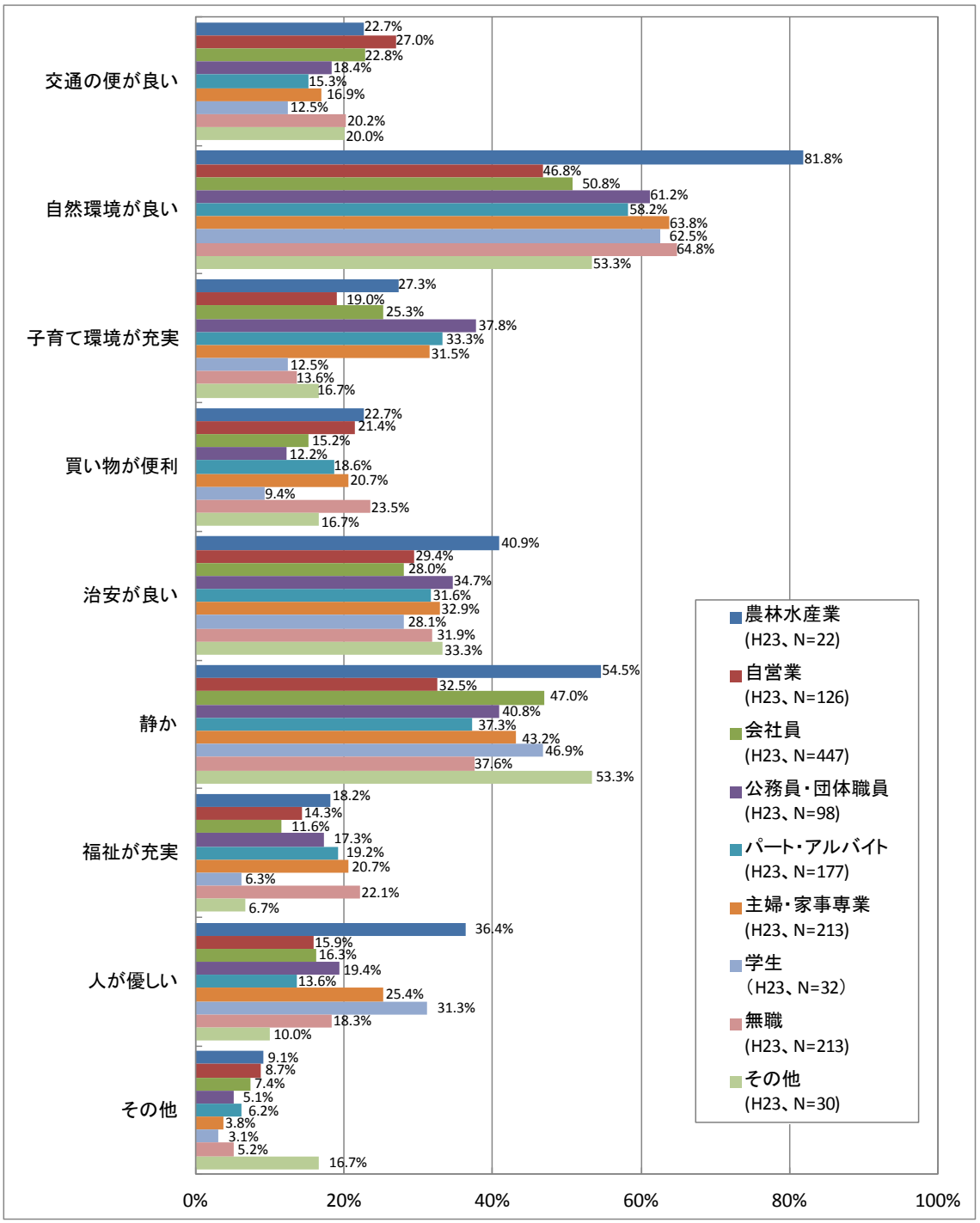





交通の便が良い
4.9%
8.7%
4.7%
自然環境が良い
86.9%
78.1%
74.4%
子育て環境が充実
21.3%
25.2%
23.3%
買い物が便利
11.5%
14.5%
7.0%
治安が良い
23.0%
32.9%
25.6%
静か
50.8%
51.9%
55.8%
福祉が充実
13.1%
18.1%
11.6%
人が優しい
23.0%
20.3%
20.9%
その他
3.3%
5.8%
7.0%
0%
20%
40%
60%
80%
100%
辰　口
宮竹小学校区
(H23、N= 61)
辰口中央小学校区
(H23、N=310)
和気小学校区
(H23、N= 43)

■能美市に定住することの魅力（職業別）

・全ての職業において「自然環境が良い」が最も多く、特に農林水産業は 81.8%と他の職業より 17 ポイント以上高くなっています。
・学生は「買物が便利」や「福祉が充実」が、他の職業より低くなっています。



（４）地域活動、市民活動および市民と行政の協働について

問 16　あなたは現在、仕事や学業とは別に、地域活動、ボランティア活動、市民活動として参加しているものはありますか？（当てはまるもの全てに○）

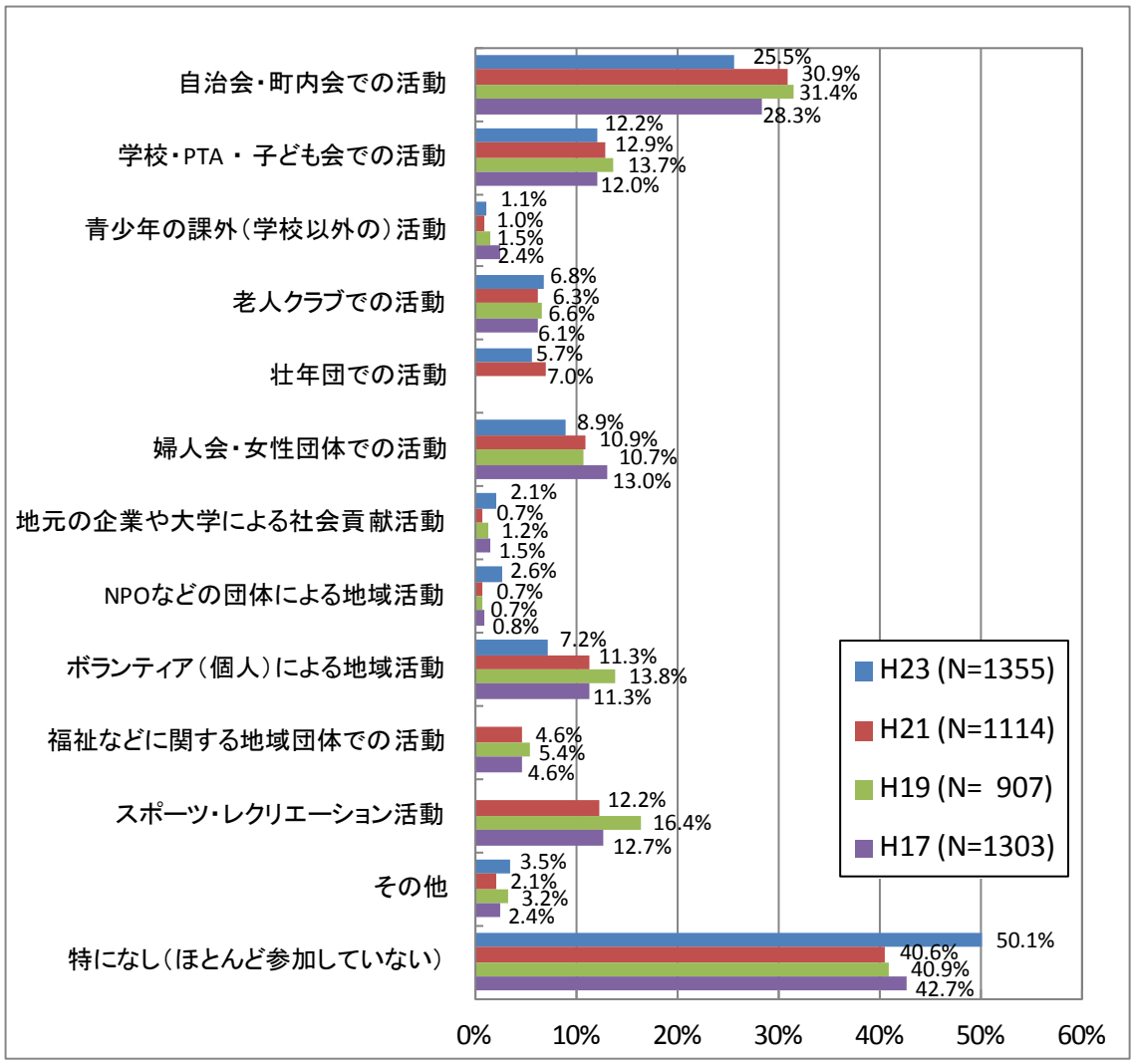
◆「特になし（ほとんど参加していない）」が 50.1％と最も多く、次いで「自治会・町内会での活動」25.5％、「学校・PTA・子ども会での活動」12.2％となっています。

◆「特になし（ほとんど参加していない）」が H21 と比べて約 10 ポイント増加しています。一方、「自治会・町内会での活動」「学校・PTA・子ども会での活動」「婦人会・女性団体での活動」「ボランティア（個人）による地域活動」では減少傾向にあります。

選択項目	H23（今回）		H21		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
自治会・町内会での活動	346	25.5%	344	30.9%	285	31.4%	369	28.3%
学校・PTA・子ども会での活動	165	12.2%	144	12.9%	124	13.7%	157	12.0%
青少年の課外（学校以外の）活動	15	1.1%	11	1.0%	14	1.5%	31	2.4%
老人クラブでの活動	92	6.8%	70	6.3%	60	6.6%	80	6.1%
壮年団での活動	77	5.7%	78	7.0%	－	－	－	－
婦人会・女性団体での活動	121	8.9%	121	10.9%	97	10.7%	169	13.0%
地元の企業や大学による社会貢献活動	28	2.1%	8	0.7%	11	1.2%	19	1.5%
NPOなどの団体による地域活動	35	2.6%	8	0.7%	6	0.7%	11	0.8%
ボランティア（個人）による地域活動	98	7.2%	126	11.3%	125	13.8%	147	11.3%
福祉などに関する地域団体での活動	－	－	51	4.6%	49	5.4%	60	4.6%
スポーツ・レクリエーション活動	－	－	136	12.2%	149	16.4%	166	12.7%
その他	48	3.5%	23	2.1%	29	3.2%	31	2.4%
特になし(ほとんど参加していない)	679	50.1%	452	40.6%	371	40.9%	556	42.7%
無回答	98	－	60	－	59	－	118	－
回答数	1802	133.0%	1632	146.5%	1379	152.0%	1914	146.9%
回答者数	1355	100.0%	1114	100.0%	907	100.0%	1303	100.0%

その他：　いきいきサロン（4）、ボランティア（4）、障害者団体の手伝い（2）、文化協会（2）、生産組合、消防団、OB 団体、伝統芸能団体、スポーツ団体、詩吟教室、熟年会、グランドマルク、宗教活動、歌謡教室、シルバー人材センター、実年会、子育て支援、保育園での活動、CC 館の活動、神社の係、学童見守り、老人宅訪問、交通安全推進隊、ファミリーサポート　など

※（　）：H23 における回答者数

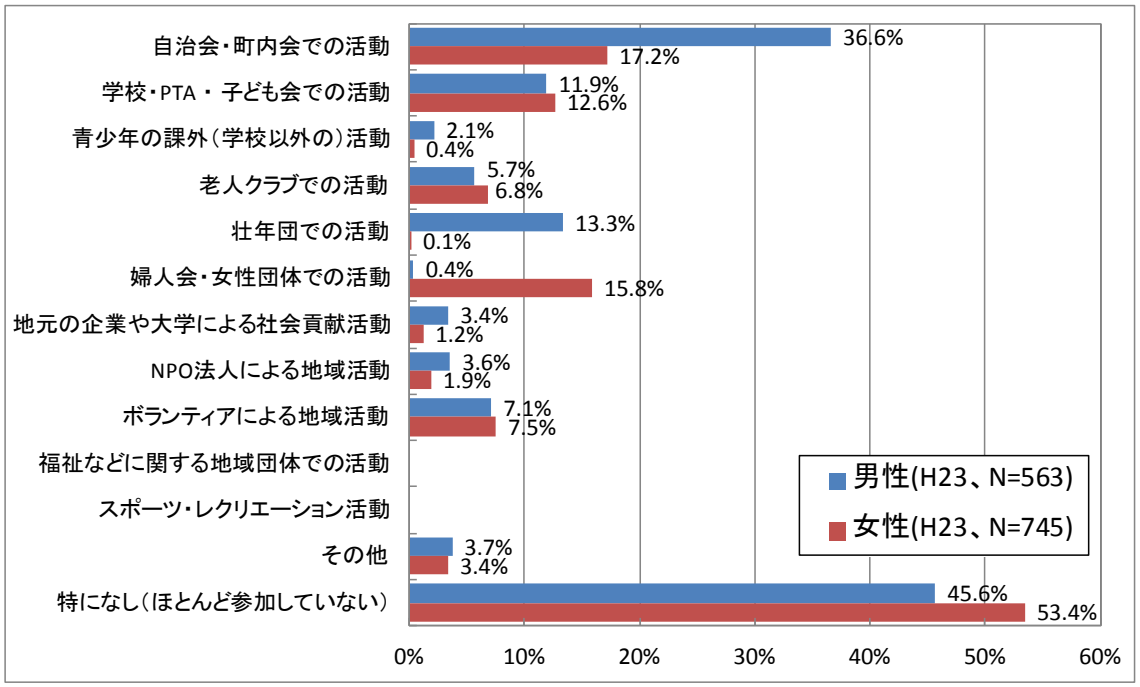


※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし
※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし

■地域活動、市民活動への参加状況（性別）

【今回（H23）】

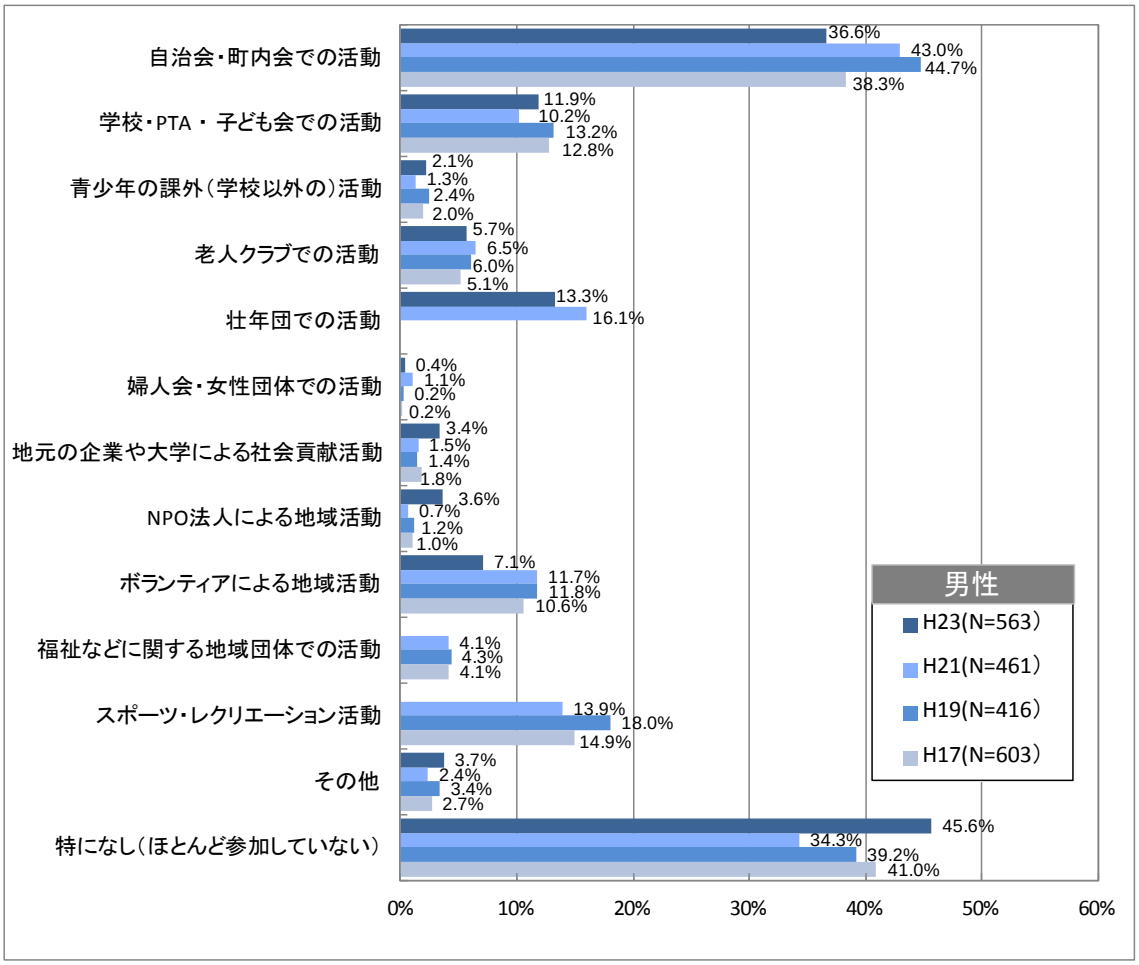
・男性、女性共に「特になし」が最も多くなっています。特に女性は 53.4%と男性より約８ポイント高くなっています。
・男性は「自治会・町内会での活動」が約 19 ポイント、「壮年団での活動」が約 13 ポイント女性より高くなっています。
・女性は「婦人会・女性団体での活動」が、男性より約 15 ポイント高くなっています。



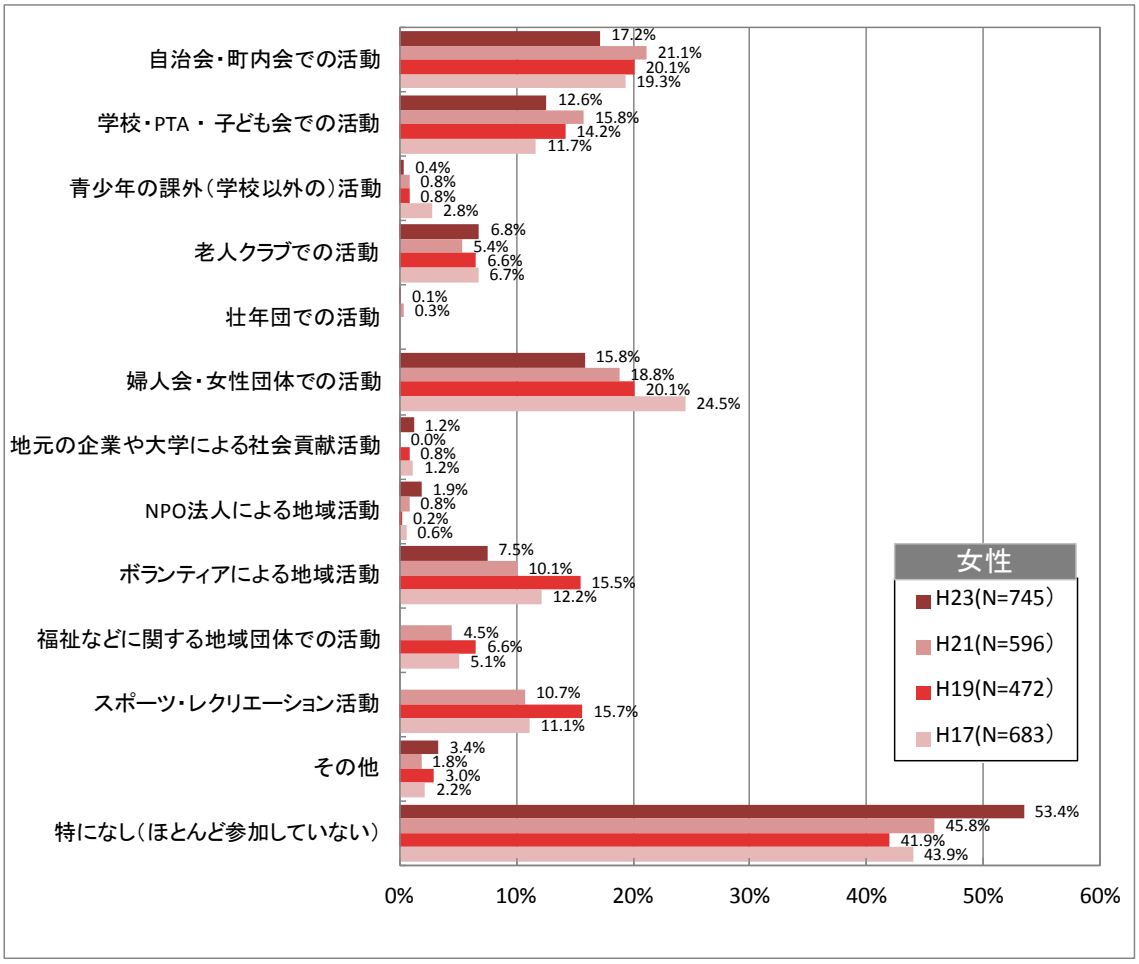
※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし

【経年変化】

・男性は「特になし」が H17～H21 にかけて減少傾向にありましたが、H23 では H21 と比べて約 11 ポイント増加しています。また、女性も「特になし」が、H21 と比べて約８ポイント増加しています。
・男性は「自治会・町内会での活動」が、H19 以降減少傾向にあり、H21 と比べて約６ポイント減少しています。
・女性は「婦人会・女性団体での活動」「ボランティアによる地域活動」が、減少傾向にあります。



※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし
※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし

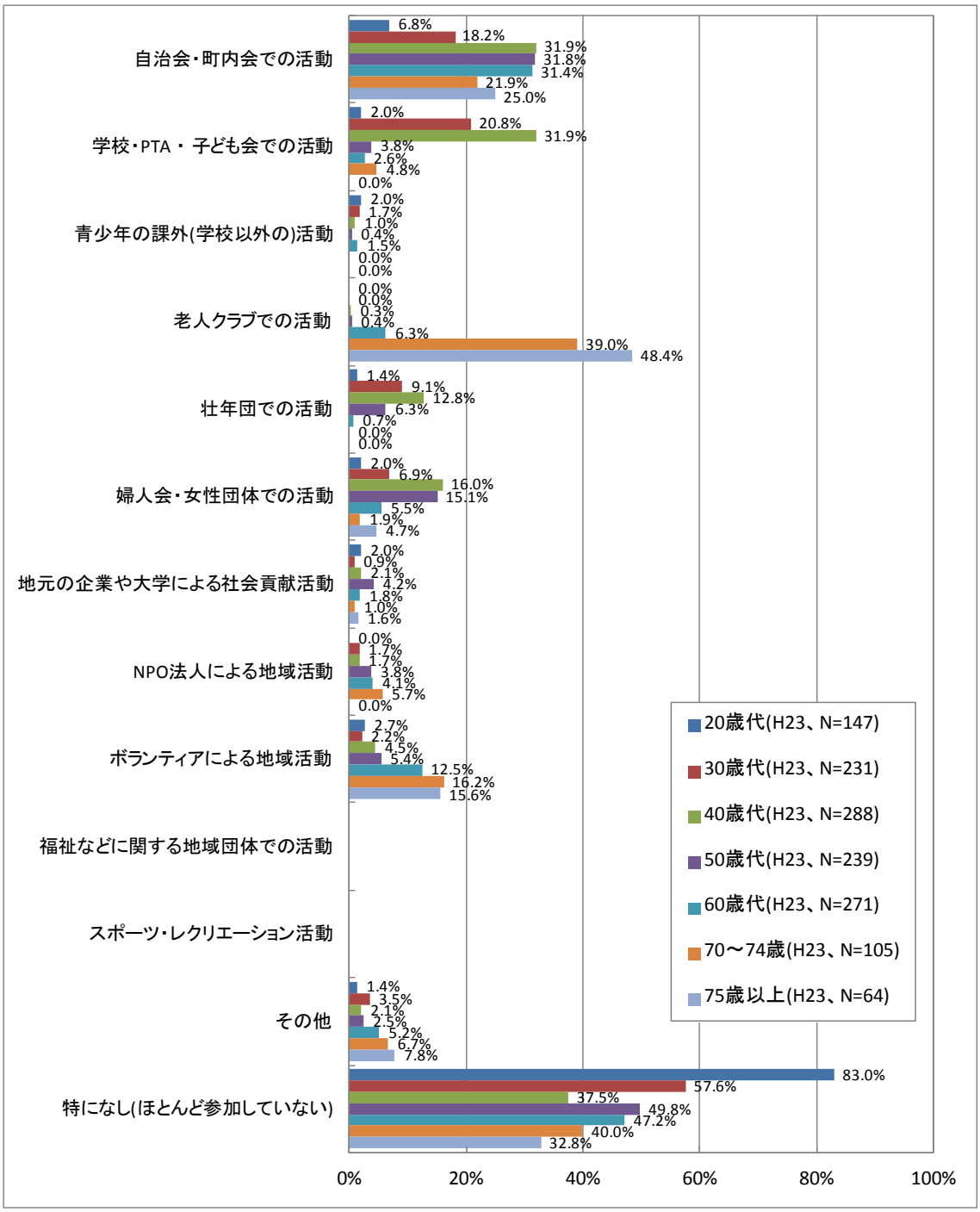


※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし
※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし

■地域活動、市民活動への参加状況（年代別）

【今回（H23）】

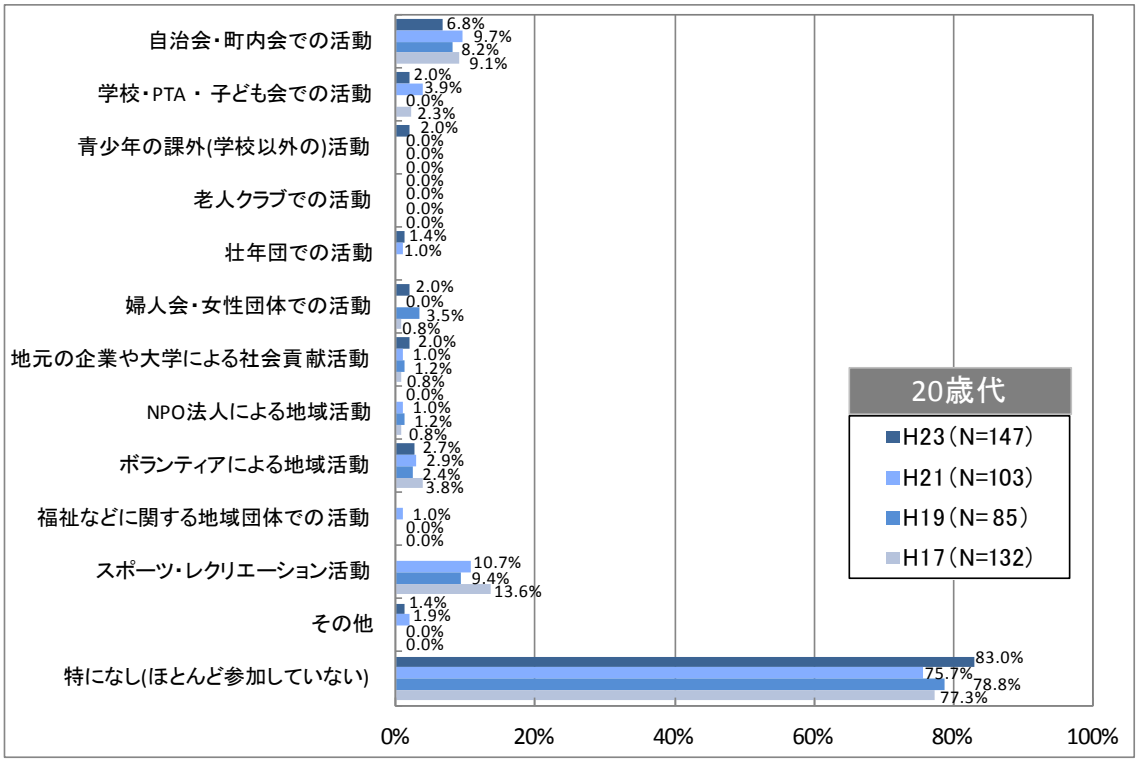
・75 歳以上を除き、「特になし」が最も多くなっており、特に 20 歳代は他の年代より 25 ポイント以上高くなっています。一方で、20 歳代は「自治会・町内会での活動」が 11 ポイント以上低くなっています。
・30～40 歳代は「学校・PTA・子ども会での活動」が、他の年代より 16 ポイント以上高くなっています。また、「壮年団での活動」が比較的高くなっています。
・40～50 歳代は「婦人会・女性団体での活動」が比較的高くなっています。
・60 歳以上は「ボランティアによる地域活動」が比較的高くなっています。
・70 歳以上は「老人クラブでの活動」が他の年代より 32 ポイント以上高くなっています。



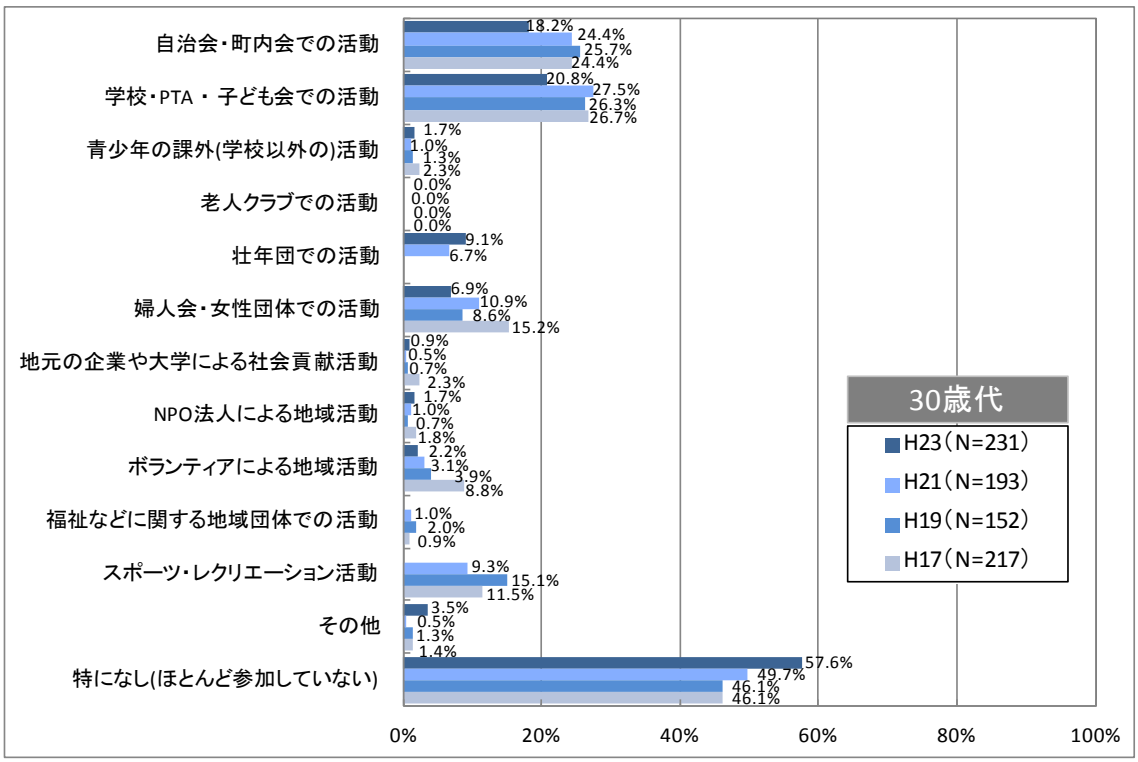
※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし

【経年変化】

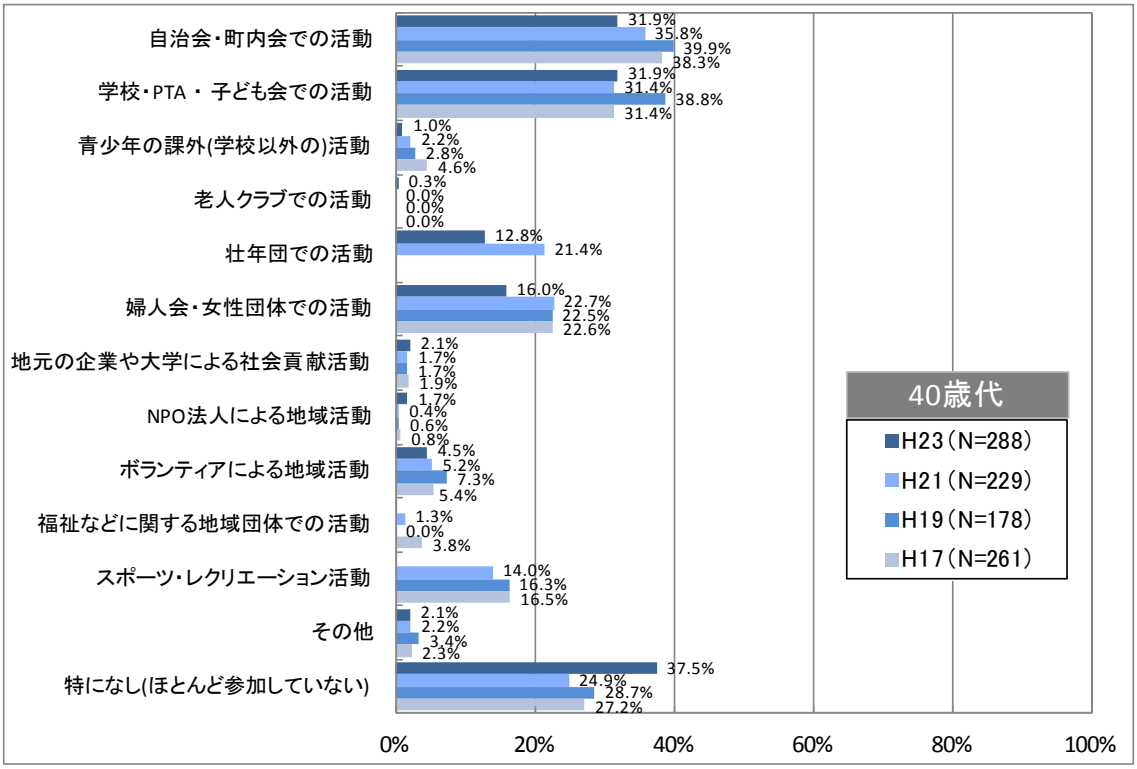
・全ての年代で H21 と比べて「特になし（ほとんど参加していない)」が増加し、「自治会・町内会での活動」が減少しています。
・70 歳以上は「ボランティアによる地域活動」が、H21 と比べ約 11 ポイント減少しています。



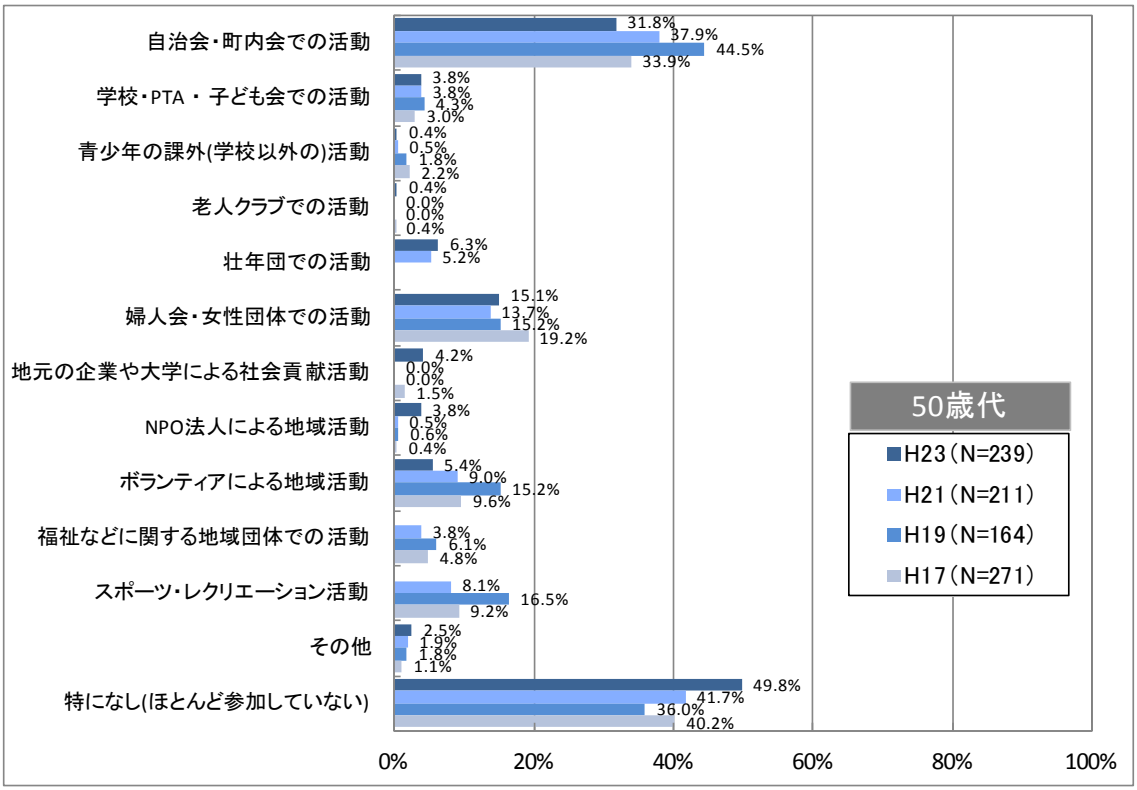
※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし
※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし



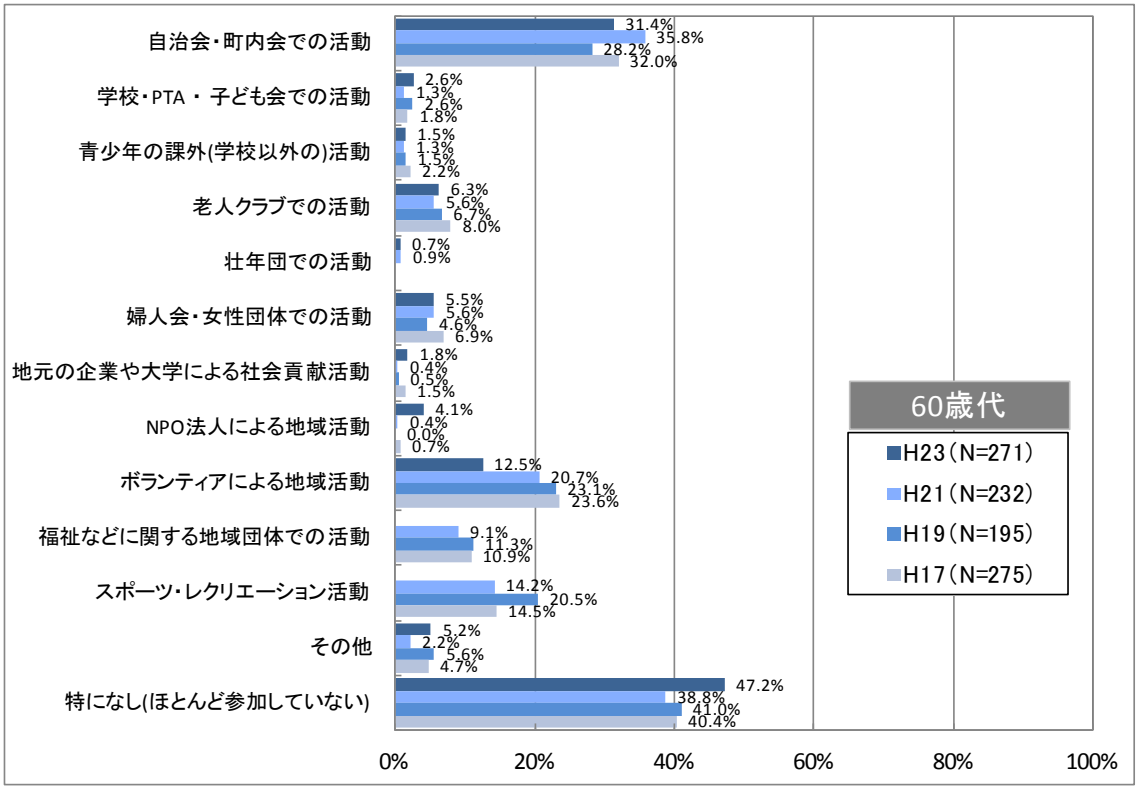
※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし
※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし



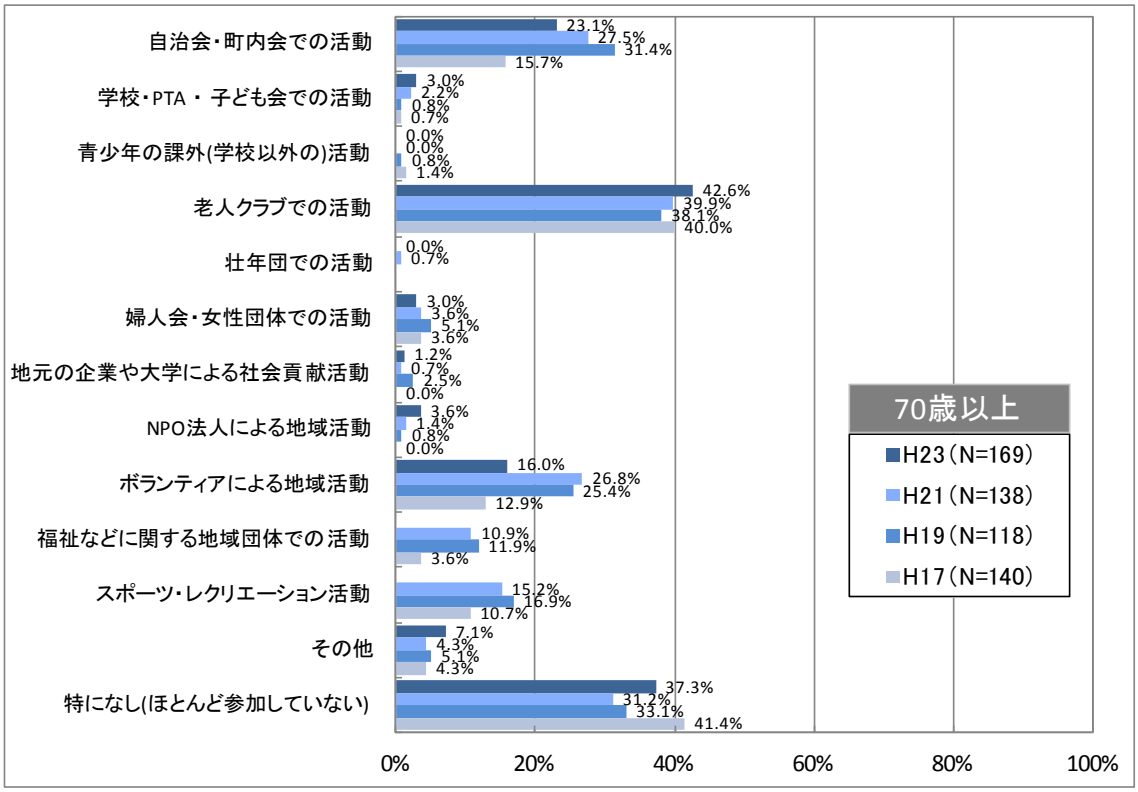
※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし
※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし



※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし
※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし



※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし
※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし



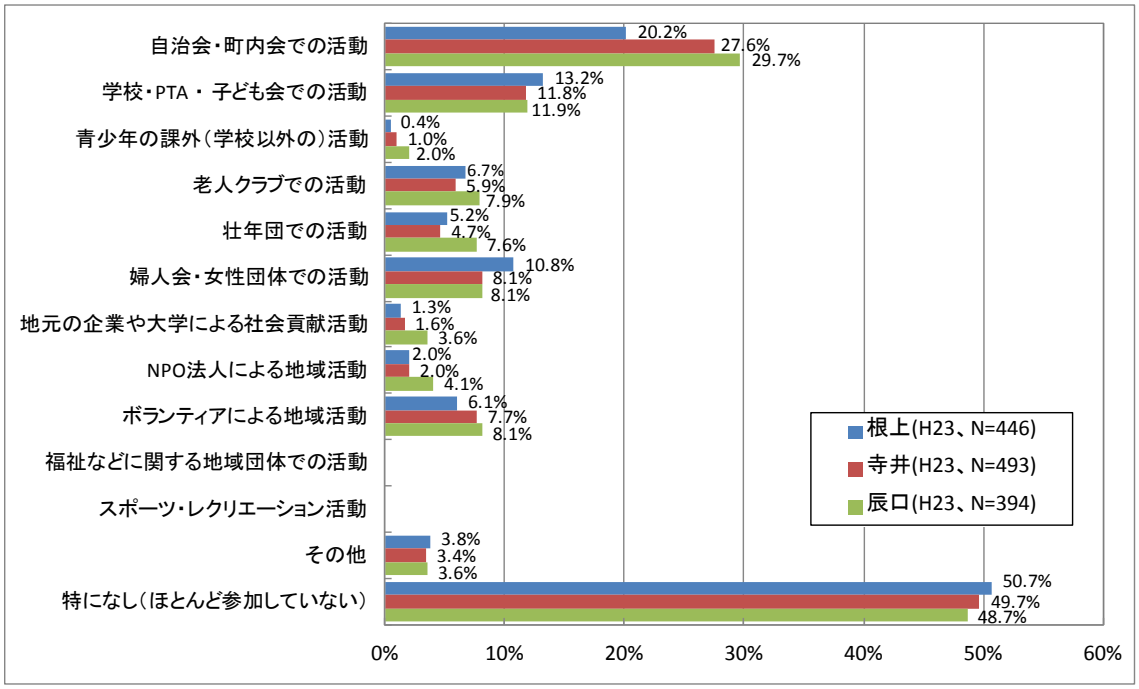
※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし
※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし

■地域活動、市民活動への参加状況（地区別）

【今回（H23）】

・３地区共に「特になし」が約５割と最も多くなっています。

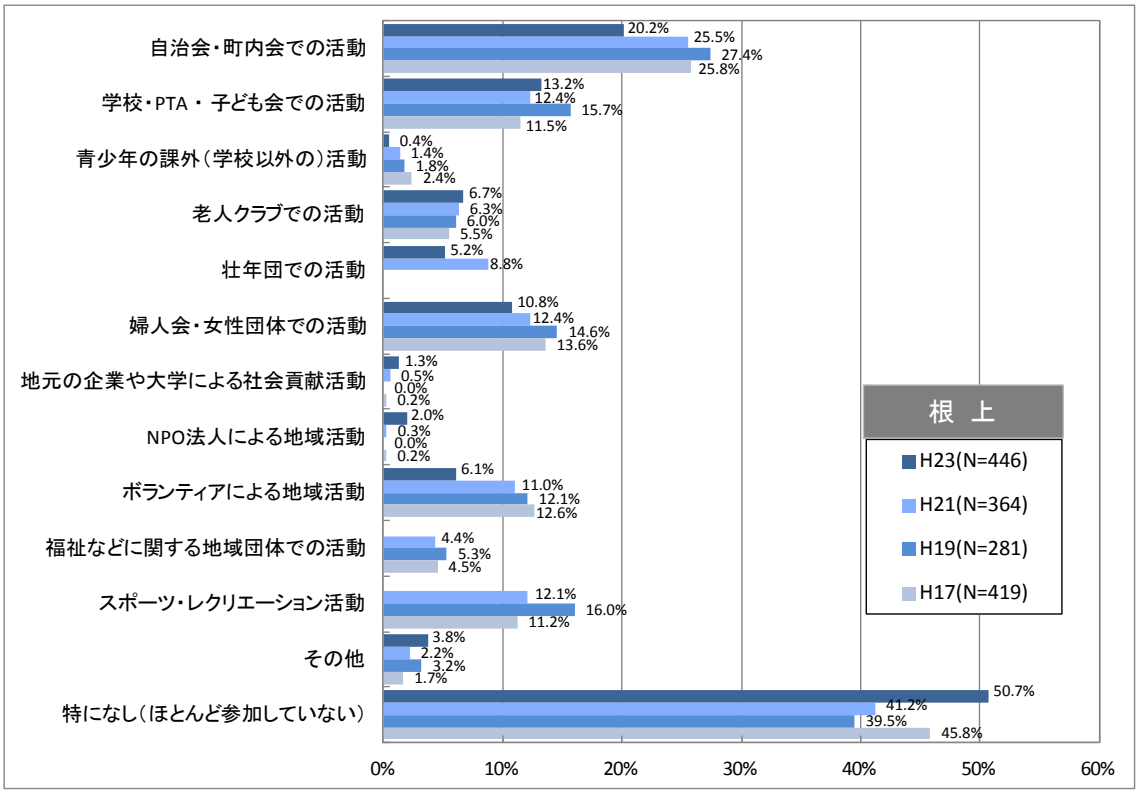
・寺井、辰口は「自治会・町内会での活動」がそれぞれ 27.6%、29.7%と根上より７ポイント以上高くなっています。



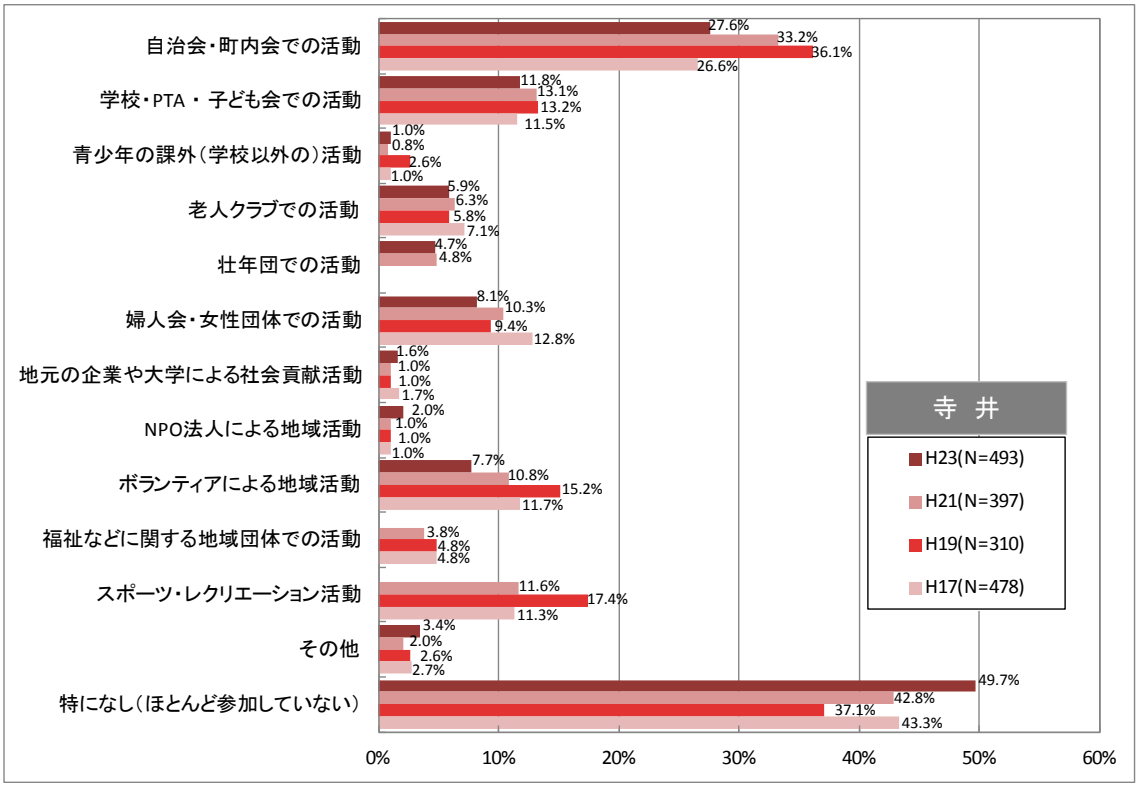
※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし

【経年変化】

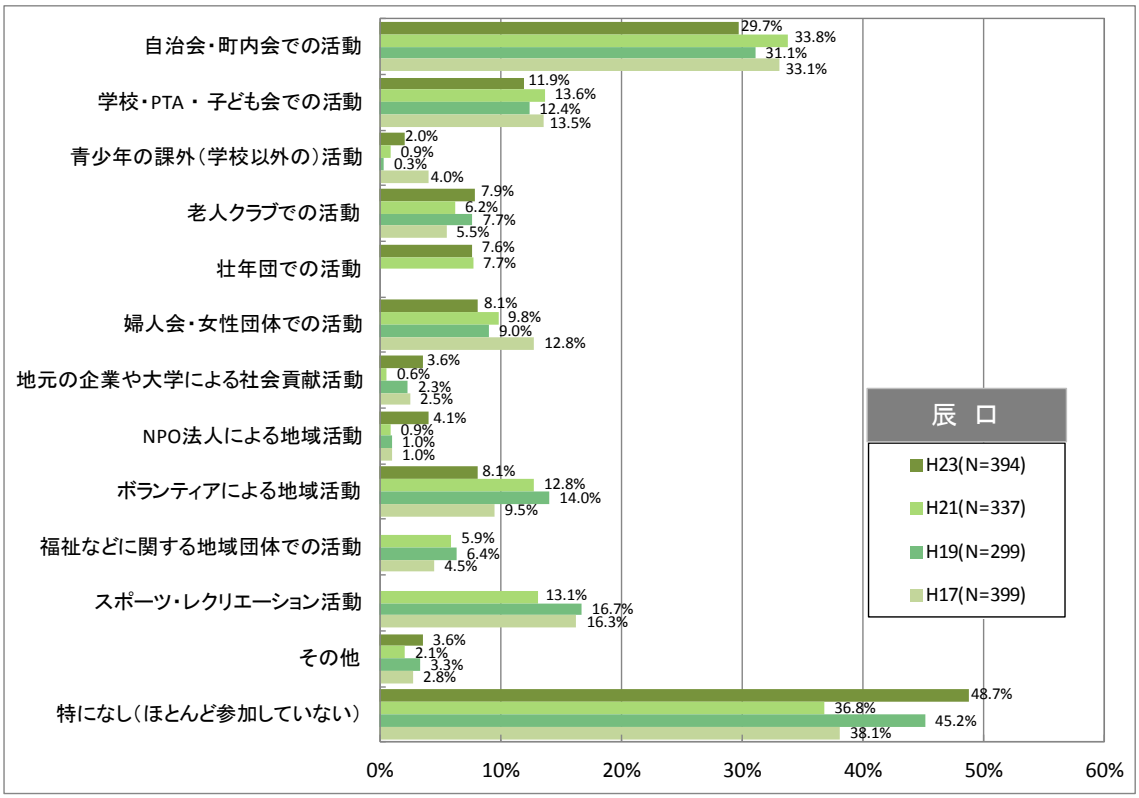
・根上は「自治会・町内会での活動」が 20.2%と H21 と比較して約５ポイント減少しています。一方で「特になし（ほとんど参加していない)」は 50.7%と H21 と比較して約９ポイント増加しています。
・寺井は「自治会・町内会での活動」が 27.6%と H21 と比較して約６ポイント減少しています。一方で「特になし（ほとんど参加していない)」は 49.7%と H21 と比較して約７ポイント増加しています。
・辰口は、「特になし（ほとんど参加していない)」が 48.7%と H21 と比較して約 12 ポイント増加しています。



※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし
※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし



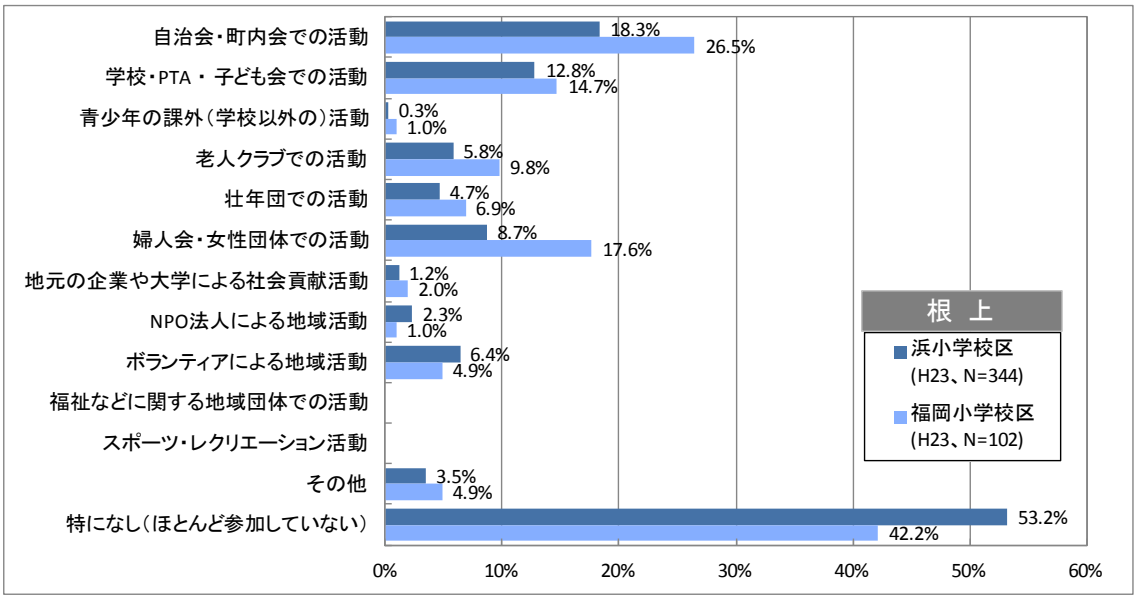
※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし
※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし



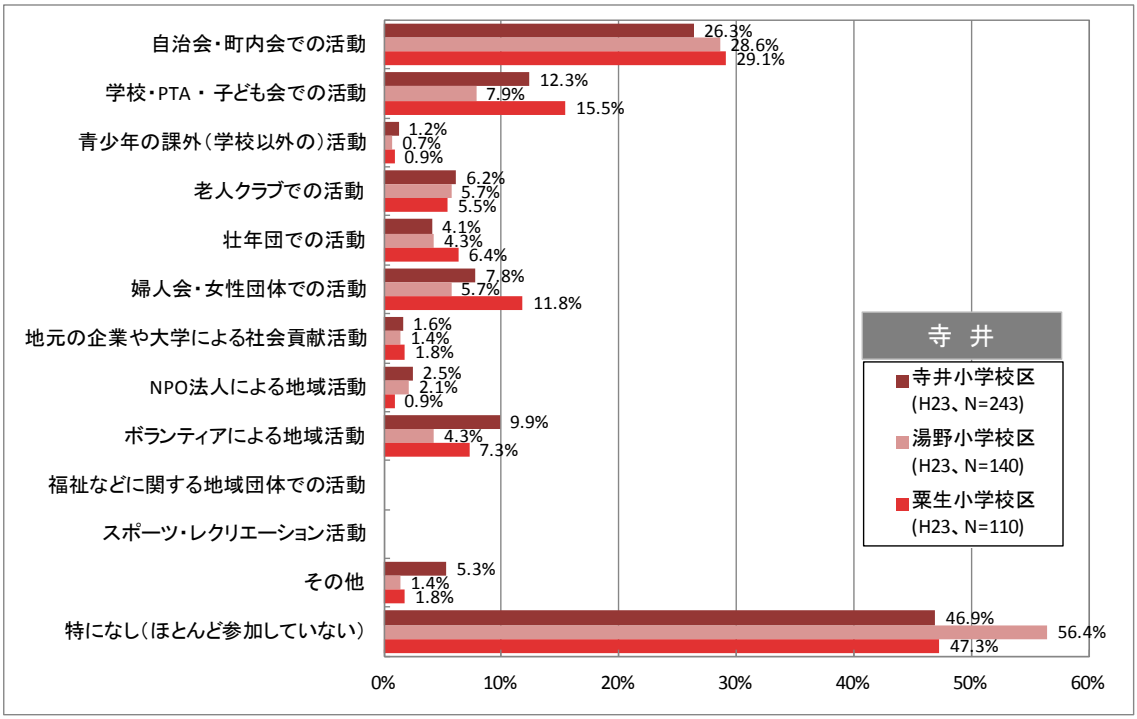
※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし
※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし

【小学校区別】

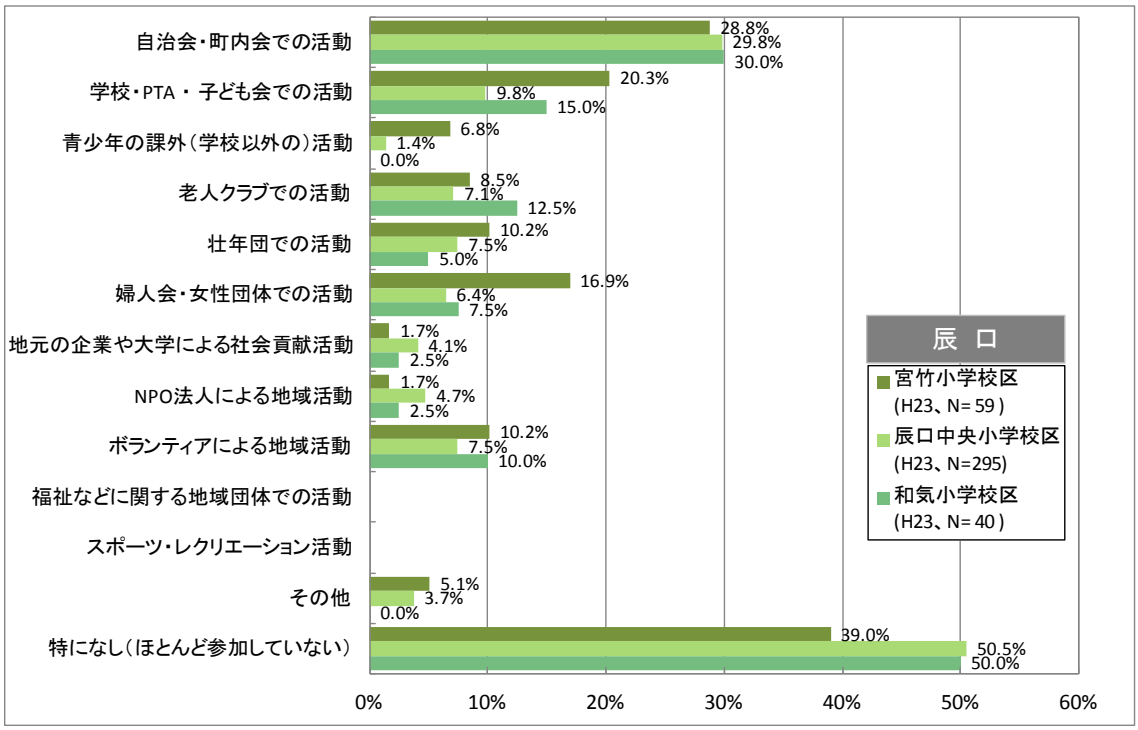
・全ての小学校区で「特になし（ほとんど参加していない）」が最も多くなっています。特に、福岡小学校区、湯野小学校区、辰口中央小学校区、和気小学校区は５割以上となっています。一方で、福岡小学校区、宮竹小学校区は約４割と比較的低くなっています。
・次いで、全ての小学校区で「自治会・町内会での活動」が多くなっていますが、浜小学校区は約２割と比較的低くなっています。
・福岡小学校区、宮竹小学校区は「婦人会・女性団体での活動」が約２割と比較的高くなっています。



※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし



※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし



※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし

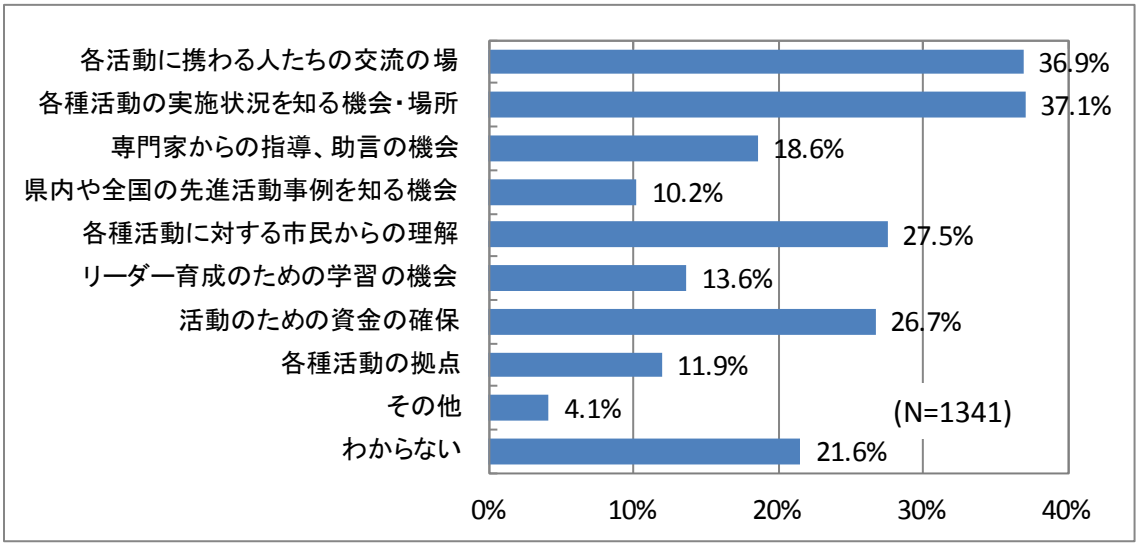
問 17　地域活動、ボランティア活動、市民活動を盛んにするためには、何が必要だと思いますか？（当てはまるもの全てに〇）

◆「各種活動の実施状況を知る機会・場所」が 37.1%と最も多く、次いで「各活動に携わる人たちの交流の場」36.9%、「各種活動に対する市民からの理解」27.5%となっています。

選択項目	回答数	構成比
各活動に携わる人たちの交流の場	495	36.9%
各種活動の実施状況を知る機会・場所	497	37.1%
専門家からの指導、助言の機会	249	18.6%
県内や全国の先進活動事例を知る機会	137	10.2%
各種活動に対する市民からの理解	369	27.5%
リーダー育成のための学習の機会	183	13.6%
活動のための資金の確保	358	26.7%
各種活動の拠点	160	11.9%
その他	55	4.1%
わからない	289	21.6%
無回答	112	－
回答数	2904	216.6%
回答者数	1341	100.0%

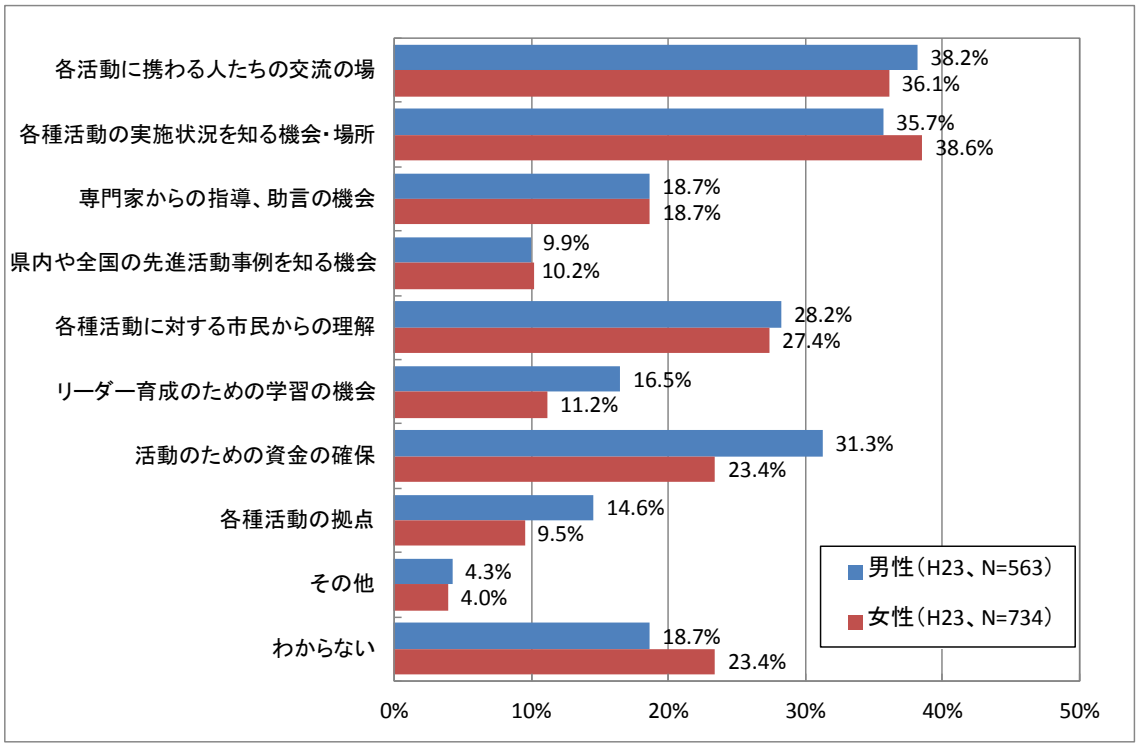
その他：　広報活動(9)、リーダーの存在(4)、参加のしやすさ(3)、楽しさ(2)、活動時間の確保(2)、生活の安定(2)、子どもに対する指導(2)、活力・活気、やりがい、行政のバックアップ体制の確立、行政（資金を含めて）のけん引力、市役所の対応、人をバカにしない心、お金、家族の理解、障害者への理解、活動に対する会社の理解、暖かい地域の輪、住みやすい地域作り、町内から活動に理解ある人を出してもらい勉強して町内の方に語ってもらう、コーディネーターとかセンター、活動人員の確保、近隣との交流、市民全員参加、各自の意識、各人が役員経験を買って出るようになる　など

※（　）：H23 における回答者数



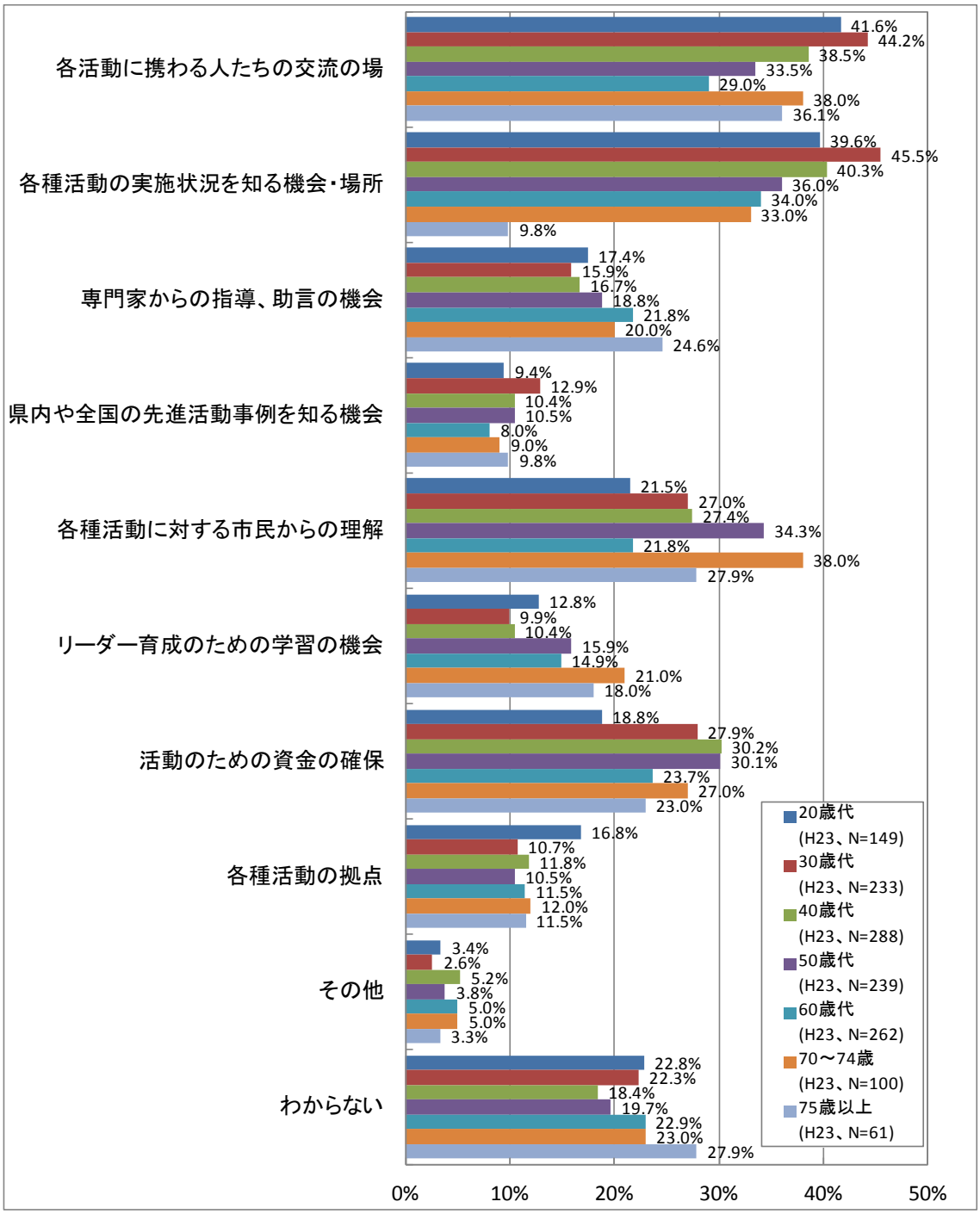
■地域活動、市民活動の活性化に必要なこと（性別）

・男性は「各活動のための資金の確保」が 31.3%と、女性よりも約８ポイント高くなっています。また、「リーダー育成のための学習の機会」が 16.5%、「各種活動の拠点」が 14.6%と、それぞれ女性よりも約５ポイント高くなっています。



■地域活動、市民活動の活性化に必要なこと（年代別）

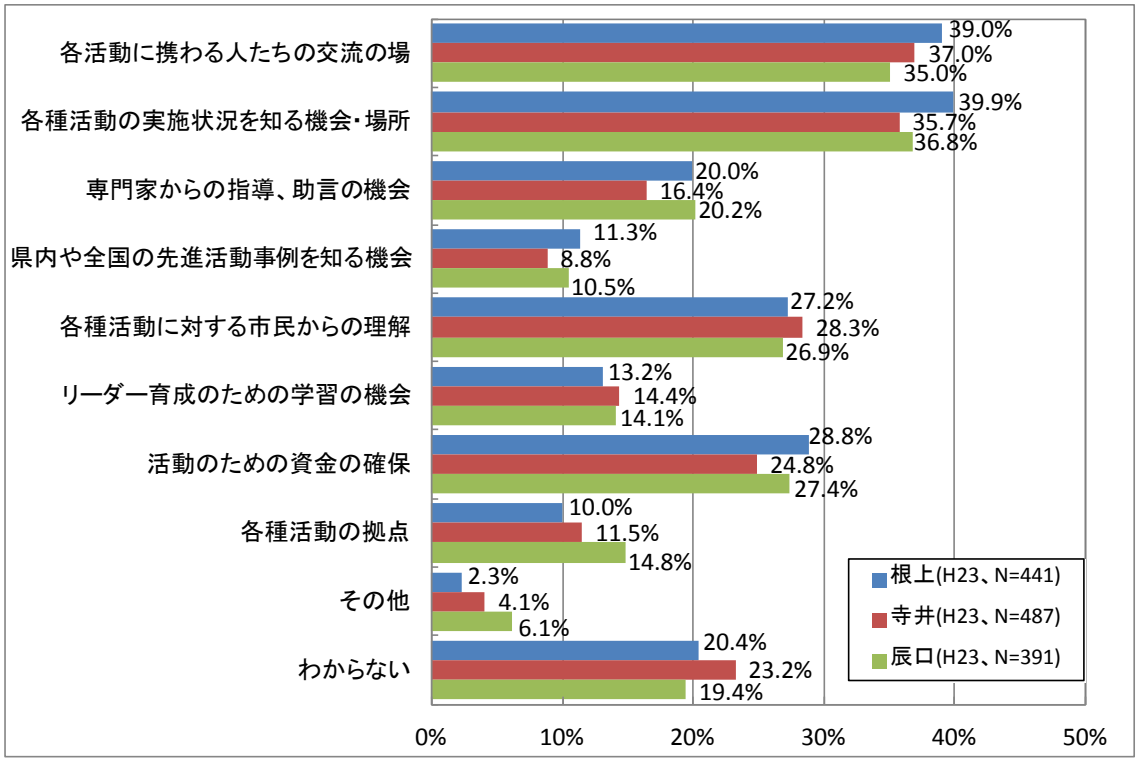
・20 歳代、75 歳以上は「各活動に携わる人たちの交流の場」、30～60 歳代は「各種活動の実施状況を知る機会・場所」、70～74 歳は「各活動に携わる人たちの交流の場」「各種活動に対する市民からの理解」が最も多くなっています。
・年代が上がるにつれて「専門家からの指導、助言の機会」や「リーダー育成のための学習の機会」が増加しています。一方で、年代が上がるにつれて「各種活動の実施状況を知る機会・場所」が減少しています。
・30～50 歳代は「活動のための資金の確保」が比較的高くなっています。



■地域活動、市民活動の活性化に必要なこと（地区別）

【地区別】

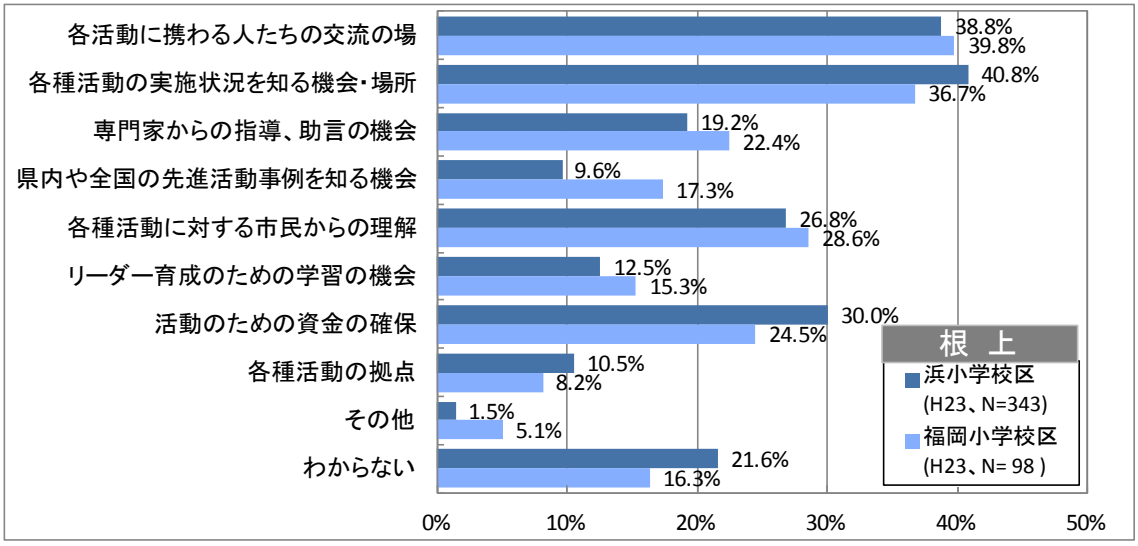
・地区別では、大きな差はみられません。

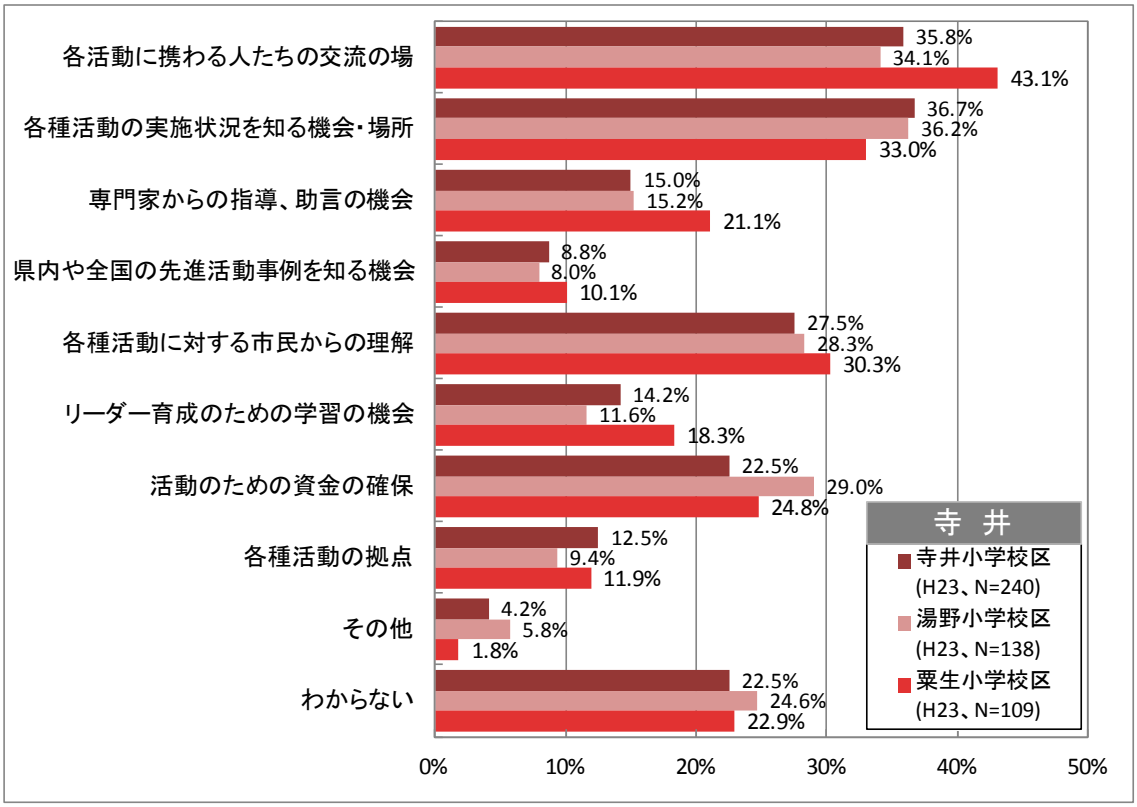


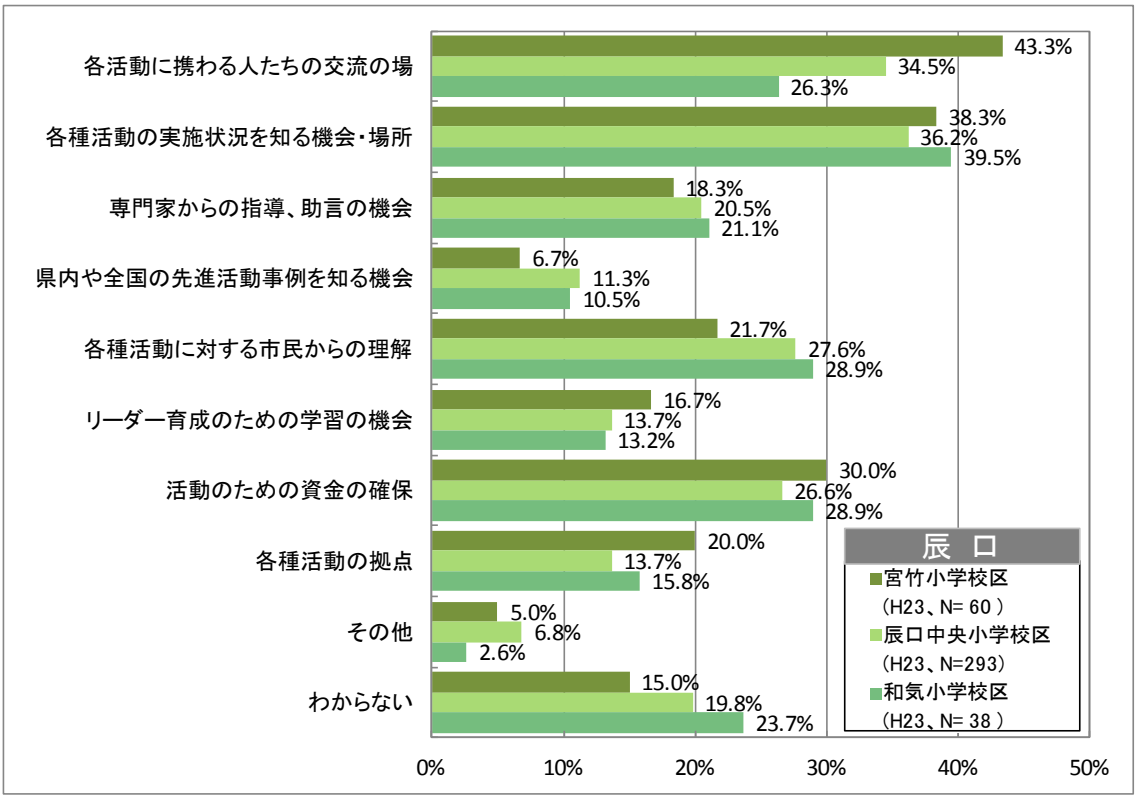
【小学校区別】

・全ての小学校区で「各活動に携わる人たちの交流の場」や「各種活動の実施状況を知る機会・場所」が約３～４割と多くなっていますが、和気小学校区は「各活動に携わる人たちの交流の場」が 26.3%と他の小学校区と比べると比較的低くなっています。

・全ての小学校区で「わからない」が約２割となっています。




各活動に携わる人たちの交流の場
各種活動の実施状況を知る機会・場所
専門家からの指導、助言の機会
県内や全国の先進活動事例を知る機会
各種活動に対する市民からの理解
リーダー育成のための学習の機会
活動のための資金の確保
各種活動の拠点
その他
わからない
35.8%
34.1%
43.1%
36.7%
36.2%
33.0%
15.0%
15.2%
21.1%
8.8%
8.0%
10.1%
27.5%
28.3%
30.3%
14.2%
11.6%
18.3%
22.5%
29.0%
24.8%
12.5%
9.4%
11.9%
4.2%
5.8%
1.8%
22.5%
24.6%
22.9%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
寺　井
寺井小学校区
(H23、N=240)
湯野小学校区
(H23、N=138)
粟生小学校区
(H23、N=109)


各活動に携わる人たちの交流の場
各種活動の実施状況を知る機会・場所
専門家からの指導、助言の機会
県内や全国の先進活動事例を知る機会
各種活動に対する市民からの理解
リーダー育成のための学習の機会
活動のための資金の確保
各種活動の拠点
その他
わからない
43.3%
34.5%
26.3%
38.3%
36.2%
39.5%
18.3%
20.5%
21.1%
6.7%
11.3%
10.5%
21.7%
27.6%
28.9%
16.7%
13.7%
13.2%
30.0%
26.6%
28.9%
20.0%
13.7%
15.8%
5.0%
6.8%
2.6%
15.0%
19.8%
23.7%
0%
10%
20%
30%
40%
50%
辰　口
宮竹小学校区
（H23、N= 60 ）
辰口中央小学校区
（H23、N=293）
和気小学校区
（H23、N= 38 ）

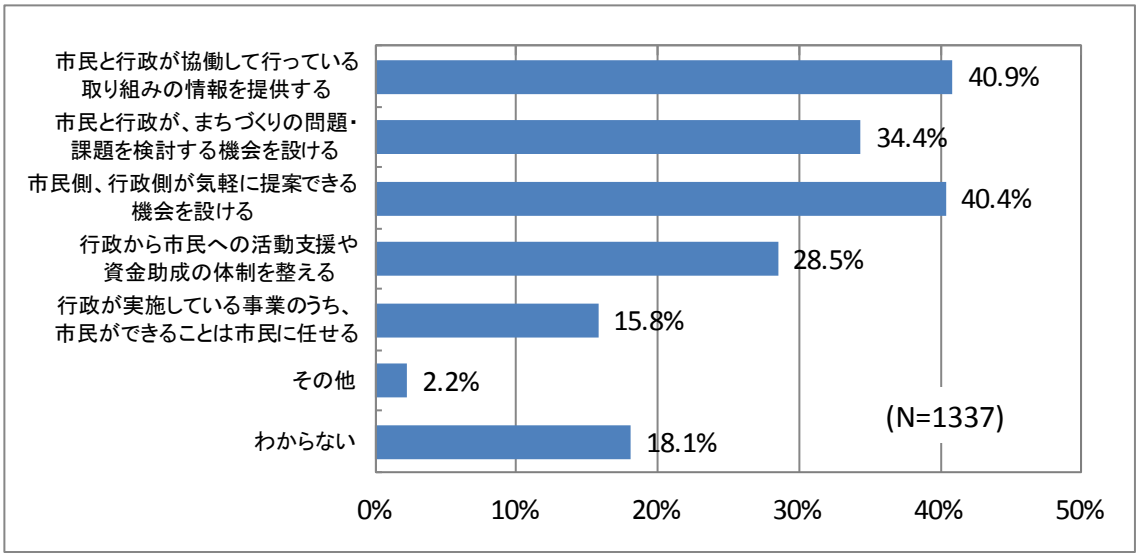
問 18　市民（地域団体、ボランティアグループなどを含む）と行政（市役所）の協働によるまちづくりを推進するためには、何が必要だと思いますか？（当てはまるもの全てに○）

◆「市民と行政が協働して行っている取り組みの情報を提供する」が 40.9%と最も多く、次いで「市民側、行政側が気軽に提案できる機会を設ける」40.4%、「市民と行政が、まちづくりの問題・課題を検討する機会を設ける」34.4%となっています。

選択項目	回答数	構成比
市民と行政が協働して行っている取り組みの情報を提供する	547	40.9%
市民と行政が、まちづくりの問題・課題を検討する機会を設ける	460	34.4%
市民側、行政側が気軽に提案できる機会を設ける	540	40.4%
行政から市民への活動支援や資金助成の体制を整える	381	28.5%
行政が実施している事業のうち、市民ができることは市民に任せる	211	15.8%
その他	30	2.2%
わからない	242	18.1%
無回答	116	－
回答数	2527	189.0%
回答者数	1337	100.0%

その他：　「依存」から「支え合い」へと双方の意識改革、行政が市民の立場を考えるよう公務員の意識改革、行政側のバックアップ、リーダーシップ、行政が自力的に働くこと、楽しさ・新鮮さ・面白み・遊び心、町内単位での発進から進める、人材育成、町内役員会の話し合いの場に行政の人も参加する、情報公開や PR 活動　など

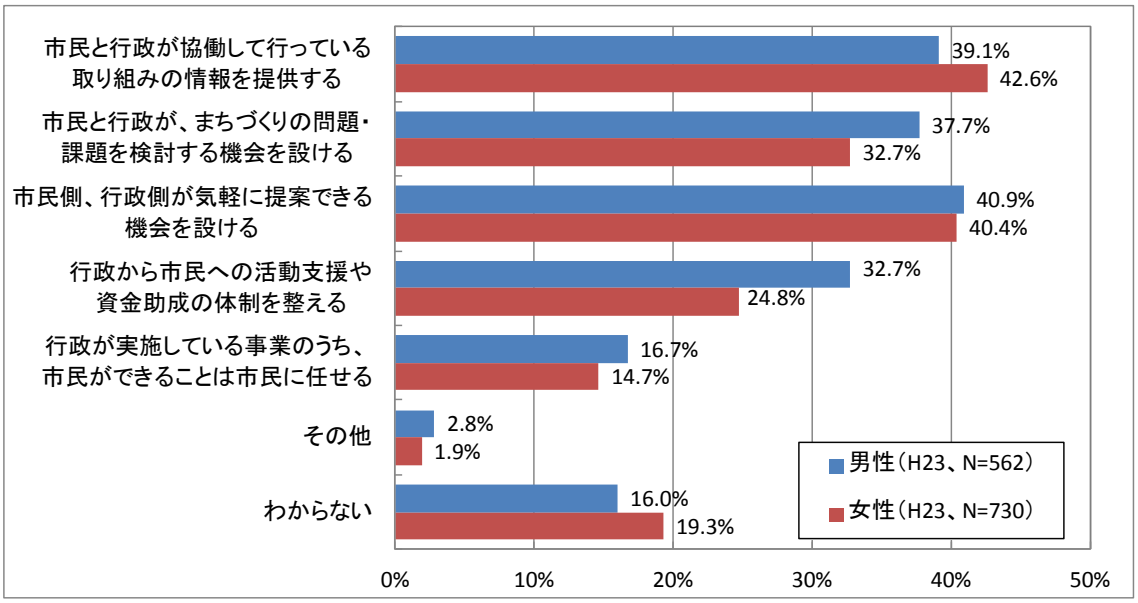
※（　）：H23 における回答者数



■市民と行政の協働推進に必要なこと（性別）

・男性は「市民側、行政側が気軽に提案できる機会を設ける」が 40.9%と最も多くなっています。女性は「市民と行政が協働して行っている取り組みの情報を提供する」が 42.6%と最も多くなっています。

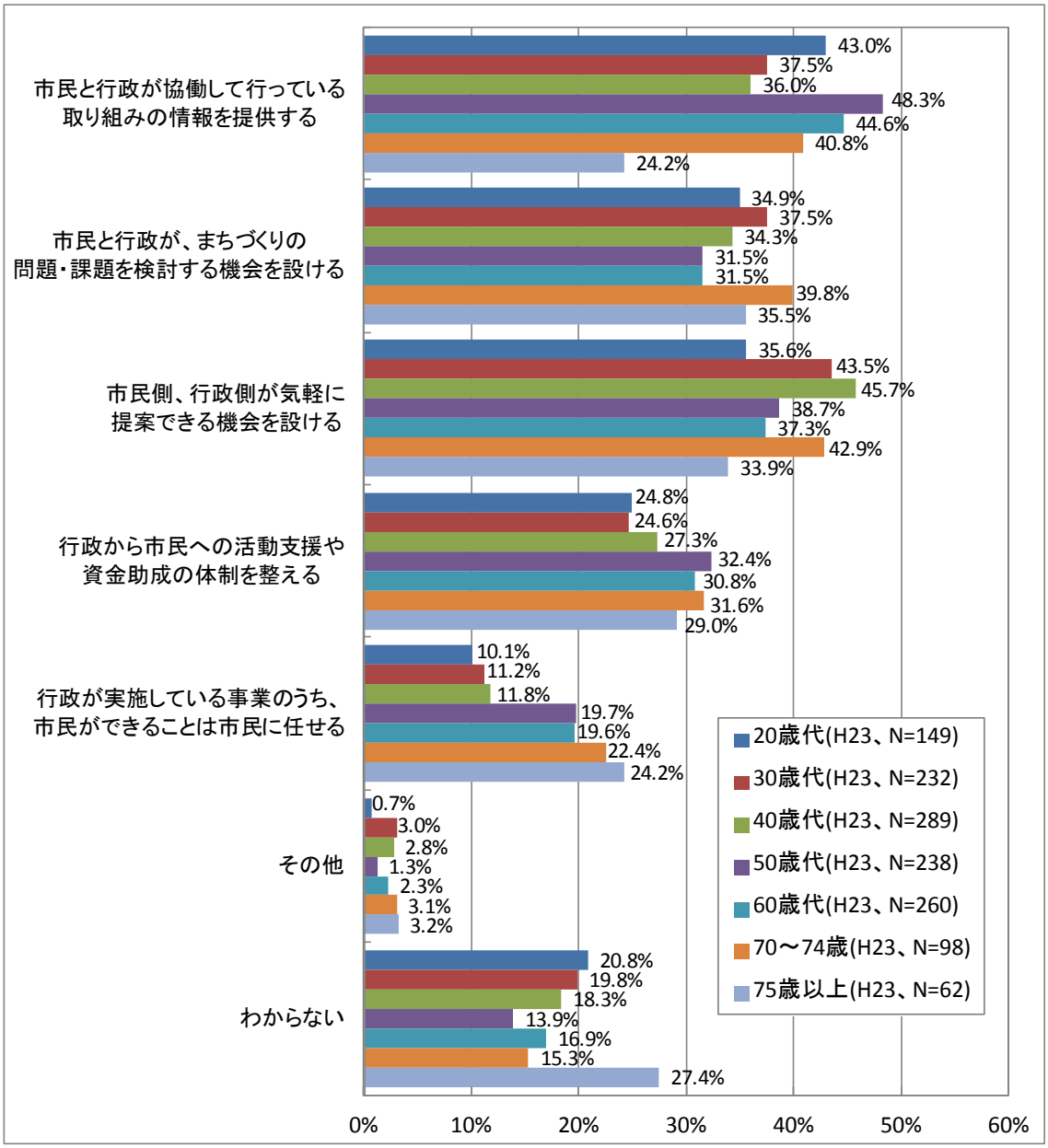
・男性は「行政から市民への活動支援や資金助成の体制を整える」が 32.7%と、約８ポイント、「市民と行政が、まちづくりの問題・課題を検討する機会を設ける」が 37.7%と約５ポイント、女性より高くなっています。



■市民と行政の協働推進に必要なこと（年代別）

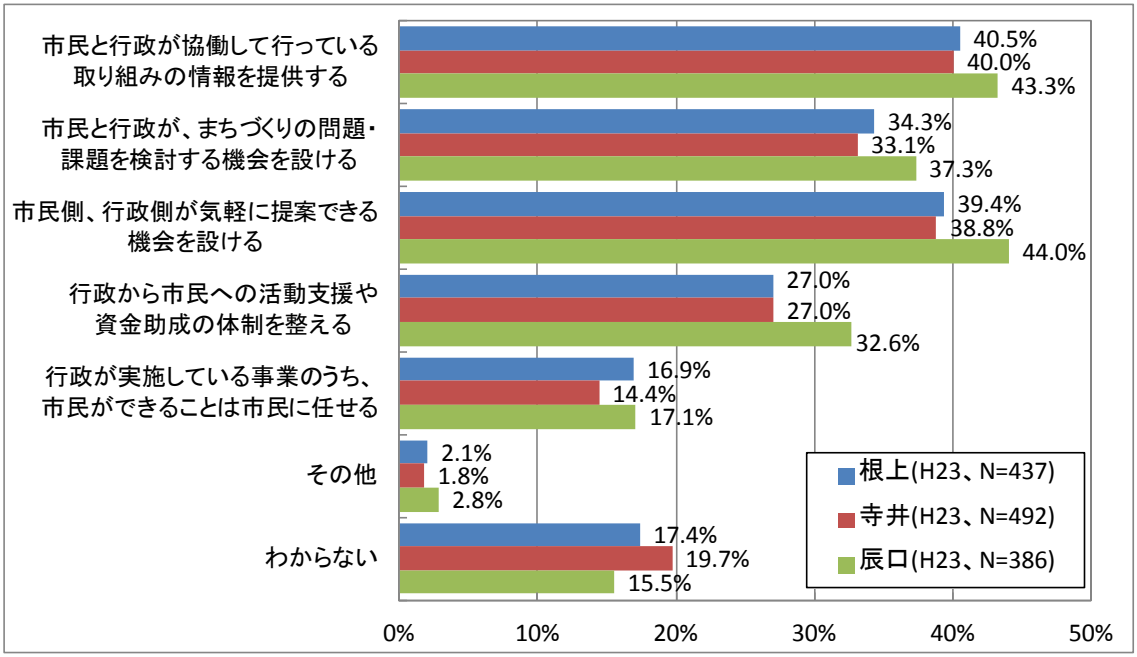
・75 歳以上は「市民と行政が協働して行っている取り組みの情報を提供する」が他の年代と比べて 11 ポイント以上低くなっています。

・年代が上がるほど、特に 50 歳以上で「行政が実施している事業のうち、市民ができることは市民に任せる」が高くなっています。



■市民と行政の協働推進に必要なこと（地区別）

・辰口は「わからない」以外の項目において、他の地区よりポイントが高くなっています。特に「行政から市民への活動支援や資金助成の体制を整える」は 32.6%と、他の地区より 5 ポイント以上高くなっています。



（５）男女共同参画社会づくりの取り組みについて

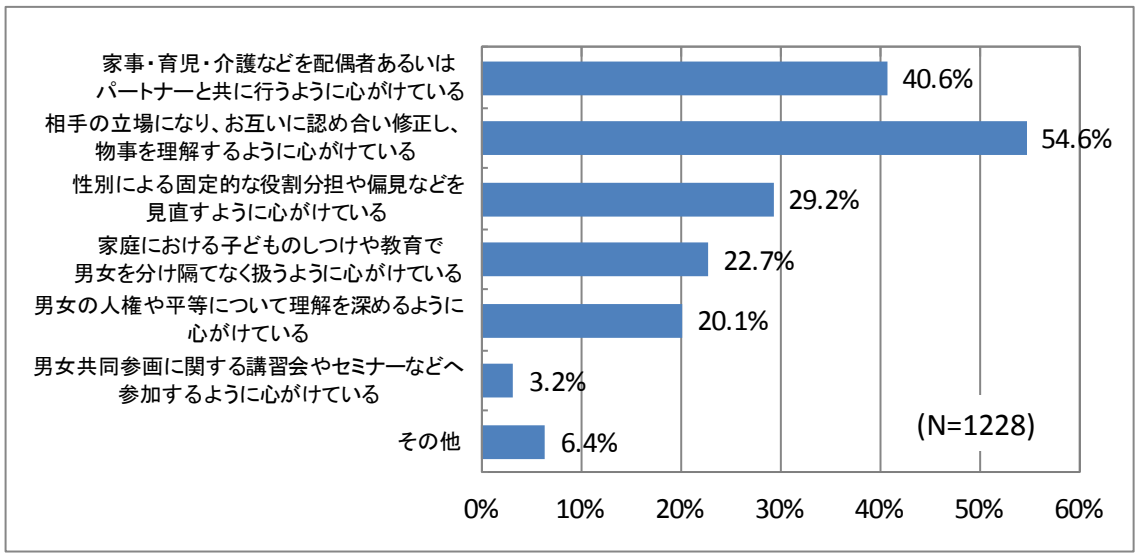
問 19　男女協働参画社会づくりのため、あなたは日常生活の中で心がけていることはありますか？（当てはまるもの全てに○）

◆「相手の立場になり、お互いに認め合い修正し、物事を理解するように心がけている」が 54.6%と最も多く、次いで「家事・育児・介護などを配偶者あるいはパートナーと共に行うように心がけている」が 40.6%となっています。

選択項目	回答数	構成比
家事・育児・介護などを配偶者あるいはパートナーと共に行うように心がけている	499	40.6%
相手の立場になり、お互いに認め合い修正し、物事を理解するように心がけている	670	54.6%
性別による固定的な役割分担や偏見などを見直すように心がけている	359	29.2%
家庭における子どものしつけや教育で男女を分け隔てなく扱うように心がけている	279	22.7%
男女の人権や平等について理解を深めるように心がけている	247	20.1%
男女共同参画に関する講習会やセミナーなどへ参加するように心がけている	39	3.2%
その他	78	6.4%
無回答	225	－
回答数	2396	195.1%
回答者数	1228	100.0%

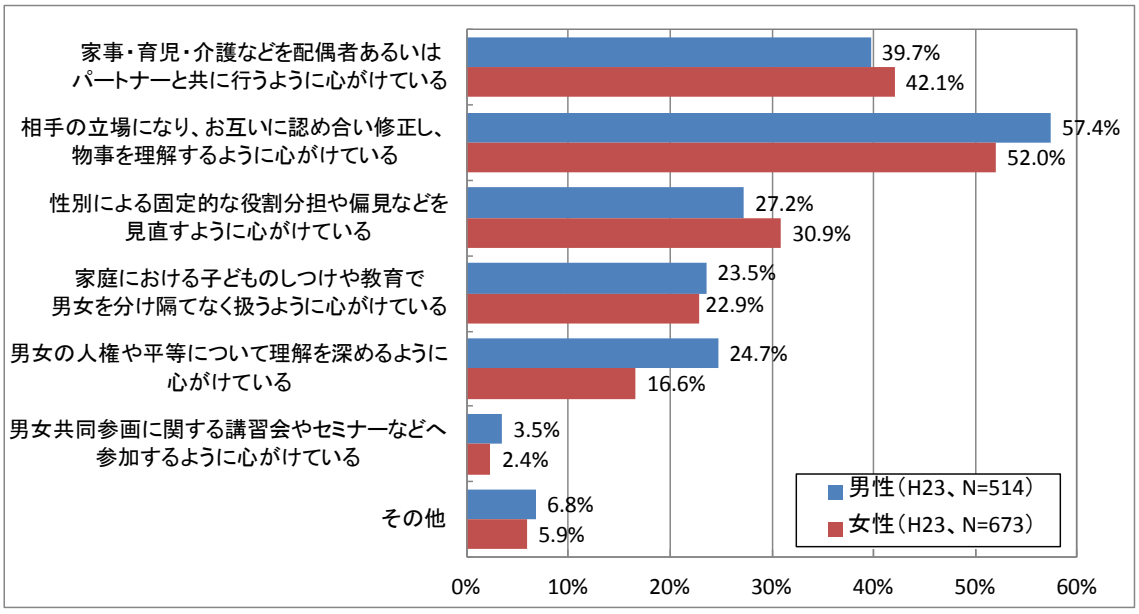
その他：　特になし（30）、わからない(3)、性別による適切な役割分担(2)、男女平等がいき過ぎないよう注意してバランスをとるようにしている、男女としてよりも人としてということを大切にしている、男女の違いを理解した上で個人で出来ることはするようにしている、教育活動　など

※（　）:H23 における回答者数



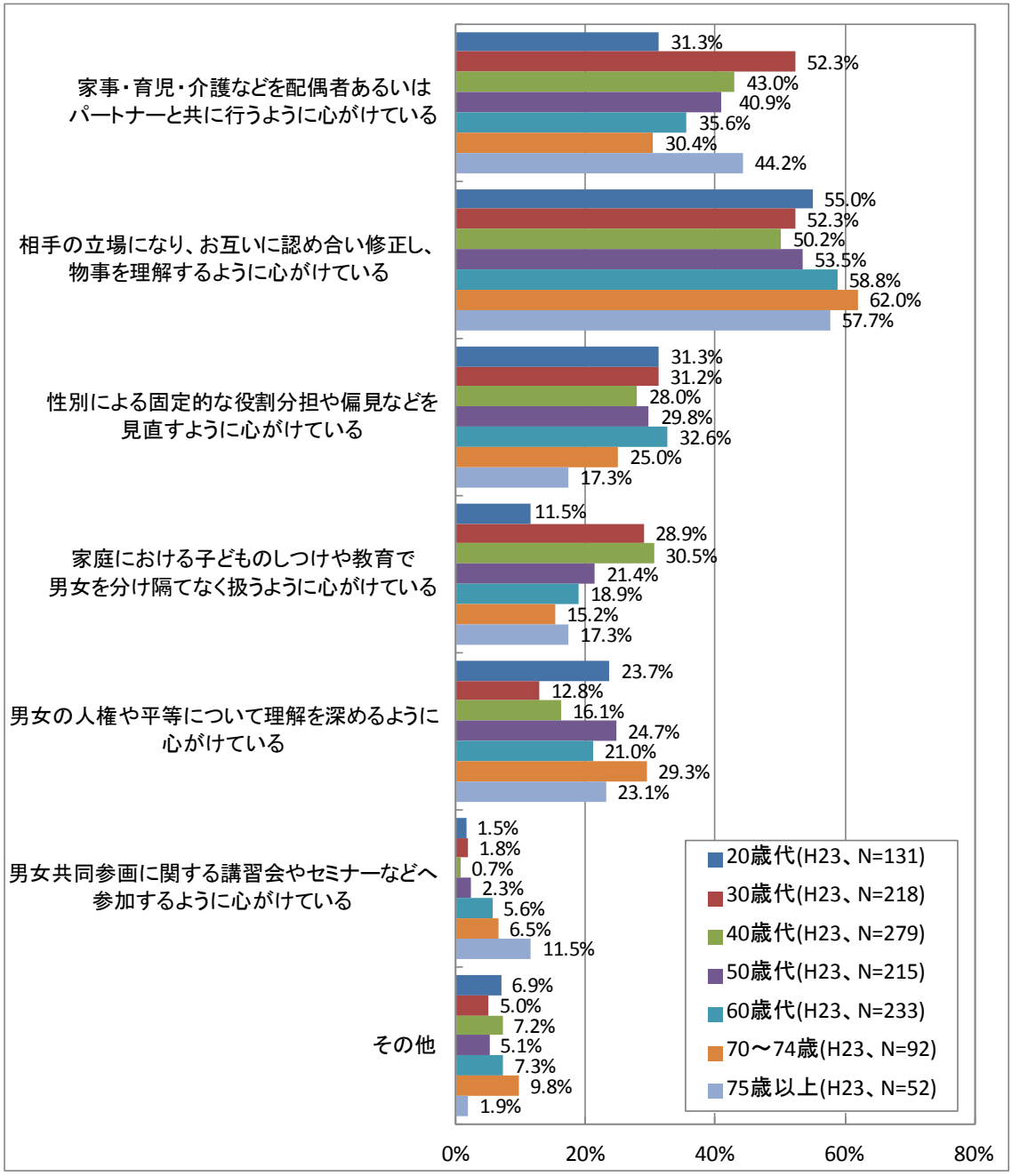
■男女協働参画で心がけていること（性別）

・男性は「男女の人権や平等について理解を深めるように心がけている」が 24.7％と約８ポイント、「相手の立場になり、お互いに認め合い修正し、物事を理解するように心がけている」が 57.4％と約５ポイント、それぞれ女性より高くなっています。



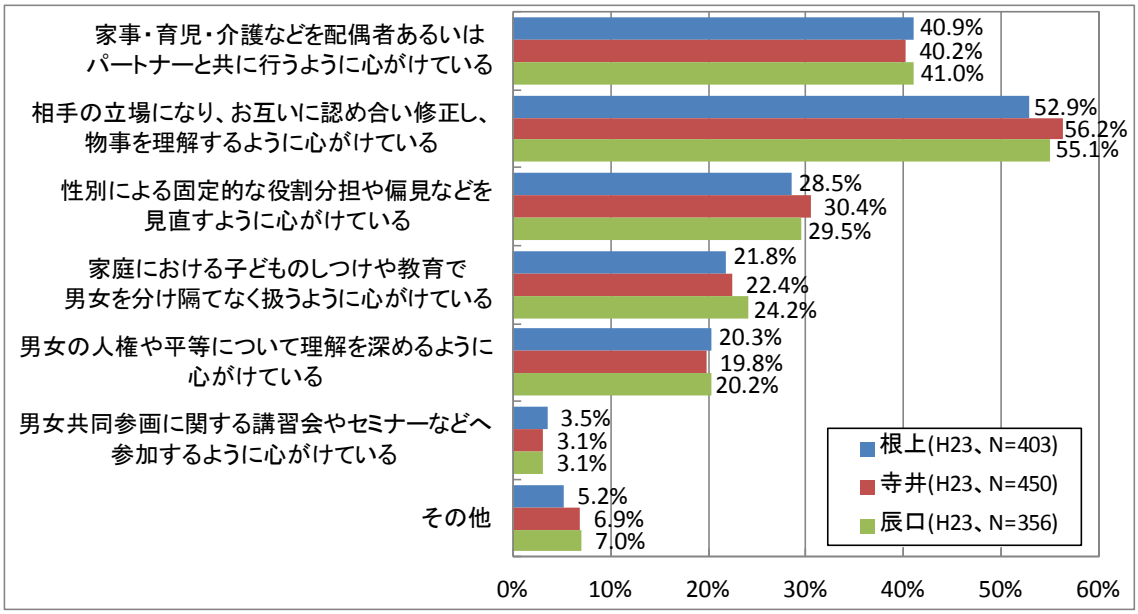
■男女協働参画で心がけていること（年代別）

・どの年代においても「相手の立場になり、お互いに認め合い修正し、物事を理解するように心がけている」が最も多くなっています。特に 60 歳以上の方で多くなっています。
・次いで、どの年代においても「家事・育児・介護などを配偶者あるいはパートナーと共に行うように心がけている」が多くなっています。特に 30 歳代で多くなっており、20 歳代と 75 歳以上を除き年代が上がるほど少なくなっています。
・30～40 歳代は「家庭における子どものしつけや教育で男女を分け隔てなく扱うよう心がけている」が他の年代と比べ多くなっており、20 歳代を除き年代が上がるほど少なくなっています。
・年代が上がるほど「性別による固定的な役割分担や偏見などを見直すように心がけている」が少なくなっています。



■男女協働参画で心がけていること（地区別）

・地区別で、大きな差はみられません。



（６）公共交通網の充実について

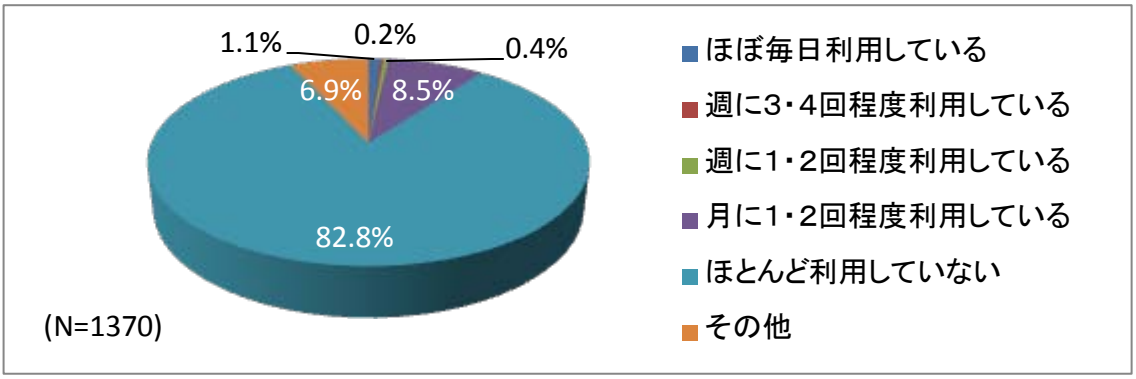
問 20　能美市では、公共交機関をより一層便利にご利用いただくため、ＪＲ寺井駅の周辺整備を行っています。あなたは、ＪＲ寺井駅を利用していますか？

◆「ほとんど利用していない」が８割以上を占めています。

選択項目	回答数	構成比
ほぼ毎日利用している	15	1.1%
週に3・4回程度利用している	3	0.2%
週に1・2回程度利用している	6	0.4%
月に1・2回程度利用している	116	8.5%
ほとんど利用していない	1135	82.8%
その他	95	6.9%
無回答	83	－
回答数	1453	－
回答者数	1370	100.0%

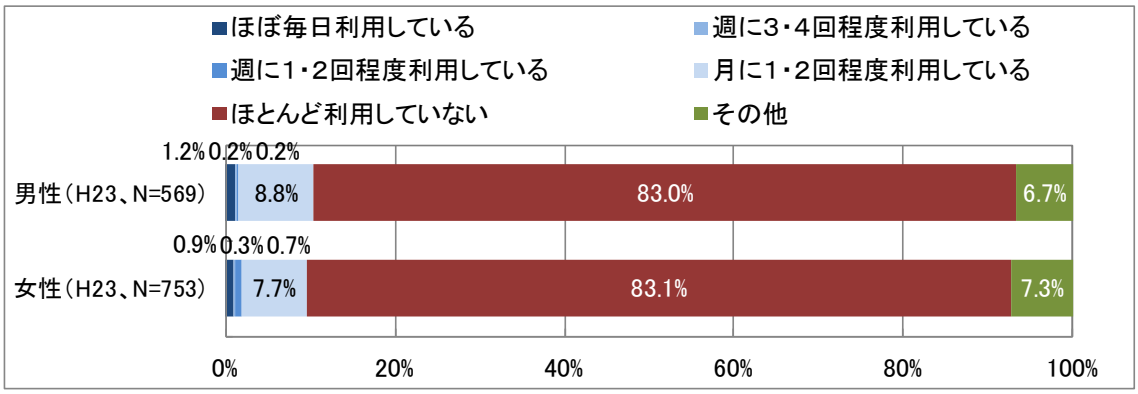
その他：　利用していない(30)、年に数回利用(14)、年に 1、2 回利用(13)、年に 2、3 回利用(9)、不定期に時々利用(3)、飲み会の時に利用、仕事の出張時のみ利用、旅行または通院時に利用、冬期のみ利用など

※（ ）:H23 における回答者数



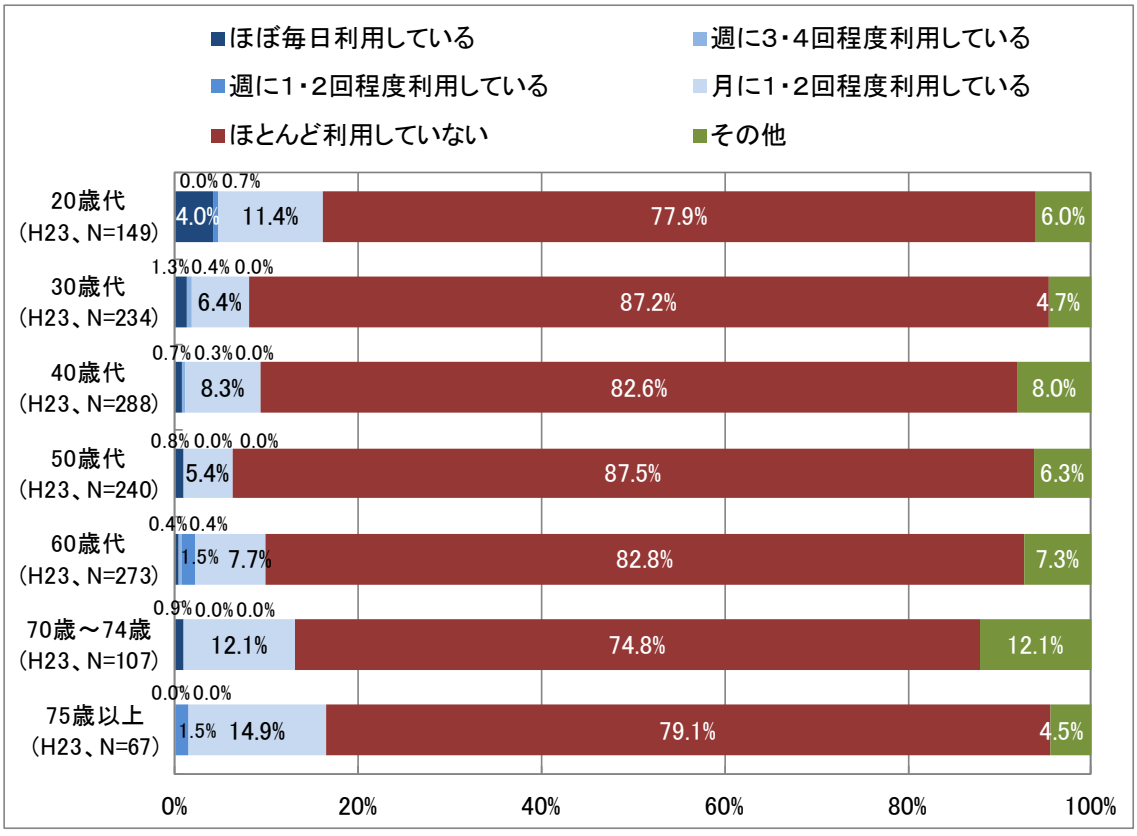
■JR寺井駅の利用状況（性別）

・性別では、あまり差がみられません。



■JR寺井駅の利用状況（年代別）

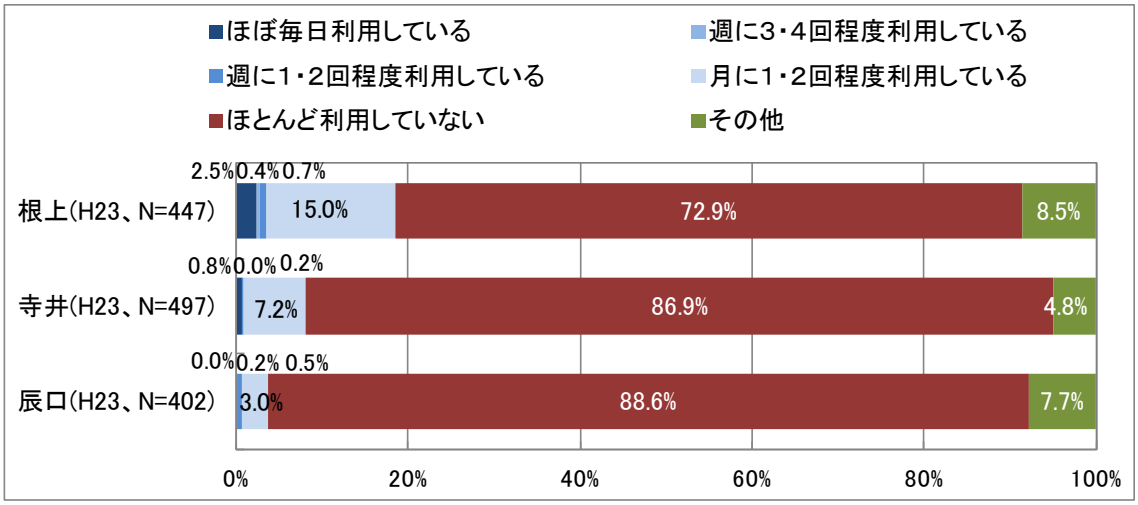
・全ての年代でほとんど利用していないが７割以上を占めていますが、20 歳代や 60 歳以上は、月に１・２回以上利用している方が１割以上となっています。



■JR寺井駅の利用状況（地区別）

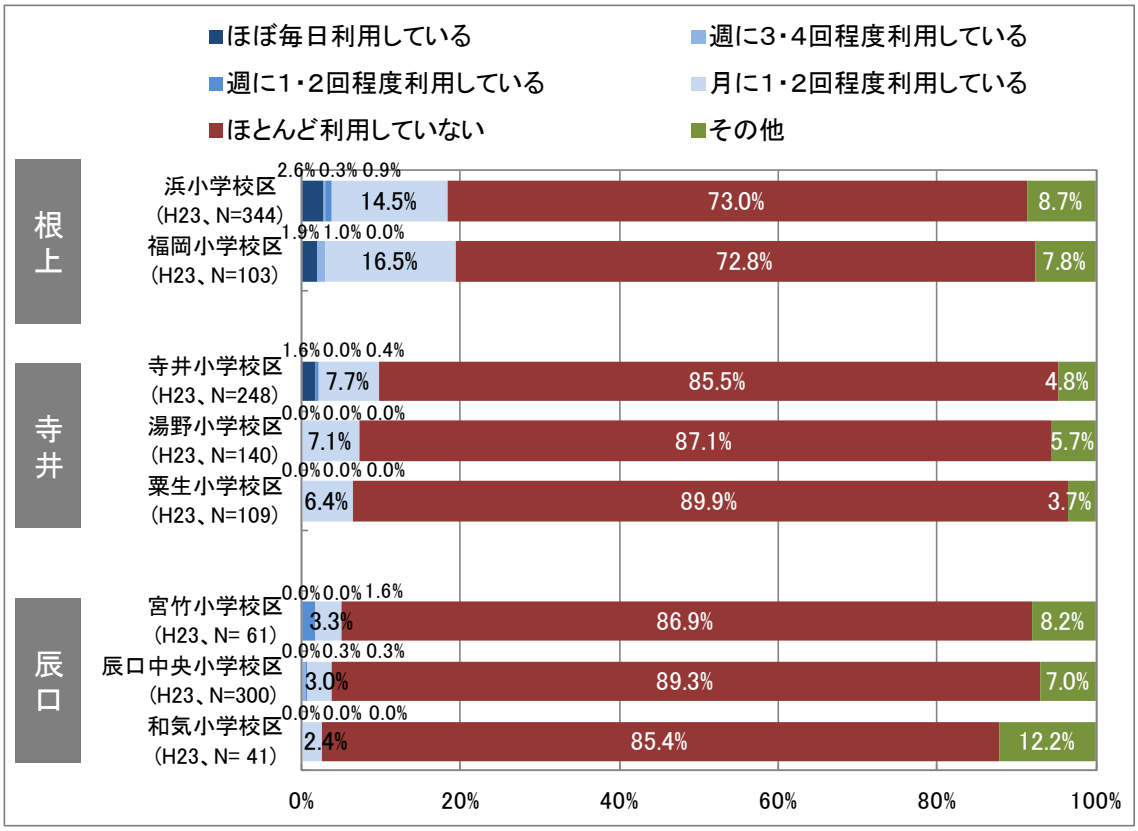
【地区別】

・根上では「ほとんど利用していない」が 72.9%と他の地区より 14 ポイント以上低くなっています。一方で「週に３・４回程度利用している」が 15.0%と他の地区より７ポイント以上高くなっています。



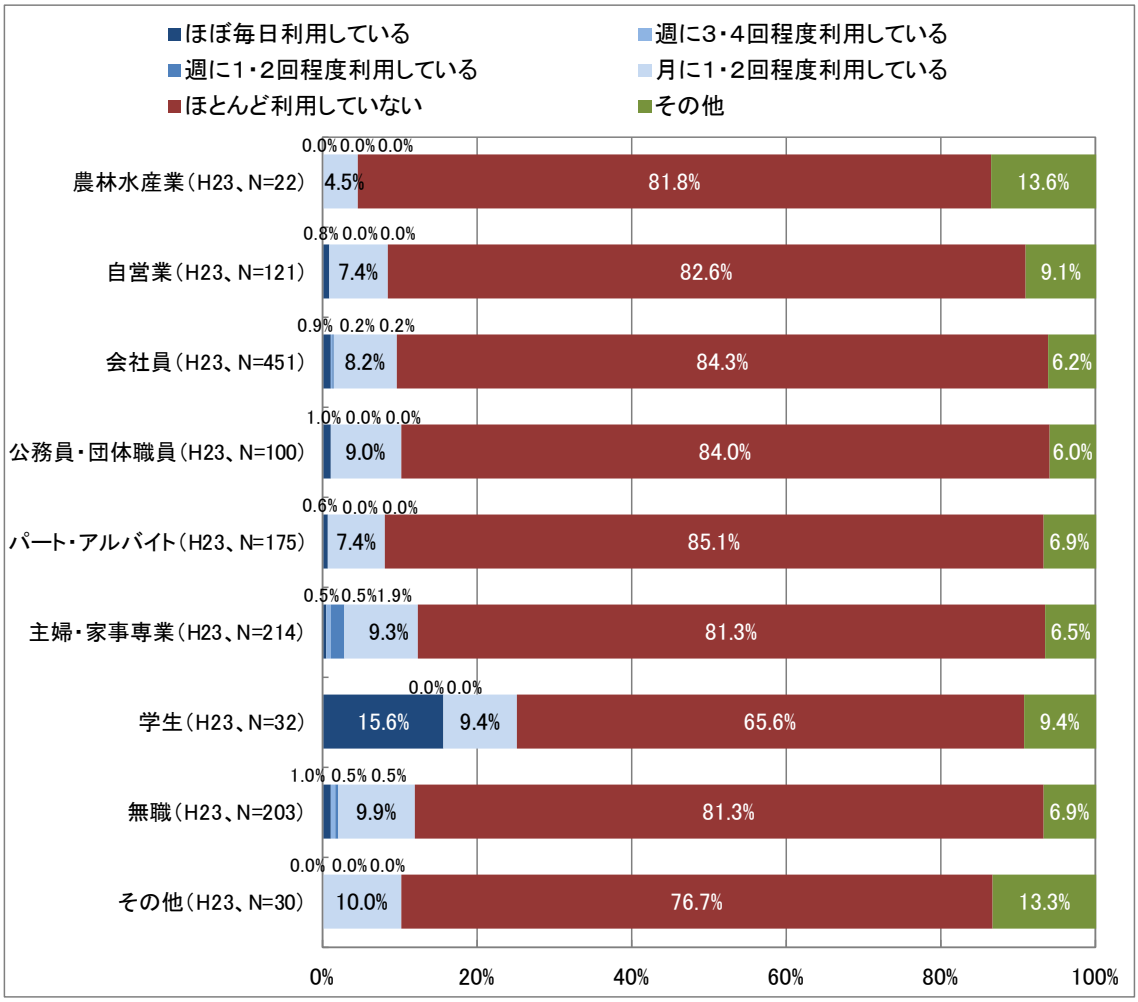
【小学校区別】

・全ての小学校区で地区別と同様な傾向となっています。



■JR寺井駅の利用状況（職業別）

・学生は「ほぼ毎日利用している」が 15.6%と他の職業より 14 ポイント以上高くなっています。



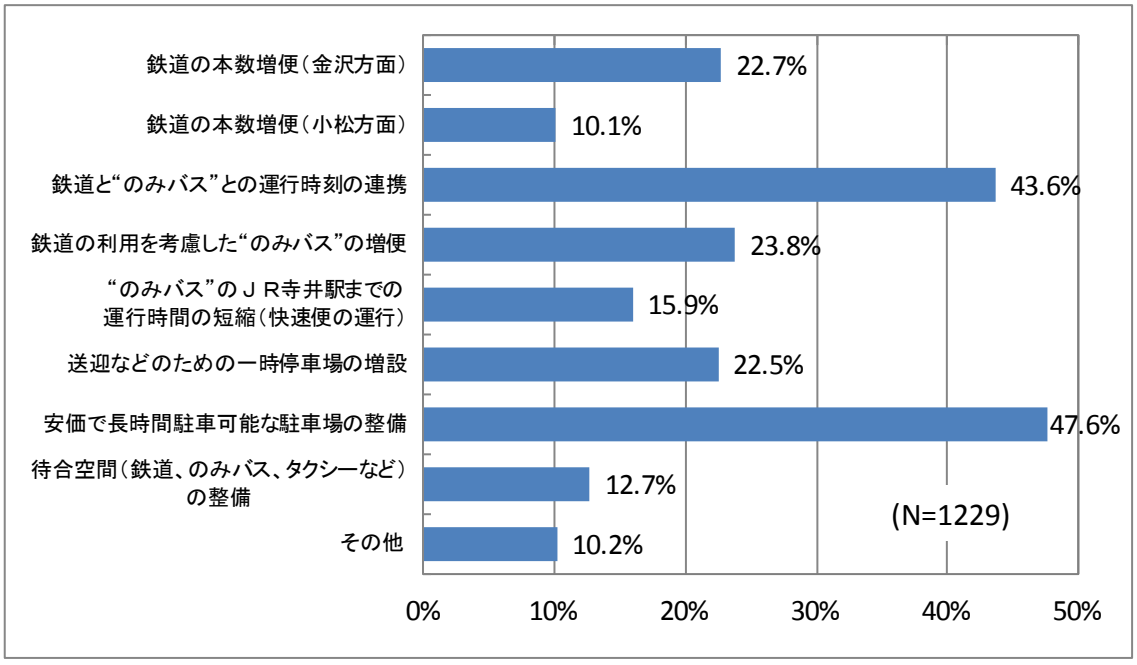
問 21　一人でも多くの方に鉄道を利用していただくためには何が必要だと思いますか？（３つまで○）

◆「安価で長時間駐車可能な駐車場整備」が 47.6%と最も多く、次いで「鉄道と“のみバス”との運行時刻の連携」が 43.6%となっています。

選択項目	回答数	構成比
鉄道の本数増便（金沢方面）	279	22.7%
鉄道の本数増便（小松方面）	124	10.1%
鉄道と“のみバス”との運行時刻の連携	536	43.6%
鉄道の利用を考慮した“のみバス”の増便	292	23.8%
“のみバス”のJR寺井駅までの運行時間の短縮（快速便の運行）	196	15.9%
送迎などのための一時停車場の増設	276	22.5%
安価で長時間駐車可能な駐車場の整備	585	47.6%
待合空間（鉄道、のみバス、タクシーなど）の整備	156	12.7%
その他	125	10.2%
無回答	224	－
回答数	2793	227.3%
回答者数	1229	100.0%

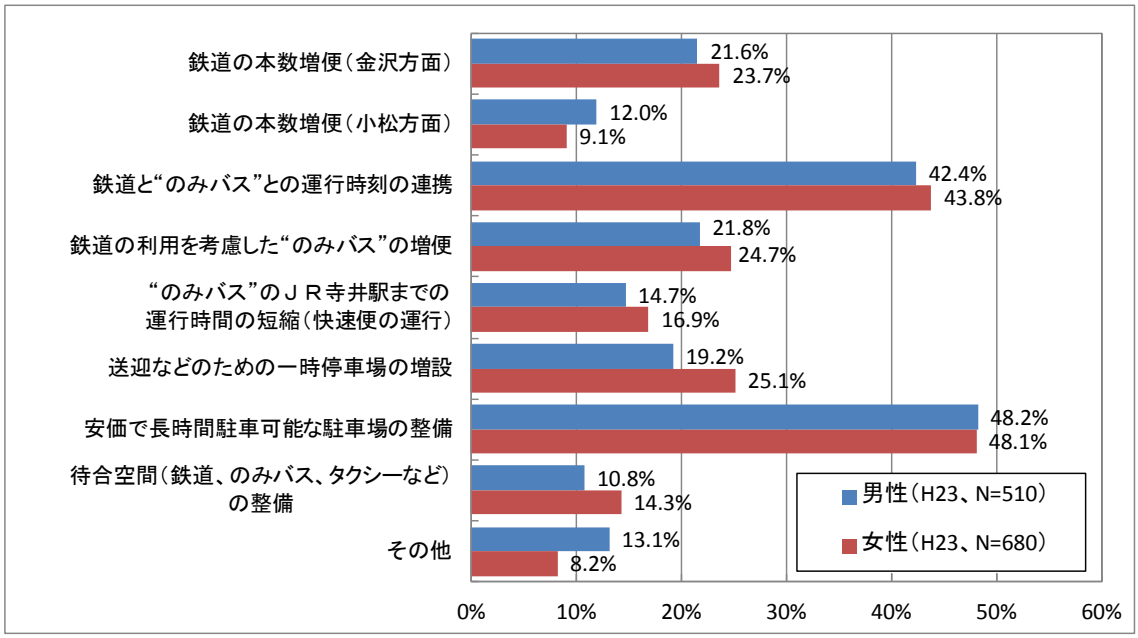
その他：　鉄道料金の値下げ(8)、駅周辺施設(店舗やスポット)の設置・整備(8)、わからない(6)、駅のバリアフリー化(6)、特になし(5)、特急列車の停車(5)、意味がない(3)、情報発信、PR 活動(3)、今のままでよい(2)、鉄道を降りた後の利便性向上、駐車場の整備・無料化、市役所等の公共施設の設置、タクシー料金の値下げ、個人の意識を変える(マイカー利用から鉄道利用へ)、駅内に売店・店舗の設置、のみバスの路線拡大、サイクルトレインの導入、金沢のように車で侵入できないエリアを作る、PASMO のような商店鉄道共通のポイントカードや電子マネーおよび自動改札の導入　など

※（　）:H23 における回答者数



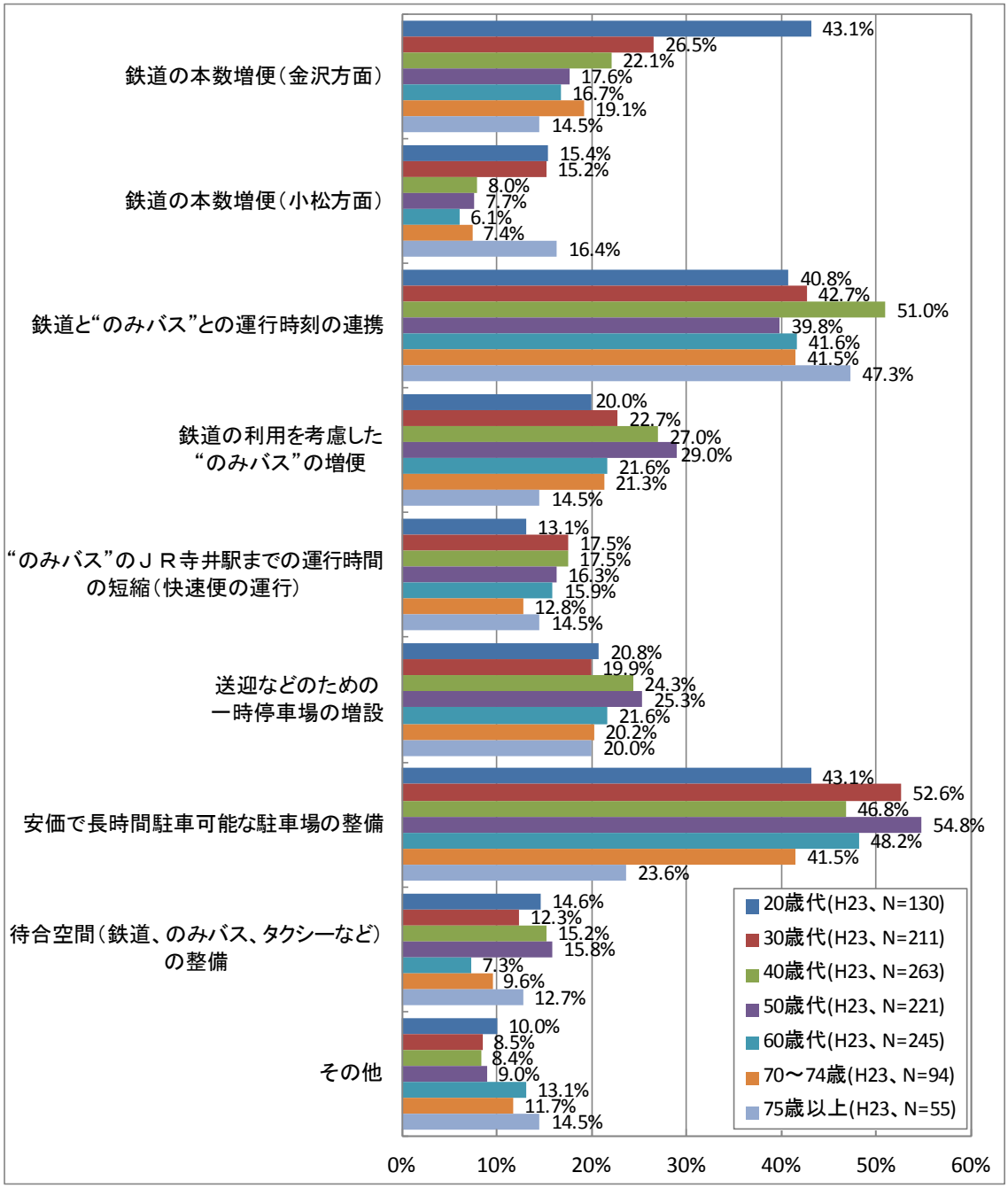
■鉄道等の利用促進のために必要なこと（性別）

・女性は「送迎などのための一時停車場の増設」が 25.1％と、男性よりも約６ポイント高くなっています。



■鉄道等の利用促進のために必要なこと（年代別）

・20 歳代は「鉄道の本数増便」が他の年代より 16 ポイント以上高くなっており、年代が下がるほど「鉄道の本数増便」が増加しています。
・どの年代においても「鉄道と“のみバス”との運行時刻の連携」「安価で長時間駐車可能な駐車場の整備」が多くなっています。
・40～50 歳代は「鉄道の利用を考慮した“のみバス”の増便」や「送迎などのための一時停車場の増設」が比較的高くなっています。



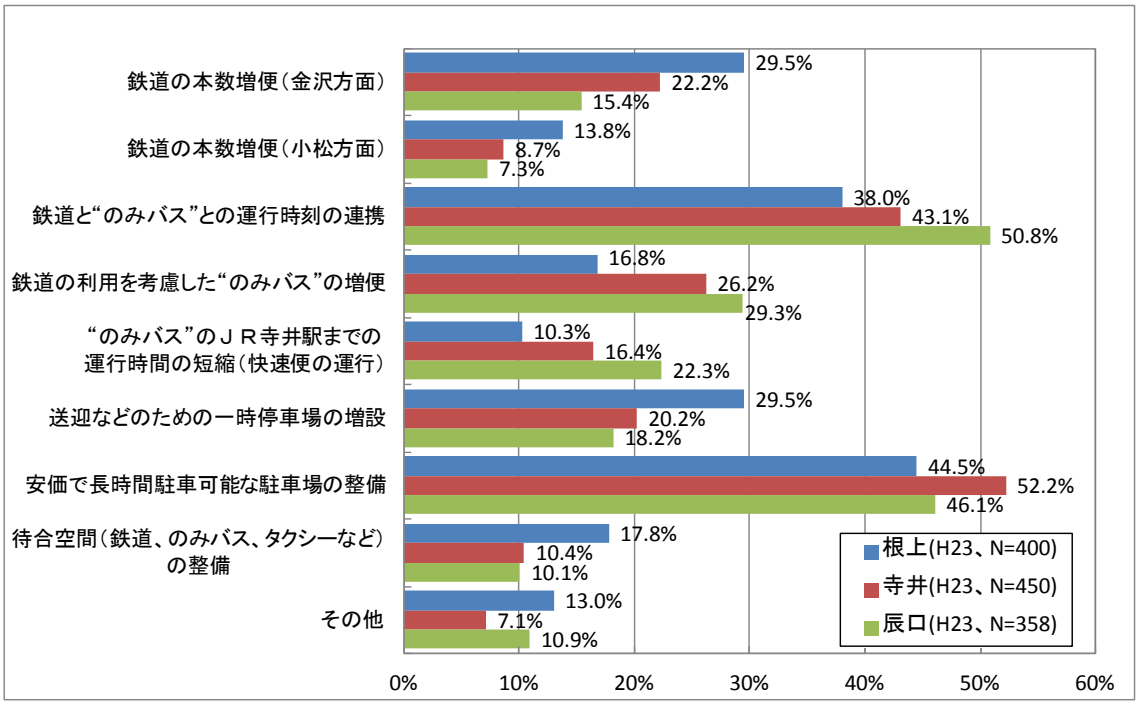
■鉄道等の利用促進のために必要なこと（地区別）

【地区別】

・３地区共に、「安価で長時間駐車可能な駐車場の整備」「鉄道と“のみバス”との運行時刻の連携」が多くなっています。特に、寺井は「安価で長時間駐車可能な駐車場の整備」が他の地区より６ポイント以上高くなっています。また辰口は「鉄道と“のみバス”との運行時刻の連携」が他の地区より７ポイント以上高くなっています。

・根上は「送迎などのための一時停車場の増設」が他の地区より９ポイント以上高くなっています。また「鉄道の本数増便（金沢方面）」「待合空間（鉄道、のみバス、タクシーなど）の整備」が７ポイント以上、「鉄道の本数増便（小松方面）」が５ポイント以上他の地区より高くなっています。

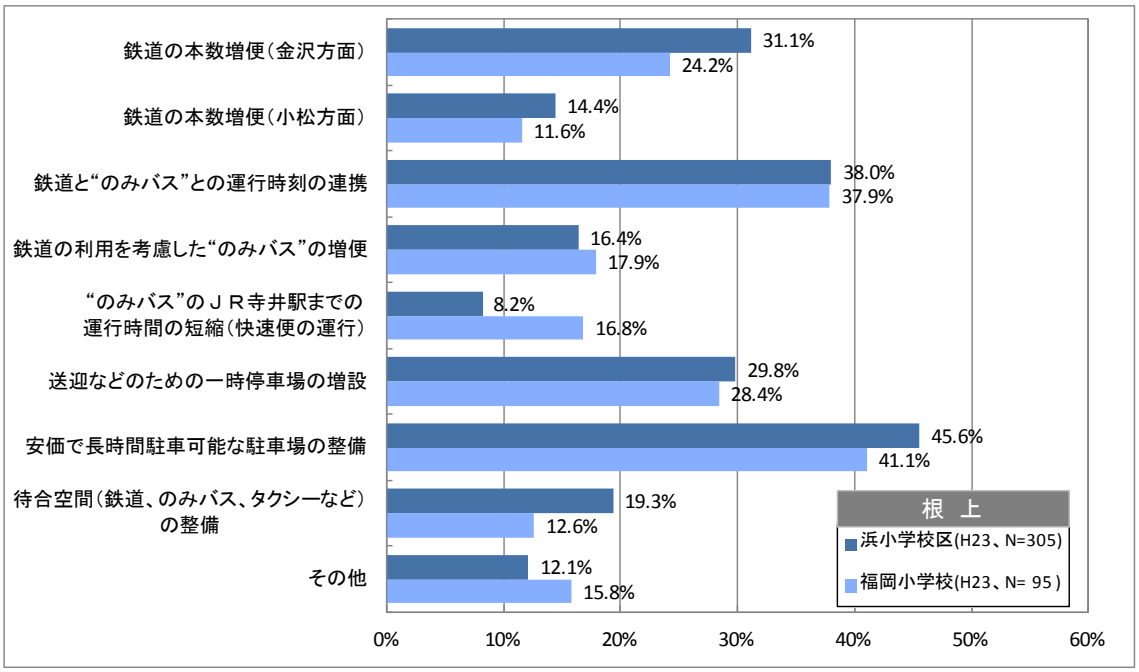
・寺井、辰口は「鉄道の利用を考慮した“のみバス”の増便」が９ポイント以上、「“のみバス”のＪＲ寺井駅までの運行時間の短縮（快速便の運行）」が６ポイント以上、根上より高くなっており、特に辰口はこれらの項目が高くなっています。

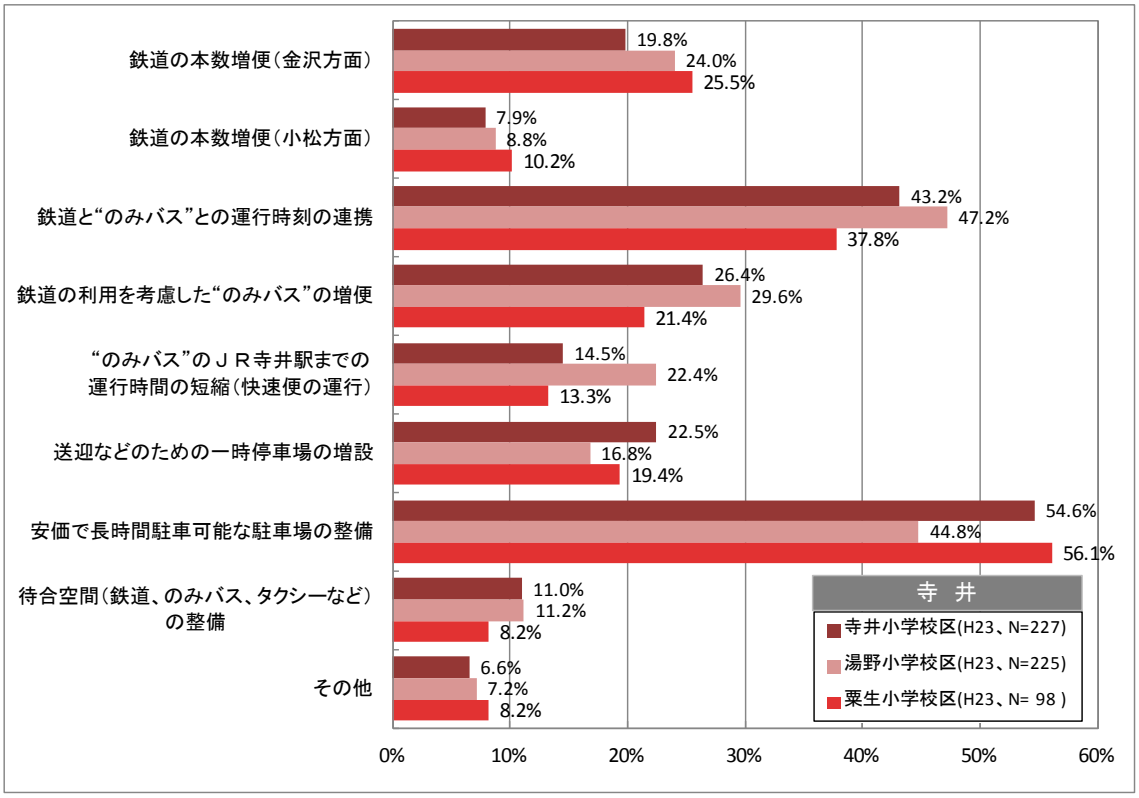


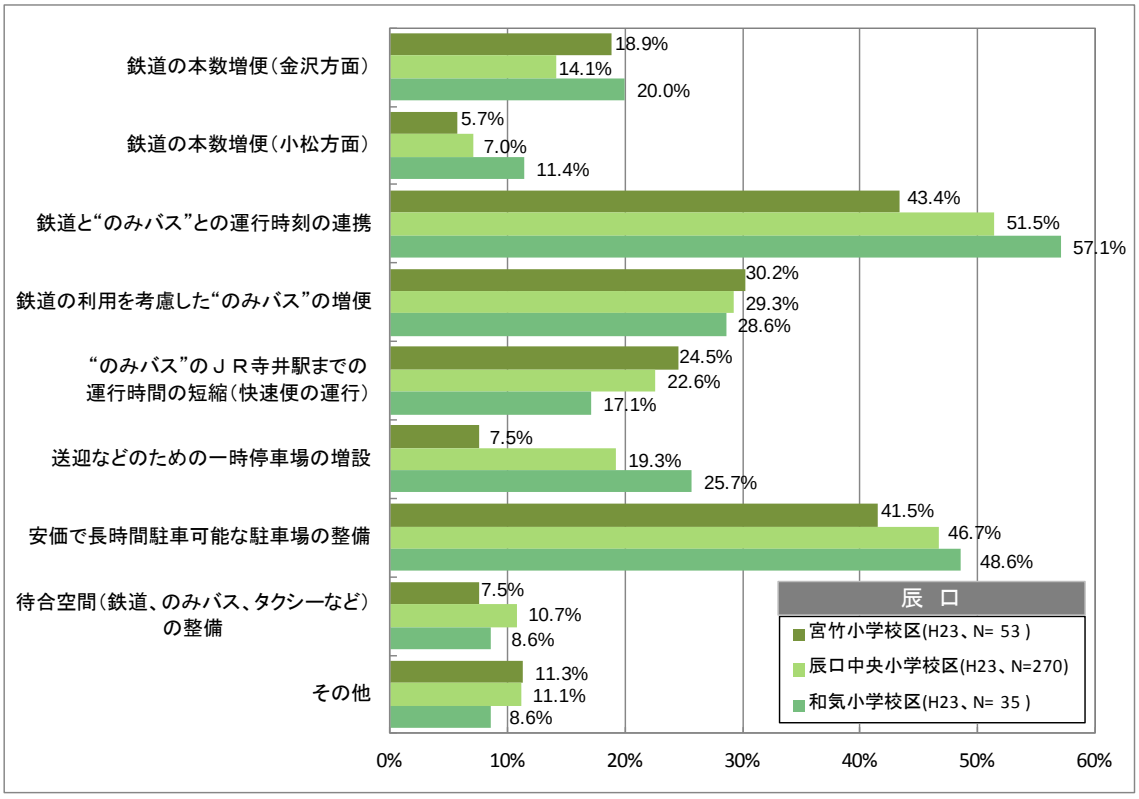
【小学校区別】

・全ての小学校区で「安価で長時間駐車可能な駐車場の整備」「鉄道と“のみバス”との運行時刻の連携」が多くなっています。特に、寺井小学校区と粟生小学校区は「安価で長時間駐車可能な駐車場の整備」が５割以上となっており、辰口中央小学校区と和気小学校区は「鉄道と“のみバス”との運行時刻の連携」が５割以上となっています。

・寺井小学校区、湯野小学校区、宮竹小学校区、辰口中央小学校区、和気小学校区は「鉄道の利用を考慮した“のみバス”の増便」が約３割となっていますが、浜小学校区、福岡小学校区、粟生小学校区では約２割と比較的低くなっています。



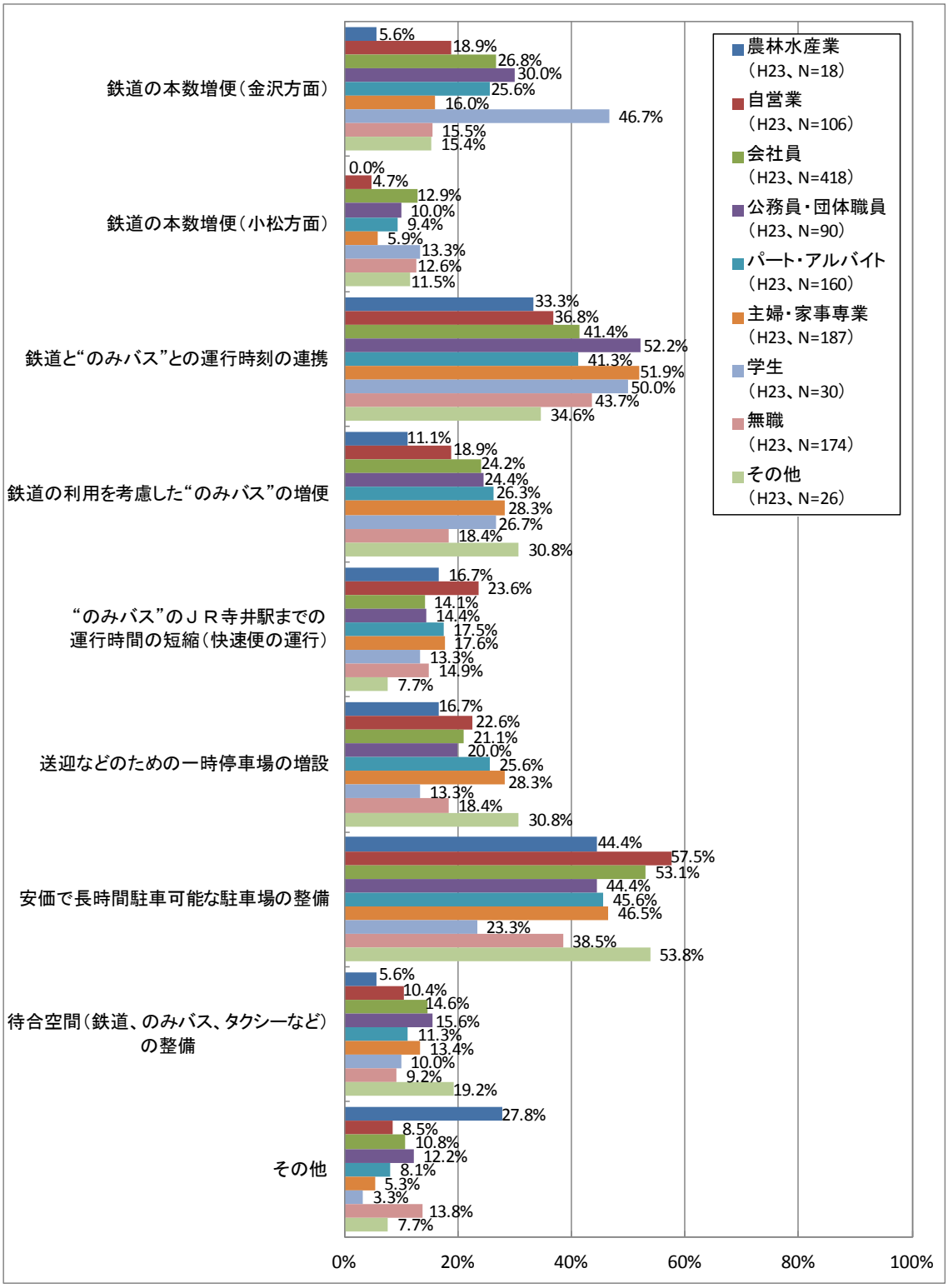

鉄道の本数増便（金沢方面）
19.8%
24.0%
25.5%
鉄道の本数増便（小松方面）
7.9%
8.8%
10.2%
鉄道と“のみバス”との運行時刻の連携
43.2%
47.2%
37.8%
鉄道の利用を考慮した“のみバス”の増便
26.4%
29.6%
21.4%
“のみバス”のＪＲ寺井駅までの運行時間の短縮（快速便の運行）
14.5%
22.4%
13.3%
送迎などのための一時停車場の増設
22.5%
16.8%
19.4%
安価で長時間駐車可能な駐車場の整備
54.6%
44.8%
56.1%
待合空間（鉄道、のみバス、タクシーなど）の整備
11.0%
11.2%
8.2%
その他
6.6%
7.2%
8.2%
寺　井
寺井小学校区(H23、N=227)
湯野小学校区(H23、N=225)
粟生小学校区(H23、N= 98)
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%


鉄道の本数増便（金沢方面）
18.9%
14.1%
20.0%
鉄道の本数増便（小松方面）
5.7%
7.0%
11.4%
鉄道と“のみバス”との運行時刻の連携
43.4%
51.5%
57.1%
鉄道の利用を考慮した“のみバス”の増便
30.2%
29.3%
28.6%
“のみバス”のＪＲ寺井駅までの運行時間の短縮（快速便の運行）
24.5%
22.6%
17.1%
送迎などのための一時停車場の増設
7.5%
19.3%
25.7%
安価で長時間駐車可能な駐車場の整備
41.5%
46.7%
48.6%
待合空間（鉄道、のみバス、タクシーなど）の整備
7.5%
10.7%
8.6%
その他
11.3%
11.1%
8.6%
辰　口
宮竹小学校区(H23、N= 53)
辰口中央小学校区(H23、N=270)
和気小学校区(H23、N= 35)
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%

■鉄道等の利用促進のために必要なこと（職業別）

・学生は「鉄道の本数増便（金沢方面）」が最も多く、他の職業より 16 ポイント以上高くなっています。

・全ての職業で「鉄道と“のみバス”との運行時刻の連携」「安価で長時間駐車可能な駐車場の整備」が多くなっていますが、公務員・団体職員、主婦・家事専業、学生は「鉄道と“のみバス”との運行時刻の連携」が比較的高く、自営業や会社員は「安価で長時間駐車可能な駐車場の整備」が比較的高くなっています。



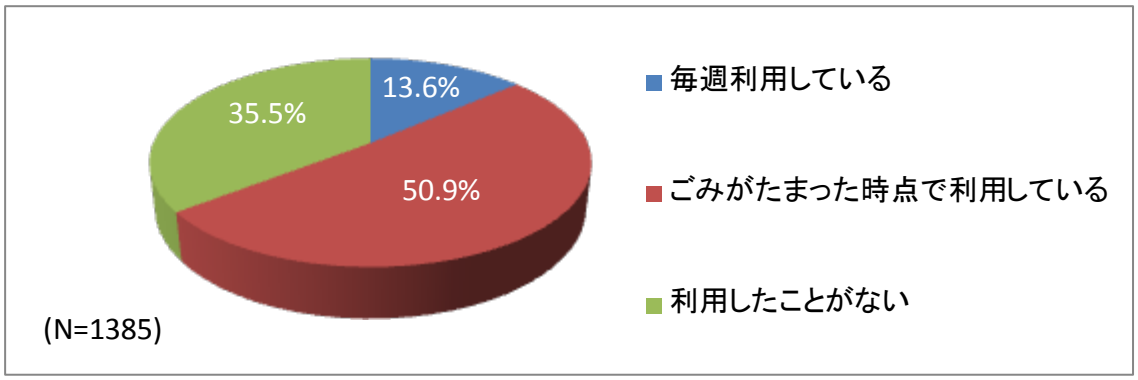
（７）リサイクルセンターのあり方について

問 22　能美市では、資源ごみを町会・町内会ごとに回収しているほか、根上・寺井・辰口地区のリサイクルセンターでも回収しており、資源ごみを出しやすい体制を整備しています。あなたは、リサイクルセンターを利用していますか？

◆「ごみがたまった時点で利用している」が 5 割以上を占めています。一方「利用したことがない」が 35.5%となっています。

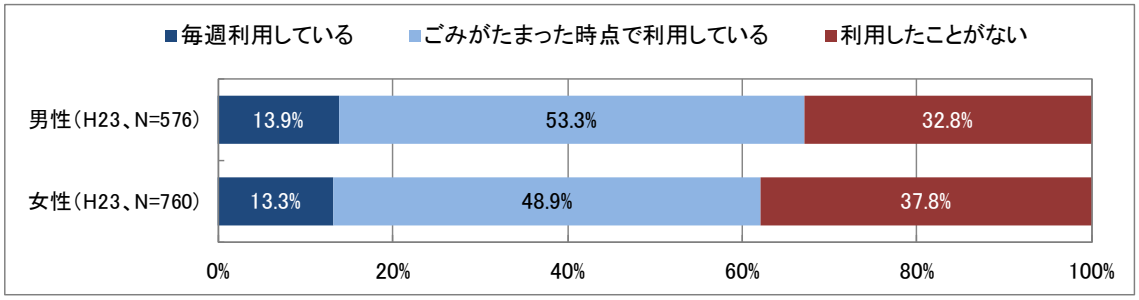
◆回答者の 6 割以上がリサイクルセンターを利用していると回答しています。

選択項目	回答数	構成比
毎週利用している	189	13.6%
ごみがたまった時点で利用している	705	50.9%
利用したことがない	491	35.5%
無回答	68	－
合計	1453	－
回答者数	1385	100.0%



■リサイクルセンターの利用状況（性別）

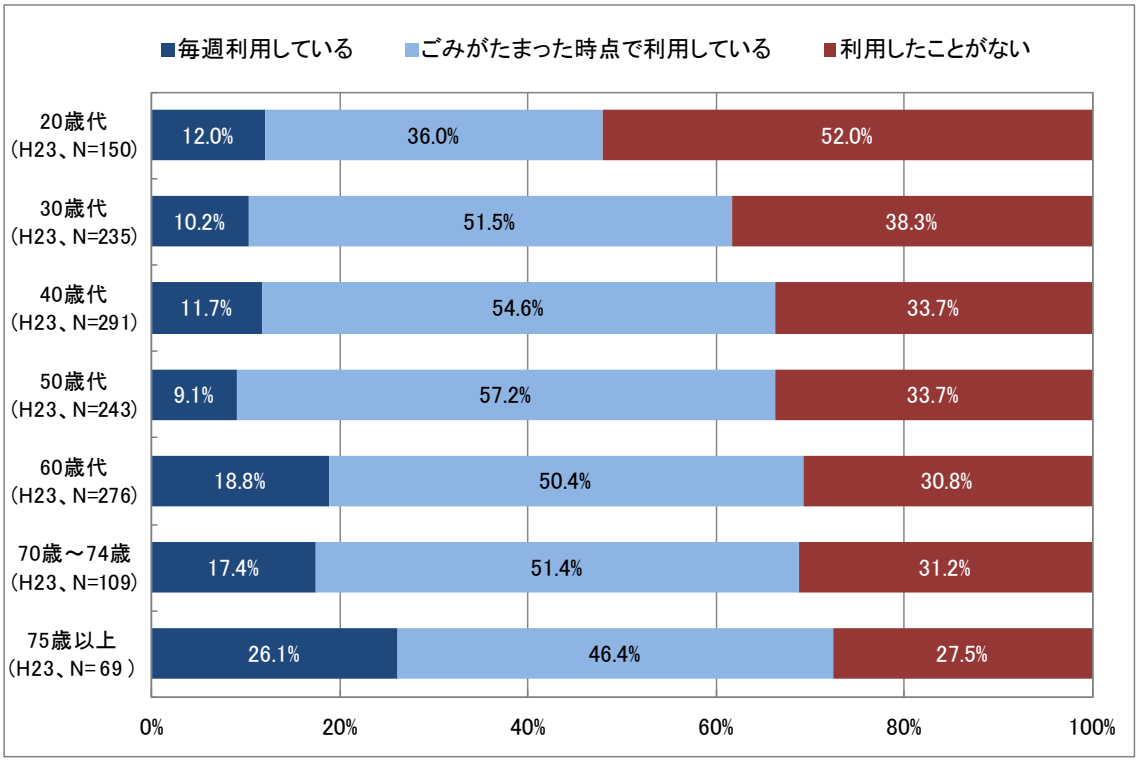
・女性は「利用したことがない」が 37.8%と、男性よりも５ポイント高くなっています。



■リサイクルセンターの利用状況（年代別）

・年代が上がるにつれてリサイクルセンターを利用している方が増えています。

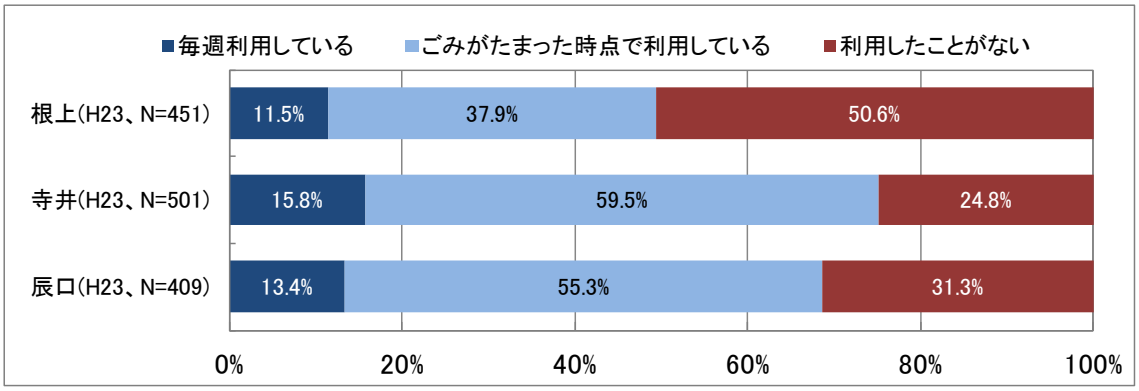
・20 歳代は「利用したことがない」が 52.0%と、他の年代より 13 ポイント以上高くなっています。



■リサイクルセンターの利用状況（地区別）

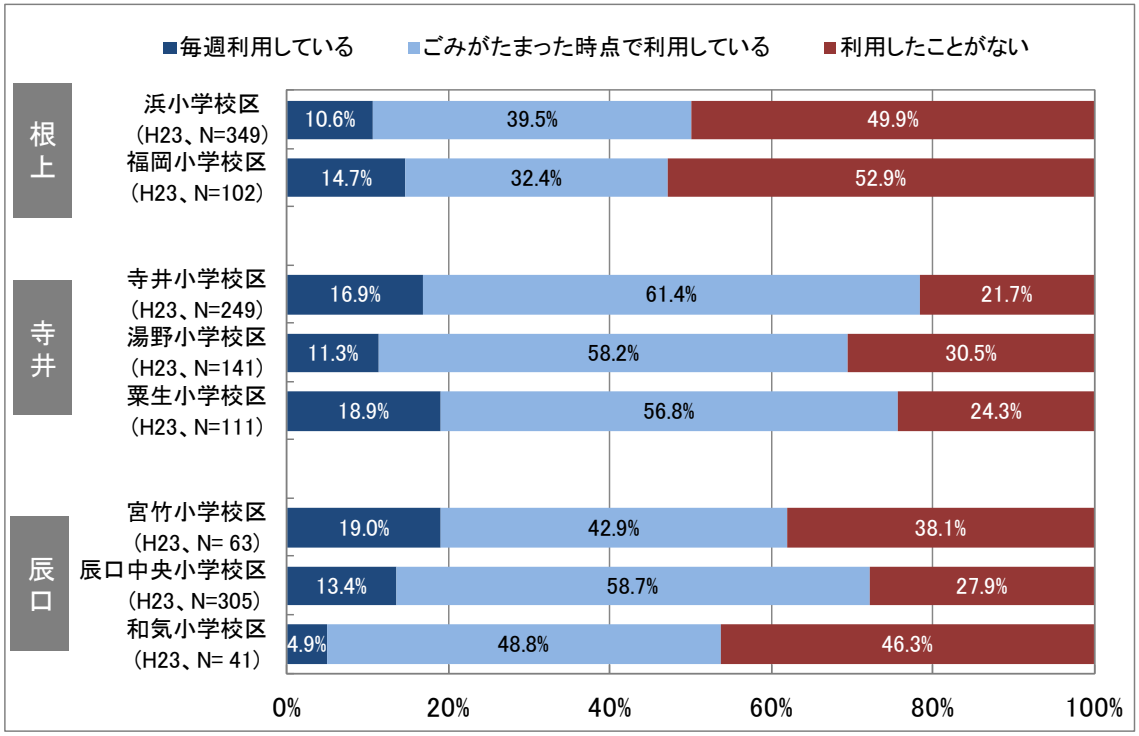
【地区別】

・根上では「毎週利用している」は他の地区とあまり差がみられませんが、「利用したことが無い」が 50.6%と他の地区より 19 ポイント以上高くなっています。
・寺井は「毎週利用している」と「ごみがたまった時点で利用している」を合わせると 75.3%と他の地区より 6 ポイント以上高くなっています。



【小学校区別】

・概ね地区ごとに同様の傾向となっていますが、辰口中央小学校区は「利用したことがない」が 27.9%と宮竹小学校区、和気小学校区と比べて 10 ポイント以上低くなっています。



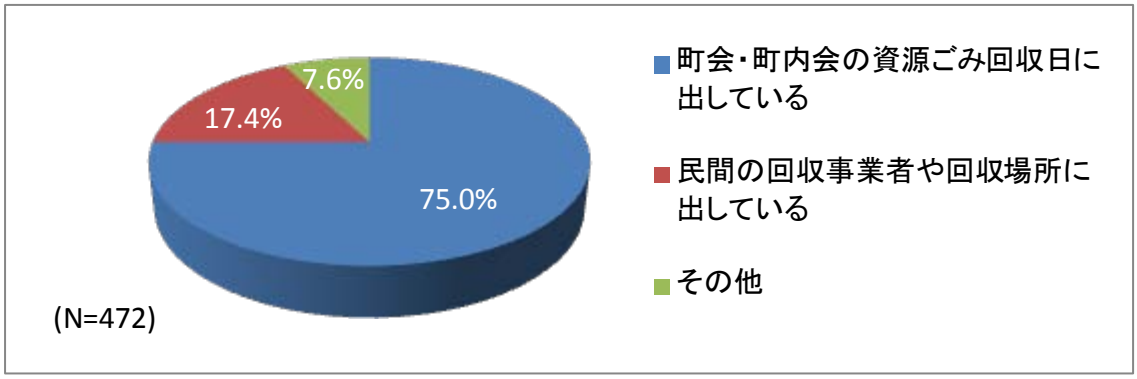
問 23　問 22 で「３．利用したことがない」と回答された方にお聞きします。どのように資源ごみを処分していますか？

◆「町会・町内会の資源ごみ回収日に出している」が 75.0%と最も多く、次いで「民間の回収事業者や回収場所に出している」が 17.4%となっています。

選択項目	回答数	構成比
町会・町内会の資源ごみ回収日に出している	354	75.0%
民間の回収事業者や回収場所に出している	82	17.4%
その他	36	7.6%
無回答	19	－
合計	491	－
回答者数	472	100.0%

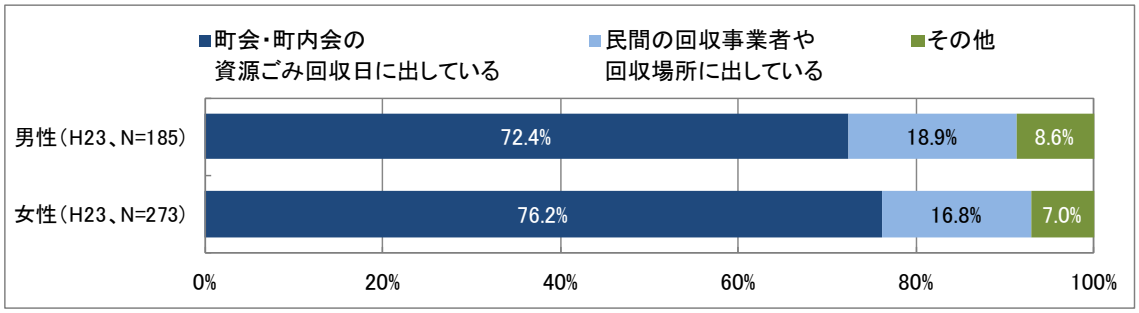
その他:　家族が処分している(10)、リサイクルセンターがどこにあるのか知らない(6)、スーパーの回収場所で処分している(5)、職場で処分している(2)、小学校の資源回収時に処分している、ふれあい広場、その時による　など

※(　):H23 における回答者数



■資源ごみの処分方法（性別）

・性別では大きな差はみられません。

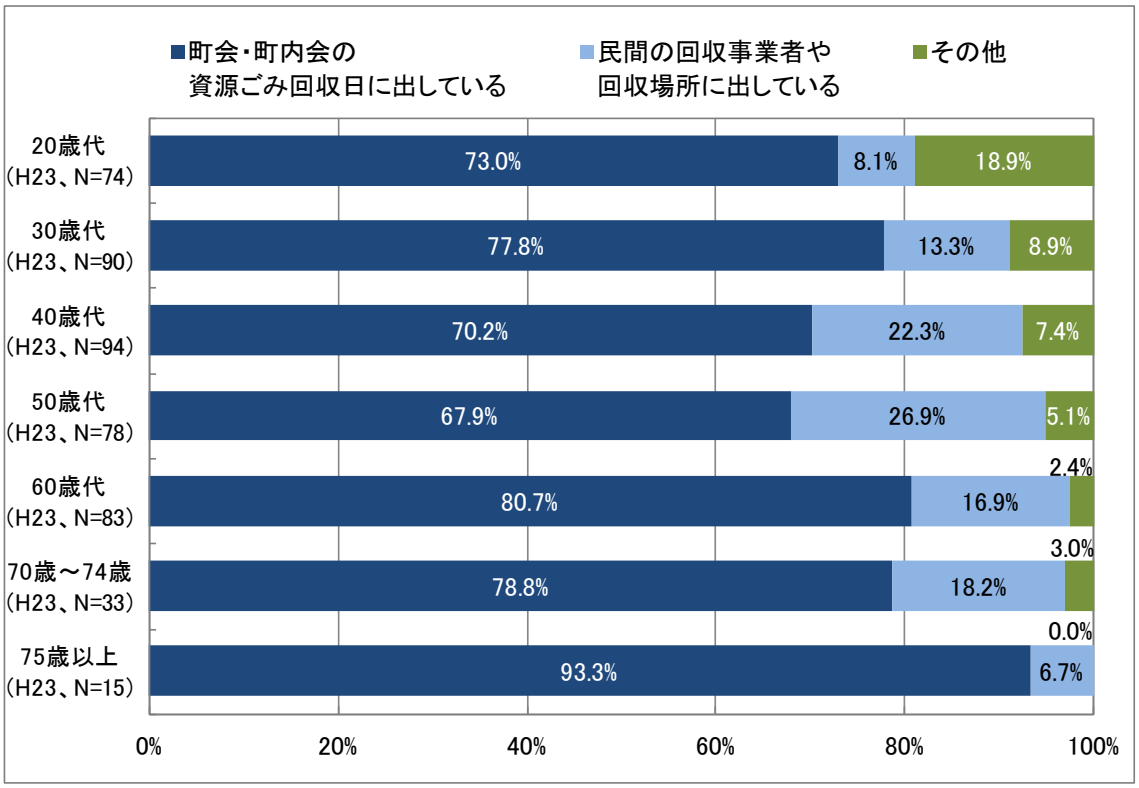


■資源ごみの処分方法（年代別）

・75 歳以上は「町会・町内会の資源ごみ回収日に出している」が、他の年代より 12 ポイント以上高くなっています。

・20 歳代は「その他（家族が処分している など）」が 18.9%と、他の年代より 10 ポイント以上高くなっています。

・40～50 歳代は「民間の回収事業者や改修場所に出している」が比較的高くなっています。



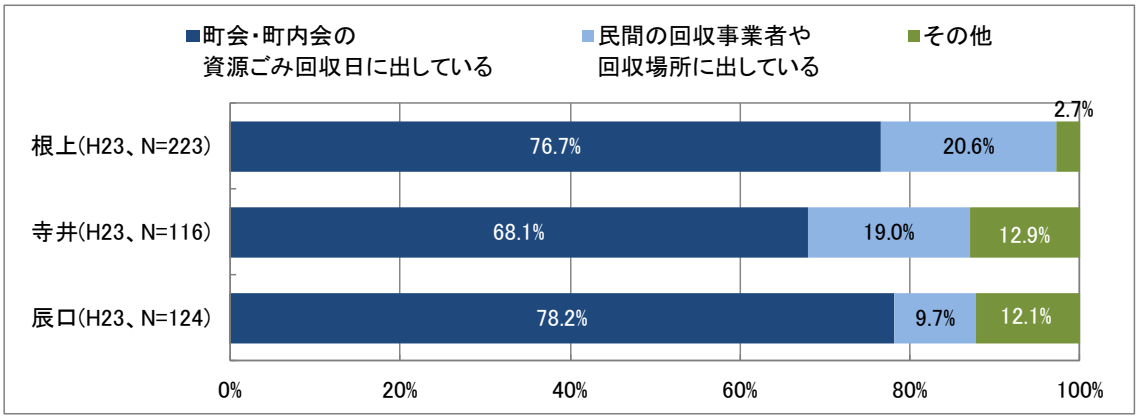
■資源ごみの処分方法（地区別）

【地区別】

・根上は「町会・町内会の資源ごみ回収日に出している」「民間の回収事業者や回収場所に出している」の合計が 97.3%とほぼ 100%を占めており、他の地区より９ポイント以上高くなっています。

・寺井は「町会・町内会の資源ごみ回収日に出している」が 68.1%と他の地区より８ポイント以上低くなっています。

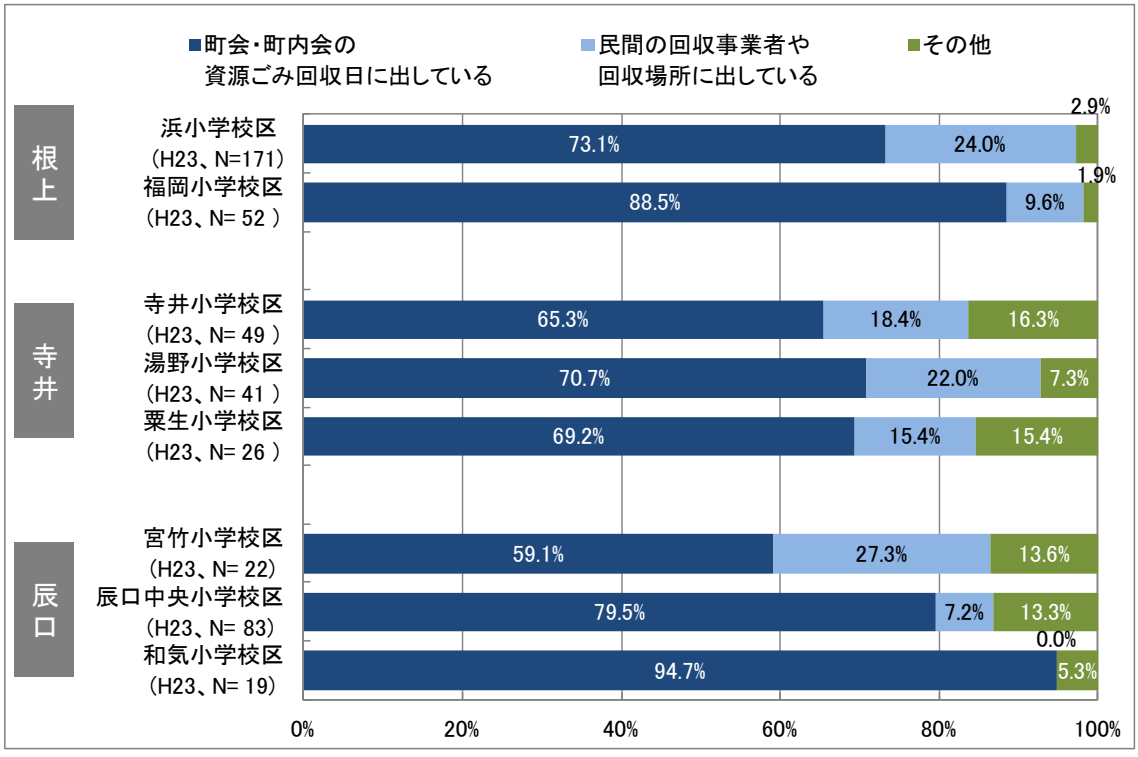
・辰口は「民間の回収事業者や回収場所に出している」が 9.7%と他の地区より９ポイント以上低くなっています。



【小学校区別】

・福岡小学校区と和気小学校区は「町会・町内会の資源ごみ回収日に出している」が約９割となっています。

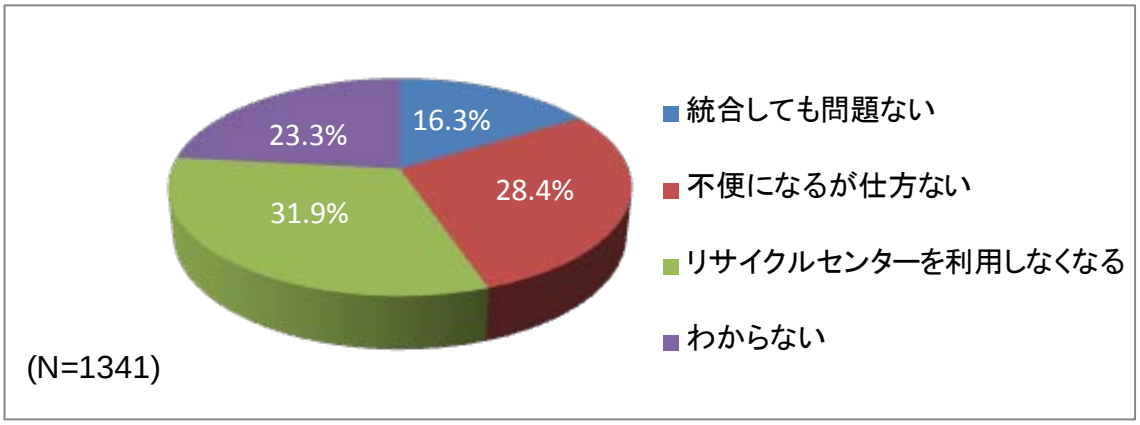
・宮竹小学校区は「町会・町内会の資源ごみ回収日に出している」が 59.1%と他の小学校区より 10 ポイント以上低くなっています。



問 24　根上・寺井・辰口の３地区に設けているリサイクルセンターを１ヶ所に統合した場合、あなたはどのように思いますか？

◆「リサイクルセンターを利用しなくなる」が 31.9%と最も多く、次いで「不便になるが仕方ない」が 28.4%となっています。

選択項目	回答数	構成比
統合しても問題ない	219	16.3%
不便になるが仕方ない	381	28.4%
リサイクルセンターを利用しなくなる	428	31.9%
わからない	313	23.3%
無回答	112	－
合計	1453	－
回答者数	1341	100.0%

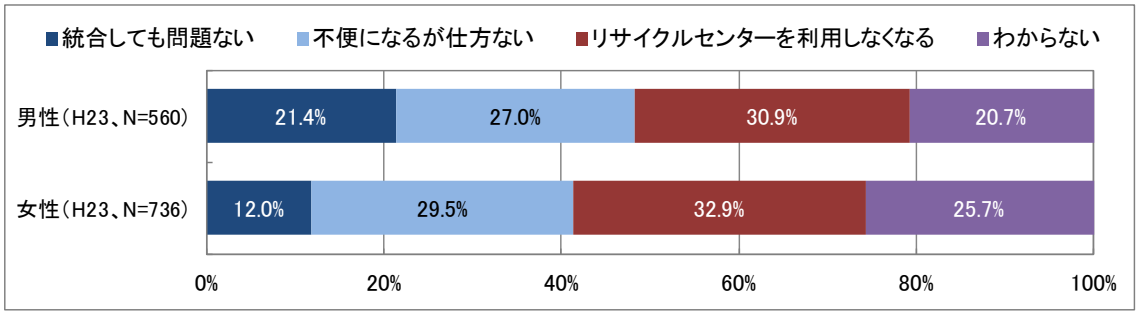


【主な理由】

選択項目	回答数	主な理由
①統合しても問題ない	51 件	◇経費の削減につながるから。
		◇今までも利用していなかったから。
		◇町会の資源ゴミ回収に出すから。
②不便になるが仕方がない	94 件	◇市の事情があるのなら仕方がない。
		◇車で利用できるのであれば良い。
		◇費用の削減のためであるならば仕方がない。
③リサイクルセンターを利用しなくなる	225 件	◇遠くなり不便さが増すから。
		◇統合すると混雑するから。
		◇歩いて行けなくなるから
④わからない	58 件	◇設置場所と時間にもよるため。
		◇利用したことがないため。
		◇統合する理由がわからない。

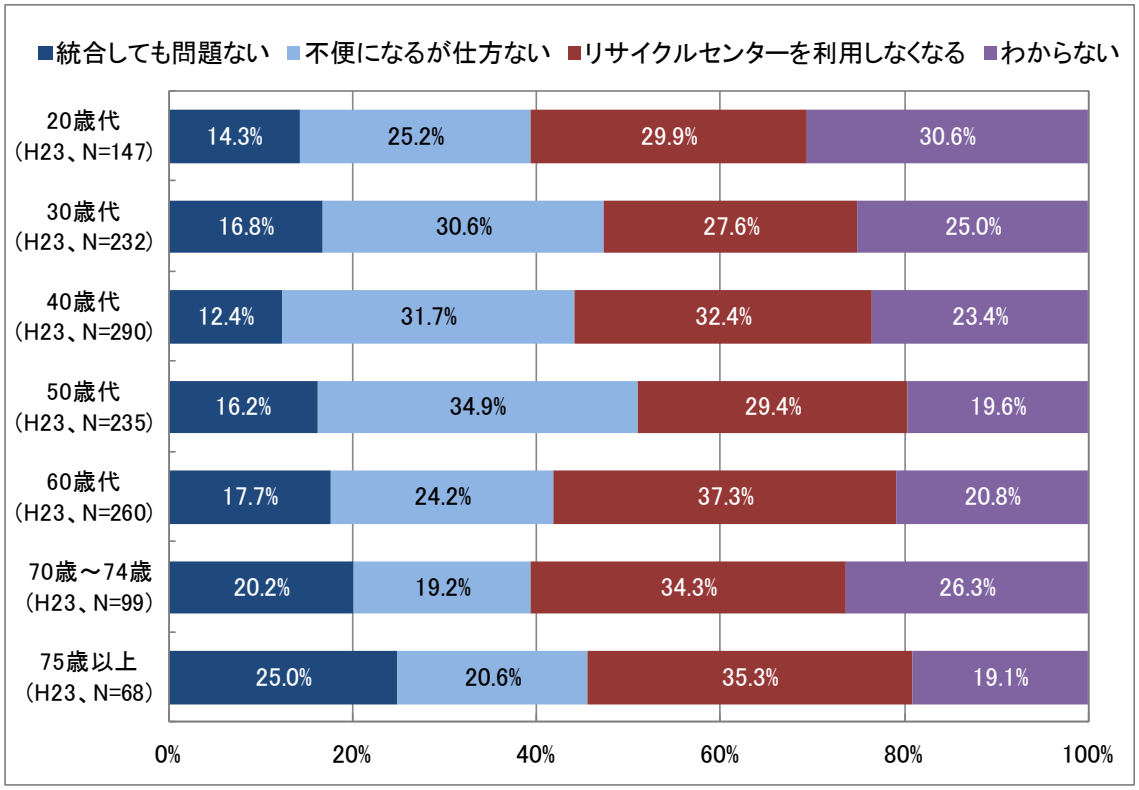
■リサイクルセンターの統合について（性別）

・男性は「統合しても問題ない」が 21.4%と、女性よりも約９ポイント高くなっており、一方で、女性は「わからない」が 25.7%と、男性よりも５ポイント高くなっています。



■リサイクルセンターの統合について（年代別）

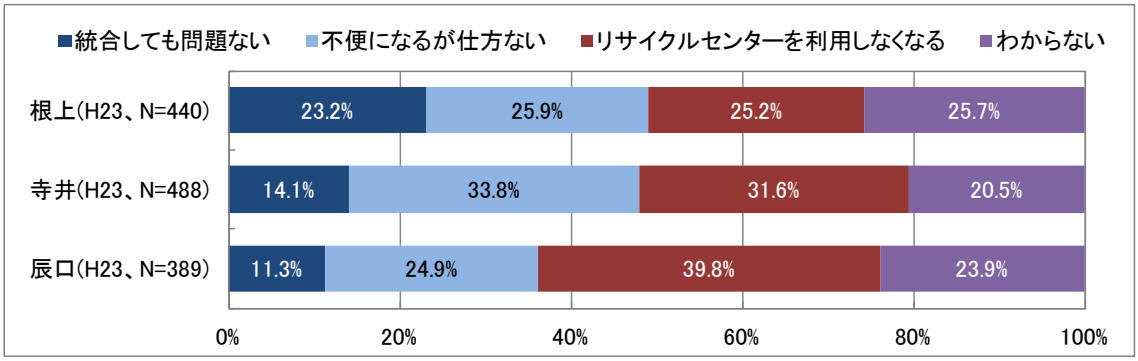
・20 歳代は「わからない」が 30.6%と最も多くなっています。
・30 歳代、50 歳代は「不便になるが仕方ない」がそれぞれ 30.6%、34.9%と最も多くなっています。
・40 歳代、60 歳以上は「リサイクルセンターを利用しなくなる」が３割以上と最も多くなっています。



■リサイクルセンターの統合について（地区別）

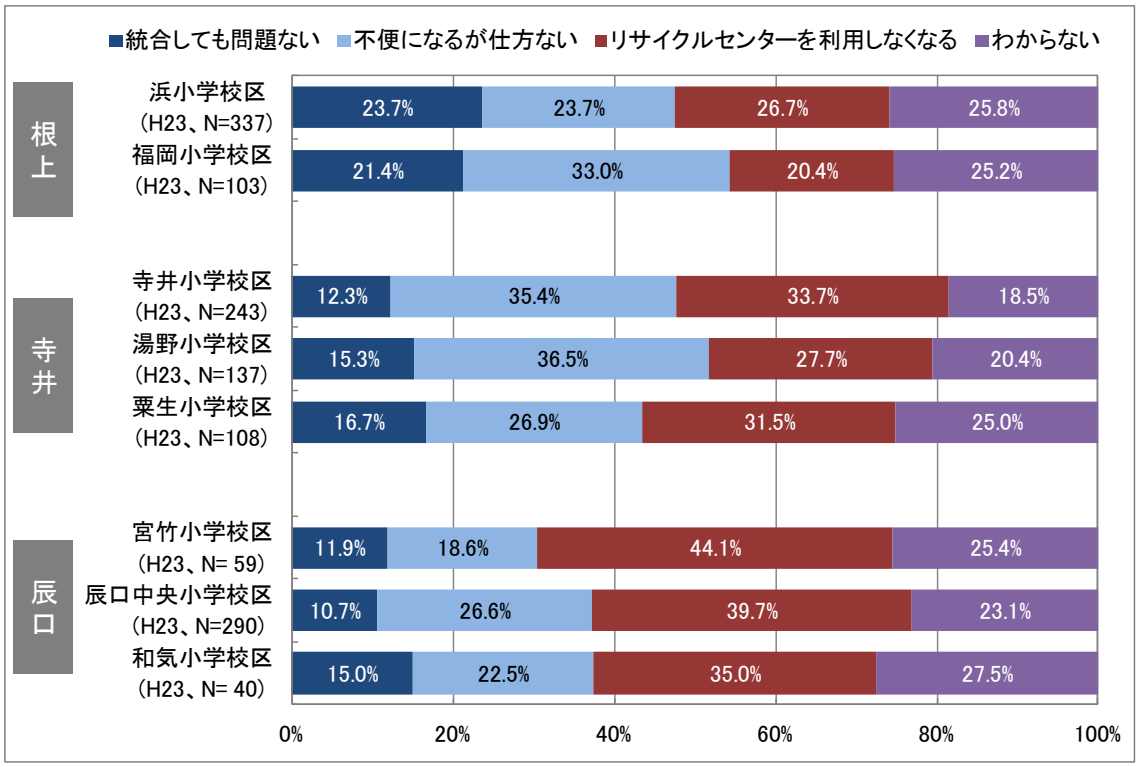
【地区別】

・３地区共に「わからない」が２割以上を占めています。
・根上は「統合しても問題ない」が 23.2%と他の地区より９ポイント以上高くなっています。
・寺井は「不便になるが仕方ない」が 33.8%と他の地区より７ポイント以上高くなっています。
・辰口は「リサイクルセンターを利用しなくなる」が 39.8%と他の地区より８ポイント以上高くなっています。



【小学校区別】

・概ね地区ごとに同様の傾向となっています。
・辰口地区の宮竹小学校区、辰口中央小学校区、和気小学校区は「リサイクルセンターを利用しなくなる」が約４割となっています。



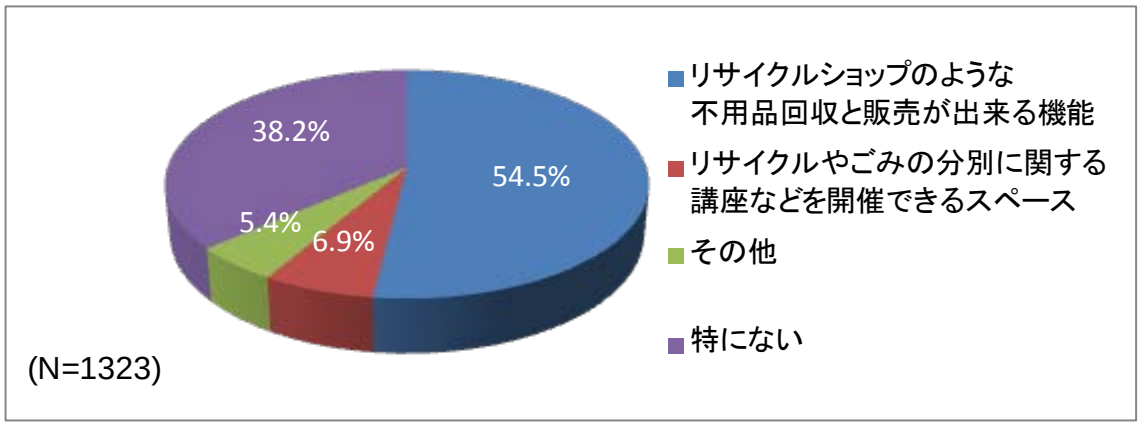
問 25　リサイクルセンターでは、資源ごみ回収の他にどのような機能があればよいと思いますか？（当てはまるもの全てに○）

◆「リサイクルショップのような不用品回収と販売が出来る機能」が５割以上を占めています。一方「特にない」が 38.2%となっています。

選択項目	回答数	構成比
リサイクルショップのような不用品回収と販売が出来る機能	721	54.5%
リサイクルやごみの分別に関する講座などを開催できるスペース	91	6.9%
その他	71	5.4%
特にない	505	38.2%
無回答	130	-
回答数	1518	114.7%
回答者数	1323	100.0%

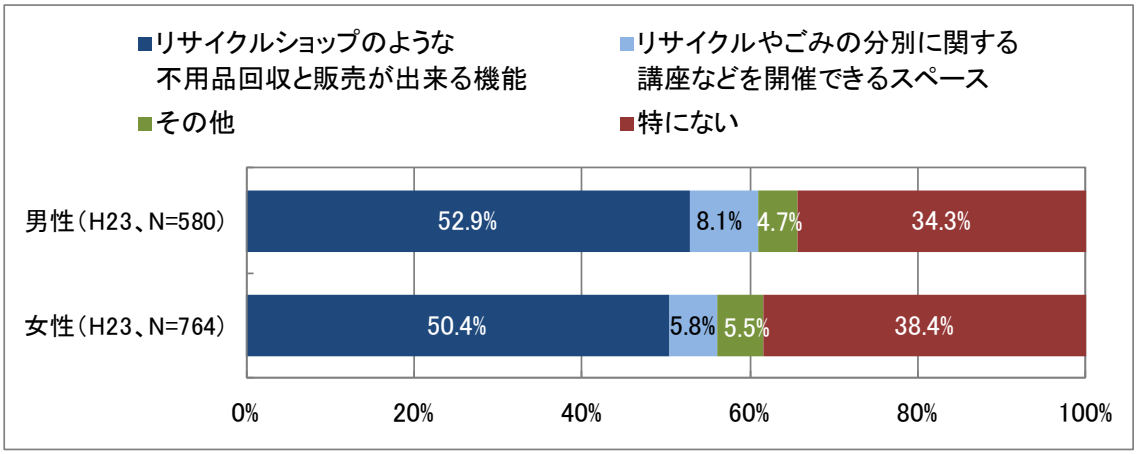
その他：　粗大ゴミの回収、運搬(7)、ポイントが貯まる機能(5)、わからない(5)、リサイクル後の過程や結果の公表(4)、不燃ゴミの回収(3)、いつでも出せるようにする(3)、市民同士の不用品のやり取りが出来る機能(3)、リサイクルに関しての子供向けの教育施設(2)、公営の売り市(2)、衣類の回収(2)、家電回収(2)、情報発信機能、軽トラックの貸出、分別の種類をドイツ並にする　など

※(　):H23jにおける回答者数



■リサイクルセンターに付加を望む機能（性別）

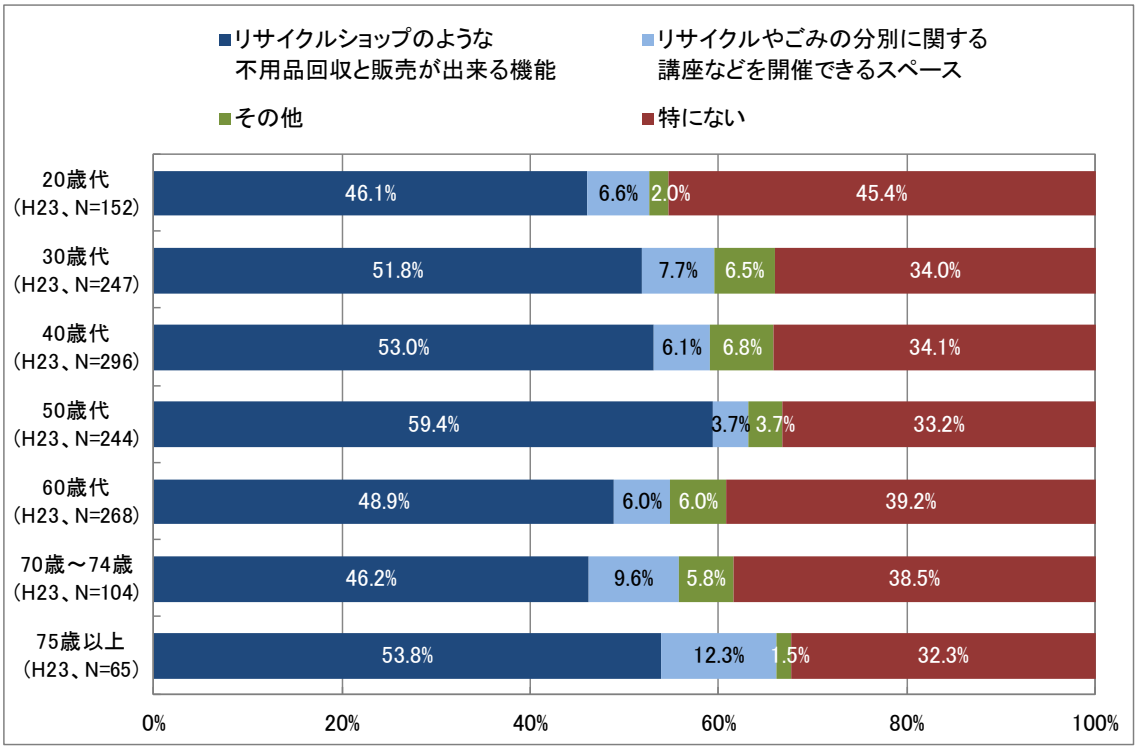
・性別では大きな差はみられません。



■リサイクルセンターに付加を望む機能（年代別）

・20 歳代は「特にない」が比較的高くなっています。

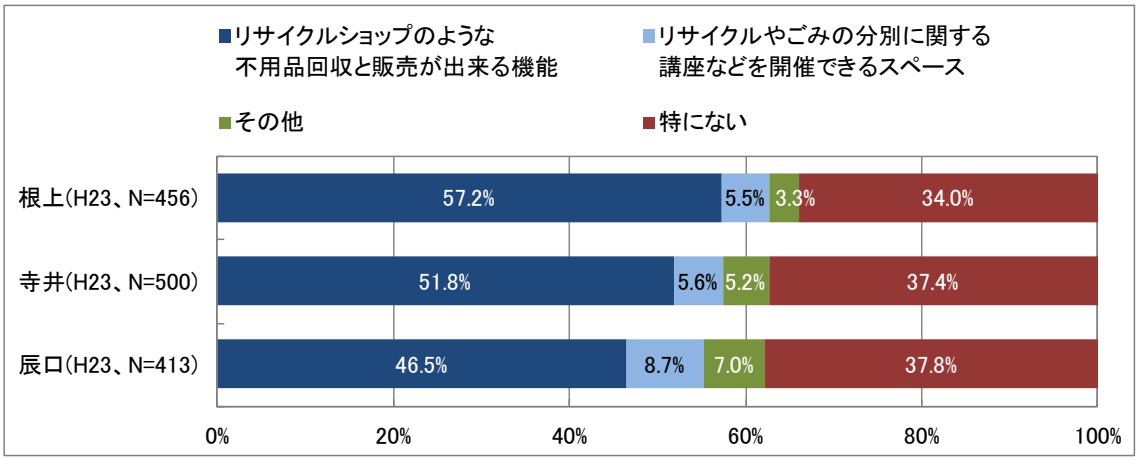
・50 歳代は「リサイクルショップのような不用品回収と販売が出来る機能」が比較的高くなっています。



■リサイクルセンターに付加を望む機能（地区別）

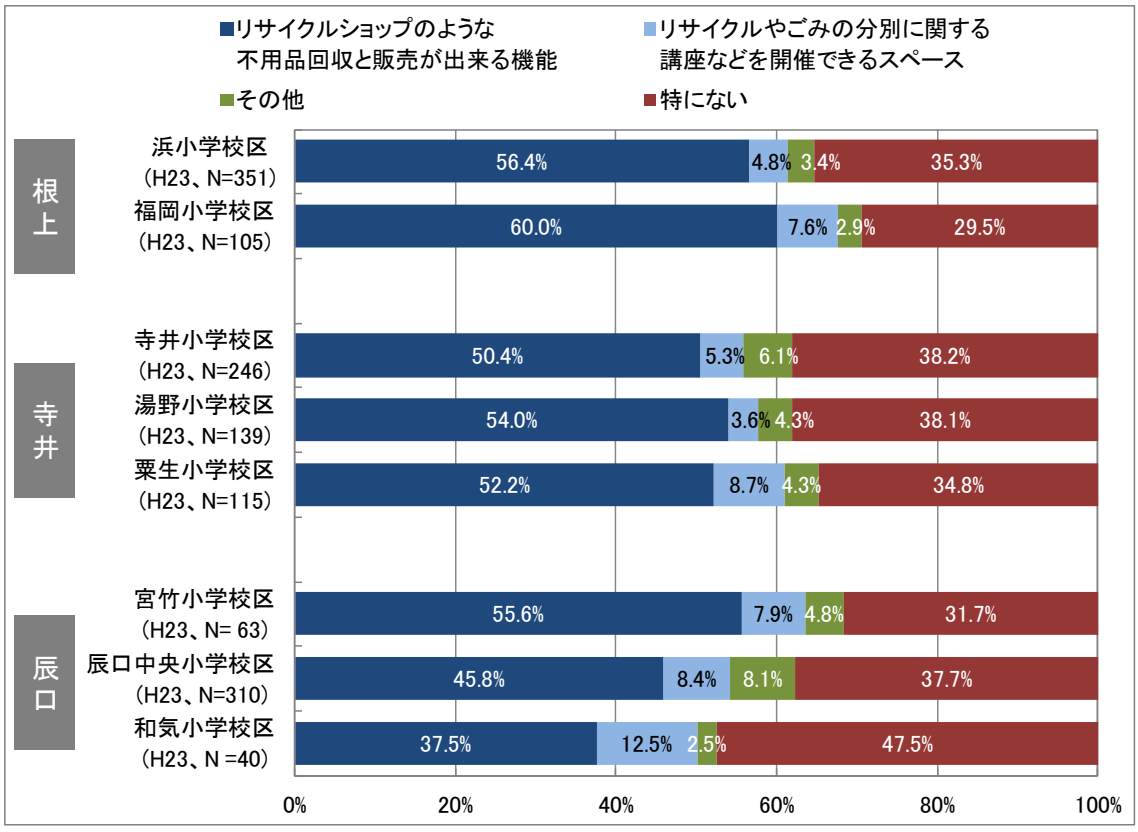
【地区別】

・根上は「リサイクルショップのような不用品回収と販売が出来る機能」が 57.2%と寺井より約５ポイント、辰口より約 11 ポイント高くなっています。
・いずれの地区も「特にない」が３割以上を占めています。



【小学校区別】

・和気小学校区は「特にない」が約５割と最も多くなっています。
・和気小学校区以外は「リサイクルショップのような不用品と販売が出来る機能」が最も多くなっています。



（８）観光に関する取り組みについて

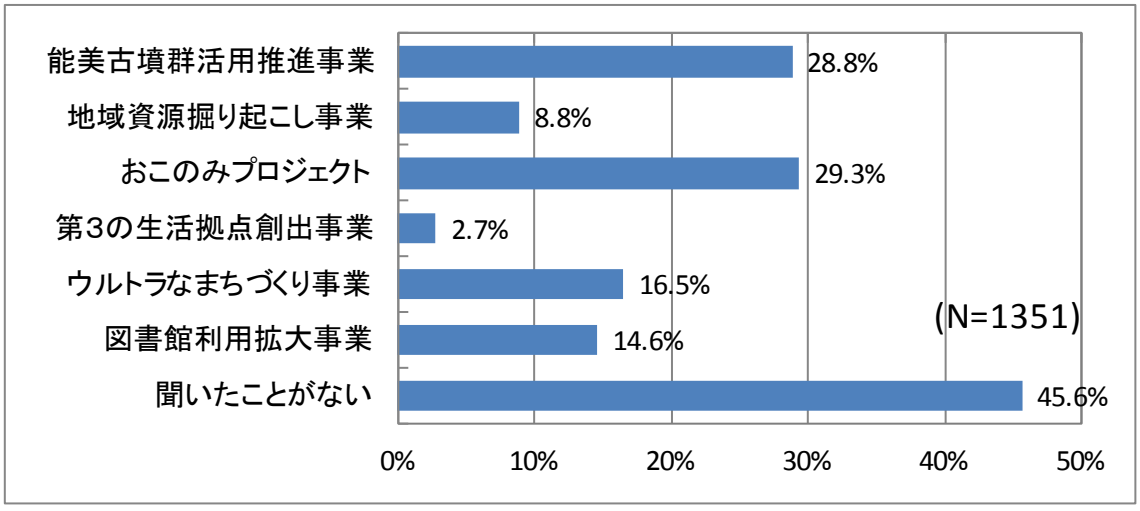
問 26

能美市では、今年度を『観光元年』と位置づけ、観光をキーワードにした地域活性化に取り組んでいます。あなたは、今年始まった取り組みのうち、「知っている」もしくは「聞いたことがある」もの全てに○をつけてください。また、その中で「特に興味があるもの」に◎を２つ以内でつけてください。

1.「知っている」「聞いたことがある」もの

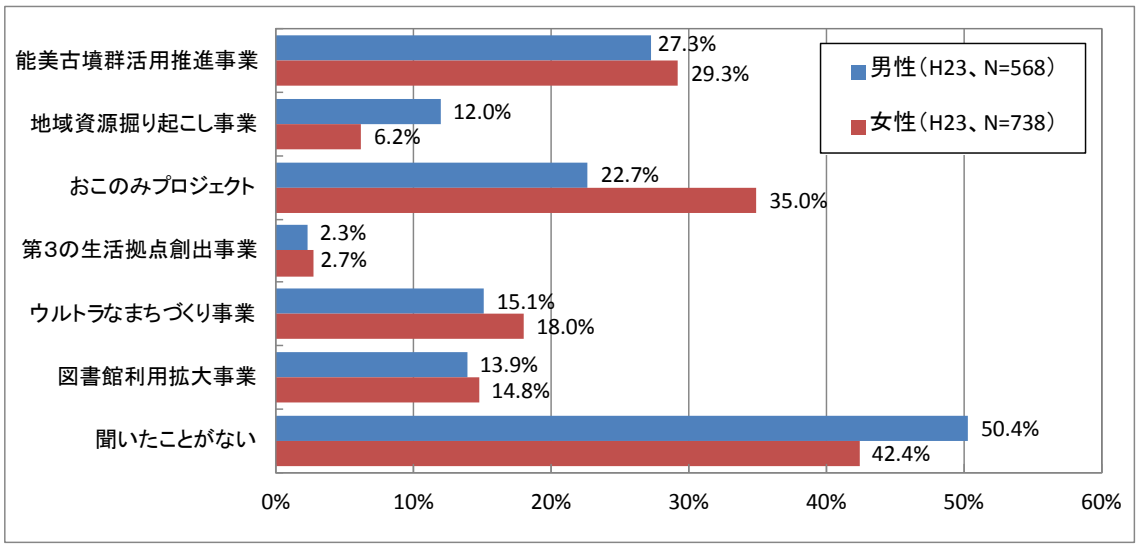
◆「聞いたことがない」が約５割を占めています。次いで「おこのみプロジェクト」29.3%、「能美古墳群活用推進事業」28.8%となっています。

選択項目	回答数	構成比
能美古墳群活用推進事業	389	28.8%
地域資源掘り起こし事業	119	8.8%
おこのみプロジェクト	396	29.3%
第3の生活拠点創出事業	37	2.7%
ウルトラなまちづくり事業	223	16.5%
図書館利用拡大事業	197	14.6%
聞いたことがない	616	45.6%
無回答	102	－
回答数	2079	153.9%
回答者数	1351	100.0%



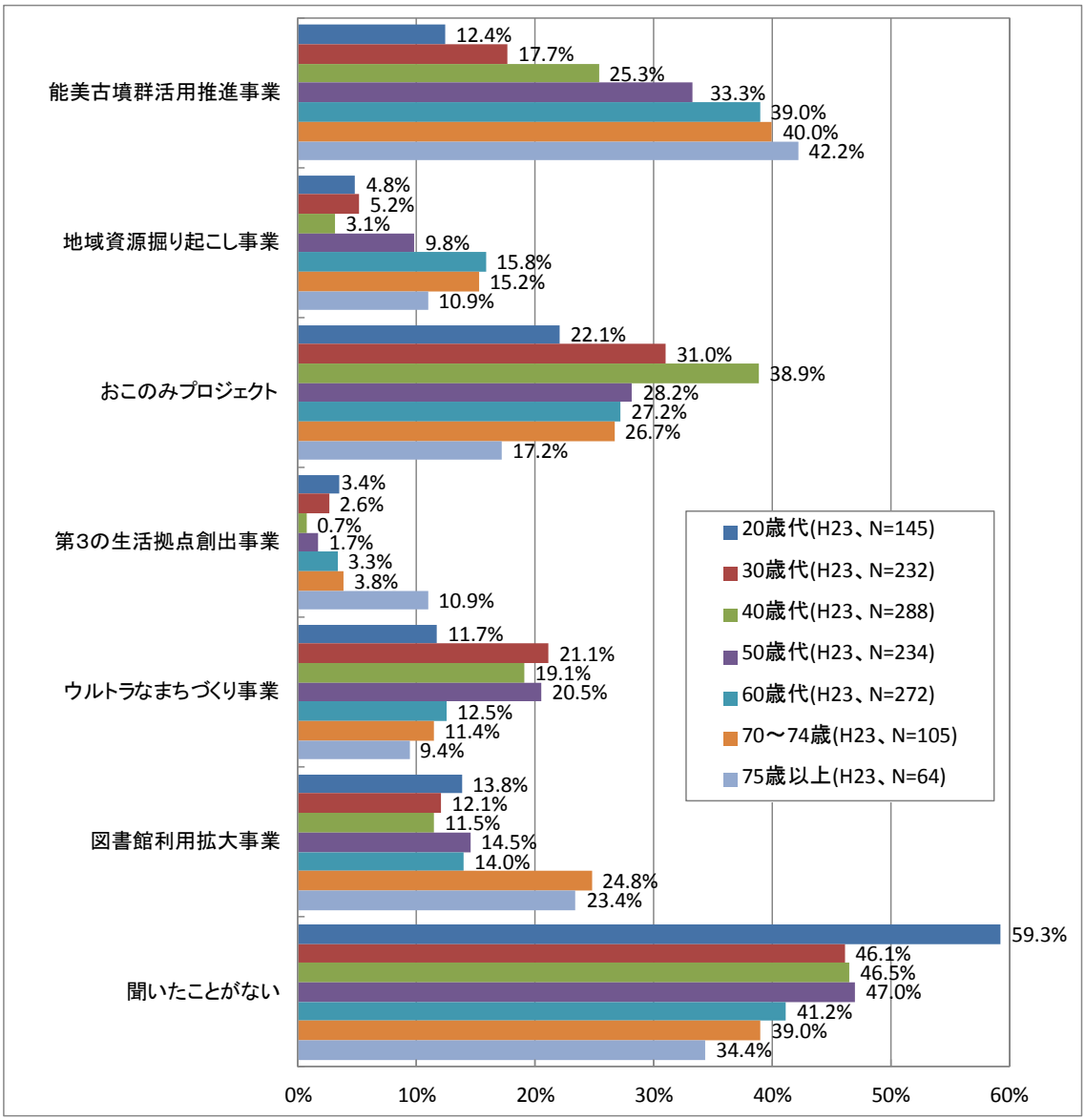
■観光をキーワードとした地域活性化事業の周知状況（性別）

・男性、女性共に「聞いたことがない」が最も多くなっており、特に男性は 50.4%と女性より８ポイント高くなっています。
・男性は「地域資源掘り起こし事業」が 12.0%と、女性より約６ポイント高くなっています。
・女性は「おこのみプロジェクト」が 35.0%と、男性より約 12 ポイント高くなっています。



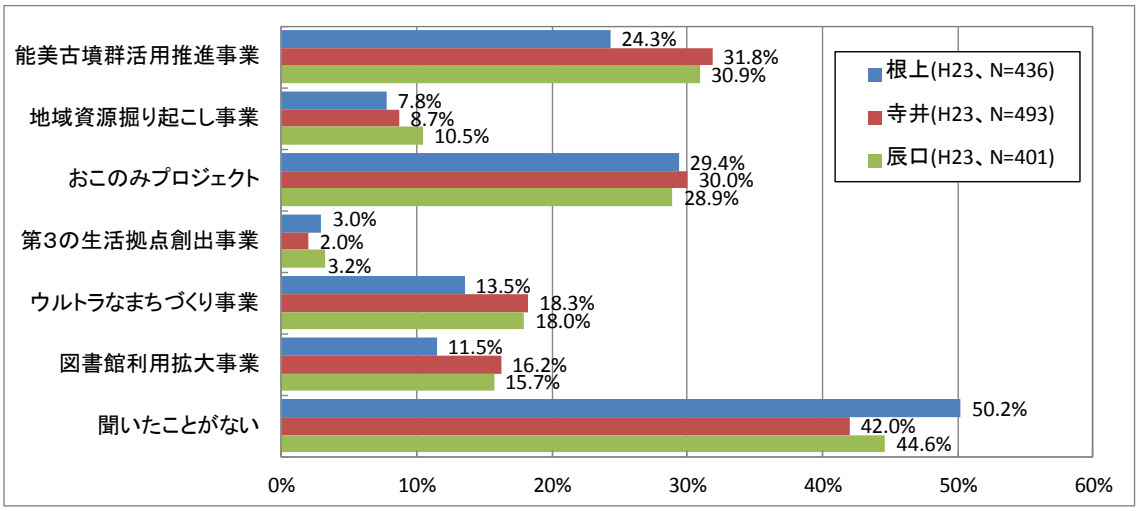
■観光をキーワードとした地域活性化事業の周知状況（年代別）

・20～60 歳代は「聞いたことがない」が最も多くなっており、70 歳以上は「能美古墳群活用推進事業」が最も多くなっています。また、年代が上がるにつれて、「能美古墳群活用事業」の回答が増加しています。
・40 歳代は「おこのみプロジェクト」が比較的高くなっています。
・30～50 歳代は「ウルトラなまちづくり」が比較的高くなっています。
・70 歳以上は「図書館利用拡大事業」が比較的高くなっています。



■観光をキーワードとした地域活性化事業の周知状況（地区別）

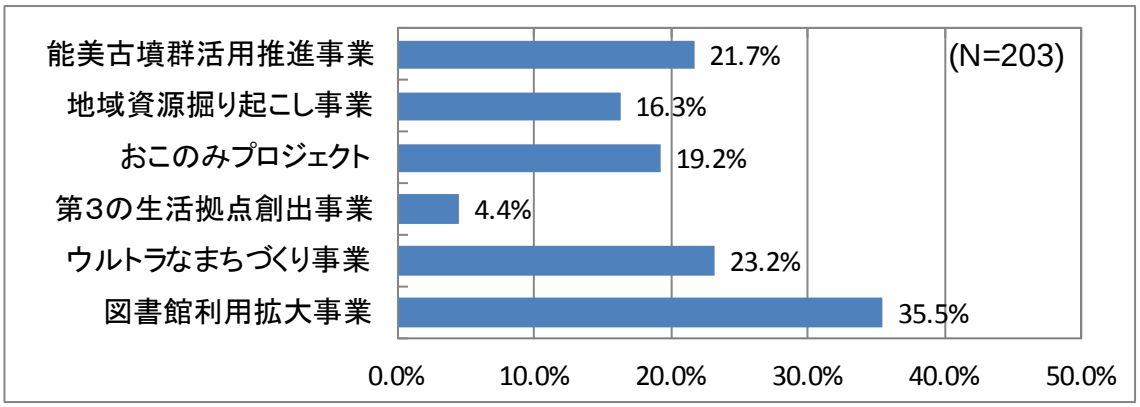
・３地区共に「聞いたことがない」が最も多くなっています。特に根上では 50.2%と他の地区より５ポイント以上高くなっています。
・次いで３地区共に「能美古墳群活用推進事業」や「おこのみプロジェクト」が多くなっています。しかし、根上は「能美古墳群活用推進事業」が６ポイント以上、他の地区より低くなっています。



2.「特に興味があるもの」

◆「図書館利用拡大事業」が 35.5%と最も多くなっています。次いで「ウルトラなまちづくり事業」23.2%、「能美古墳群活用推進事業」21.7%となっています。

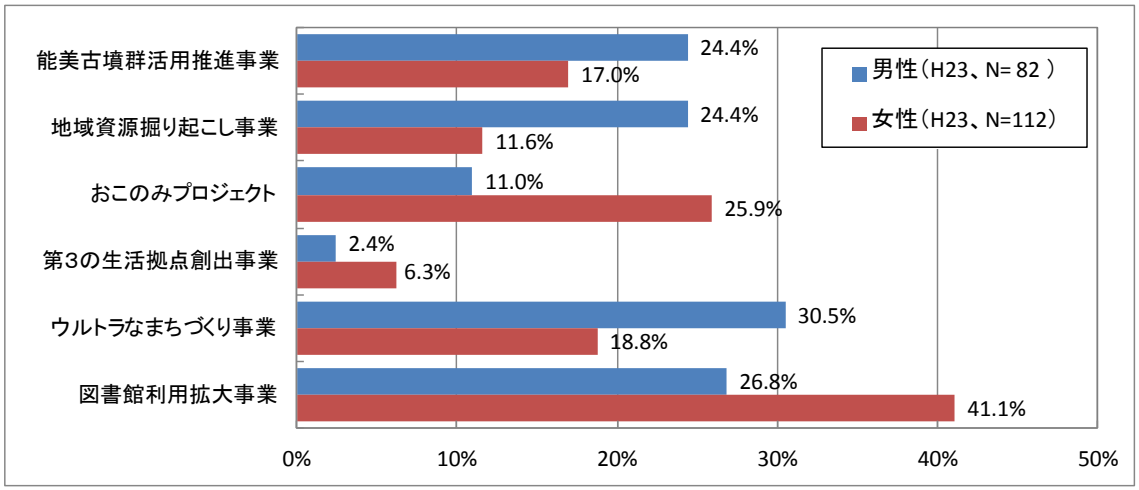
選択項目	回答数	構成比
能美古墳群活用推進事業	44	21.7%
地域資源掘り起こし事業	33	16.3%
おこのみプロジェクト	39	19.2%
第3の生活拠点創出事業	9	4.4%
ウルトラなまちづくり事業	47	23.2%
図書館利用拡大事業	72	35.5%
無回答	1250	-
回答数	1494	736.0%
回答者数	203	100.0%



■特に興味のある取り組み（性別）

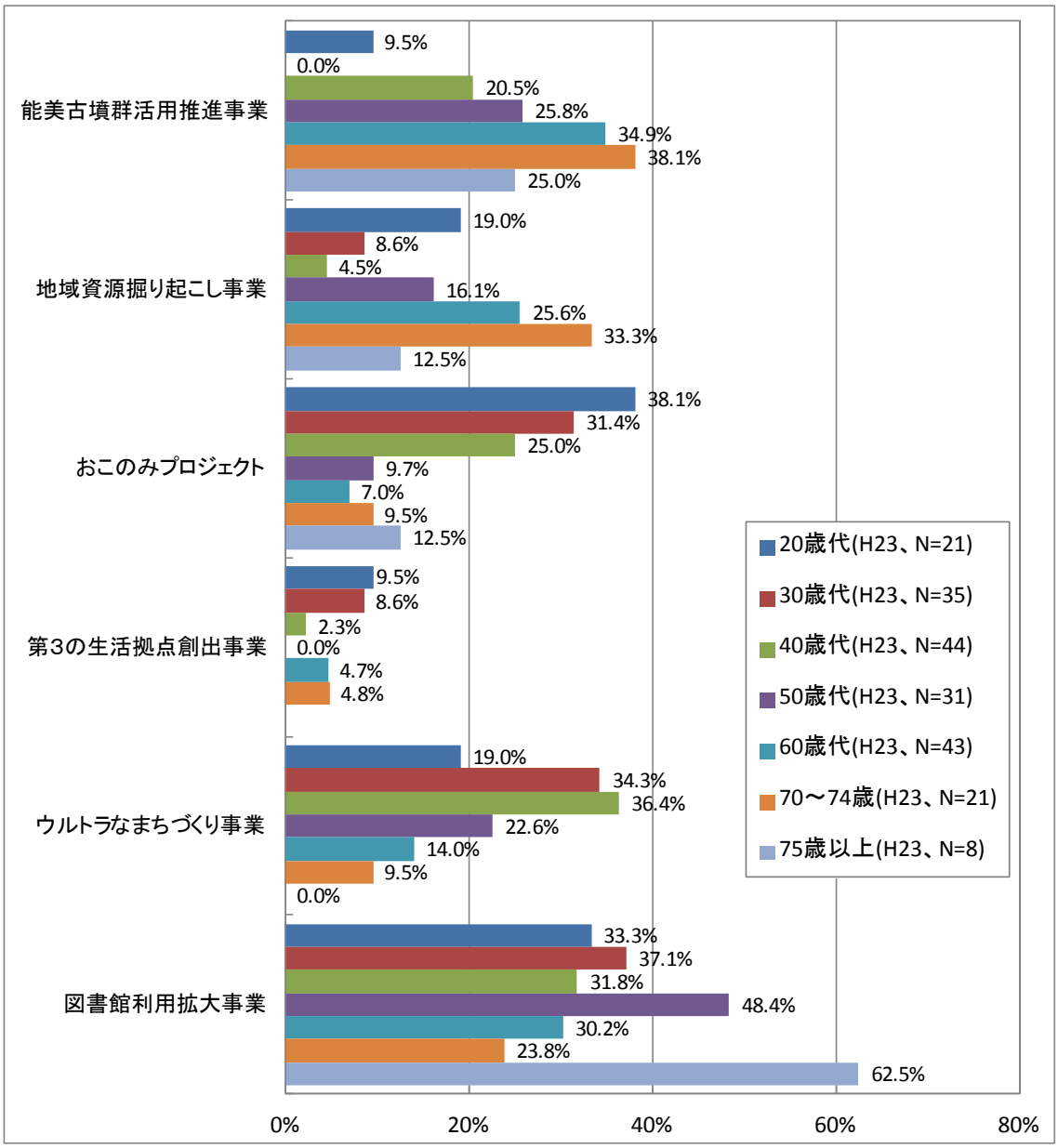
・男性は「ウルトラなまちづくり事業」が 30.5%と最も多く、次いで「図書館利用拡大事業」が 26.8%、「能美古墳群活用推進事業」「地域掘り起こし事業」が 24.4%となっています。特に、「ウルトラなまちづくり事業」は約 12 ポイント、「能美古墳群活用推進事業」は約 7 ポイント、「地域資源掘り起こし事業」は約 13 ポイント女性より高くなっています。

・女性は「図書館利用拡大事業」が 41.1%と最も多く、男性より約 14 ポイント高くなっており、次いで「おこのみプロジェクト」が 25.9%と、男性より約 15 ポイント高くなっています。



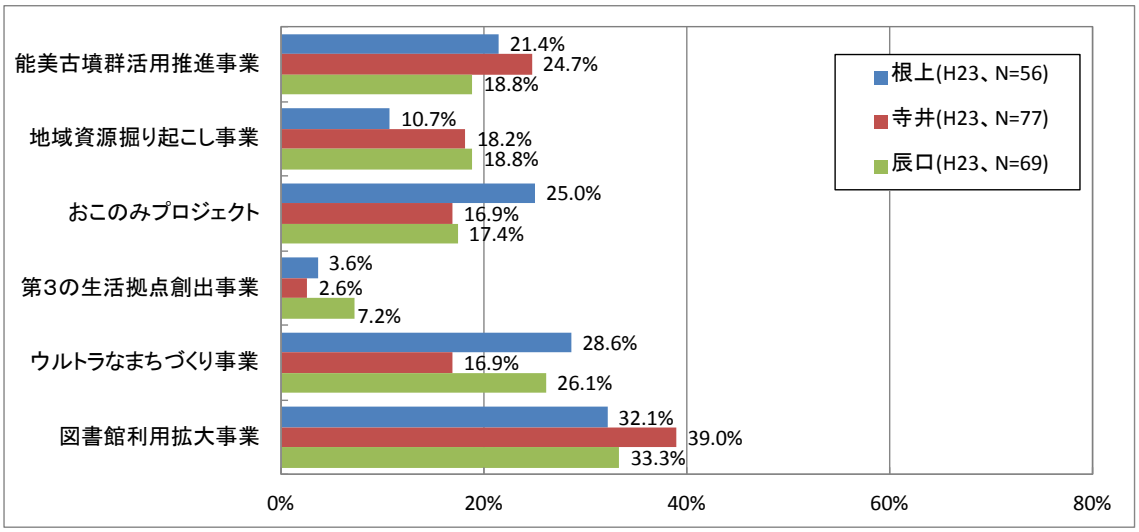
■特に興味のある取り組み（年代別）

・20～40 歳代は「おこのみプロジェクト」が多く、50 歳以上より 15 ポイント以上高くなっています。
・30～40 歳代は「ウルトラなまちづくり事業」が多く、他の年代より 11 ポイント以上高くなっています。
・50 歳代、75 歳以上は「図書館利用拡大事業」が多く、他の年代より 11 ポイント以上高くなっています。
・年代が上がるにつれて「能美古墳群活用推進事業」が高くなっています。



■特に興味のある取り組み（地区別）

・３地区共に「図書館利用拡大事業」が最も多くなっています。特に寺井では 39.0%と他の地区より５ポイント以上高くなっています。
・根上、辰口では「ウルトラなまちづくり事業」がそれぞれ 28.6%、26.1%と寺井より９ポイント以上高くなっています。
・根上は「おこのみプロジェクト」が 25.0%と他の地区より７ポイント以上高くなっています。一方「地域資源掘り起こし事業」は 10.7%と他の地区より７ポイント以上低くなっています。



問 27　あなたは、能美市民として自慢できるものはありますか？ご自由に、いくつでもご記入ください。

◆1453 人中 846 人(58.2%)の回答者から寄せられた能美市民として自慢できるものを、第一次能美市総合計画で示している施策分野別に分類しました。

◆「いしかわ動物園/いしかわ動物園のトキ/ナイト ZOO」「九谷焼」「松井秀喜選手」「白山の眺望」「辰口丘陵公園」などの回答が多くなっています。

【魅力】

丸いも/丸いも焼酎（のみよし）/丸いもそば/丸いもお好み焼きなど(54)、九谷茶碗まつり(40)、JAIST（北陸先端科学技術大学院大学）(40)、米/姫九谷(14)、七夕まつり(6)、ゆず(5)、酒(4)、農産物(3)、はとむぎ(2)、ロシア・シェレホフ市との姉妹都市交流(2)　など

【歴史・自然】

白山の眺望(85)、**自然/自然環境/自然を生かした教育(51)**、**川/手取川(42)**、水(31)、山/白山(28)、古墳/秋常山古墳群/和田山古墳群/西山古墳群(28)、海/日本海(21)、桜/桜並木（ヘルスロード/手取川/水辺プラザなど）(17) 仏大寺の霊水/遣水観音山霊水堂(15)、里山/里山活動(12)、七ツ滝 (12)、緑/森林/雑木林(10)、和田山 (7)、蛍(7)、海岸（根上海岸/ハマナス海岸/大浜海岸など）(7)、根上グリーンビーチ (6)、蟹淵/蟹淵の生き物（モリアオガエル/ルリイトトンボなど）(6)、水道水/地下水(5)、じょんから踊り(5)、まちがきれい (5)、田/田畑(5)、田園風景 (5)、海岸からの夕日 (5)、夕日/月/星空 (5) 生き物/動物/鳥/魚(4)、根上の松（根上古戦場史跡）(4)、しろこだの水(3)、歴史/歴史資源/歴史民俗資料館(3)、景観/景色 (3)、平地(2)、ササユリ/カタクリ(2)、海岸線の景観(2)、リサイクルセンター/リサイクル(2)、虚空蔵山 (2)、辰口放牧場 (2)、辰口橋からの辰口町の景色 (2)　など

【居住環境】

災害が少ない/心配がない(9)、静か(7)、車による交通の便が良い(7)、道路整備/広い/きれい(4)、穏やか/のどか(4)、金沢、小松方面に出かけやすい(4)、小松空港が近い(4)、治安が良い(3)、健康ロード/ヘルスロード(3)、公園/公園が多い(3)、のみバス/コミュニティバス(3)、上下水道料金が安い(2)、環境(2)、空気がきれい(2)、住みやすい(2)、公共施設(2)、海岸沿いの自転車道(2)、土地が安い(2)、ＪＲ寺井駅(2)　など

【健康・福祉】

（子供の）医療費助成(27)、クアハウス九谷(17)、子育て支援(13)、児童館/児童館の活動(5)、芳珠病院(5)、福祉会館(5)、保育園/待機児童がいない(3)、医療体制(4)、健康増進事業(2)、学童保育(2)、健診の充実(2)、福祉が充実(2)　など

【産業・観光】

いしかわ動物園/いしかわ動物園のトキ/ナイト ZOO(290)、九谷焼(133)、辰口丘陵公園(59)、手取フィッシュランド/ウルトラマンスタジアム(49)、松井秀樹ベースボールミュージアム/松井の館(47)、温泉(23)、大企業の立地/サイエンスパーク(18)、辰口温泉(12)、九谷陶芸村/資料館(11)、(辰口温泉の)足湯(7)、買い物が便利/歩いて買い物できる(7)、総湯「里山の湯」(4)、まつさき旅館(3)、寺井湯(2)　など

【教育・文化・スポーツ】

図書館(26)、物見山/物見山運動公園/物見山周辺施設(21)、タント(19)、根上学習センター(4)、スポーツ環境/助成(4)、スポーツ施設(無料)(4)、生涯学習施設/生涯学習の充実(3)、アーティスト村/多くの美術作家(2)、講習研修センターさらい(2)、浜小学校(2)、少年野球/少年サッカー(2)、運動施設(2)、辰口グラウンドゴルフ場(2)　など

【行財政】

市役所の対応がよい/市民の意見が届きやすい(3)　など

【参画・協働】

市民が親切/やさしい(8)、住民がよい(3)、地域のつながり(3)　など

【その他】

「味覚」…たなかの「手取川　昭和九年（もなか)」(18)、湯谷の「焼饅頭」(10)、ＪＡ根上の「ごはんばーがー」(7)、龍美の「ギョーザ」「ラーメン」(7)、石子の「九谷味噌」(2)、イルグラーノたかぎの「氷室（酒）饅頭」(2)　など

「人物」…**松井秀喜選手(野球)(125)**、森元総理(6)、有名人(3)、小堀勇気選手（水泳）(3)、能美市出身のスポーツ選手(2)　など

「その他」…川北花火大会(12)　など

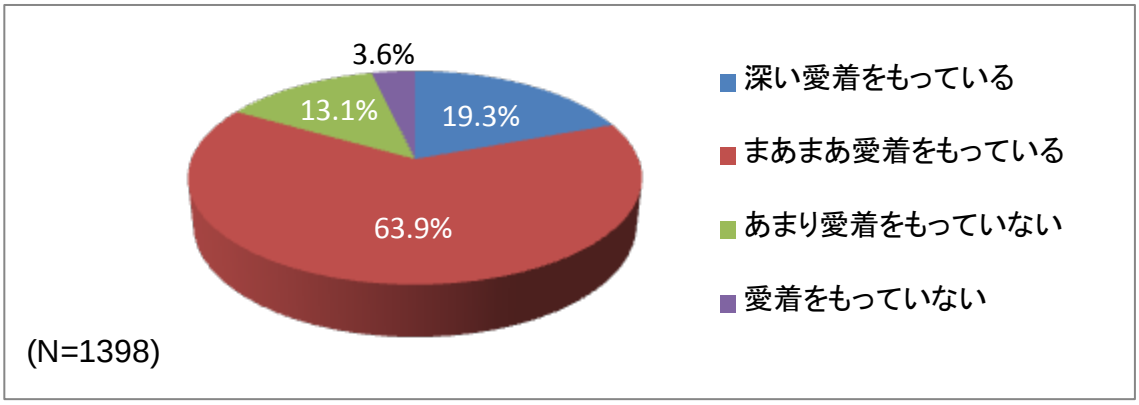
※詳細は「自由回答一覧」を参照して下さい。

※ゴシック体：回答数の多い、上位 10 項目

問 28　たくさんの人が訪れる地域は、そこに住む人たちの地元に対する愛着度がとても深い地域だと言われています。あなたは、能美市にどの程度の愛着をもっていますか？

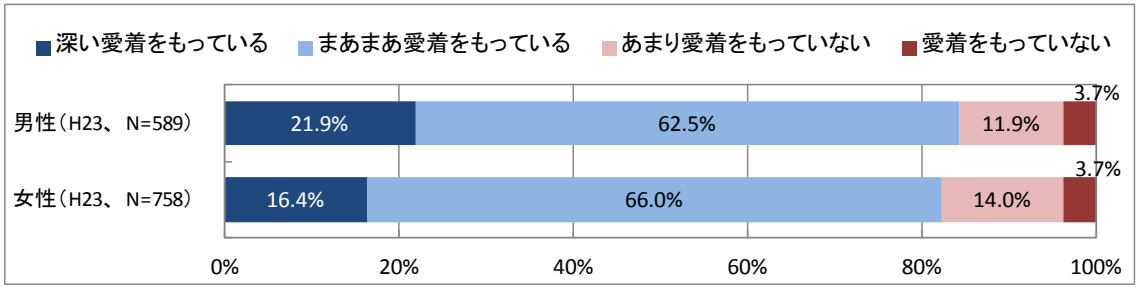
◆「まあまあ愛着をもっている」が 63.9%と最も多く、次いで「深い愛着をもっている」が 19.3%となっており、８割以上の回答者が能美市への愛着をもっています。

選択項目	回答数	構成比
深い愛着をもっている	270	19.3%
まあまあ愛着をもっている	894	63.9%
あまり愛着をもっていない	183	13.1%
愛着をもっていない	51	3.6%
無回答	55	－
合計	1453	－
回答者数	1398	100.0%



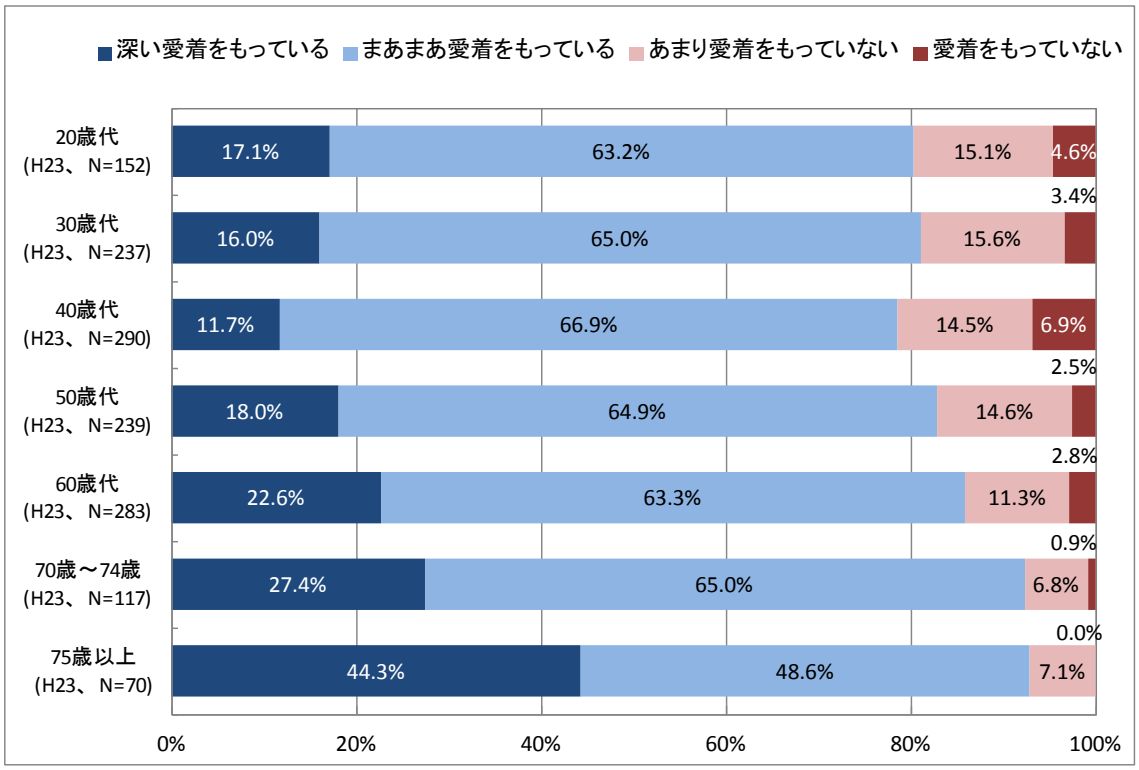
■能美市への愛着（性別）

・男性、女性共に「深い愛着を持っている」「まあまあ愛着をもっている」の合計が８割以上を占めていますが、男性は「深い愛着をもっている」が 21.9%と、女性より約６ポイント高くなっています。



■能美市への愛着（年代別）

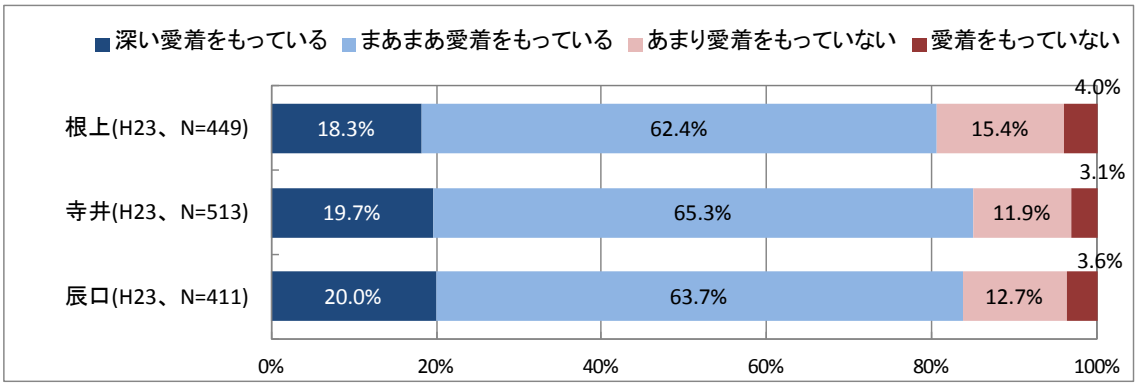
・75 歳以上は「深い愛着をもっている」が他の年代より 16 ポイント以上高くなっています。
・年代が上がるにつれて「深い愛着をもっている」が増加し、「まあまあ愛着を持っている」や「あまり愛着をもっていない」が減少しています。



■能美市への愛着（地区別）

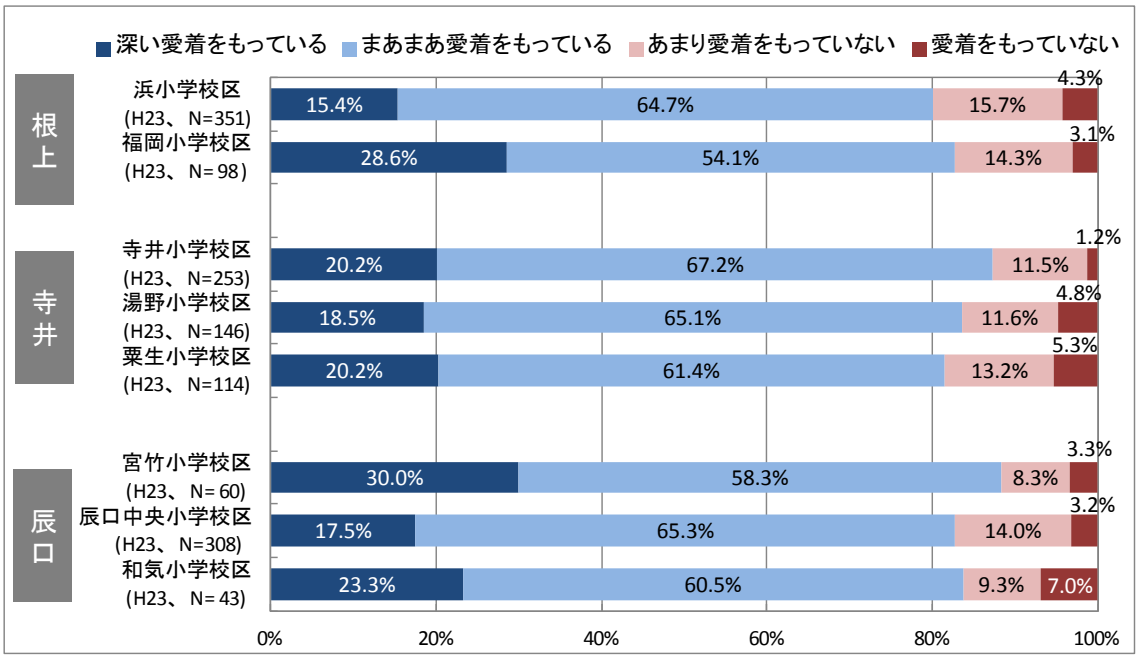
【地区別】

・地区別ではあまり差が見られません。
・いずれの地区も「深い愛着をもっている」が約２割を占めており、「まあまあ愛着をもっている」と合わせて８割以上の方が、能美市に愛着をもっています。



【小学校区別】

・福岡小学校区と宮竹小学校区は「深い愛着をもっている」が約３割と高くなっています。



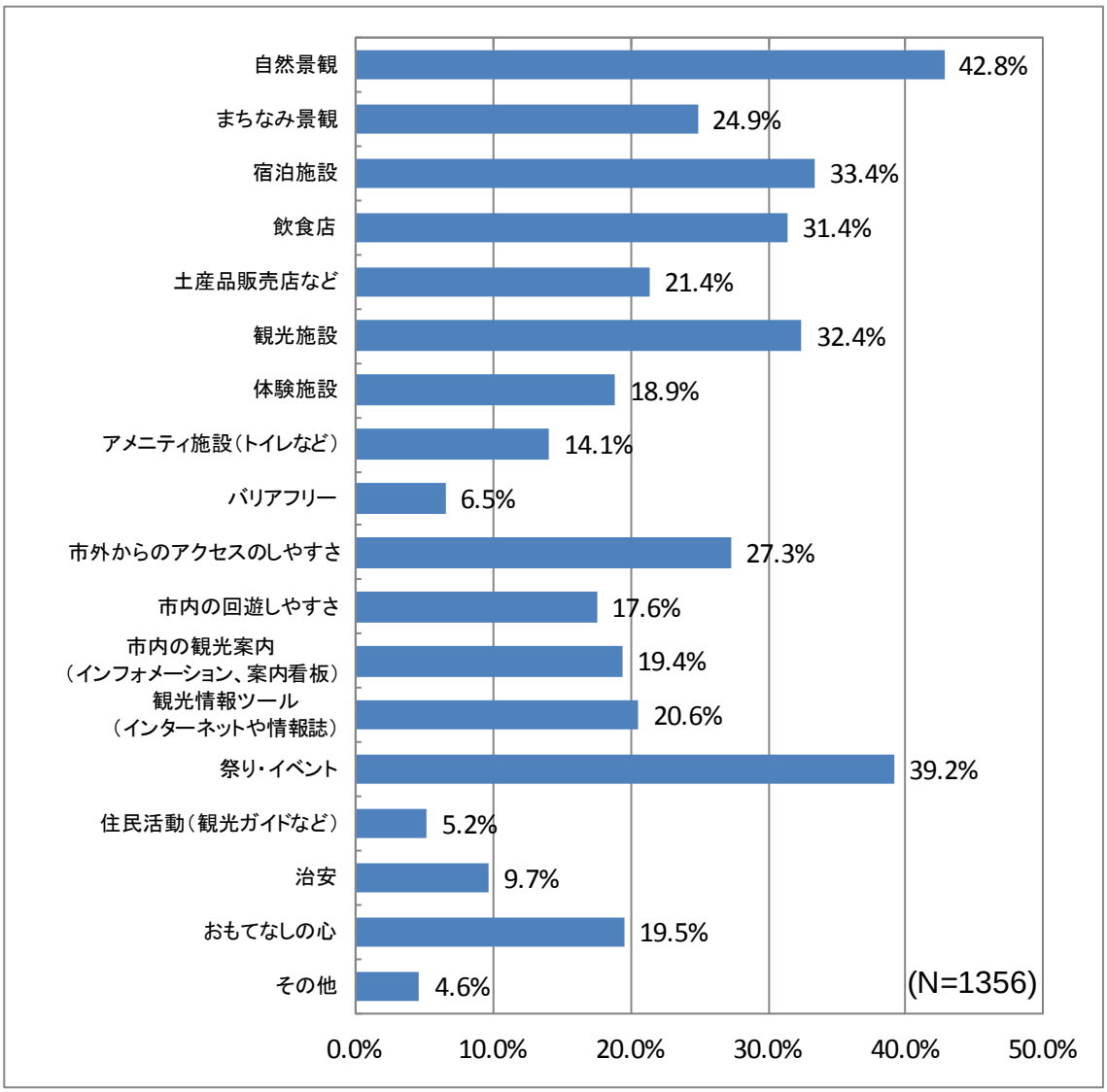
問 29　能美市がこれから観光誘客を図るために重要なキーワードは何だと思いますか？（当てはまるもの全てに○）

◆「自然景観」が 42.8%と最も多く、次いで「祭り・イベント」が 39.2%、「宿泊施設」が 33.4%となっています。

選択項目	回答数	構成比
自然景観	580	42.8%
まちなみ景観	337	24.9%
宿泊施設	453	33.4%
飲食店	426	31.4%
土産品販売店など	290	21.4%
観光施設	440	32.4%
体験施設	256	18.9%
アメニティ施設（トイレなど）	191	14.1%
バリアフリー	88	6.5%
市外からのアクセスのしやすさ	370	27.3%
市内の回遊しやすさ	238	17.6%
市内の観光案内（インフォメーション、案内看板）	263	19.4%
観光情報ツール（インターネットや情報誌）	279	20.6%
祭り・イベント	531	39.2%
住民活動（観光ガイドなど）	70	5.2%
治安	131	9.7%
おもてなしの心	265	19.5%
その他	63	4.6%
無回答	97	－
回答数	5368	395.9%
回答者数	1356	100.0%

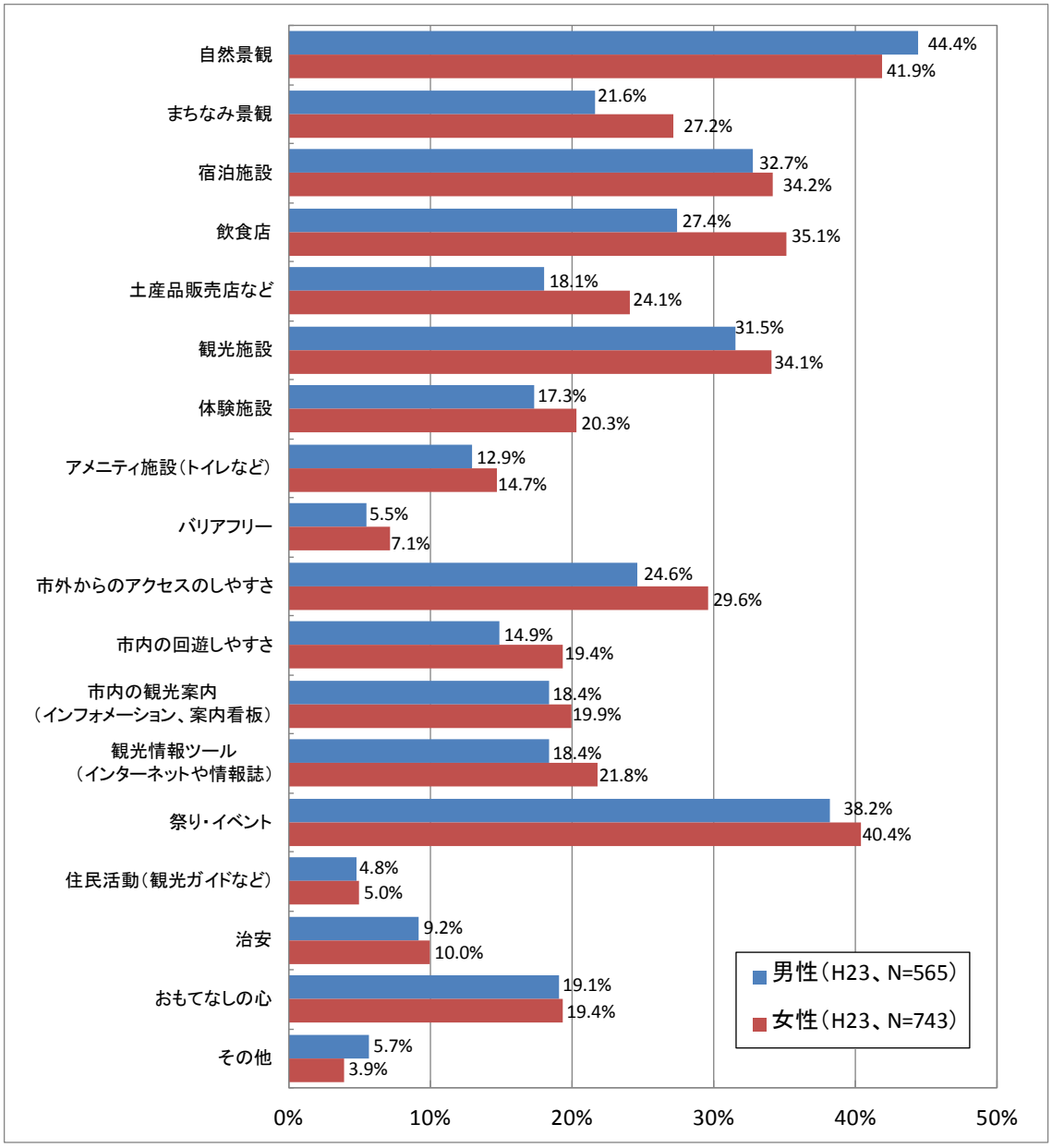
その他:　道の駅(5)、ショッピングセンター(6)、特になし(3)、アウトレット(2)、目玉、魅力作り(3)、安価な宿泊施設(2)、若者が遊べる場所や施設(2)、映画館、商店街の充実、温泉、小川や水などの整備、税金を安くする　など

※( ):回答者数


自然景観
42.8%
まちなみ景観
24.9%
宿泊施設
33.4%
飲食店
31.4%
土産品販売店など
21.4%
観光施設
32.4%
体験施設
18.9%
アメニティ施設（トイレなど）
14.1%
バリアフリー
6.5%
市外からのアクセスのしやすさ
27.3%
市内の回遊しやすさ
17.6%
市内の観光案内
（インフォメーション、案内看板）
19.4%
観光情報ツール
（インターネットや情報誌）
20.6%
祭り・イベント
39.2%
住民活動（観光ガイドなど）
5.2%
治安
9.7%
おもてなしの心
19.5%
その他
4.6%
(N=1356)
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%

■観光誘客を図るための重要なキーワード（性別）

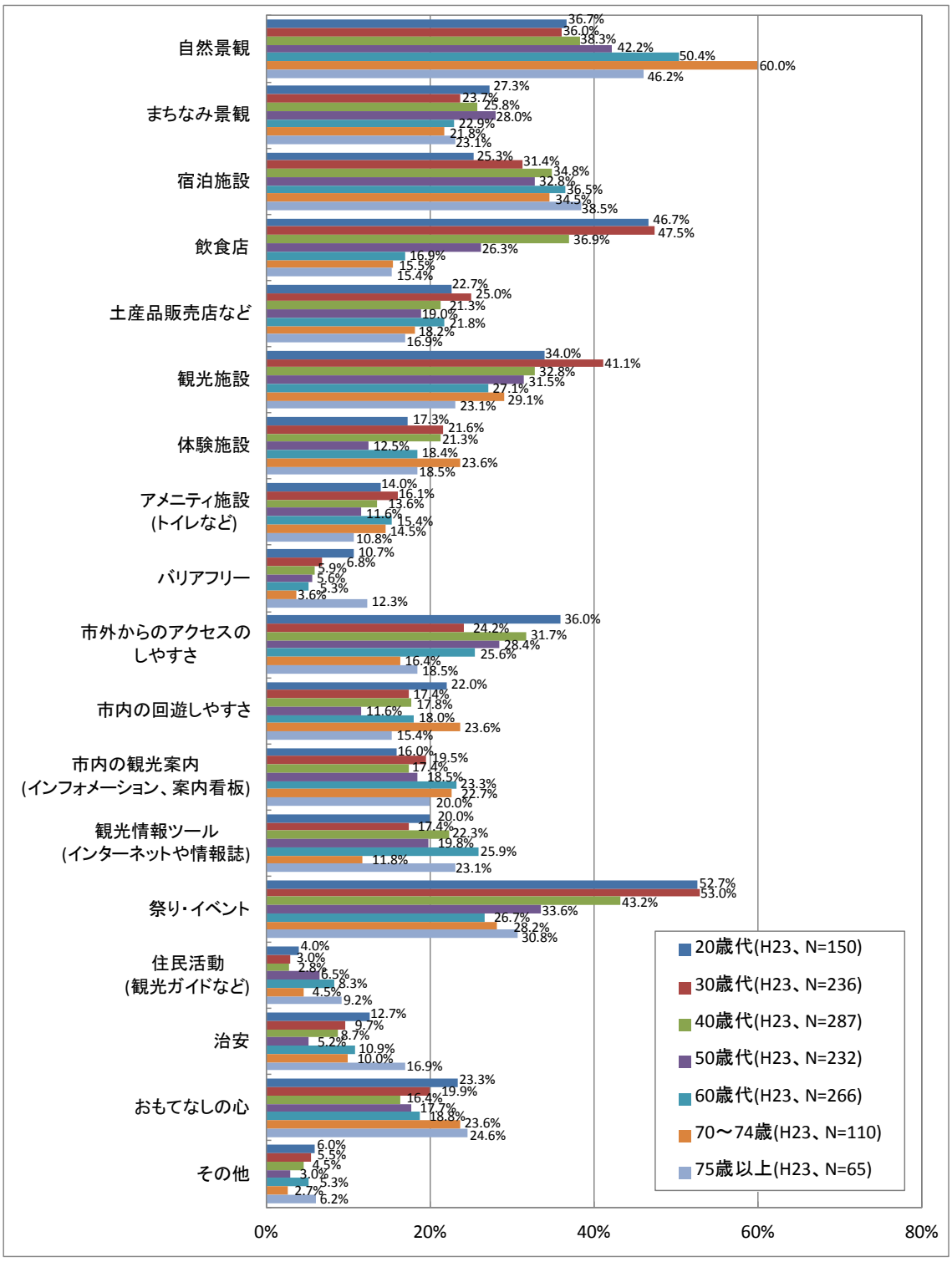
・女性は「自然景観」を除き、男性よりポイントが高くなっています。特に「飲食店」が約８ポイント、「まちなみ景観」「土産販売店など」が約６ポイント、「市街からのアクセスのしやすさ」が５ポイント男性より高くなっています。



■観光誘客を図るための重要なキーワード（年代別）

・20～40 歳代は「祭り・イベント」「飲食店」が、50 歳以上に比べ高くなっています。一方で、50 歳以上は「自然景観」が比較的多くなっています。

・年代が上がるにつれて「自然景観」「宿泊施設」「市内の観光案内（インフォメーション、案内看板）」が増加しており、一方で「飲食店」「土産物販売店など」「観光施設」「祭り・イベント」が減少しています。

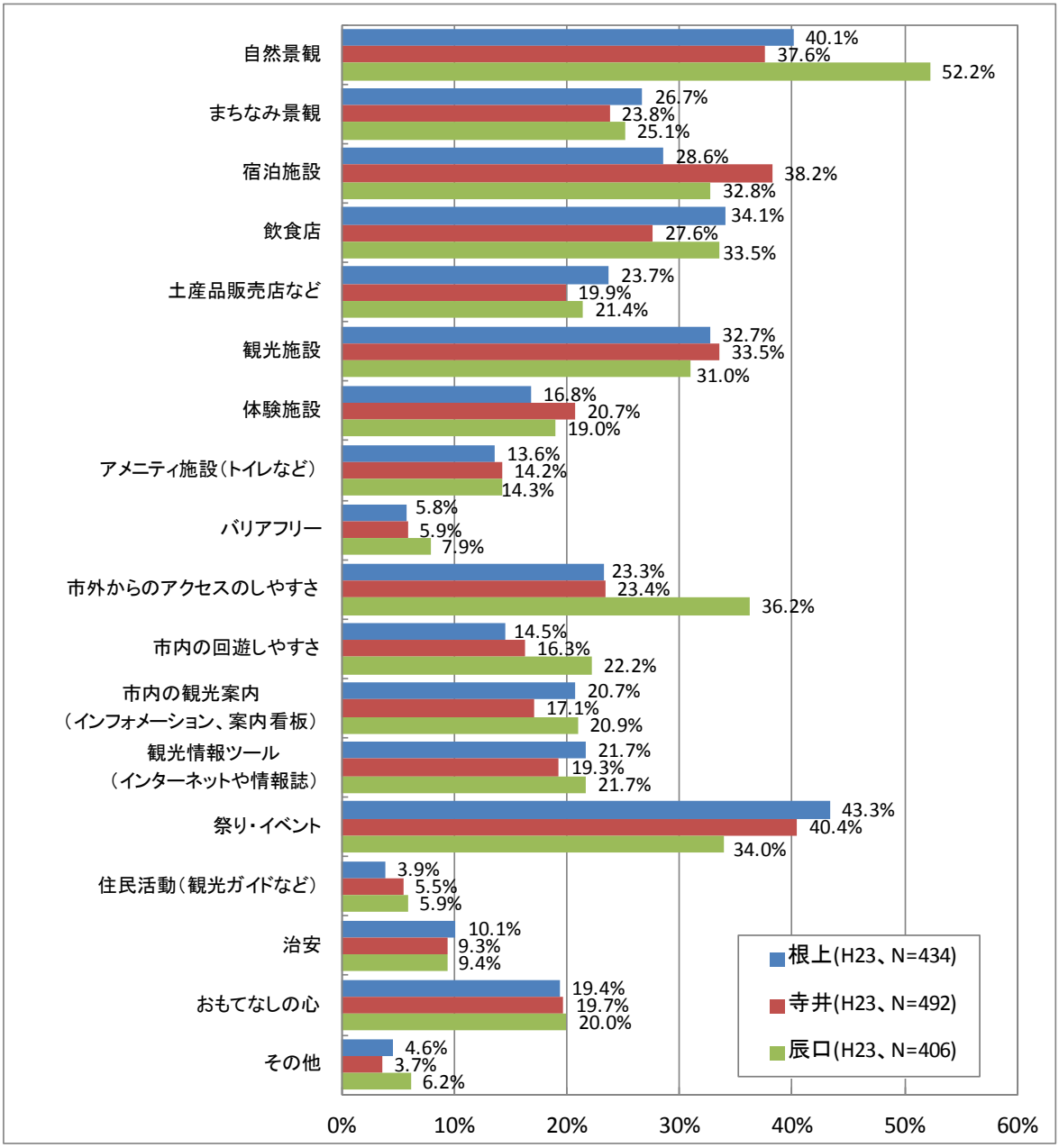


■観光誘客を図るための重要なキーワード（地区別）

・根上、寺井は「祭り・イベント」がそれぞれ 43.3%、40.4%と最も多く、辰口より 6 ポイント以上高くなっています。

・辰口は「自然景観」が 52.2%と最も多く、次いで「市外からのアクセスのしやすさ」が 36.2%と多く、共に他の地区より 12 ポイント以上高くなっています。また、辰口は「市内の回遊しやすさ」が 22.2%と 5 ポイント以上高くなっています。

・寺井は「宿泊施設」が 38.2%と他の地区より 5 ポイント以上高くなっています。一方、「飲食店」は 27.6%と 5 ポイント以上低くなっています。



問 30　能美市の観光誘客に向けたアイデアをご自由にお書き下さい。

◆1453 人中 477 人(32.8%)の回答者から寄せられた、能美市の観光誘客に関するアイデアの記述内容を問 29 のキーワード別に分類した結果、「観光施設」「その他(九谷焼、観光ツアー、キャラクターなど)」「祭り・イベント」に関するものが多くみられました。

キーワード	回答数 (構成比)	主な意見
自然景観	38 件 (6.2%)	◇水と緑と文化の町にして下さい。 ◇景観に配慮した魅力的な温泉施設。 ◇自然の中でまったりと出来るセンスの良い施設があると良いかと思います。
街並み景観	24 件 (3.9%)	◇きれいな町（ゴミが落ちていない)。 ◇ウルトラマンロードをつくる。 ◇金沢や京都のように「和」の文化を大切にした街づくりをした方がよい（道路、橋、家作りなど)。
宿泊施設	29 件 (4.8%)	◇安い宿泊施設。 ◇温泉施設で気軽に泊まれる所。 ◇温泉施設の充実。あと温泉に（泊まりに）来た人達が、もっと楽しめる所があったらよい。
飲食店	37 件 (6.1%)	◇B 級グルメの開発。 ◇地元特産物を利用した美味な飲食店の誘致。 ◇飲食店が少ない（ファミレスやファーストフード店)、手取フィッシュランド近辺にもっとお店があっても良いのでは。
土産品販売店など	36 件 (5.9%)	◇「道の駅」をつくり、その土地の物産品を持ち寄り販売する。 ◇温泉街なので、土産商店街みたいな通りがあり、あの店の何という食べ物があった方がいいと思う。 ◇茶碗祭りのショップを九谷焼以外にも公募して出展。
観光施設	105 件 (17.2%)	◇大型ショッピングセンターを作って、そこから輪を広げていくやり方が、若い人達にとって一番のアピールになると思う。 ◇動物園のアピール。 ◇辰口地区の里山自然、寺井地区の九谷焼工芸、根上地区の丸いも農業などの体験が一貫性のある観光地。
体験施設	44 件 (7.2%)	◇茶碗や、お皿が作れる体験施設。 ◇古墳の発掘体験、子育て施設見学、体験。 ◇子供やファミリーを対象とした、体験学習をテーマとした観光に力を入れてみる。
アメニティ施設 （トイレなど）	15 件 (2.5%)	◇道の駅設置。 ◇公衆無線 LAN の整備。 ◇寺井駅が新しくなるので観光誘客を考慮した、楽しめる駅になったら良いです。トイレにはトイレットペーパーを使用できるようにしたら良いと思います。
バリアフリー	0 件 (0.0%)	－
市外からのアクセスのしやすさ	25 件 (4.2%)	◇北陸道に I.C（簡易）を設けて、アクセスを良くする。 ◇特急の停車する金沢駅又は小松駅からのアクセスをしっかり決める。 ◇金沢方面のバスを増やしてほしい。
市内の回遊しやすさ	22 件 (3.6%)	◇駅前の交通をよくする。 ◇市内全体を、観光スペースとして考え、市内を周遊出来るとよい。 ◇接客巡回バスがあるのに何か不便です。車に乗れない人は乗り継ぎが大変です。

キーワード	回答数 （構成比）	主な意見
市内の観光案内 （案内看板など）	16 件 （2.6%）	◇観光マップと看板を分かりやすく。 ◇ここへ行けば、能美市の観光情報がわかるという場所（施設）がはっきりすると市民としてもうれしい。
観光情報ツール （情報誌など）	52 件 （8.5%）	◇全国へ向けての情報発信。 ◇能美市の CM 放送数を増加する。 ◇観光は PR しなければ誰も知らない。もっと PR すればよい。
祭り・イベント	71 件 （11.6%）	◇B 級グルメのイベント。 ◇花火などの季節毎のイベント。 ◇スポーツのイベント。
住民活動 （観光ガイド）	9 件 （1.5%）	◇市民からアイデアを募集し、事業化できるものには、予算をつけて実施する。 ◇市民全員が参加出来るような能登や東北等の様な夏祭りなど。
治安	0 件 （0.0%）	－
おもてなしの心	2 件 （0.3%）	◇誘客の方は心良い気持ちで迎えてください。 ◇きれいな町（ゴミが落ちていない）、人が優しい親切。
その他のアイデア	85 件 （13.9%）	◇九谷焼の活性化。 ◇バス会社と協力して、日帰りバスツアー等を企画する。 ◇能美市のキャラクターをつくる。
合計	610 件 （127.9%）	－

４．まとめ

（１）回答者自身について

➢能美市の行政への関心(p.17)…行政に対する関心が低下

・性別・年齢・地域に関わらず、行政に対する関心が低下しています。特に、若い年代ほど関心が低く、50 歳以上の方の関心も大きく低下しています。

➢市政情報の入手方法(p.21)…８割以上が市の広報誌、２～３割が回覧板や新聞

・８割以上の方が、市の広報誌から市政情報を入手しているほか、回覧板や新聞も２～３割を占めており、広報誌による情報提供を基本としつつ、回覧板や新聞も必要に応じて組み合わせていくことが重要と考えられます。
・一方、ホームページから市政情報を入手している方は１割未満と低い状況にありますが、20～40 歳代の若い世代では 50 歳以上に比べ約２倍となっています。近年では、日常的にインターネットを利用する方が増加しているため、市政情報を入手する手段として効果的な方法と考えられます。
・なお、他都市においても、能美市と同様に、広報誌が市政情報の主な入手方法として用いられ、ホームページは１割程度となっている状況がみられます。一方、ソーシャルメディア等のインターネットを活用した市政情報の発信を行い、市民の意見を広く受け入れる事例もみられます。このように、情報発信だけでなく、市民の意見を受け入れる双方向のコミュニケーションツールとして、インターネットを活用していくことも考えられます。

■他都市における市民の「市政情報の入手」事例

・石川県七尾市の「平成 22 年度七尾市まちづくり市民意識調査」では、「市政情報の主な入手先」として 1,029 人の回答者のうち、「広報ななお」が 834 人（81.0%）、「市のホームページ」が 77 人（7.5%）、「回覧板」が 494 人（48.0%）、「新聞」が 459 人（44.6%）などとなっています。

（参考　http://www.city.nanao.lg.jp/unit_sangyo/pdf/plan_pdf/sougoukeikaku_kansei/sougoukeikaku_tyousa_22.pdf）

■インターネットを活用した市政情報の発信事例

・福岡県福岡市では、市政情報や緊急情報などの発信に Twitter や facebook などのソーシャルメディアを活用し、気軽で迅速な情報発信を行うほか、利用者からの意見の受信も可能としています。また、市民にとって、教育行政が身近なものとなるように、教育委員会によるブログの運営も行われています。

（参考　http://www.city.fukuoka.lg.jp/shisei/kouhou-hodo/social/index.html）

・神奈川県相模原市では、広報誌をホームページに掲載する際、PDF 版のほか、電子ブック版、スマートフォン版、テキスト版と４種類の形式を用いており、利用者がパソコン以外にも様々な端末により広報誌を閲覧できるようにしています。また、メールマガジンを活用した情報発信や「相模原チャンネル」という YouTube を利用した動画発信も行っています。

（参考　http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/koho/koho_sagamihara/21605/013956.html）

（２）能美市における各種施策の満足度・重要度について

➢優先的に改善すべき取り組み(p.32)
…「定住化の促進」「人や自転車にやさしい道路整備」「社会保障の取り組み」

・「定住化の促進」や「人や自転車にやさしい道路の整備」「社会保障の取り組み」は、例年優先的に改善すべき領域（重要度が高く、満足度が低い項目）となっており、改善を図っていく必要があります。
・また、「生活に身近な公園や緑地の整備」「バリアフリーの取り組み」は、今回優先的に改善すべき領域となっており、その要因として公園施設の老朽化や、高齢化社会の進展によるバリアフリーに対する市民意識の高まりなどが考えられます。

➢市政への満足度(p.32)…「地域ごとの拠点づくり」や【産業】分野の満足度が向上、【行財政】【産業・環境】【参画・協働】分野で「わからない」が多い

・【歴史・自然】【健康・福祉】【教育・文化・スポーツ】分野などの満足度が比較的高くなっています。一方、【魅力】【産業・観光】分野の満足度は低い傾向にありますが、H21 と比べ「地域ごとの拠点作り」や「工業の振興」などでは満足度がやや向上しており、粟生地区などの工場立地や社会的な経済状況の変化などが反映されていると考えられます。
・H21 と比べ、満足度が大きく低下した項目はみられませんが、「生活に身近な公園や緑地の整備」「人や自転車にやさしい道路の整備」などの【居住環境】分野の項目全てで、僅かながら満足度が下がっています。
・また、【行財政】【産業・環境】【参画・協働】分野の満足度では、「わからない」と回答する方が多くなっており、これらの取り組みが市民にとって分かりにくいことが一因と考えられます。そのため、今後は市民に分かりやすい情報提供が必要と考えられます。

■分かりやすさに考慮した行財政情報の発信事例

・神奈川県小田原市では、予算の会計を家計簿に置き換えることで、市民にとって財政状況を身近に感じるように取り組んでいます。
（参考　http://www.city.odawara.kanagawa.jp/municipality/finance/details/kakeibo.html）

・長野県岡谷市では、施策や行財政のしくみを、子どもたちにも分かるようにマンガで紹介する取り組みを行っています。
（参考　http://www.city.okaya.lg.jp/okayasypher/www/info/detail.jsp?id=2797）

➢ 市政にとっての重要度(p. 32)…生活に密着した施策の重要度が上昇

・【健康・福祉】【居住環境】【教育・文化・スポーツ】分野の重要度が比較的高くなっています。
・H21 と比べ、「広域幹線道路網の整備」「公共交通網の整備」などの【居住環境】分野や「観光の振興」「北陸先端大と企業・地域・市との連携」などの【産業・環境】分野の重要度が高くなっています。
・特に、「広域幹線道路網の整備」は根上、辰口で、「公共交通網の整備」は寺井、辰口で高い傾向にあります。また辰口は他の地区と比べ、「観光の振興」や「北陸先端大と企業・地域・市との連携」の重要度が高い傾向にあり、年齢が上がるほど「北陸先端大と企業・地域・市との連携」の重要度が高くなっています。

（３）能美市に住むことについて

➢ 能美市の住みやすさ(p. 47)…９割が住みやすいと評価

・約９割の方が、能美市は「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と評価しています。また、性別、年齢、地域によらず、H21 と比べて「住みやすい」と回答する方が増えています。

➢ 将来的な定住意向(p. 51)…８割が住み続けたいと回答

・８割以上の方が、住み続けたいと考えており、「生まれ育った土地だから」「住みやすいから」などを理由としています。
・一方で、移り住みたい方は、「交通の便が悪いから」「車がないと生活しにくいから」「買物が不便」などを理由としており、辰口でやや多くなっています。
（泉台町では、近隣に商業施設がなく、高齢者も多いため、住民自らが無償の買物バスを運行しています。高齢化のさらなる進展により、他地区でも同様の問題が危惧されます。）

➢ 定住のきっかけ(p. 55)…男性は出身地、女性は結婚相手の出身地

・男性は能美市出身の方が多く、女性は結婚相手が能美市出身の方が多くなっています。
・辰口（辰口中央小学校区、和気小学校区）では、土地価格が手頃なことも定住のきっかけとなっています。

➢ 能美市に定住することの魅力(p. 67)…豊かな自然環境、静かな住環境

・約６割の方が「豊かな自然環境」、約４割の方が「静かさ」を魅力と考えています。特に、辰口や寺井（湯野小学校区）では、これらの魅力を高く評価しています。
・女性や子育て世代の方は、子育て環境の充実を魅力と評価することが多くなっています。

（４）地域活動、市民活動および市民と行政の協働について

➢ 地域活動等への参加状況(p. 80)…約５割が参加

・約５割の方が何らかの地域活動に参加しており、参加が最も多いのは「自治会・町内会活動」となっています。また、40 歳代は、子ども会、壮年団、婦人会などの活動への参加が多く、70 歳以上の方は「老人クラブでの活動」への参加が多くなっており、それぞれ６割以上の方が地域活動に参加しています。
・地区別では、地域活動を引っ張るリーダーがいる福岡小学校区や、保育園単位での活動、婦人消防隊などの地域活動が盛んな宮竹小学校区では、「婦人会・女性団体での活動」が他の地区に比べ多くなっています。
・一方、性別、年齢、地域に関わらず、H21 と比べて地域活動への参加割合が低くなっていますが、これは調査項目の変更などが影響していると考えられます。なお、根上（特に浜小学校区）は他の地区と比べ、「自治会・町内会活動」や「ボランティア活動」への参加が低くなっており、小学校区の規模やまとまりなどが地域活動への参加に影響を与えていると考えられます。

➢ 地域活動、市民活動の活性化に必要なこと(p. 94)…４割が情報提供や交流の場

・20～40 歳代の若い世代を中心として、約４割の方が、「各種活動の実施状況を知る機会・場所」や「各活動に携わる人たちの交流の場」を必要としています。このことから、地域活動や市民活動の活性化のためには、市民が現在行われている活動の内容などをより詳細に知る機会を設けることが重要と考えられます。
・また、地域活動の中心的な役割を担う 40～50 歳代の方は、「活動のための資金の確保」も必要としています。

➢ 市民と行政の協働推進に必要なこと(p. 99)…４割が情報提供や気軽に提案出来る機会

・４割の方が、「現在行っている取り組みの情報提供」「市民側、行政側が気軽に提案できる機会」を必要としています。特に、辰口ではこれらの意見が多いほか、「市民と行政がまちづくりの問題・課題を検討する機会」「行政からの活動支援・資金助成」も必要としています。
・また、50 歳以上の方は、「行政が実施している事業のうち、市民ができることは市民に任せるべき」との意見が多くなっています。

（５）男女共同参画社会づくりの取り組みについて

➢男女共同参画で心がけていること(p. 103)
…５割が相手の立場となり物事を理解しようと心がけている、
４割が家事などをともに行うよう心がけている

・５割の方が、相手の立場となって物事を理解しようと心がけています。特に、男性は相手の立場や男女平等について理解しようと心がける方が多くなっています。
・また、４割の方が家事・育児などをパートナーと共に行うよう心がけており、特に女性は性別による役割分担などの見直しや､家事などの共同を心がけている方が多くなっています。
・一方で、年齢が上がるほど、「特に心がけていることはない」が多くなっており、「男女の違いによる役割分担も必要」という意見もみられます。

（６）公共交通網の充実について

➢ＪＲ寺井駅の利用状況(p. 107)…約８割が未利用、１割が月に１・２回程度の利用

・８割以上の方が、ＪＲ寺井駅をほとんど利用していませんが、約１割の方は月に１・２回程度利用しています。
・20 歳代、60 歳以上の方は他の年代と比べて利用者が多くなっています。
・ＪＲ寺井駅が立地する根上では、約２割の方が月に１回以上利用している一方、ＪＲ寺井駅から遠い辰口では利用は１割未満となっており、ＪＲ寺井駅との距離が大きく影響していると考えられます。

➢鉄道の利用促進に必要なこと(p. 111)…のみバスとの連携、安価な駐車場整備

・４割以上の方が、「鉄道とのみバスの運行時刻の連携」「安価な駐車場整備」を必要としており、特に JR 寺井駅から遠い辰口や寺井ではこれらの意見が多くなっています。
・比較的利用の多い、20 歳代の方や辰口では「鉄道の本数増便（金沢方面)」を必要とする方が多くなっています。

（７）リサイクルセンターのあり方について

➢ リサイクルセンターの利用状況(p. 118)…６割以上が利用、特に高齢者が多く利用

・６割以上の方がリサイクルセンターを利用しており、年齢が上がるほど利用している方が多くなっています。
・また、寺井や辰口では７、８割の方がリサイクルセンターを利用している一方、根上では約５割の利用となっており、利用できる曜日や時間帯によって利用状況に差が生じています。
・リサイクルセンターを利用していない方の約８割は町会の資源ごみ回収を利用しています。

➢ リサイクルセンターの統合について(p. 124)…４割以上が賛同

・４割以上の方が、多少の不便さは感じるものの統合に賛同しており、市の経費削減などを理由としています。
・一方、３割の方は遠さや混雑などの不便になることを理由に「リサイクルセンターを利用しなくなる」と答えており、特に辰口で多くなっています。

➢ リサイクルセンターに付加を望む機能(p. 127)…不要品回収・販売機能

・５割以上の方が「リサイクルショップのような不用品回収・販売機能」の付加を望んでおり、特に根上で多くなっています。
・70 歳以上の方や辰口（和気小学校区）では、約１割の方が「講座などを開催できるスペース」の付加を望んでいます。

（８）観光に関する取り組みについて

➢ 観光をキーワードとした地域活性化事業について[聞いたことがあるもの](p. 130)…３割が「能美古墳群活用推進事業」「おこのみプロジェクト」を認知

・約３割の方が、「能美古墳群活用推進事業」や「おこのみプロジェクト」を聞いたことがあると答えていますが、20 歳代の方を中心として約５割の方が何も聞いたことがないと答えており、地域活性化事業の周知は低い状況にあります。
・一方、女性や 40 歳代は「おこのみプロジェクト」の認知が高いほか、年齢が上がるほど「能美古墳群活用推進事業」の認知が高くなっています。

➢ 観光をキーワードとした地域活性化事業について[興味があるもの](p. 134)
…４割が「図書館利用拡大事業」、２割が「ウルトラなまちづくり事業」

・約４割の方が「図書館利用拡大事業」に興味があると答えており、特に女性の 50 歳代、75 歳以上の方が多くなっています。
・30～40 歳代の男性は「ウルトラなまちづくり事業」、60～74 歳の男性は「能美古墳群活用推進事業」「地域資源掘り起こし事業」への関心が高くなってるほか、20～40 歳代の女性は「おこのみプロジェクト」への関心が高くなっており、回答者の性別や年齢により興味に差が生じています。このことから、対象者を絞った地域活性化の取り組みの周知や展開などの検討も必要と考えられます。

➢ 自慢できるもの(p. 138)…いしかわ動物園、九谷焼、松井秀喜選手など

・多くの方が、いしかわ動物園、九谷焼、松井秀喜選手、白山の眺望などをあげています。特に、【産業・観光】【歴史・自然】分野で自慢できるものが多くなっています。

➢ 能美市への愛着(p. 140)…８割以上が愛着を持っていると回答

・８割以上の方が能美市への愛着を感じています。特に、能美市出身者が多い男性は、女性より愛着を感じている方が多いほか、年齢が上がるほどその割合は高くなっています。
・福岡小学校区や宮竹小学校区は、他の小学校区より深い愛着を持っている方が多くなっており、地域コミュニティの存在が愛着にも影響していると考えられます。

➢ 観光誘客を図るための重要なキーワード(p. 143)…自然景観、祭り・イベント、宿泊施設など

・多くの方が「自然景観」「祭り・イベント」「宿泊施設」などの各種施設をキーワードにあげています。特に、20～40 歳代は「祭り・イベント」「飲食店」「市外からのアクセス」を、50 歳以上の方は「自然景観」を多くあげています。
・根上や寺井は、「祭り・イベント」が多い一方、辰口は「自然景観」「市外からのアクセス」が多くなっています。

➢ 観光誘客に向けたアイデア(p. 148)…観光施設の建設や PR、祭り・イベントの実施

・「観光施設」「飲食店」「体験施設」などの各種施設のほか、「祭り・イベント」「自然景観」などに関するアイデアが多くなっています。
・具体的には、「新しい誘客施設の建設」「いしかわ動物園などのアピール」「大きなイベントの実施」「地域特産物を活かした飲食店や道の駅の設置」「自然景観に配慮したまちづくり」などが多くあげられています。

（９）能美市のまちづくりについて

➢ 総合計画に基づく施策の展開と市民満足度について
…市民ニーズに応じた施策の展開により各施策の満足度が向上

・H17 から H23 の満足度の推移をみると、多くの項目で評価が高くなっています。また、満足度が低く改善が必要とされていた項目については、新たな取り組みの実施により満足度が改善しており、市民の評価に応じた施策の展開が図られたと考えられます。
（例えば、環境に関する項目では、能美市地球温暖化実行計画（エコオフィス計画）や能美市バイオマスタウン構想、公共交通に関する項目では、のみバスの運行などの実施により評価が改善）
・さらに、２年ごとの満足度の変化は徐々に小さくなっており、従来の都市課題に対する各種施策は、市民から一定の評価が得られたと考えられます。
・一方、H23 で評価が下がった項目や経年的に連続して改善を図るべき領域に含まれる項目として、「生活に身近な公園や緑地の整備」「人や自転車にやさしい道路の整備」「バリアフリーの取り組み」「障害者福祉の取り組み」「社会保障の取り組み」「効率的な行政運営の取り組み」などがあげられ、今後は以下の取組みが重要と考えます。

◆「生活に身近な公園や緑地の整備」については、施設の老朽化が要因と考えられ、今後は「能美市都市公園等維持管理補助」制度などを活用し、地元主体の維持・管理を促進していくことが重要
◆「人や自転車にやさしい道路の整備」や「バリアフリーの取り組み」については、人が集まる施設や幹線道路など優先順位をつけたバリアフリー化の促進により、高齢者や障害者にやさしい環境づくりに努めることが重要
◆「障害者福祉の取り組み」「社会保障の取り組み」などの医療・福祉に関する項目については、今後もより重要性が高まると考えられ、国の各種施策の周知を図りながら、身近な健康対策などを維持・拡充していくことが重要
◆「効率的な行政運営」については、さらなる行財政改革による効率的な行政運営を推進するとともに、分かりやすい広報の充実などが必要

➢ 能美市の魅力とまちづくりについて
…「豊かな自然環境」を活かした魅力あるまちづくりの維持・継続が必要

・能美市の魅力、自慢、観光誘客に向けたキーワードなどの項目において、「自然環境」に関する回答が最も多くなっており、豊かな自然環境や良好な住環境が重要な財産であると多くの市民が認識しています。
・上記より、今後もまちづくりの推進に際して、豊かな自然環境を保全・活用しながら、市民参画・協働による生活環境の維持・改善を図り、市民自らが“住みたい”“住み続けたい”と思えるまちづくりを継続していくことが重要と考えられます。